鏡

１．工事名

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事
工事地名	神奈川県相模原市中央区中央１丁目地先外３箇所

２．工事内容

１）	発注年月	令和 8年 8月	１２）	設 計 年 月	令和 8年 6月
２）	事務所名	相武国道事務所　管理第二課	１３）	機械損料一括補正	0　　労務費一括割増　　0%
３）	工事番号	8358511100	１４）	単価適用年月	2026年 8月
４）	契約区分	単年度（繰越を含む）の分任官	１５）	歩掛適用年月	2026年 8月
５）	変更回数	0回	１６）	前請負工事費	0
６）	主 工 種	橋梁保全工事	１７）	前請負代金額	0
７）	工 事 量		１８）	調 整 区 分	0
８）	工　　期	197日間　自　令和 8年 9月16日	１９）	共通仮設費対象額	
		（当初）　至　令和 9年 3月31日	２０）	現場管理費対象額	
		（ 0回変更）　至　年 月 日	２１）	一般管理費等対象額	
９）	施 工 県	神奈川県	２２）	処 分 費 等	44,911
１０）	地　　区	平塚地区	２３）	公 告 日	令和 8年 6月29日
１１）	河川・路線	一般国道１６号	２４）	入 札 締 切 日	年 月 日

３．予算科目

1） 予算科目：	2） 目：	3） 目の細分：	4） 事業名：

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋梁保全工事 (中央1丁目歩道橋)		式	1		36,963,484			
舗装工		式	1		3,074,598			
橋面防水工		式	1		356,240			
橋面防水	塗膜系防水	m2	122	2,920	356,240			単-1号
舗装打換え工		式	1		1,377,578			
舗装撤去 (1)橋面部	ｱｽﾌｧﾙﾄﾌﾞﾛｯｸ舗装+ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 平均厚t=42.5mm	m2	60	6,464	387,840			単-2号
舗装撤去 (2)階段部	ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ+ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ t=50mm	m2	62	6,464	400,768			単-3号
調整ﾓﾙﾀﾙ (1)橋面部	平均厚t=39.7mm	m2	60	5,161	309,660			単-4号
調整ﾓﾙﾀﾙ (2)階段部	平均厚t=40mm	m2	62	4,505	279,310			単-5号
薄層ｶﾗｰ舗装工		式	1		1,340,780			
薄層ｶﾗｰ舗装 (1)橋面部	可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ t=10mm	m2	60	9,750	585,000			単-6号
薄層ｶﾗｰ舗装 (2)階段部	可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ t=10mm	m2	62	12,190	755,780			単-7号

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋梁付属物工		式	1		1,804,047			
排水施設工		式	1		484,547			
排水樋撤去		箇所	2	22,940	45,880			単-8号
排水管撤去 (1)	集水桝流末管 SGP80A	m	1	7,373	7,373			単-9号
排水管撤去 (2)	VU75、VU100	m	10	3,105	31,050			単-10号
排水管	VP管	m	17	21,290	361,930			単-11号
現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	m2	0.1	24,040	2,404			単-12号
現場塗装 (2)	F-13系	m2	0.1	359,100	35,910			単-13号
橋梁用高欄工		式	1		1,319,500			
現場孔明	φ15	本	120	2,301	276,120			単-14号
高欄嵩上	STKR400	m	31	23,740	735,940			単-15号
現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	m2	1	24,040	24,040			単-16号

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場塗装 (3)	F-11系	m2	1	283,400	283,400			単-17号
橋梁補修工		式	1		3,183,178			
ひび割れ補修工		式	1		117,600			
充てん工法	20m以下 可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂	構造物	1	117,600	117,600			単-18号
断面修復工		式	1		407,208			
左官工法	0.1m3以下 無収縮ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 鉄筋ｹﾚﾝ・鉄筋防錆処理有	構造物	1	406,000	406,000			単-19号
ｺﾝｸﾘｰﾄ殻積込・運搬(断面修復工)		m3	0.09	6,388	574			単-20号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.09	7,050	634			単-21号
当て板補修工		式	1		795,986			
当て板補修	SM400A	箇所	8	8,580	68,640			単-22号
金属ﾊﾟﾃ充填	常温硬化型金属粉含有ｴﾎﾟｷｼ樹脂	箇所	12	15,270	183,240			単-23号
FRPｼｰﾄ補修	紫外線硬化型FRPｼｰﾄ	m2	0.08	2,491,000	199,280			単-24号

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	m2	0.9	24,040	21,636			単-25号
現場塗装 (2)	F-13系	m2	0.9	359,100	323,190			単-26号
橋面止水工		式	1		1,819,136			
止水	ｼｰﾙ材　△20×20mm	m	352	4,954	1,743,808			単-27号
伸縮部止水	ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材+ｼｰﾙ材 W=20mm	m	8	9,416	75,328			単-28号
ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ設置工		式	1		43,248			
ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ設置	M22 塩化ﾋﾞﾆﾙ製	個	16	2,703	43,248			単-29号
現場塗装工		式	1		17,417,048			
塗膜除去工		式	1		12,196,800			
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	湿式塗膜剥離剤 0.5kg/m2 塗布回数3回	m2	440	20,550	9,042,000			単-30号
廃材の回収・積込		m2	440	7,170	3,154,800			単-31号
橋梁塗装工 (Rc-Ⅱ系)		式	1		5,220,248			

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
清掃・水洗い		m2	440	199.2	87,648			単-32号
素地調整	2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	m2	440	3,937	1,732,280			単-33号
防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(1層) はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 2回	m2	440	2,839	1,249,160			単-34号
下塗	弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層)はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 1回	m2	440	2,257	993,080			単-35号
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2	440	1,053	463,320			単-36号
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2	440	1,579	694,760			単-37号
構造物撤去工		式	1		130,613			
運搬処理工		式	1		130,613			
殻運搬 (1)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	2	16,890	33,780			単-38号
殻運搬 (2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	4	16,890	67,560			単-39号
殻処分 (1)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	2	3,525	7,050			単-40号
殻処分 (2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	4	5,222	20,888			単-41号

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場発生品運搬	排水施設	t	0.09	14,840	1,335			単-42号
仮設工		式	1		11,354,000			
足場工 (夜間)		式	1		5,982,100			
足場	枠組足場	掛m2	640	8,575	5,488,000			単-43号
養生ｼｰﾄ	湿式塗膜剥離剤工法用	m2	150	3,294	494,100			単-44号
交通管理工		式	1		4,162,300			
交通誘導警備員 (1)	交通誘導警備員A	人日	107	20,200	2,161,400			単-45号
交通誘導警備員 (2)	交通誘導警備員B	人日	107	18,700	2,000,900			単-46号
交通管理工 (夜間)		式	1		1,209,600			
交通誘導警備員 (3)	交通誘導警備員A	人日	14	30,300	424,200			単-47号
交通誘導警備員 (4)	交通誘導警備員B	人日	28	28,050	785,400			単-48号
直接工事費		式	1		36,963,484			

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
共通仮設費		式	1		8,177,230			
共通仮設費		式	1		855,230			
技術管理費		式	1		64,230			
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式	1		64,230			内-1号
現場環境改善費（率計上）		式	1		791,000			
共通仮設費（率計上）		式	1		7,322,000			
純工事費		式	1		45,140,714			
現場管理費		式	1		24,459,000			
工事原価		式	1		165,275,408			
一般管理費等		式	1		25,134,592			
工事価格		式	1		190,410,000			
消費税相当額		式	1		19,041,000			

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
工事費計		式	1		209,451,000			

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋梁保全工事 (由野台2丁目歩道橋)		式	1		19,644,796			
舗装工		式	1		1,585,102			
橋面防水工		式	1		183,960			
橋面防水	塗膜系防水	m2	63	2,920	183,960			単-1号
舗装打換え工		式	1		711,252			
舗装撤去 (1)橋面部	樹脂ﾓﾙﾀﾙ舗装+ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 平均厚t=42.5mm	m2	32	6,464	206,848			単-2号
舗装撤去 (2)階段部	ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ+ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ t=50mm	m2	31	6,464	200,384			単-3号
調整ﾓﾙﾀﾙ (1)橋面部	平均厚t=39.7mm	m2	32	5,304	169,728			単-4号
調整ﾓﾙﾀﾙ (2)階段部	平均厚t=40mm	m2	31	4,332	134,292			単-5号
薄層ｶﾗｰ舗装工		式	1		689,890			
薄層ｶﾗｰ舗装 (1)橋面部	可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ t=10mm	m2	32	9,750	312,000			単-6号
薄層ｶﾗｰ舗装 (2)階段部	可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ t=10mm	m2	31	12,190	377,890			単-7号

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋梁付属物工		式	1		1,391,270			
排水施設工		式	1		481,442			
排水樋撤去		箇所	2	22,940	45,880			単-8号
排水管撤去 (1)	集水桝流末管 SGP80A	m	1	7,373	7,373			単-9号
排水管撤去 (2)	VU75、VU100	m	9	3,105	27,945			単-10号
排水管	VP管	m	17	21,290	361,930			単-11号
現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	m2	0.1	24,040	2,404			単-12号
現場塗装 (2)	F-13系	m2	0.1	359,100	35,910			単-13号
橋梁用高欄工		式	1		909,828			
現場孔明	φ15	本	80	2,301	184,080			単-14号
高欄嵩上	STKR400	m	20	24,110	482,200			単-15号
現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	m2	0.7	24,040	16,828			単-16号

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場塗装 (3)	F-11系	m2	0.8	283,400	226,720			単-17号
橋梁補修工		式	1		2,561,949			
ひび割れ補修工		式	1		116,600			
充てん工法	20m以下 可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂	構造物	1	116,600	116,600			単-18号
断面修復工		式	1		373,093			
左官工法	0.1m3以下 無収縮ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 鉄筋ｹﾚﾝ・鉄筋防錆処理有	構造物	1	372,800	372,800			単-19号
ｺﾝｸﾘｰﾄ殻積込・運搬(断面修復工)		m3	0.02	7,616	152			単-20号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.02	7,050	141			単-21号
当て板補修工		式	1		1,111,340			
当て板補修	SM400A	箇所	8	10,760	86,080			単-22号
金属ﾊﾟﾃ充填	常温硬化型金属粉含有ｴﾎﾟｷｼ樹脂	箇所	13	33,640	437,320			単-23号
FRPｼｰﾄ補修	紫外線硬化型FRPｼｰﾄ	m2	0.1	2,048,000	204,800			単-24号

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	m2	1	24,040	24,040			単-25号
現場塗装 (2)	F-13系	m2	1	359,100	359,100			単-26号
橋面止水工		式	1		939,292			
止水	ｼｰﾙ材　△20×20mm	m	182	4,954	901,628			単-27号
伸縮部止水	ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材+ｼｰﾙ材 W=20mm	m	4	9,416	37,664			単-28号
ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ設置工		式	1		21,624			
ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ設置	M22 塩化ﾋﾞﾆﾙ製	個	8	2,703	21,624			単-29号
現場塗装工		式	1		8,730,260			
塗膜除去工		式	1		6,098,400			
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	湿式塗膜剥離剤 0.5kg/m2 塗布回数3回	m2	220	20,550	4,521,000			単-30号
廃材の回収・積込		m2	220	7,170	1,577,400			単-31号
橋梁塗装工 (Rc-Ⅱ系)		式	1		2,610,124			

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
清掃･水洗い		m2	220	199.2	43,824			単-32号
素地調整	2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	m2	220	3,937	866,140			単-33号
防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(1層) はけ･ﾛｰﾗｰ 塗装回数 2回	m2	220	2,839	624,580			単-34号
下塗	弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層)はけ･ﾛｰﾗｰ 塗装回数 1回	m2	220	2,257	496,540			単-35号
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2	220	1,053	231,660			単-36号
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2	220	1,579	347,380			単-37号
張紙防止塗装工		式	1		21,736			
張紙防止塗装	ｸﾘﾔｰ	m2	8	2,717	21,736			単-38号
構造物撤去工		式	1		73,675			
運搬処理工		式	1		73,675			
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	3	18,810	56,430			単-39号
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	3	5,222	15,666			単-40号

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場発生品運搬	排水施設	t	0.09	17,550	1,579			単-41号
仮設工		式	1		5,302,540			
足場工 (夜間)		式	1		2,255,640			
足場	枠組足場	掛m2	240	8,575	2,058,000			単-42号
養生ｼｰﾄ	湿式塗膜剥離剤工法用	m2	60	3,294	197,640			単-43号
交通管理工		式	1		2,528,500			
交通誘導警備員 (1)	交通誘導警備員A	人日	65	20,200	1,313,000			単-44号
交通誘導警備員 (2)	交通誘導警備員B	人日	65	18,700	1,215,500			単-45号
交通管理工 (夜間)		式	1		518,400			
交通誘導警備員 (3)	交通誘導警備員A	人日	6	30,300	181,800			単-46号
交通誘導警備員 (4)	交通誘導警備員B	人日	12	28,050	336,600			単-47号
直接工事費		式	1		19,644,796			

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
共通仮設費		式	1		5,325,000			
共通仮設費		式	1		468,000			
現場環境改善費（率計上）		式	1		468,000			
共通仮設費（率計上）		式	1		4,857,000			
純工事費		式	1		24,969,796			
現場管理費		式	1		15,154,000			
工事原価		式	1		40,123,796			

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋梁保全工事 （梅ノ木橋側道橋）		式	1		22,636,584			
舗装工		式	1		111,914			
橋面防水工		式	1		71,720			
橋面防水	塗膜系防水	m2	22	3,260	71,720			単-1号
舗装打換え工		式	1		40,194			
表層	再生細粒度ｱｽｺﾝ(13) 平均舗装厚 45mm 1.4m 以上	m2	22	1,827	40,194			単-2号
橋梁床版工		式	1		14,208,580			
床版取替工		式	1		14,208,580			
鋼製高欄取替 （夜間）	橋梁用高欄(組立式)	m	27	75,340	2,034,180			単-3号
床版架設 （夜間）	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版 t=8cm	m2	28	434,800	12,174,400			単-4号
橋梁付属物工		式	1		3,660,883			
伸縮継手工		式	1		1,041,307			

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
鋼･ｺﾞﾑ製伸縮装置	軽量型 1車線相当 樹脂系伸縮装置	m	7.6	136,800	1,039,680			単-5号
殻運搬 (1)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.1	11,050	1,105			単-6号
殻処分 (1)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.1	5,222	522			単-7号
落橋防止装置工		式	1		2,361,635			
芯出し調整 (1)	鋼材面用	m2	0.4	38,950	15,580			単-8号
芯出し調整 (2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面用	m2	0.7	24,670	17,269			単-9号
現場孔明		本	16	2,347	37,552			単-10号
部材取付 (1)	下部工取付ﾌﾟﾚｰﾄ、主桁補強材	部材	4	52,800	211,200			単-11号
部材取付 (2)	上部工取付ﾌﾟﾚｰﾄ	部材	2	34,750	69,500			単-12号
削孔	削孔径 32mm 削孔深さ 340mm	孔	8	6,164	49,312			単-13号
ｱﾝｶｰ(落橋防止)	SD345 D22×410(M18用 2N,1W) ﾈｼﾞ切り部溶融亜鉛めっき	本	8	3,899	31,192			単-14号
下地処理	下部工ﾌﾞﾗｹｯﾄ背面部	m2	0.7	137,400	96,180			単-15号

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
落橋防止装置取付 (1)	下部工ﾌﾞﾗｹｯﾄ	組	2	387,700	775,400			単-16号
落橋防止装置取付 (2)	水平力分担構造	組	2	369,000	738,000			単-17号
現場塗装 (1)	素地調整 2種ｹﾚﾝ	m2	0.3	26,060	7,818			単-18号
現場塗装 (2)	F-11系	m2	0.3	1,042,000	312,600			単-19号
殻運搬 (2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.002	11,050	22			単-20号
殻処分 (2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.002	5,222	10			単-21号
排水施設工		式	1		110,440			
排水管	VP管	m	2	55,220	110,440			単-22号
地覆工		式	1		147,501			
場所打地覆	24-12-25(20)(普通)	m	27	5,463	147,501			単-23号
現場塗装工		式	1		2,146,629			
塗膜除去工		式	1		1,503,900			

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	湿式塗膜剥離剤 0.5kg/m2 塗布回数3回	m2	54	20,650	1,115,100			単-24号
廃材の回収・積込		m2	54	7,200	388,800			単-25号
橋梁塗装工 (Rc-Ⅱ)		式	1		642,729			
清掃・水洗い		m2	54	200.4	10,821			単-26号
素地調整	2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	m2	54	3,962	213,948			単-27号
防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(1層) はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 2回	m2	54	2,844	153,576			単-28号
下塗	弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層)はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 1回	m2	54	2,260	122,040			単-29号
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2	54	1,054	56,916			単-30号
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2	54	1,582	85,428			単-31号
構造物撤去工		式	1		20,598			
運搬処理工 (夜間)		式	1		20,598			
現場発生品運搬	高欄	t	0.65	31,690	20,598			単-32号

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
仮設工		式	1		2,487,980			
足場工 (夜間)		式	1		1,079,130			
足場	吊足場	m2	30	32,410	972,300			単-33号
養生ｼｰﾄ	湿式塗膜剥離剤工法用	m2	30	3,561	106,830			単-34号
交通管理工		式	1		627,200			
交通誘導警備員 (1)	交通誘導警備員A	人日	16	20,500	328,000			単-35号
交通誘導警備員 (2)	交通誘導警備員B	人日	16	18,700	299,200			単-36号
交通管理工 (夜間)		式	1		781,650			
交通誘導警備員 (3)	交通誘導警備員A	人日	9	30,750	276,750			単-37号
交通誘導警備員 (4)	交通誘導警備員B	人日	18	28,050	504,900			単-38号
直接工事費		式	1		22,636,584			
共通仮設費		式	1		5,622,000			

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
共通仮設費		式	1		330,000			
技術管理費		式	1		96,000			
鉄筋探査費	RCﾚｰﾀﾞ 横向き	回	1	96,000	96,000			単-39号
現場環境改善費（率計上）		式	1		234,000			
共通仮設費（率計上）		式	1		5,292,000			
純工事費		式	1		28,258,584			
現場管理費		式	1		16,643,000			
工事原価		式	1		44,901,584			

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋梁保全工事 （台橋橋側歩道橋）		式	1		4,886,314			
舗装工		式	1		79,105			
橋面防水工		式	1		44,642			
橋面防水	塗膜系防水	m2	13	3,434	44,642			単-1号
舗装打換え工		式	1		34,463			
表層	再生細粒度ｱｽｺﾝ(13) 平均舗装厚 48mm 1.4m未満	m2	13	2,651	34,463			単-2号
橋梁床版工		式	1		2,449,522			
床版取替工		式	1		2,449,522			
防護柵取替 （夜間）	橋梁用高欄(組立式)	m	9	88,150	793,350			単-3号
横断・転落防止柵 （夜間）	H=0.8m 撤去・再設置	m	11	18,840	207,240			単-4号
床版架設 （夜間）	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ床版 t=10cm	m2	14	101,600	1,422,400			単-5号
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(普通) 一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増無	m3	0.7	35,230	24,661			単-6号

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
目地板	瀝青繊維質目地板t=20	m2	0.3	6,239	1,871			単-7号
橋梁付属物工		式	1		140,313			
排水施設工		式	1		102,900			
床版水抜きﾊﾟｲﾌﾟ	φ50	箇所	2	51,450	102,900			単-8号
地覆工		式	1		37,413			
場所打地覆	24-12-25(20)(普通)	m	9	4,157	37,413			単-9号
現場塗装工		式	1		1,113,067			
塗膜除去工		式	1		779,800			
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	湿式塗膜剥離剤 0.5kg/m2 塗布回数3回	m2	28	20,650	578,200			単-10号
廃材の回収・積込		m2	28	7,200	201,600			単-11号
橋梁塗装工 (Rc-Ⅱ)		式	1		333,267			
清掃･水洗い		m2	28	200.4	5,611			単-12号

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　（当　初）	事業区分	道路維持・修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
素地調整	2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	m2	28	3,962	110,936			単-13号
防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(1層) はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 2回	m2	28	2,844	79,632			単-14号
下塗	弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層)はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 1回	m2	28	2,260	63,280			単-15号
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2	28	1,054	29,512			単-16号
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2	28	1,582	44,296			単-17号
構造物撤去工		式	1		4,297			
運搬処理工 (夜間)		式	1		4,297			
現場発生品運搬	防護柵	t	0.25	17,190	4,297			単-18号
仮設工		式	1		1,100,010			
足場工 (夜間)		式	1		478,210			
足場	吊足場	m2	10	44,260	442,600			単-19号
養生ｼｰﾄ	湿式塗膜剥離剤工法用	m2	10	3,561	35,610			単-20号

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
交通管理工		式	1		274,400			
交通誘導警備員(1)	交通誘導警備員A	人日	7	20,500	143,500			単-21号
交通誘導警備員(2)	交通誘導警備員B	人日	7	18,700	130,900			単-22号
交通管理工(夜間)		式	1		347,400			
交通誘導警備員(3)	交通誘導警備員A	人日	4	30,750	123,000			単-23号
交通誘導警備員(4)	交通誘導警備員B	人日	8	28,050	224,400			単-24号
直接工事費		式	1		4,886,314			
共通仮設費		式	1		1,559,000			
共通仮設費		式	1		121,000			
現場環境改善費（率計上）		式	1		121,000			
共通仮設費（率計上）		式	1		1,438,000			
純工事費		式	1		6,445,314			

設計内訳書

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（当　初）	事業区分	道路維持･修繕
		工事区分	橋梁保全工事

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場管理費		式	1		4,205,000			
工事原価		式	1		10,650,314			

［神奈川県相模原市中央区中央１丁目地先外３箇所　　］

一式当たり内訳書

道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用

第　1号内訳書

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用	技術員：1.75人	式	1		64,230			WYB00041 単ー　93号
合　計					64,230			

内訳書<データ無し>

単価使用年月	
歩掛使用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要

内訳書<データ無し>

単価使用年月	
歩掛使用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要

内訳書<データ無し>

単価使用年月	
歩掛使用年月	
労務調整係数	

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－1号	橋面防水	塗膜系防水	単位	m2	数量	1	単価	2,920

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗膜系防水	補修　無　無　無	ｍ２	1	2,920	2,920	WB812920 単－　49号
計					2,920	
単価					2,920	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－2号	舗装撤去 (1)橋面部	ｱｽﾌｧﾙﾄﾌﾞﾛｯｸ舗装+ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ　平均厚t=42.5mm	単位	m2	数量	1	単価	6,464

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
既設舗装はぎ取り工		ｍ２	1	6,464	6,464	WB435410 単－　50号
計					6,464	
単価					6,464	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－3号	舗装撤去 (2)階段部	ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ ﾀｲﾙ+ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ t=50mm	単位	m2	数量	1	単価	6,464

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
既設舗装はぎ取り工		ｍ２	1	6,464	6,464	WB435410 単－　50号
計					6,464	
単価					6,464	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－4号	調整ﾓﾙﾀﾙ (1)橋面部	平均厚t=39.7mm	単位	m2	数量	60	単価	5,161

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
モルタル練	高炉 全ての費用	ｍ３	2.4	111,900	268,560	CB240060
溶接金網	径６．０×１００×１００	ｍ２	60	685	41,100	
計					309,660	
単価					5,161	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－5号	調整ﾓﾙﾀﾙ (2)階段部	平均厚t=40mm	単位	m2	数量	62.1	単価	4,505

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
モルタル練	高炉 全ての費用	ｍ３	2.5	111,900	279,750	CB240060
計					279,750	
単価					4,505	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－6号	薄層ｶﾗｰ舗装 (1)橋面部	可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ t=10mm	単位	m2	数量	1	単価	9,750

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
樹脂モルタル舗装工・景観透水性舗装工	樹脂ﾓﾙﾀﾙ舗装工 厚8mm超え10mm以下 無 50m2以上(標準) 無 無	ｍ２	1	9,750	9,750	WB812010 単－　51号
計					9,750	
単価					9,750	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－7号	薄層ｶﾗｰ舗装 (2)階段部	可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ t=10mm	単位	m2	数量	1	単価	12,190

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
樹脂モルタル舗装工・景観透水性舗装工	樹脂ﾓﾙﾀﾙ舗装工 厚8mm超え10mm以下 有 50m2以上(標準) 無 無	ｍ２	1	12,190	12,190	WB812010 単－　52号
計					12,190	
単価					12,190	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－8号	排水樋撤去		単位	箇所	数量	1	単価	22,940

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
排水樋撤去	25.3kg/箇所	箇所	1	22,940	22,940	WYB00002 単－　53号
計					22,940	
単価					22,940	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－9号	排水管撤去 (1)	集水桝流末管 SGP80A	単位	m	数量	1	単価	7,373

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
排水管撤去	SGP80A ｶﾞｽ切断含む	m	1	7,373	7,373	WYB00006 単－　54号
計					7,373	
単価					7,373	円／m

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－10号	排水管撤去 (2)	VU75、VU100	単位	m	数量	1	単価	3,105

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
排水管撤去	VU75～100 取付金具切断･ﾎﾞﾙﾄﾅｯﾄ・ｷｬｯﾌﾟ 撤去含む	m	1	3,105	3,105	WYB00010 単－　55号
計					3,105	
単価					3,105	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－11号	排水管	VP管	単位	m	数量	17.4	単価	21,290

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
排水管設置	有り	m	17.4	5,790	100,746	CB473320
ﾀｯﾌﾟ孔削孔	M12用	本	8	1,211	9,688	WYB00051 単－　56号
現場溶接	取付金具 6mm換算	m	0.7	10,610	7,427	WYB00052 単－　57号
硬質塩化ビニル管	一般管　ＶＰ－１００	m	9.3	1,500	13,950	
自在管(ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾊﾟｲﾌﾟ)(材料費)	φ100×1000	個	2	28,500	57,000	
自在管(ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾊﾟｲﾌﾟ)(材料費)	φ100×2000	個	2	37,300	74,600	
ｷｬｯﾌﾟ(材料費)	VP100用	個	2	1,000	2,000	
ｲﾝｸﾘｰｻﾞｰ(材料費)	VP100×75用	個	4	268	1,072	
45°ｴﾙﾎﾞ(材料費)	VP100用	個	4	406	1,624	
45°Y継手(材料費)	VP100用	個	4	973	3,892	
90°ｴﾙﾎﾞ(材料費)	VP100用	個	4	474	1,896	

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－11号	排水管	VP管	単位	m	数量	17.4	単価	21,290

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
排水管吊金具(S1-1)(材料費)	L=500 金具・BN含む	組	2	6,067	12,134	WYB00053 単－ 58号
排水管吊金具(S1-2)(材料費)	L=200 金具・BN含む	組	2	5,190	10,380	WYB00054 単－ 59号
排水管吊金具(S1-3)(材料費)	L=1000 金具・BN含む	組	2	5,887	11,774	WYB00055 単－ 60号
配管ﾊﾞﾝﾄﾞ(材料費)	VP100用	個	6	703	4,218	
排水桝取付ﾎﾞﾙﾄ(材料費)	M12×35 HDZT49	本	8	18.7	149.6	
排水管取付金具(材料費)	2-FB 100×6×322(SS400) HDZT77	組	8	6,890	55,120	
排水管取付金具用鋼板(材料費)	SS400 1-FB 100×6×71(無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ)	t	0.002	777,000	1,554	
排水管取付金具用ﾎﾞﾙﾄ(材料費)	M12×45 1N・2W ﾒｯｷ含む	組	32	36	1,152	WYB00056 単－ 61号
計					370,376.6	
単価					21,290	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－12号	現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	単位	m2	数量	1	単価	24,040

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場塗装(材工共)	素地調整 2種ｹﾚﾝ	ｍ２	1	24,040	24,040	WYB00011
計					24,040	
単価					24,040	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－13号	現場塗装 (2)	F-13系	単位	m2	数量	1	単価	359,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場塗装(材工共) F-13 防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(2回) はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	112,500	112,500	WYB00012
現場塗装(材工共) F-13 下塗	変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層) はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	111,800	111,800	WYB00013
現場塗装(材工共) F-13 中塗	ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	59,840	59,840	WYB00015
現場塗装(材工共) F-13 上塗	ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	74,880	74,880	WYB00014
計					359,020	
単価					359,100	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－14号	現場孔明	φ15	単位	本	数量	1	単価	2,301

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場孔明	φ15	本	1	2,301	2,301	WYB00018 単－　62号
計					2,301	
単価					2,301	円／本

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－15号	高欄嵩上	STKR400	単位	m	数量	31.2	単価	23,740

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高欄嵩上工	嵩上げ高欄設置	m	31.2	5,329	166,264.8	WYB00034 単－　63号
嵩上げ高欄(材料費)	工場塗装(C-5系)	t	0.35	1,610,000	563,500	
嵩上げ高欄固定ﾎﾞﾙﾄ(材料費)	M12×85 1UN、2W	組	60	177	10,620	WYB00036 単－　64号
計					740,384.8	
単価					23,740	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－16号	現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	単位	m2	数量	1	単価	24,040

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場塗装(材工共)	素地調整 2種ｹﾚﾝ	ｍ２	1	24,040	24,040	WYB00017
計					24,040	
単価					24,040	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－17号	現場塗装 (3)	F-11系	単位	m2	数量	1	単価	283,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場塗装(材工共) F-11 ﾐｽﾄｺｰﾄ	変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(1層) はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	57,080	57,080	WYB00019
現場塗装(材工共) F-11 下塗	超厚膜形ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層) はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	103,800	103,800	WYB00020
現場塗装(材工共) F-11 中塗	ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	54,400	54,400	WYB00023
現場塗装(材工共) F-11 上塗	ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	68,080	68,080	WYB00024
計					283,360	
単価					283,400	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－18号	充てん工法	20m以下 可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂	単位	構造物	数量	1	単価	117,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ひび割れ補修工（充てん工法）	20m以下 0.24kg	構造物	1	117,600	117,600	WB229010 単－　65号
計					117,600	
単価					117,600	円／構造物

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－19号	左官工法	0.1m3以下 無収縮ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 鉄筋ｹﾚﾝ・鉄筋防錆処理有	単位	構造物	数量	1	単価	406,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
断面修復工（左官工法）	有り 0.1m3以下 0.09m3	構造物	1	406,000	406,000	WB229210 単－　66号
計					406,000	
単価					406,000	円／構造物

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－20号	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻積込・運搬(断面修復工)		単位	m3	数量	1	単価	6,388

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）	有り 7.0ｋｍ以下 良好	ｍ３	1	6,388	6,388	WB229220 単－ 67号
計					6,388	
単価					6,388	円／m3

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－21号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	7,050

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	7,050	7,050	WB020051 単－ 68号
計					7,050	
単価					7,050	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－22号	当て板補修	SM400A	単位	箇所	数量	8	単価	8,580

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場溶接鋼桁補強		m	4.2	15,010	63,042	CB431910
当て板補修鋼板(材料費)	SM400A 加工費、工場塗装(無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ)含む	t	0.007	799,000	5,593	
計					68,635	
単価					8,580	円／箇所

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－23号	金属ﾊﾟﾃ充填	常温硬化型金属粉含有ｴﾎﾟｷｼ樹脂	単位	箇所	数量	12	単価	15,270

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
金属ﾊﾟﾃ充填	常温硬化型金属粉含有ｴﾎﾟｷｼ樹脂	ｍ２	0.018	9,848,000	177,264	WYB00005 単－　69号
金属ﾊﾟﾃ(材料費)		ｋｇ	0.12	49,400	5,928	
計					183,192	
単価					15,270	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－24号	FRPｼｰﾄ補修	紫外線硬化型FRPｼｰﾄ	単位	m2	数量	1	単価	2,491,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場塗装(材工共)	素地調整 2種ｹﾚﾝ	ｍ２	1	24,040	24,040	WYB00003
紫外線硬化型FRPｼｰﾄ設置(材工共)	紫外線照射有 0.01m2/枚以上0.07m2/枚未満	ｍ２	1	2,466,000	2,466,000	WYB00004
計					2,490,040	
単価					2,491,000	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－25号	現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	単位	m2	数量	1	単価	24,040

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場塗装(材工共)	素地調整 2種ｹﾚﾝ	ｍ２	1	24,040	24,040	WYB00007
計					24,040	
単価					24,040	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－26号	現場塗装 (2)	F-13系	単位	m2	数量	1	単価	359,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場塗装(材工共) F-13 防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(2回) はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	112,500	112,500	WYB00008
現場塗装(材工共) F-13 下塗	変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層) はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	111,800	111,800	WYB00009
現場塗装(材工共) F-13 中塗	ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	59,840	59,840	WYB00016
現場塗装(材工共) F-13 上塗	ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	74,880	74,880	WYB00021
計					359,020	
単価					359,100	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－27号	止水	ｼｰﾙ材　△20×20㎜	単位	m	数量	100	単価	4,954

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
止水工	ｼｰﾙ材　△20×20㎜	m	100	3,754	375,400	WYB00026 単－　70号
シール材	シリコーン系　プライマー含む	L	20	6,000	120,000	
計					495,400	
単価					4,954	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－28号	伸縮部止水	ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材+ｼｰﾙ材 W=20mm	単位	m	数量	100	単価	9,416

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
伸縮部止水工	ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材+ｼｰﾙ材 W=20mm	m	100	5,636	563,600	WYB00037 単－　71号
シール材	シリコーン系　プライマー含む	L	60	6,000	360,000	
バックアップ材	ウレタンフォーム	L	40	450	18,000	
計					941,600	
単価					9,416	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－29号	ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ設置	M22 塩化ﾋﾞﾆﾙ製	単位	個	数量	1	単価	2,703

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ設置工	M22 塩化ﾋﾞﾆﾙ製	個	1	1,775	1,775	WYB00022 単－　72号
ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ（材料費）	M22 塩化ﾋﾞﾆﾙ製	個	1	928	928	
計					2,703	
単価					2,703	円／個

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－30号	塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	湿式塗膜剥離剤 0.5kg/m2 塗布回数3回	単位	m2	数量	1	単価	20,550

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	無し 無し 横断歩道橋・側道橋・鋼製シェッド 0.5kg/m2	ｍ２	3	6,847	20,541	WB820810 単－　73号
計					20,541	
単価					20,550	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－31号	廃材の回収・積込		単位	m2	数量	1	単価	7,170

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
廃材の回収・積込	無し 無し	ｍ２	3	2,390	7,170	WB820820 単－　74号
計					7,170	
単価					7,170	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－32号	清掃･水洗い		単位	m2	数量	1	単価	199.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	清掃･水洗い 横断歩道橋・側道橋 無し 無し	ｍ２	1	199.2	199.2	WB821550 単－　75号
計					199.2	
単価					199.2	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－33号	素地調整	2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	単位	m2	数量	1	単価	3,937

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	素地調整 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	ｍ２	1	3,937	3,937	WB821550 単－ 76号
計					3,937	
単価					3,937	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－34号	防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(1層) はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 2回	単位	m2	数量	1	単価	2,839

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	下塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(2回塗り/層)はけ・ﾛｰﾗｰＩＩ	ｍ２	1	2,839	2,839	WB821550 単－ 77号
計					2,839	
単価					2,839	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－35号	下塗	弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層)はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	2,257

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	下塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層)はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	2,257	2,257	WB821550 単－ 78号
計					2,257	
単価					2,257	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－36号	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	1,053

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	中塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	1,053	1,053	WB821550 単－ 79号
計					1,053	
単価					1,053	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－37号	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	1,579

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	上塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	1,579	1,579	WB821550 単－ 80号
計					1,579	
単価					1,579	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－38号	殻運搬 (1)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	単位	m3	数量	1	単価	16,890

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
人力積込	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	ｍ３	1	5,360	5,360	WYB00025 単－ 81号
殻運搬(ｱｽﾌｧﾙﾄ殻)	人力積込 2tﾀﾞﾝﾌﾟ運搬 DID有り 運搬距離12.0km以下	ｍ３	1	11,530	11,530	WYB00027 単－ 82号
計					16,890	
単価					16,890	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－39号	殻運搬 (2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	16,890

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
人力積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	ｍ３	1	5,360	5,360	WYB00040 単－　83号
殻運搬(ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋))	人力積込 2tﾀﾞﾝﾌﾟ 運搬 DID有り 運搬距離18.5km以下	ｍ３	1	11,530	11,530	WYB00042 単－　84号
計					16,890	
単価					16,890	円／m3

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－40号	殻処分 (1)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	単位	m3	数量	1	単価	3,525

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	3,525	3,525	WB020051 単－　85号
計					3,525	
単価					3,525	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－41号	殻処分 (2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	5,222

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	5,222	5,222	WB020051 単－　86号
計					5,222	
単価					5,222	円／m3

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－42号	現場発生品運搬	排水施設	単位	t	数量	1	単価	14,840

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]通称2t積級 吊能力2.9t 有り 7.0km以下	t	1	4,302	4,302	CB010410
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]通称2t積級 吊能力2.9t	t	1	10,530	10,530	CB010420
計					14,832	
単価					14,840	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－43号	足場	枠組足場	単位	掛m2	数量	1	単価	8,575

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
足場工	手摺先行型枠組足場 必要 標準以外 1.3無	掛ｍ２	1	8,575	8,575	WB252110 単－ 87号
計					8,575	
単価					8,575	円／掛m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－44号	養生ｼｰﾄ	湿式塗膜剥離剤工法用	単位	m2	数量	1	単価	3,294

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
剥離剤用養生ｼｰﾄ設置・撤去工	枠組足場部	ｍ２	3	816.8	2,450.4	WYB00039 単－ 88号
剥離剤用養生ｼｰﾄ(材料費)		ｍ２	3	281	843	
計					3,293.4	
単価					3,294	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－45号	交通誘導警備員 (1)	交通誘導警備員A	単位	人日	数量	1	単価	20,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	1	20,200	20,200	WB010211 単－　89号
計					20,200	
単価					20,200	円／人日

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－46号	交通誘導警備員 (2)	交通誘導警備員B	単位	人日	数量	1	単価	18,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人日	1	18,700	18,700	WB010212 単－　90号
計					18,700	
単価					18,700	円／人日

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－47号	交通誘導警備員 (3)	交通誘導警備員A	単位	人日	数量	1	単価	30,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	1	30,300	30,300	WB010211 単－　91号
計					30,300	
単価					30,300	円／人日

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－48号	交通誘導警備員 (4)	交通誘導警備員B	単位	人日	数量	1	単価	28,050

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人日	1	28,050	28,050	WB010212 単－　92号
計					28,050	
単価					28,050	円／人日

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－1号	橋面防水	塗膜系防水	単位	m2	数量	1	単価	2,920

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗膜系防水	補修 無 無 無	ｍ２	1	2,920	2,920	WB812920 単－　48号
計					2,920	
単価					2,920	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－2号	舗装撤去 (1)橋面部	樹脂ﾓﾙﾀﾙ舗装+ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 平均厚t=42.5mm	単位	m2	数量	1	単価	6,464

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
既設舗装はぎ取り工		ｍ２	1	6,464	6,464	WB435410 単－　49号
計					6,464	
単価					6,464	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－3号	舗装撤去 (2)階段部	ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ ﾀｲﾙ+ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ t=50mm	単位	m2	数量	1	単価	6,464

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
既設舗装はぎ取り工		m２	1	6,464	6,464	WB435410 単－　49号
計					6,464	
単価					6,464	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－4号	調整ﾓﾙﾀﾙ (1)橋面部	平均厚t=39.7mm	単位	m2	数量	31.5	単価	5,304

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
モルタル練	高炉 全ての費用	m３	1.3	111,900	145,470	CB240060
溶接金網	径６．０×１００×１００	m２	31.5	685	21,577.5	
計					167,047.5	
単価					5,304	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－5号	調整ﾓﾙﾀﾙ (2)階段部	平均厚t=40mm	単位	m2	数量	31	単価	4,332

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
モルタル練	高炉 全ての費用	ｍ３	1.2	111,900	134,280	CB240060
計					134,280	
単価					4,332	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－6号	薄層ｶﾗｰ舗装 (1)橋面部	可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ t=10mm	単位	m2	数量	1	単価	9,750

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
樹脂モルタル舗装工・景観透水性舗装工	樹脂ﾓﾙﾀﾙ舗装工 厚8mm超え10mm以下 無 50m2以上(標準) 無 無	ｍ２	1	9,750	9,750	WB812010 単－ 50号
計					9,750	
単価					9,750	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－7号	薄層ｶﾗｰ舗装 (2)階段部	可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ t=10mm	単位	m2	数量	1	単価	12,190

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
樹脂モルタル舗装工・景観透水性舗装工	樹脂ﾓﾙﾀﾙ舗装工 厚8mm超え10mm以下 有 50m2以上(標準) 無 無	ｍ２	1	12,190	12,190	WB812010 単－　51号
計					12,190	
単価					12,190	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－8号	排水樋撤去		単位	箇所	数量	1	単価	22,940

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
排水樋撤去	25.3kg/箇所	箇所	1	22,940	22,940	WYB00002 単－　52号
計					22,940	
単価					22,940	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－9号	排水管撤去 (1)	集水桝流末管 SGP80A	単位	m	数量	1	単価	7,373

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
排水管撤去	SGP80A ｶﾞｽ切断含む	m	1	7,373	7,373	WYB00006 単－　53号
計					7,373	
単価					7,373	円／m

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－10号	排水管撤去 (2)	VU75、VU100	単位	m	数量	1	単価	3,105

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
排水管撤去	VU75～100 取付金具切断･ﾎﾞﾙﾄﾅｯﾄ・ｷｬｯﾌﾟ 撤去含む	m	1	3,105	3,105	WYB00010 単－　54号
計					3,105	
単価					3,105	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－11号	排水管	VP管	単位	m	数量	17.4	単価	21,290

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
排水管設置	有り	m	17.4	5,790	100,746	CB473320
ﾀｯﾌﾟ孔削孔	M12用	本	8	1,211	9,688	WYB00049 単－　55号
現場溶接	取付金具 6mm換算	m	0.7	10,610	7,427	WYB00050 単－　56号
硬質塩化ビニル管	一般管　ＶＰ－１００	m	9.3	1,500	13,950	
自在管(ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾊﾟｲﾌﾟ)(材料費)	φ100×1000	個	2	28,500	57,000	
自在管(ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾊﾟｲﾌﾟ)(材料費)	φ100×2000	個	2	37,300	74,600	
ｷｬｯﾌﾟ(材料費)	VP100用	個	2	1,000	2,000	
ｲﾝｸﾘｰｻﾞｰ(材料費)	VP100×75用	個	4	268	1,072	
45°ｴﾙﾎﾞ(材料費)	VP100用	個	4	406	1,624	
45°Y継手(材料費)	VP100用	個	4	973	3,892	
90°ｴﾙﾎﾞ(材料費)	VP100用	個	4	474	1,896	

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－11号	排水管	VP管	単位	m	数量	17.4	単価	21,290

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
排水管吊金具(S1-1)(材料費)	L=500 金具・BN含む	組	2	6,067	12,134	WYB00051 単－　57号
排水管吊金具(S1-2)(材料費)	L=200 金具・BN含む	組	2	5,190	10,380	WYB00052 単－　58号
排水管吊金具(S1-3)(材料費)	L=1000 金具・BN含む	組	2	5,887	11,774	WYB00053 単－　59号
配管ﾊﾞﾝﾄﾞ(材料費)	VP100用	個	6	703	4,218	
排水桝取付ﾎﾞﾙﾄ(材料費)	M12×35 HDZT49	本	8	18.7	149.6	
排水管取付金具(材料費)	2-FB 100×6×322(SS400) HDZT77	組	8	6,890	55,120	
排水管取付金具用鋼板(材料費)	SS400 1-FB 100×6×71(無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ)	t	0.002	777,000	1,554	
排水管取付金具用ﾎﾞﾙﾄ(材料費)	M12×45 1N・2W ﾒｯｷ含む	組	32	36	1,152	WYB00054 単－　60号
計					370,376.6	
単価					21,290	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－12号	現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	単位	m2	数量	1	単価	24,040

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場塗装(材工共)	素地調整 2種ｹﾚﾝ	ｍ２	1	24,040	24,040	WYB00011
計					24,040	
単価					24,040	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－13号	現場塗装 (2)	F-13系	単位	m2	数量	1	単価	359,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場塗装(材工共) F-13 防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(2回) はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	112,500	112,500	WYB00012
現場塗装(材工共) F-13 下塗	変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層) はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	111,800	111,800	WYB00013
現場塗装(材工共) F-13 中塗	ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	59,840	59,840	WYB00015
現場塗装(材工共) F-13 上塗	ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	74,880	74,880	WYB00014
計					359,020	
単価					359,100	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－14号	現場孔明	φ15	単位	本	数量	1	単価	2,301

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場孔明	φ15	本	1	2,301	2,301	WYB00018 単－　61号
計					2,301	
単価					2,301	円／本

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－15号	高欄嵩上	STKR400	単位	m	数量	20.1	単価	24,110

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高欄嵩上工	嵩上げ高欄設置	m	20.1	5,329	107,112.9	WYB00034 単－　62号
嵩上げ高欄(材料費)	工場塗装(C-5系)	t	0.23	1,610,000	370,300	
嵩上げ高欄固定ﾎﾞﾙﾄ(材料費)	M12×85 1UN、2W	組	40	177	7,080	WYB00036 単－　63号
計					484,492.9	
単価					24,110	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－16号	現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	単位	m2	数量	1	単価	24,040

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場塗装(材工共)	素地調整 2種ｹﾚﾝ	ｍ２	1	24,040	24,040	WYB00017
計					24,040	
単価					24,040	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－17号	現場塗装 (3)	F-11系	単位	m2	数量	1	単価	283,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場塗装(材工共) F-11 ﾐｽﾄｺｰﾄ	変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(1層) はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	57,080	57,080	WYB00019
現場塗装(材工共) F-11 下塗	超厚膜形ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層) はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	103,800	103,800	WYB00020
現場塗装(材工共) F-11 中塗	ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	54,400	54,400	WYB00023
現場塗装(材工共) F-11 上塗	ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	68,080	68,080	WYB00024
計					283,360	
単価					283,400	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－18号	充てん工法	20m以下 可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂	単位	構造物	数量	1	単価	116,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ひび割れ補修工（充てん工法）	20m以下 0.08kg	構造物	1	116,600	116,600	WB229010 単－　64号
計					116,600	
単価					116,600	円／構造物

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－19号	左官工法	0.1m3以下 無収縮ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 鉄筋ｹﾚﾝ・鉄筋防錆処理有	単位	構造物	数量	1	単価	372,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
断面修復工（左官工法）	有り 0.1m3以下 0.02m3	構造物	1	372,800	372,800	WB229210 単－　65号
計					372,800	
単価					372,800	円／構造物

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－20号	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻積込・運搬(断面修復工)		単位	m3	数量	1	単価	7,616

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）	有り　10ｋｍ以下　良好	ｍ３	1	7,616	7,616	WB229220 単－　66号
計					7,616	
単価					7,616	円／m3

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－21号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	7,050

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	7,050	7,050	WB020051 単－　67号
計					7,050	
単価					7,050	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－22号	当て板補修	SM400A	単位	箇所	数量	8	単価	10,760

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場溶接鋼桁補強		m	5.2	15,010	78,052	CB431910
当て板補修鋼板(材料費)	SM400A 加工費、工場塗装(無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ)含む	t	0.01	798,000	7,980	
計					86,032	
単価					10,760	円／箇所

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－23号	金属ﾊﾟﾃ充填	常温硬化型金属粉含有ｴﾎﾟｷｼ樹脂	単位	箇所	数量	13	単価	33,640

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
金属ﾊﾟﾃ充填	常温硬化型金属粉含有ｴﾎﾟｷｼ樹脂	ｍ２	0.043	9,848,000	423,464	WYB00005 単－　68号
金属ﾊﾟﾃ(材料費)		ｋｇ	0.28	49,400	13,832	
計					437,296	
単価					33,640	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－24号	FRPｼｰﾄ補修	紫外線硬化型FRPｼｰﾄ	単位	m2	数量	1	単価	2,048,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場塗装(材工共)	素地調整 2種ｹﾚﾝ	ｍ２	1	24,040	24,040	WYB00003
紫外線硬化型FRPｼｰﾄ設置(材工共)	紫外線照射有 0.01m2/枚以上0.07m2/枚未満	ｍ２	1	2,023,000	2,023,000	WYB00004
計					2,047,040	
単価					2,048,000	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－25号	現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	単位	m2	数量	1	単価	24,040

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場塗装(材工共)	素地調整 2種ｹﾚﾝ	ｍ２	1	24,040	24,040	WYB00007
計					24,040	
単価					24,040	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－26号	現場塗装 (2)	F-13系	単位	m2	数量	1	単価	359,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場塗装(材工共) F-13 防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(2回) はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	112,500	112,500	WYB00008
現場塗装(材工共) F-13 下塗	変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層) はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	111,800	111,800	WYB00009
現場塗装(材工共) F-13 中塗	ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	59,840	59,840	WYB00016
現場塗装(材工共) F-13 上塗	ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	74,880	74,880	WYB00021
計					359,020	
単価					359,100	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－27号	止水	ｼｰﾙ材　△20×20㎜	単位	m	数量	100	単価	4,954

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
止水工	ｼｰﾙ材　△20×20㎜	m	100	3,754	375,400	WYB00026 単－　69号
シール材	シリコーン系　プライマー含む	L	20	6,000	120,000	
計					495,400	
単価					4,954	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－28号	伸縮部止水	ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材+ｼｰﾙ材 W=20mm	単位	m	数量	100	単価	9,416

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
伸縮部止水工	ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材+ｼｰﾙ材 W=20mm	m	100	5,636	563,600	WYB00037 単－　70号
シール材	シリコーン系　プライマー含む	L	60	6,000	360,000	
バックアップ材	ウレタンフォーム	L	40	450	18,000	
計					941,600	
単価					9,416	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－29号	ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ設置	M22 塩化ﾋﾞﾆﾙ製	単位	個	数量	1	単価	2,703

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ設置工	M22 塩化ﾋﾞﾆﾙ製	個	1	1,775	1,775	WYB00022 単－　71号
ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ（材料費）	M22 塩化ﾋﾞﾆﾙ製	個	1	928	928	
計					2,703	
単価					2,703	円／個

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－30号	塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	湿式塗膜剥離剤 0.5kg/m2 塗布回数3回	単位	m2	数量	1	単価	20,550

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	無し 無し 横断歩道橋・側道橋・鋼製シェッド 0.5kg/m2	ｍ２	3	6,847	20,541	WB820810 単－　72号
計					20,541	
単価					20,550	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－31号	廃材の回収・積込		単位	m2	数量	1	単価	7,170

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
廃材の回収・積込	無し 無し	ｍ２	3	2,390	7,170	WB820820 単－　73号
計					7,170	
単価					7,170	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－32号	清掃･水洗い		単位	m2	数量	1	単価	199.2

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	清掃･水洗い 横断歩道橋・側道橋 無し 無し	ｍ２	1	199.2	199.2	WB821550 単－　74号
計					199.2	
単価					199.2	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－33号	素地調整	2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	単位	m2	数量	1	単価	3,937

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	素地調整 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	ｍ２	1	3,937	3,937	WB821550 単－ 75号
計					3,937	
単価					3,937	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－34号	防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(1層) はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 2回	単位	m2	数量	1	単価	2,839

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	下塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(2回塗り/層)はけ・ﾛｰﾗｰＩＩ	ｍ２	1	2,839	2,839	WB821550 単－ 76号
計					2,839	
単価					2,839	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－35号	下塗	弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層)はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	2,257

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	下塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層)はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	2,257	2,257	WB821550 単－ 77号
計					2,257	
単価					2,257	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－36号	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	1,053

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	中塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	1,053	1,053	WB821550 単－ 78号
計					1,053	
単価					1,053	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－37号	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	1,579

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	上塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	1,579	1,579	WB821550 単－ 79号
計					1,579	
単価					1,579	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－38号	張紙防止塗装	ｸﾘﾔｰ	単位	m2	数量	7.7	単価	2,717

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
張紙防止塗装工	素地調整無し	ｍ２	7.7	943.8	7,267.26	WYB00041 単－ 80号
張紙防止塗料(材料費)	ｸﾘﾔｰ	ｋｇ	0.5	27,300	13,650	
計					20,917.26	
単価					2,717	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－39号	殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	18,810

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
人力積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	ｍ３	1	5,360	5,360	WYB00040 単－　81号
殻運搬(ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋))	人力積込 2tﾀﾞﾝﾌﾟ 運搬 DID有り 運搬距離23.2km以下	ｍ３	1	13,450	13,450	WYB00042 単－　82号
計					18,810	
単価					18,810	円／m3

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－40号	殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	5,222

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	5,222	5,222	WB020051 単－　83号
計					5,222	
単価					5,222	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－41号	現場発生品運搬	排水施設	単位	t	数量	1	単価	17,550

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]通称2t積級 吊能力2.9t 有り 11.5km以下	t	1	7,019	7,019	CB010410
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]通称2t積級 吊能力2.9t	t	1	10,530	10,530	CB010420
計					17,549	
単価					17,550	円／t

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－42号	足場	枠組足場	単位	掛m2	数量	1	単価	8,575

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
足場工	手摺先行型枠組足場 必要 標準以外 1.3無	掛ｍ２	1	8,575	8,575	WB252110 単－　84号
計					8,575	
単価					8,575	円／掛m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－43号	養生ｼｰﾄ	湿式塗膜剥離剤工法用	単位	m2	数量	1	単価	3,294

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
剥離剤用養生ｼｰﾄ設置・撤去工	枠組足場部	ｍ２	3	816.8	2,450.4	WYB00039 単－　85号
剥離剤用養生ｼｰﾄ(材料費)		ｍ２	3	281	843	
計					3,293.4	
単価					3,294	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－44号	交通誘導警備員 (1)	交通誘導警備員A	単位	人日	数量	1	単価	20,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	1	20,200	20,200	WB010211 単－　86号
計					20,200	
単価					20,200	円／人日

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－45号	交通誘導警備員 (2)	交通誘導警備員B	単位	人日	数量	1	単価	18,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人日	1	18,700	18,700	WB010212 単－　87号
計					18,700	
単価					18,700	円／人日

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－46号	交通誘導警備員 (3)	交通誘導警備員A	単位	人日	数量	1	単価	30,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	1	30,300	30,300	WB010211 単－　88号
計					30,300	
単価					30,300	円／人日

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－47号	交通誘導警備員 (4)	交通誘導警備員B	単位	人日	数量	1	単価	28,050

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人日	1	28,050	28,050	WB010212 単－　89号
計					28,050	
単価					28,050	円／人日

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－1号	橋面防水	塗膜系防水	単位	m2	数量	1	単価	3,260

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗膜系防水	新設 有 55m/100m2 無 200m2未満 無	ｍ２	1	3,260	3,260	WB812920 単－　40号
計					3,260	
単価					3,260	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－2号	表層	再生細粒度ｱｽｺﾝ(13) 平均舗装厚 45mm 1.4m以上	単位	m2	数量	1	単価	1,827

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層（歩道部）	1.4m以上 45mm 再生細粒度アスコン（１３） 無し 全ての費用	ｍ２	1	1,827	1,827	CB410261
計					1,827	
単価					1,827	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－3号	鋼製高欄取替 (夜間)	橋梁用高欄(組立式)	単位	m	数量	1	単価	75,340

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高欄撤去		m	1	2,503	2,503	CB224910
橋梁用高欄	組立式	m	1	72,830	72,830	CB422740
計					75,333	
単価					75,340	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－4号	床版架設（夜間）	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版 t=8cm	単位	m2	数量	28.1	単価	434,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床版設置工	ｼﾞﾍﾞﾙ設置	本	52	7,107	369,564	WYB00015 単－ 41号
床版設置工	主桁上ﾌﾗﾝｼﾞｼｰﾙ	m	60.3	2,293	138,267.9	WYB00016 単－ 42号
床版設置工	床版ﾌﾞﾛｯｸ架設 ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版 t=8cm	枚	13	15,370	199,810	WYB00017 単－ 43号
床版設置工	床版合成 無収縮ｸﾞﾗｳﾄ充填	ｍ３	0.25	669,900	167,475	WYB00018 単－ 44号
床版設置工	床版接合 無収縮ｸﾞﾗｳﾄ充填	ｍ３	0.04	669,900	26,796	WYB00019 単－ 45号
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版 Aﾀｲﾌﾟ（材料費）	ﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ、鉄筋含む	基	8	627,000	5,016,000	
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版 Bﾀｲﾌﾟ（材料費）	ﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ、鉄筋含む	基	1	623,000	623,000	
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版 Cﾀｲﾌﾟ（材料費）	ﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ、鉄筋含む	基	1	633,000	633,000	
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版 Dﾀｲﾌﾟ（材料費）	ﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ、鉄筋含む	基	1	633,000	633,000	
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版 Eﾀｲﾌﾟ（材料費）	ﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ、鉄筋含む	基	1	2,200,000	2,200,000	
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版 Fﾀｲﾌﾟ（材料費）	ﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ、鉄筋含む	基	1	2,210,000	2,210,000	

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－4号	床版架設 (夜間)	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版 t=8cm	単位	m2	数量	28.1	単価	434,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
計					12,216,912.9	
単価					434,800	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－5号	鋼･ｺﾞﾑ製伸縮装置	軽量型 1車線相当 樹脂系伸縮装置	単位	m	数量	7.56	単価	136,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋梁用伸縮装置設置	軽量型 夜間作業補正無 伸縮装置本体材料費無	m	7.56	74,010	559,515.6	WYB00001 単－　46号
橋梁用伸縮装置(A1)(材料費)	ｺﾞﾑ製突合せ型 伸縮量20mmﾀｲﾌﾟ	m	4.24	61,500	260,760	
橋梁用伸縮装置(A2)(材料費)	ｺﾞﾑ製突合せ型 伸縮量30mmﾀｲﾌﾟ	m	3.32	63,800	211,816	
シール材	シリコーン系　プライマー含む	L	0.24	6,000	1,440	
バックアップ材	ウレタンフォーム	L	1.21	450	544.5	
計					1,034,076.1	
単価					136,800	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－6号	殻運搬 (1)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	11,050

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬(ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋))	人力積込 2tﾀﾞﾝﾌﾟ運搬 DID有り 運搬距離14.4km以下	ｍ３	1	11,050	11,050	WYB00007 単－ 47号
計					11,050	
単価					11,050	円／m3

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－7号	殻処分 (1)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	5,222

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	5,222	5,222	WB020051 単－ 48号
計					5,222	
単価					5,222	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－8号	芯出し調整 (1)	鋼材面用	単位	m2	数量	1	単価	38,950

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
芯出し調整工		ｍ２	1	38,950	38,950	WB436510 単－　49号
計					38,950	
単価					38,950	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－9号	芯出し調整 (2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面用	単位	m2	数量	1	単価	24,670

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
芯出し調整工	ｺﾝｸﾘｰﾄ面	ｍ２	1	24,670	24,670	WYB00020 単－　50号
計					24,670	
単価					24,670	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－10号	現場孔明		単位	本	数量	1	単価	2,347

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼桁孔明工	400N鋼	本	1	2,347	2,347	WB436520 単－　51号
計					2,347	
単価					2,347	円／本

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－11号	部材取付 (1)	下部工取付ﾌﾟﾚｰﾄ、主桁補強材	単位	部材	数量	4	単価	52,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
補強部材取付工	20＜W≦40	部材	4	21,190	84,760	WB436530 単－　52号
高力ボルト本締め工	トルシア形高力ボルト	本	8	2,072	16,576	WB436540 単－　53号
下部工取付ﾌﾟﾚｰﾄ(材料費)	SM400A ﾒｯｷ含む	t	0.04	1,150,000	46,000	
主桁補強材(材料費)	SM400A 無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ	t	0.06	1,030,000	61,800	
摩擦接合用高力ボルト（トルシア）	Ｓ１０Ｔ　Ｍ２２×９５	組	8	254	2,032	
計					211,168	
単価					52,800	円／部材

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－12号	部材取付 (2)	上部工取付ﾌﾟﾚｰﾄ	単位	部材	数量	2	単価	34,750

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
補強部材取付工	W≦20	部材	2	15,400	30,800	WB436530 単－　54号
上部工取付ﾌﾟﾚｰﾄ(材料費)	SS400 ﾒｯｷ含む	t	0.03	1,290,000	38,700	
計					69,500	
単価					34,750	円／部材

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－13号	削孔	削孔径 32mm 削孔深さ 340mm	単位	孔	数量	10	単価	6,164

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート削孔（電動式コアボーリングマシン）	17mmを超え23mm以下 500mm以下 全ての費用	孔	10	6,162	61,620	CB435910
人力積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	ｍ３	0.003	5,400	16.2	WYB00022 単－　55号
計					61,636.2	
単価					6,164	円／孔

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単ー14号	ｱﾝｶｰ(落橋防止)	SD345 D22×410(M18用 2N,1W) ﾈｼﾞ切り部溶融亜鉛めっき	単位	本	数量	1	単価	3,899

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アンカー	25mm以下 横方向	本	1	1,861	1,861	CB435940
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ(材料費)	SD345 D22×410 2N1W ﾒｯｷ含む	組	1	1,330	1,330	
注入材 (材料費)	0.208kg/本	本	1	707.2	707.2	CB435942
計					3,898.2	
単価					3,899	円／本

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－15号	下地処理	下部工ﾌﾞﾗｹｯﾄ背面部	単位	m2	数量	1	単価	137,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ﾁｯﾋﾟﾝｸﾞ工	ﾌﾞﾗｹｯﾄ背面部 水平方向	ｍ２	1	114,600	114,600	WYB00023 単－ 56号
不陸修正工	ﾌﾞﾗｹｯﾄ背面部 ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾊﾟﾃ材 t=5mm	ｍ２	1	19,870	19,870	WYB00024 単－ 57号
エポキシ樹脂パテ		ｋｇ	1.46	1,960	2,861.6	
計					137,331.6	
単価					137,400	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－16号	落橋防止装置取付 (1)	下部工ﾌﾞﾗｹｯﾄ	単位	組	数量	2	単価	387,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
部材取付工(下部工ﾌﾞﾗｹｯﾄ)	単部材質量600kg以下 (231.1kg/組)	組	2	118,600	237,200	WYB00027 単－　58号
下部工ﾌﾞﾗｹｯﾄ(材料費)	SM400A ﾒｯｷ含む	t	0.46	1,170,000	538,200	
計					775,400	
単価					387,700	円／組

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－17号	落橋防止装置取付 (2)	水平力分担構造	単位	組	数量	2	単価	369,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
部材取付工(水平力分担装置)	単部材質量600kg以下(A1=56kg、A2=67kg)	組	2	89,040	178,080	WYB00029 単－　59号
水平力分担装置(A1)(材料費)	SEL-N230kN 固定	基	1	270,000	270,000	
水平力分担装置(A2)(材料費)	SEL-N230kN 移動量30mm	基	1	277,000	277,000	
ｾｯﾄﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ(材料費)	M18×95(1N,2W,1SW) HDZT49	組	8	1,602	12,816	WYB00025 単－　60号
計					737,896	
単価					369,000	円／組

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－18号	現場塗装 (1)	素地調整 2種ｹﾚﾝ	単位	m2	数量	1	単価	26,060

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
補修塗装工（素地調整）		ｍ２	1	26,060	26,060	WB436550 単－　61号
計					26,060	
単価					26,060	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－19号	現場塗装 (2)	F-11系	単位	m2	数量	1	単価	1,042,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場塗装(材工共) F-11 ﾐｽﾄｺｰﾄ	変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(1層) はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	209,700	209,700	WYB00026
現場塗装(材工共) F-11 下塗	超厚膜形ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層) はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	381,800	381,800	WYB00028
現場塗装(材工共) F-11 中塗	ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	199,900	199,900	WYB00030
現場塗装(材工共) F-11 上塗	ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	250,100	250,100	WYB00031
計					1,041,500	
単価					1,042,000	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－20号	殻運搬 (2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	11,050

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬(ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋))	人力積込 2tﾀﾞﾝﾌﾟ運搬 DID有り 運搬距離14.4km以下	ｍ３	1	11,050	11,050	WYB00009 単－ 47号
計					11,050	
単価					11,050	円／m3

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－21号	殻処分 (2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	単位	m3	数量	1	単価	5,222

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費（ｍ３）		ｍ３	1	5,222	5,222	WB020051 単－ 48号
計					5,222	
単価					5,222	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－22号	排水管	VP管	単位	m	数量	1.8	単価	55,220

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
排水管設置	有り	m	1.8	5,770	10,386	CB473320
排水管(加工管T1)(材料費)	VP100A×886 塩ﾋﾞPL・溶接含む	本	2	29,300	58,600	
排水管取付金具(材料費)	SS400 M12×40 1N・1UN・2W ﾒｯｷ含む	組	2	15,200	30,400	
計					99,386	
単価					55,220	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－23号	場所打地覆	24-12-25(20)(普通)	単位	m	数量	26.7	単価	5,463

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	7.9	11,010	86,979	CB240210
鉄筋工　加工・組立	組立 一般構造物 SD345 D13 標準	t	0.11	160,900	17,699	WB240750 単－　62号
鉄筋(材料費)	SD345 D13	t	0.11	118,000	12,980	WYB00011 単－　63号
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 人力打設 24-12-25(20)(普通) 一般養生 無し 全ての費用	ｍ３	0.8	35,230	28,184	CB240010
計					145,842	
単価					5,463	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－24号	塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	湿式塗膜剥離剤 0.5kg/m2 塗布回数3回	単位	m2	数量	1	単価	20,650

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	無し 無し 横断歩道橋・側道橋・鋼製シェッド 0.5kg/m2	ｍ２	3	6,883	20,649	WB820810 単－ 64号
計					20,649	
単価					20,650	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－25号	廃材の回収・積込		単位	m2	数量	1	単価	7,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
廃材の回収・積込	無し 無し	ｍ２	3	2,400	7,200	WB820820 単－ 65号
計					7,200	
単価					7,200	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－26号	清掃･水洗い		単位	m2	数量	1	単価	200.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	清掃･水洗い 横断歩道橋・側道橋 無し 無し	ｍ２	1	200.4	200.4	WB821550 単－ 66号
計					200.4	
単価					200.4	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－27号	素地調整	2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	単位	m2	数量	1	単価	3,962

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	素地調整 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	ｍ２	1	3,962	3,962	WB821550 単－ 67号
計					3,962	
単価					3,962	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－28号	防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(1層) はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 2回	単位	m2	数量	1	単価	2,844

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	下塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(2回塗り/層)はけ・ﾛｰﾗｰＩＩ	ｍ２	1	2,844	2,844	WB821550 単－ 68号
計					2,844	
単価					2,844	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－29号	下塗	弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層)はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	2,260

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	下塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層)はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	2,260	2,260	WB821550 単－ 69号
計					2,260	
単価					2,260	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－30号	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	1,054

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	中塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	1,054	1,054	WB821550 単－ 70号
計					1,054	
単価					1,054	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－31号	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	1,582

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	上塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	1,582	1,582	WB821550 単－ 71号
計					1,582	
単価					1,582	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－32号	現場発生品運搬	高欄	単位	t	数量	1	単価	31,690

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]通称2t積級 吊能力2.9t 有り 20.0km以下	t	1	17,030	17,030	CB010410
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]通称2t積級 吊能力2.9t	t	1	14,660	14,660	CB010420
計					31,690	
単価					31,690	円／t

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－33号	足場	吊足場	単位	m2	数量	1	単価	32,410

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ﾊﾟｲﾌﾟ吊足場工(桁高1.5m未満)	板張及びｼｰﾄ張防護・朝顔含む 賃料期間1.5月	ｍ２	1	32,410	32,410	WYB00038 単－　72号
計					32,410	
単価					32,410	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－34号	養生ｼｰﾄ	湿式塗膜剥離剤工法用	単位	m2	数量	1	単価	3,561

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
剥離剤用養生ｼｰﾄ設置・撤去工	湿式剥離剤工法	ｍ２	3	825	2,475	WYB00012 単－　73号
剥離剤用養生ｼｰﾄ(材料費)		ｍ２	3	362	1,086	
計					3,561	
単価					3,561	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－35号	交通誘導警備員 (1)	交通誘導警備員A	単位	人日	数量	1	単価	20,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	1	20,500	20,500	WB010211 単－　74号
計					20,500	
単価					20,500	円／人日

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－36号	交通誘導警備員 (2)	交通誘導警備員B	単位	人日	数量	1	単価	18,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人日	1	18,700	18,700	WB010212 単－　75号
計					18,700	
単価					18,700	円／人日

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－37号	交通誘導警備員 (3)	交通誘導警備員A	単位	人日	数量	1	単価	30,750

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	1	30,750	30,750	WB010211 単－　76号
計					30,750	
単価					30,750	円／人日

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－38号	交通誘導警備員 (4)	交通誘導警備員B	単位	人日	数量	1	単価	28,050

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人日	1	28,050	28,050	WB010212 単－　77号
計					28,050	
単価					28,050	円／人日

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－39号	鉄筋探査費	RCﾚｰﾀﾞ 横向き	単位	回	数量	1	単価	96,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
非破壊試験費	電磁波ﾚｰﾀﾞ法 基本料	回	1	78,000	78,000	
非破壊試験費	電磁波ﾚｰﾀﾞ法 横向き(壁面)	箇所	2	9,000	18,000	
計					96,000	
単価					96,000	円／回

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－1号	橋面防水	塗膜系防水	単位	m2	数量	1	単価	3,434

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗膜系防水	新設 有 73.7m/100m2 無 200m2未満 無	ｍ２	1	3,434	3,434	WB812920 単－　25号
計					3,434	
単価					3,434	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－2号	表層	再生細粒度ｱｽｺﾝ(13) 平均舗装厚 48mm 1.4m未満	単位	m2	数量	1	単価	2,651

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層（歩道部）	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 48mm 再生細粒度アスコン（１３）　無し 全ての費用	ｍ２	1	2,651	2,651	CB410261
計					2,651	
単価					2,651	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－3号	防護柵取替 (夜間)	橋梁用高欄(組立式)	単位	m	数量	1	単価	88,150

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高欄撤去		m	1	2,503	2,503	CB224910
橋梁用高欄	組立式	m	1	85,640	85,640	CB422740
計					88,143	
単価					88,150	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－4号	横断・転落防止柵（夜間）	H=0.8m 撤去・再設置	単位	m	数量	10.6	単価	18,840

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
横断防止柵(ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ)撤去	再利用撤去 ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ固定式	m	10.6	3,580	37,948	WYB00003 単－　26号
横断防止柵(ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ)設置	再利用 ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ固定式	m	10.6	12,700	134,620	WYB00001 単－　27号
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	30mm以上200mm未満	孔	16	1,094	17,504	CB224410
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ(材料費)	SS400 M16×100 HDZT49	本	16	602	9,632	
計					199,704	
単価					18,840	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－5号	床版架設 (夜間)	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ床版 t=10cm	単位	m2	数量	14.3	単価	101,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床版設置工	架設・据付・調整 ｽﾗﾌﾞﾌﾟﾚｰﾄ床版 t=10cm	ｍ２	14.3	10,860	155,298	WYB00017 単－　28号
現場溶接鋼桁補強		ｍ	6.4	22,820	146,048	CB431910
床版(ｽﾗﾌﾞﾌﾟﾚｰﾄ)(材料費)	1500×9500 ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ(亜鉛ﾒｯｷ) 水切り板(C-5系塗装	t	0.81	1,420,000	1,150,200	
計					1,451,546	
単価					101,600	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－6号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(普通) 一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増無	単位	m3	数量	1	単価	35,230

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 人力打設 24-12-25(20)(普通) 一般養生 無し 全ての費用	ｍ３	1	35,230	35,230	CB240010
計					35,230	
単価					35,230	円／m3

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－7号	目地板	瀝青繊維質目地板t=20	単位	m2	数量	1	単価	6,239

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
目地板	30m2未満 瀝青繊維質目地板t=20	ｍ２	1	6,239	6,239	CB224710
計					6,239	
単価					6,239	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－8号	床版水抜きﾊﾟｲﾌﾟ	φ50	単位	箇所	数量	2	単価	51,450

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
床版排水設置	ｽﾗﾌﾞﾄﾞﾚｰﾝ(鋼床版取付ﾀｲﾌﾟ)	箇所	2	18,260	36,520	WYB00013 単－　29号
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ管設置	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾁｭｰﾌﾞ φ25(ﾊﾟｲﾗｯｸｸﾘｯﾌﾟ含む)	m	1.3	1,417	1,842.1	WYB00011 単－　30号
床版水抜きﾊﾟｲﾌﾟ(材料費)	床版厚180～225用 ﾆｯﾌﾟﾙ、固定金具含む	本	2	29,200	58,400	
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾁｭｰﾌﾞ(材料費)	樹脂製　φ25	m	1.3	4,390	5,707	
ﾊﾟｲﾗｯｸｸﾘｯﾌﾟ(材料費)	SUS304	個	2	206	412	
計					102,881.1	
単価					51,450	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－9号	場所打地覆	24-12-25(20)(普通)	単位	m	数量	8.9	単価	4,157

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	1.2	11,010	13,212	CB240210
鉄筋工　加工・組立	組立 一般構造物 SD345 D13 標準	t	0.06	160,900	9,654	WB240750 単－　31号
鉄筋(材料費)	SD345 D13	t	0.06	118,000	7,080	WYB00015 単－　32号
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 人力打設 24-12-25(20)(普通) 一般養生 無し 全ての費用	ｍ３	0.2	35,230	7,046	CB240010
計					36,992	
単価					4,157	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－10号	塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	湿式塗膜剥離剤 0.5kg/m2 塗布回数3回	単位	m2	数量	1	単価	20,650

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	無し 無し 横断歩道橋・側道橋・鋼製シェッド 0.5kg/m2	ｍ２	3	6,883	20,649	WB820810 単－ 33号
計					20,649	
単価					20,650	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－11号	廃材の回収・積込		単位	m2	数量	1	単価	7,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
廃材の回収・積込	無し 無し	ｍ２	3	2,400	7,200	WB820820 単－ 34号
計					7,200	
単価					7,200	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－12号	清掃･水洗い		単位	m2	数量	1	単価	200.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	清掃･水洗い 横断歩道橋・側道橋 無し 無し	ｍ２	1	200.4	200.4	WB821550 単－ 35号
計					200.4	
単価					200.4	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－13号	素地調整	2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	単位	m2	数量	1	単価	3,962

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	素地調整 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	ｍ２	1	3,962	3,962	WB821550 単－ 36号
計					3,962	
単価					3,962	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－14号	防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(1層) はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 2回	単位	m2	数量	1	単価	2,844

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	下塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(2回塗り/層)はけ・ﾛｰﾗｰＩＩ	ｍ２	1	2,844	2,844	WB821550 単－ 37号
計					2,844	
単価					2,844	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－15号	下塗	弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層)はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	2,260

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	下塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層)はけ・ﾛｰﾗｰ	ｍ２	1	2,260	2,260	WB821550 単－ 38号
計					2,260	
単価					2,260	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－16号	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	1,054

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	中塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	1,054	1,054	WB821550 単－ 39号
計					1,054	
単価					1,054	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－17号	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	単位	m2	数量	1	単価	1,582

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗替塗装	上塗り 横断歩道橋・側道橋 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩	ｍ２	1	1,582	1,582	WB821550 単－ 40号
計					1,582	
単価					1,582	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－18号	現場発生品運搬	防護柵	単位	t	数量	1	単価	17,190

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]通称2t積級 吊能力2.9t 有り 3.0km以下	t	1	2,522	2,522	CB010410
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]通称2t積級 吊能力2.9t	t	1	14,660	14,660	CB010420
計					17,182	
単価					17,190	円／t

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－19号	足場	吊足場	単位	m2	数量	1	単価	44,260

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ﾊﾟｲﾌﾟ吊足場工(桁高1.5m未満)	板張及びｼｰﾄ張防護・朝顔含む 賃料期間0.6月	ｍ２	1	44,260	44,260	WYB00014 単－　41号
計					44,260	
単価					44,260	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－20号	養生ｼｰﾄ	湿式塗膜剥離剤工法用	単位	m2	数量	1	単価	3,561

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
剥離剤用養生ｼｰﾄ設置・撤去工	湿式剥離剤工法	ｍ２	3	825	2,475	WYB00012 単－　42号
剥離剤用養生ｼｰﾄ(材料費)		ｍ２	3	362	1,086	
計					3,561	
単価					3,561	円／m2

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－21号	交通誘導警備員 (1)	交通誘導警備員A	単位	人日	数量	1	単価	20,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	1	20,500	20,500	WB010211 単－　43号
計					20,500	
単価					20,500	円／人日

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－22号	交通誘導警備員 (2)	交通誘導警備員B	単位	人日	数量	1	単価	18,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人日	1	18,700	18,700	WB010212 単－　44号
計					18,700	
単価					18,700	円／人日

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－23号	交通誘導警備員 (3)	交通誘導警備員A	単位	人日	数量	1	単価	30,750

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	1	30,750	30,750	WB010211 単－　45号
計					30,750	
単価					30,750	円／人日

１次単価表

単価使用年月	2026.08
歩掛使用年月	2026.08
労務調整係数	1.000-00-00-2-50

単－24号	交通誘導警備員 (4)	交通誘導警備員B	単位	人日	数量	1	単価	28,050

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人日	1	28,050	28,050	WB010212 単－　46号
計					28,050	
単価					28,050	円／人日

Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事

特　記　仕　様　書

令和８年６月

国土交通省　関東地方整備局

相　武　国　道　事　務　所

第　１　章　　総　則

第１条　適用

1.　この特記仕様書は、関東地方整備局 土木工事共通仕様書(令和８年度版)（以下「共通仕様書」という。)でいう特記仕様書で、本工事の施工に適用する。

2.　この工事の施工にあたっての一般的事項は、共通仕様書によるものとする。

3.　この特記仕様書に添付されていない別紙様式等については以下 URL よりダウンロードするものとする。

URL　https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000015.html

４．本工事における「条件明示」については、別紙－１「明示項目および明示事項」に記載のとおりとする。

第２条　主任技術者等（契約書第１０条）

本工事の主任技術者又は監理技術者は、次に掲げる基準を満たす者を専任で配置することとする。

（１）主任技術者は、１級土木施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。なお､｢これと同等以上の資格を有する者」とは、次のとおりである。

①１級建設機械施工技士の資格を有する者

②技術士（建設部門、農業部門（選択科目を「農業農村工学」とするものに限る。)、森林部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る。）又は総合技術監理部門（選択科目を「建設」､「農業－農業農村工学」又は「森林－森林土木」とするものに限る。)）の資格を有する者

③これらと同等以上の資格を有するものと国土交通大臣が認定した者

④本発注工事の工事種別に対応した登録基幹技能者講習修了証を有する者

（２）監理技術者は、１級土木施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。なお､｢これと同等以上の資格を有する者」とは、次のとおりである。

①１級建設機械施工技士の資格を有する者

②技術士（建設部門、農業部門（選択科目を「農業農村工学」とするものに限る。)、森林部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る。）又は総合技術監理部門（選択科目を「建設」､「農業－農業農村工学」又は「森林－森林土木」とするものに限る。)）の資格を有する者

③これらと同等以上の資格を有するものと国土交通大臣が認定した者

第３条　　主任技術者等の専任期間

１．　契約締結日の翌日から工事の始期までの期間については、主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。

２．　契約締結日の翌日から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。

３．　工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後、後片付け等のみが残っている期間については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「完成通知書」等における日付）とする。

４．　主任技術者又は監理技術者が技術研鑽のための研修、講習、試験等で短期間工事現場を離れる場合は、適切な施工ができる体制を確保したうえで、監督職員の承諾を得るものとする。

第４条　専任特例２号の場合の監理技術者の配置

１．本工事において、建設業法第２６条第３項第二号の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「専任特例２号の場合の監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の（１）～（８）の要件を全て満たさなければならない。

（１）建設業法第２６条第３項第二号による監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。

（２）監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第２７条の規定に基づく技術検定種目は、専任特例２号の場合の監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。

（３）監理技術者補佐は、直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。

（４）同一の専任特例２号の場合の監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に２件までとする。なお、専任特例１号の場合の監理技術者又は主任技術者を活用した工事と兼務することは出来ない。

（ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるものについては、これら複数の工事を一の工事とみなす。）

（５）専任特例２号の場合の監理技術者が兼務できる工事は関東地域内（東京都

内、 神奈川県内）の工事でなければならない。

（６）専任特例２号の場合の監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。

（７）専任特例２号の場合の監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。

（８）監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。

２． 現場の安全管理体制について、平成7 年4 月2 1 日付基発第2 6 7 号の2「元方事業者による建設現場安全管理指針」において、「統括安全衛生責任者の選任を要するときには、その事業場に専属の者とすること。」とされていることから、施工体制に留意すること。

３． 本工事の監理技術者が専任特例２号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事を予定している場合、以下の書類を提出すること。

（１）監理技術者補佐の資格を有する書類（一級施工管理技士等の国家資格者の合格証の写しなど）

（２） 監理技術者補佐の直接的かつ恒常的な雇用関係を証明する書類（監理技術者資格者証、市区町村が作成する住民税特別徴収税額通知書、健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書、所属会社の雇用証明書又はこれらに準ずる資料（いずれも写し可））

（３） 専任特例２号の場合の監理技術者が兼務する工事の箇所、内容を示す書類（ＣＯＲＩＮＳの写し）

４． 本工事の監理技術者が専任特例２号の場合の監理技術者として兼務し、本工事に監理技術者補佐を配置する事となった場合、第１項（５）～（８）について施工計画書へ記載し、提出すること。

５． 本工事において、専任特例２号の場合の監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、コリンズ（ＣＯＲＩＮＳ）への登録・修正を適切に行うこと。

第５条 コリンズ（CORINS）への登録

1. 工事カルテの作成、登録については、土木工事共通仕様書「1-1-1-7 コリンズ（CORINS）への登録」によるものとする。

2. 受注者は、工事受注後又は施工中において当該工事に係る悪質で不誠実な行為（一括下請負等）が発覚し、指名停止の措置を受けた場合は、登録済みの工事カルテの取り下げを行うものとする。

3. 技術者の従事期間は、工期をもって登録するものとする。（余裕期間を含まないことに留意するものとする。）

第６条　コリンズ（CORINS）への位置情報の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、位置情報については以下のとおりとし、工事場所および座標（緯度、経度）を記載するものとする。なお、座標は、世界測地系（JGD2024）に準拠する。

・神奈川県相模原市中央区中央１丁目地先［相模原市中央１丁目歩道橋］
　緯度 35° 34’ 33″ 経度 139° 22’ 03″
・神奈川県相模原市中央区共和３丁目地先［相模原市由野台２丁目歩道橋］
　緯度 35° 33’ 33″ 経度 139° 24’ 10″
・東京都八王子市南浅川町地先［梅ノ木橋側道橋（梅ノ木歩道橋)］
　緯度度 35° 37’ 15″ 経度 139° 15’ 45″
・東京都八王子市片倉町地先［台橋橋側歩道橋（下り)］
　緯度 35° 38’ 11″ 経度 139° 20’ 21″

※土木工事：位置情報の記載に関する留意事項

発注者は、原則として当初契約時に、入力する位置情報を特記仕様書に明記する。明記する位置情報については、以下のことに留意するものとする。なお、大凡の工事場所の把握を目的とすることから、過度な精度は求めない。

①工事場所を特定できる場合、その箇所の起点・終点それぞれの位置情報とする

②工事場所が複数箇所の場合、主たる箇所の起点・終点それぞれの位置情報とす

第７条　コリンズ（CORINS）への工事概要の入力

土木工事共通仕様書１－１－１－７コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を受注時に作成するにあたり、工事概要について必須登録とし、記載例を参考にすること。

工事内容

本工事は、相武国道事務所管内における横断歩道橋及び道路橋の補修を実施する工事である。

工事概略数量

・相模原市中央１丁目歩道橋
　舗装工　１式、橋梁付属物工　１式、橋梁補修工　１式、
　現場塗装工　４４０ｍ２、構造物撤去工　１式、仮設工　１式
・相模原市由野台２丁目歩道橋
　舗装工　１式、橋梁付属物工　１式、橋梁補修工　１式、
　現場塗装工　２２０ｍ２、構造物撤去工　１式、仮設工　１式
・梅ノ木橋側道橋（梅ノ木歩道橋）

舗装工　１式、橋梁床版工　１式、橋梁付属物工　１式、
現場塗装工　５４ｍ２、構造物撤去工　１式、仮設工　１式

・台橋橋側歩道橋（下り）
舗装工　１式、橋梁床版工　１式、橋梁付属物工　１式、
現場塗装工　２８ｍ２、構造物撤去工　１式、仮設工　１式

第８条　コリンズ（CORINS）への設計業務名及びテクリス番号の入力

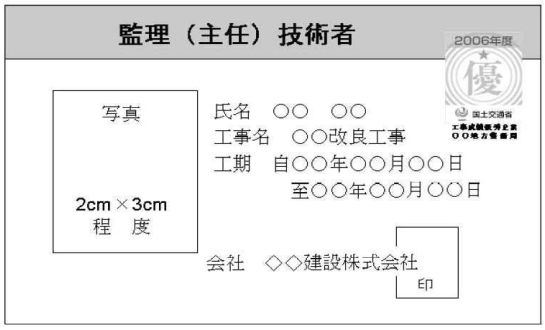
土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、設計業務名およびテクリス番号を登録すること。設計業務名およびテクリス番号については以下のとおりとする。

コリンズへ登録する業務名およびテクリス番号

設計業務名	テクリス番号
Ｒ３Ｊ相武国道管内橋梁補修設計他業務	4044938210
Ｒ５Ｊ相武国道管内橋梁補修設計他業務	4055252614

第９条　施工体制台帳

工事成績優秀企業に認定され、認定有効期限内に、工事発注の契約を行った工事の監理技術者、主任技術者（工事成績優秀企業に認定された下請負を含む）は、工事成績優秀企業認定マークの使用や金色帯線（黄色もしくは橙色の帯線でも可）を名札上部に印刷することが出来るものとする。



注意１）用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。
注意２）所属会社の写真とする。

第１０条　調査・試験に対する協力（低入札価格調査制度調査対象工事について）

１．　契約担当官等が工事の中間において技術検査の必要を認めた場合は、速やかに監督職員の指示に従い、検査を受けなければならない。なお、検査は工事請負契約書及び共通仕様書に適用する条項に準じて行うものとする。

２．　予算決算及び会計令第 85 条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合

においては、受注者は下記の調査に協力しなければならない。

(1) 受注者は、下請負者の協力を得て間接工事費等諸経費動向調査票(営繕工事 においては共通費実態調査票)の作成を行い、工事完了後、速やかに発注者に提出するものとする。

(2) 受注者は、提出された間接工事費等諸経費動向調査票(営繕工事においては共通費実態調査票)の費用の内訳についてヒアリング調査に応じるものとする。この場合において、受注者は下請負者についてもヒアリングに参加させるものとする。

(3) 工事コスト調査（調査結果でも可）に係る資料は、下記のとおりとし、関東地方整備局又は相武国道事務所のホームページにより公表する。

(4) 低入札価格調査と工事コスト調査の結果に大きな乖離がある場合、又は、工事コスト調査資料の提出が無い場合には、工事成績評点を減点する場合がある。なお、低入札価格調査対象工事については、工事コスト調査終了後に、工事成績評点を通知する。

公表資料は以下のとおり。（別紙様式－０－１～１０）

資料名	内　　訳
低価格理由とその詳細	当該工事が低価格で施工可能となる理由を示した資料
比較表－１	積算内訳書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表－２	積算内訳書に対する明細書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表－３	元請の手持ち資料の当初と実績の比較表
比較表－４	元請の資材購入先一覧の当初と実績の比較表
比較表－５	手持ち機械の当初と実績の比較表
比較表－６	労務者確保計画の当初と実績の比較表
比較表－７	工種別労務者配置計画の当初と実績の比較表
比較表－８	建設副産物の搬出の当初と実績の比較表
諸経費動向調査〈工事費〉	元請、下請の工事費内訳

第１１条　低入札契約におけるモニターカメラの設置

本工事は、予算決算及び会計令第８５条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、工事の監督補助としてモニターカメラの設置を行う対象工事とする。

なお、モニターカメラの設置費用については、発注者の負担によるものとする。

第１２条　不可視部分の出来形管理について

予算決算及び会計令第 85 条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、以下に示す工種の不可視部分について、ビデオカメラを用いた出来形管理を行うこととし、撮影した映像については監督職員に提出するものとする。

・相模原市中央１丁目歩道橋

①舗装工　②橋梁付属物工　③橋梁補修工　④現場塗装工

⑤その他、監督職員が指示したもの。

・相模原市由野台２丁目歩道橋

①舗装工　②橋梁付属物工　③橋梁補修工　④現場塗装工

⑤その他、監督職員が指示したもの。

・梅ノ木橋側道橋

①舗装工　②橋梁床版工　③橋梁付属物工　④現場塗装工

⑤その他、監督職員が指示したもの。

・台橋橋側歩道橋（下り）

①舗装工　②橋梁床版工　③橋梁付属物工　④現場塗装工

⑤その他、監督職員が指示したもの。

第１３条　不具合等発生時の措置

受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、又は公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督職員に直ちに通知しなければならない。

第１４条　工事書類の作成

１．工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類作成マニュアル（令和８年３月）」に基づき実施するものとする。

２．工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類スリム化ガイド（令和８年３月）」を参考に書類の電子化、受発注者間での作成書類の役割分担の明確化、書類の削減等に留意すること。

３．「工事関係書類一覧表」（別紙様式－１５）により、工事着手前に「作成書類の役割分担」、「作成書類の位置付け」に関して「協議」するものとする。

また、「協議」の内容を変更する場合は、改めて、受発注者で協議を行うものとする。

４．電子により提出、提示した書類については、検査時その他の場合においても紙での提示、提出は行わないものとする。

第１５条　設計図書の照査

発注者は、設計図書の照査の範囲を超える資料の作成については、監督職員の指示とし、その作成費用は、設計変更の対象とする。なお、設計変更の対象については、「工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和７年３月」によるものとする。

第１６条　情報共有システムの活用

１．本工事は、監督職員及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの活用対象工事である。なお、活用にあたっては「土木工事・業務の情報共有システム活用ガイドライン」（令和８年３月版）に基づき実施すること。

２．受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、使用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

・工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件（Rev5.7）
国土交通省（国土技術政策総合研究所）

３．監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーＩＤ数、ディスク容量等の仕様やワークフロー機能の対象者等については、監督職員の確認を得た上で決定すること。

４．受注者は、サービス提供者と次の内容を含めた契約を締結するものとする。

①情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整える旨

②サービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防御し得ない不正アクセス等により、情報漏洩、データ破壊、システム停止等があった場合、速やかに受注者に連絡を行い適正な処置を行う旨

③②の場合において、サービス提供者に重大な管理瑕疵があると監督職員若しくは受注者が判断した場合、又は復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、受注者はサービス提供者と協議の上情報共有システムの利用を停止することができる旨

５.受注者は、監督職員等から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第１７条　「設計・施工技術連絡会議（三者会議)」の設置

本工事は、公共工事の品質確保及び円滑な事業執行を目的として、発注者、設計者、施工者（工事受注者）の三者が工事着手前等において一堂に会して、事業目的、設計思想・条件等の情報の共有及び施工上の課題、新たな技術提案に対する意見交換等を行う「設計・施工技術連絡会議（三者会議)」（以下、「三者会議」という。）の設置対象工事であり、工事着手前に１回以上開催するものとする。

「三者会議」の運用にあたっては、「設計・施工技術連絡会議（「三者会議」）運用方針」（http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html）によるものとする。

第１８条　設計審査会の設置

本工事は、発注者と受注者が一堂に会して、現場着手前（準備期間内）に工事工程クリティカルパスの共有及び工事工程の照合（クロスチェック）を実施し、併せて協議資料作成等の受発注者間の役割分担を明確にする場、また、設計変更手続きの透明性と公正性の向上及び迅速化のため、設計変更の妥当性の審議及び設計変更等に伴う工事中止等の判断等を行う場として開催する「設計審査会」（以下、「審査会」という。）の設置対象工事である。

「審査会」の運用にあたっては、「設計審査会設置運用方針　」（http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html）によるものとする。

第１９条　工事環境の改善

本工事の実施にあたっては、工事環境の改善に取り組むウィークリースタンスを考慮するものとする。

ウィークリースタンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html に掲載している工事環境改善実施要領に基づき、監督職員と確認・調整した内容について取り組むものとする。

第２０条　ワンデーレスポンス

1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。

・「ワンデーレスポンス」とは

受注者からの質問、協議等への回答は、基本的に「その日のうち」に指示、通知等行うよう対応する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に通知することである。

2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。
3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。
4. ワンデーレスポンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html に掲載しているワンデーレスポンス実施の手引き（令和５年１２月）に基づき、取り組むものとす

る。

5. 効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。

第２１条　契約内容の変更手続きについて

本工事における契約内容の変更は、以下によるものとする。

①本工事における設計変更や契約変更は書面に基づき行うことを徹底し、指示書・協議書があるもののみを契約変更の対象とする。

②受注者は、工事期間中及び工事完成後において、監督職員から契約図書の規定に違反する等の不適切な指示を受けたと思料されるときは、当該監督職員を経由せずに、事務所長へ直接又は契約担当課長経由で書面により、その旨を報告することができる。

第２２条　設計図書の変更

設計変更等については、契約書第 18 条から第 25 条及び共通仕様書共通編 1-1-1-17 から 1-1-1-19 に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和７年３月」によることとする。

第２３条　スライド条項

工事請負契約書第２６条（スライド条項）については、物価水準の変動により請負代金が不適当となったと認められた時に、相手方に請負代金の変更を請求することができる条項となっている。

単品スライドについては、鋼材類・燃料油の他、コンクリート類、購入土などの主要工事材料も対象となるので、物価水準の変動により請負代金が不適当となった場合には、相手方に対して請負代金額の変更を請求することができる。

第２４条　工事現場発生品

1.　各箇所から発生する現場発生品、引渡し場所、運搬距離は下表のとおりとする。

品目	規格	単位	数量	重量 (kg)	発生箇所・ 運搬距離	引渡場所
既設排水管	VUφ75	m	2.5	2.8	相模原市中央１丁目 歩道橋 ・ 6.6km	国道 16 号 御殿峠 資材置き場
既設排水管	VUφ100	m	7.6	13.2		
既設排水樋	SS400・SGP	箇所	2.0	63.6		
取付金具	SS400	式	1.0	14.4		

既設排水管	VUφ75	m	2.5	2.8	相模原市由野台２丁目 歩道橋 ・ 10.3km	
既設排水管	VUφ100	m	6.6	11.4		
既設排水樋	SS400・SGP	箇所	2.0	59.8		
取付金具	SS400	式	1.0	14.4		
既設防護柵	SS400 他	m	8.9	228.8	台橋橋側歩道橋 （下り） ・ 2.0km	
取付金具	－	式	1.0	16.3		
既設高欄	SS400 他	m	26.8	637.7	梅ノ木橋側道橋 ・ 18.3km	国道 20 号 石田大橋下 資材置き場
取付金具	－	式	1.0	16.3		

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする

第２５条　公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再生資源活用工事実施要領（土木）

１．再生資材の活用

受注者は、下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。

資　材　名	規　格	備　考
再生加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	再生細粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ（13）	表層（歩道）

なお、使用に際し「舗装再生便覧」等を遵守するものとする。

２．特定建設資材の分別解体等の再資源化等

本工事は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律((平成 12 年法律第 104　号 最終改正令和 4 年 6 月 17 日法律 68 号)。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「８解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし工事発注後に明らかになった事情により予定した条件により難い場合は監督職員と協議するものとする。

（１）　分別解体等の方法

程 工	工程	作業内容	分別解体等の方法

	①仮設	仮設工事 ■有　　□無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 □有　　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有　　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有　　□無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ■有　　□無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑥その他 （舗装工）	その他の工事 ■有　　□無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

（２）再資源化等をする施設の名称及び所在地

・相模原市中央１丁目歩道橋

特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称	所在地
アスファルト殻	前田道路（株） 西東京合材工場	東京都八王子市北野町 589-1
コンクリート殻 （無筋）	（有）高興	東京都八王子市高月町 51

・相模原市由野台２丁目歩道橋

特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート殻 （無筋）	（有）高興	東京都八王子市高月町 51

・台橋橋側歩道橋（下り）

特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート殻 （有筋・無筋）	（有）高興	東京都八王子市高月町 51

・梅ノ木橋側道橋

特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート殻 （無筋）	（有）高興	東京都八王子市高月町 51

（３）受入時間

前田道路（株）　西東京合材工場（昼間）　：　8 時 00 分～17 時 00 分

（有）高興　：　8 時 30 分～17 時 30 分

※上記（２）および（３）については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合でも設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項については、監督職員と協議の上、契約変更の対象とすることができる。

３．受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第 18 条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン(平成 14 年 5 月)に定めた様式 1〔再生資源利用計画書(実施書)〕及び様式 2〔再生資源利用促進計画書(実施書)〕を兼ねるものとする。

・再資源化等が完了した年月日

・再資源化等をした施設の名称及び所在地

・再資源化等に要した費用

工事発注後に明らかになった事情により予定していた条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第２６条　建設リサイクル法第 11 条通知の徹底

受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成 12 年 5 月 31 日法律第 104 号）第 11 条に基づく、都道府県知事に対する通知を行った旨の書面を監督職員より受領した後に、工事着手（建設リサイクル法第 10 条第 1 項に規定する工事着手をいう。）するものとする。

なお、これによりがたい場合は監督職員と協議の上決定するものとする。

第２７条　コンクリート副産物から再生された資源について

１．コンクリート副産物から再生された資材を利用する場合には、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途別品質基準」によるものとする。

２．受注者は、コンクリート副産物から再生された資材の利用を希望する場合は、工事着手時にその適用の有無を監督職員と協議するものとする。

３．受注者は、工場が発行する再生骨材コンクリートの配合計画書及び納入書を整備および管理し、監督職員または検査職員からの請求があった場合は速やかに提示しなければならない。

４．受注者は、再生骨材コンクリートの品質を確かめるための検査を JIS A 5022

（再生骨材Ｍを用いたコンクリート)、JIS A 5023（再生骨材Ｌを用いたコンクリート）により実施しなければならない。また、再生骨材Ｍを用いたプレキャストコンクリート製品の検査については、JIS A 5365（プレストキャストコンクリート製品－検査方法通則）により実施しなければならない。なお、生産者等に検査のため試験を代行させる場合は受注者がその試験に臨場しなければならない。

５．再生骨材コンクリートの配合については、「土木工事共通仕様書第１編３－３－３　配合」に従うものとする。

第２８条　工事完成図

本工事は、道路工事完成図等作成要領（第２版）（国土技術政策総合研究所資料、平成 20 年 12 月）に基づく電子納品の対象工事である。

http://www.nilim-cdrw.jp/dl_std.html

第２９条　工事完成図の作成、納品

完成図等の作成について

受注者は、「道路工事完成図等作成要領（国土技術政策総合研究所資料、平成２０年１２月)」に基づいて作成した電子データを、電子媒体で提出しなければならない。

受注者は、本要領に基づき、国土技術政策総合研究所がホームページ上に無償で公開している本要領に対応したチェックプログラムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施した上で出力資料を含む（別紙等での提出も可能）電子データを提出しなければならない。

提出資料

【電子データ（ＣＤ入り)】

・完成平面図 SXF データ（.P21)

・完成縦断図 SXF データ（.P21)

・完成平面図：属性 XML データ（拡張子 .saf)

【出力資料（道路工事完成図等作成要領 p73 参照)】

・チェック結果記録

・完成平面図

・完成縦断図

・「完成平面図」チェック結果記録

・道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ

なお、作成に要する費用については、当初は計上していないため、設計変更の対象とする。

第３０条　施工管理

１．本工事の施工管理は、関東地方整備局土木工事施工管理基準及び規格値(令和７年度版)によるものとする。なお、この管理基準により難い場合及び基準、規格値が定められていない工種については、監督職員と協議の上、施工管理を行うものとする。

２．本工事の写真管理は、関東地方整備局土木工事写真管理基準(令和７年度版)によるものとする。なお、「撮影項目」、「撮影頻度等」が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。

３．本工事の施工管理における適用工種毎の基準類は、ＩＣＴ活用工事実施要領（令和７年度版）の関連要領等一覧
（「https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html」）によるものとする。

第３１条　デジタル工事写真の小黒板情報電子化について

デジタル工事写真の小黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、写体画像の撮影と同時に工事写真における小黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

工事では、以下の１．から４．の全てを実施することとする。

１．対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和 8 年度版）（以下、写真管理基準）「2-2 撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」（URL「https://www.cryptrec.go.jp/list.html」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例を以下に示す。

デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア，（一社）施工管理ソフトウェア産業協会，<https://www.jcomsia.org/kokuban>.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない

２．デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入

受注者は、同条１．の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、

被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、写真管理基準「2-2 撮影方法」による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

３．小黒板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、写真管理基準及びデジタル写真管理情報基準（以下、デジタル写真管理情報基準）に準ずるが、同条２．に示す小黒板情報の電子的記入については、写真管理基準「2-5　写真編集等」及びデジタル写真管理情報基準「6.写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

４．小黒板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、同条２．に示す小黒板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黒板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者は改ざん検知機能（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

また、下記のチェックツールを使用して信憑性確認を行い、結果を出力したものでもよい。

信憑性チェックツール（一社）施工管理ソフトウェア産業協会

<https://www.jcomsia.org/kokuban>.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではないなお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を実施しない工事写真がある場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得ること。

第３２条　現場環境改善（快適トイレの設置）

１．内 容

受注者は、現場に以下の（１）～（11）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

（12）～（17）については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

（１）洋式（洋風）便器

（２）水洗及び簡易水洗機能

（し尿処理装置付き含む）

（３）臭い逆流防止機能

（４）容易に開かない施錠機能

（５）照明設備

（６）衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を５kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】

（７）現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示

（８）周囲からトイレの入口が直接見えない工夫

（９）サニタリーボックス

（女性用トイレに必ず設置）

(10) 鏡と手洗器

(11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

(12) 室内寸法 900㎜×900㎜ 以上（面積ではない）

(13) 擬音装置（機能を含む）

(14) 着替え台

(15) 臭気対策機能の多重化

(16) 室内温度の調整が可能な設備

(17) 小物置き場

（トイレットペーパー予備置き場等）

２．快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記１の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】（１）～（６）及び【付属品として備えるもの】（７）～（11）の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量は、現場毎に必要性を協議の上、決定する 。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。

３．快適トイレの「質の向上」に要する費用

快適トイレの「質の向上」として、積算上限額を超える費用について現場環境改善費（率）を充当することができる。現場環境改善費（率）の充当を希望する場合は、上記２．の協議時に見積書を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとする。

なお、現場環境改善費（率）を充当することにより、特記仕様書に明示されたその他の費目の実施が困難な場合には、実施費目数の変更を合わせて協議することとする。

４．その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

第３３条　工事中の安全確保

１．工事の施工にあたっては、関東地方整備局長が定める「重点的安全対策」について留意し、工事事故の防止を図らなければならない。

なお、令和８年度における重点的安全対策項目は以下の６項目である。

Ⅰ．架空線等上空施設の損傷事故防止

Ⅱ．建設機械等の稼働に関連した人身事故防止

Ⅲ．資機材等の下敷きによる人身事故防止

Ⅳ．足場・法面等からの墜落事故防止

Ⅴ．地下埋設物の損傷事故防止

Ⅵ．第三者の負傷・第三者車両等に対する損害

２．受注者は、工事に従事する就業制限業務及び作業主任者を選任する業務における資格者のうち、資格取得後一定期間経過した資格者に対し、次に掲げる再教育の受講が推進されるよう努めるものとする。

①労働安全衛生法第 19 条の 2 に基づく足場組立等作業主任者等に対する能力向上教育

②労働安全衛生法第 60 条の 2 に基づく車両系建設機械運転従事者、移動式クレーン運転士、玉掛業務従事者等に対する危険有害業務従事者教育

③厚生労働省通達に基づくドラグ・ショベル運転業務従事者等に対する危険再認識教育

３．　工事の施工にあたっては、工事等の時期、工事等の方法の概要 及び 工事等を行なう場合における道路交通に対する措置について「道路工事保安施設設置基準（案）（令和６年２月）」に基づき監督職員へ確認を行うものとする。

４．　工事中看板、工事情報看板及び工事説明看板の記載内容及び設置箇所については、監督職員の承諾を得るものとする。

５．　工事期間中は、夜間における安全確保のため保安要員を巡回させ、道路灯、バリケード等保安施設の保安点検を行うものとする。

６．　工事期間中に配置する交通誘導警備員は、以下のとおり計上するものとする。ただし、交通管理者等との協議条件など社会的要件、現地精査に基づき配置人員の変更が必要になった場合は、監督職員と協議するものとする。

作業区分	交通誘導警備員	備考
昼間作業	214 人（うち有資格誘導員 107 人）	相模原市中央１丁目歩道橋

夜間作業	42 人（うち有資格誘導員　14 人）	
昼間作業	130 人（うち有資格誘導員　65 人）	相模原市由野台２丁目歩道橋
夜間作業	18 人（うち有資格誘導員　6 人）	
昼間作業	32 人（うち有資格誘導員　16 人）	梅ノ木橋側道橋 （梅ノ木歩道橋）
夜間作業	27 人（うち有資格誘導員　9 人）	
昼間作業	14 人（うち有資格誘導員　7 人）	台橋橋側歩道橋
夜間作業	12 人（うち有資格誘導員　4 人）	

第３４条　熱中症対策に資する現場管理費の補正

１．　本工事は、夏季における真夏日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に掛かる経費に関して「熱中症対策に資する現場管理費の補正」を行う試行工事である。

２．　真夏日の考え方は下記のとおりである。

（１）真夏日の定義

日最高気温が 30℃以上の日を指す。

ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が 30℃以上の場合とする。

（２）試行にあたっての真夏日の計上の考え方

下記①～③のいずれかに該当する場合、真夏日として計上する。

①環境省が公表している暑さ指数（WBGT）が日最高 25℃以上の場合。

施工現場から最寄りの環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）が 25℃以上となる日を真夏日とみなす。

②気象庁が公表している地上気象観測所の日最高気温が 30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温が 30℃以上の日を真夏日とする。

③夜間工事については、作業時間帯の最高気温が 30℃以上の場合。

施工現場から最寄りの観測地点における作業時間帯の最高気温が 30℃以上、又は暑さ指数（WBGT）が 25℃以上の場合を真夏日とする。

なお、休工日においては、上記に該当した場合でも真夏日としない。

上記①～③によりがたい場合は、監督職員と協議すること。

（３）工期

工事着手から工事完成日までの期間を指す。なお、年末年始休暇６日間、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

（４）基準日

受発注者協議により、「基準日」を定めるものとする。「基準日」は工事着手日を基本とする。

当該「基準日」より工期末までの期間のうち、真夏日にあたる日数を算出する。

なお、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、現場休工日は含まないものとする。

（５）真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

・真夏日率 ＝ 基準日から工期末までの真夏日 ÷ 工期

（６）現場管理費の補正

現場管理費の補正は、工期中の日最高気温の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費率に加算する。なお、補正は変更契約において行うものとする。

・補正値（％） ＝ 真夏日率 × 補正係数※

※ 真夏日補正係数：１．２

第３５条　出水期間中の現場管理及び施工について

本工事における出水期間中の現場管理及び施工については、土木工事共通仕様書第１編「１－１－１－３１工事中の安全確保」に基づき、作業員、仮設物及び資機材等の退避及び流出防止等、施工中の退避時の措置等（以下「防災措置等」という。）必要な対策を講ずるものとする。

なお、上記については、土木工事共通仕様書第１編「１－１－１－６施工計画書」に基づき、施工計画書に記載の上、設計審査会で確認したうえで、監督職員に提出するものとする。

また、気象情報や河川水位の収集及び伝達方法等についても施工計画書に記載するものとする。

防災措置に要する費用については第１６条の設計変更ガイドラインに基づき設計変更の対象とする。

第３６条　交通誘導警備員の資格

交通誘導警備員については、資格者（警備業法第23条に規定する都・県公安委員会の行う１級又は２級検定に合格した者）１名以上を充て、他は経験１年以上の者を配置すること。

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第３７条　仮設工等の段階点検

受注者は、仮設工の計画、設計及び施工における下記段階及び内容について、監督職員の指示する書式に従い、確認し、提出するものとする。

(1)仮設工の設計完了段階(指定仮設については、発注者から提示された設計図書の内容検討完了段階)

現地条件と整合した設計条件で設計され適切な仮設計画書が作成されているかを確認する。(なお、指定仮設については発注者から提示された設計図書が現地条件と整合した設計条件で設計され、安全確保された設計図書になっているかを確認する)

(2)仮設工の施工中間段階

仮設計画書どおりに施工が実施されているか確認する。

(3)仮設工の施工完了段階

仮設計画書どおりに施工が実施されているか確認する。

(4)仮設工の撤去中間段階

仮設計画書どおりに施工が実施されているか確認する。

第３８条　路上工事の縮減等

受注者は、路上工事による交通への影響の緩和を図るため、施工方法・規制時間帯・施工日数の短縮等の検討を行い、監督職員に提出するとともに工事完了時に実施結果を提出するものとし、路上工事の縮減等に努めるものとする。

第３９条　交通規制日数の報告

現道上での(改築・維持修繕)工事等により交通規制を実施した場合には、月毎に実交通規制日数を監督職員へ提出するものとする。

第４０条　特定調達品目の調達実績の調査について

受注者は、本工事の資材、建設機械の使用にあたっては、必要とされる強度や耐久性、機能の確保等に留意しつつ、環境物品等の調達の推進に関する基本方針に定められた国土交通省の特定調達品目(以下、「特定調達品目」という)の使用を積極的に推進するものとする。設計図書に定めがあるものについて、特定調達品目への変更が可能である場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。ただし、東日本大震災の影響により、特定調達品目の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

受注者は、特定調達品目の調達実績の集計を行い、工事完了後に、電子データにより監督職員に提出するものとする。集計の方法については、監督職員より指示する。

第４１条　建設機械の使用

受注者は、本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」(昭和 62 年 3 月 30 日建設省経機第 58 号)に基づき、低騒音型建設機械の使用原則を図られた場合

は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。

第４２条　ディーゼル車排出ガス規制に適合した車両の使用

1. 受注者は、本工事現場で使用し又は使用される関係車輌（以下、本工事関係車　輌という。）が、埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県のディーゼル車排出ガス規制条例（以下、関係法令等という。）の　適用を受ける場合は、これに適合した車輌を使用しなければならない。
2. 受注者は、本工事の施工に先立ち、本工事関係車輌の「ディーゼル車排出ガス規制に適合する車輌の使用」について、関係法令等の遵守を施工計画書に記載しなければならない。
3. 受注者は、本工事関係車輌にディーゼル車を使用する場合には、車検証等のコピーを保管し、本工事関係車輌を把握しなければならない。
4. 受注者は、取締りにより本工事関係車輌に違法行為等があった場合には、直ちに監督職員に報告しなければならない。
5. 受注者は、資機材の搬出入等において、資材納入業者に関係法令等を遵守させるものとする。

第４３条　舗装版切断時に発生する濁水の適正な処理

舗装版切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された排水については、地方公共団体の取扱規則等に基づき適正に処理するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。

「適正に処理」するとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（請負業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供することが必要である。

なお、受注者は、排水の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。

第４４条　工事現場管理

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

1. 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
2. さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
3. 過積載車輌、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
4. 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行った場合、さし枠装着車、不表

示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

5.　建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

6.　以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

第４５条　特殊車両通行許可関係図書の確認及び提出

共通仕様書１－１－１－３７交通安全管理第１４項における道路法第４７条の２に基づく通行許可の確認は、下記について実施するものとする。また監督職員からの求めがあった場合には確認結果等を提示しなければならない。

① 当該車両に関する特殊車両通行許可証

② 現場到着地点及び現場出発時における荷姿（荷姿全景、ナンバープレート等通行許可証と照合可能な写真を撮影しておくこと）

③ 車両通行記録計（タコグラフ）（夜間走行条件の場合のみ）

なお、当該車両の特殊車両通行許可証については、当該経路に関する部分の写しを、共通仕様書１－１－１－４０官公庁等への手続等第３項に基づき、監督職員へ提示するものとする。

第４６条　通行許可等

１．受注者は、建設機械、資材の運搬にあたり、道路法第４７条第１項、車両制限令第３条における一般的制限値を超える車両を通行させようとする場合は、運搬資機材毎に運搬計画（車種区分、車両番号等、車両諸元及び積載重量、資材の積載限度数量、通行経路、許可証等の有効期限等の確認方法と確認頻度）を作成し、施工計画書に記載しなければならない。

２．受注者は、運搬計画どおりに運行していることを確認しなければならない。また、確認を行った資料については、整理保管するとともに、監督職員または検査職員の要求があった場合は速やかに提示しなければならない。

第４７条　現場環境改善

１．現場環境改善として実施する内容は、下記のとおりとするが、現場条件等により実施が困難になった場合には、監督職員と協議するものとする。

（１）仮設備関係　環境負荷の低減を実施するものとする。

（２）営 繕 関 係　現場休憩所の快適化を実施するものとする。

（３）安 全 関 係　盗難防止を実施するものとする。

（４）地 域 連 携　工事工程表の掲示及び社会貢献を実施するものとする。

２．現場環境改善については具体的な内容、実施時期について施工計画書に含め提出するものとする。

３．主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策については、工事契約後、監督職員と協議するものとし、現場環境改善費（率）の 50%を上限として設計変更の対象とする。

第４８条　工期変更

１．工期は、雨天、休日等を見込み、契約の翌日から令和９年３月３１日までとする。

なお、休日には、日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季休暇の他、作業期間内の全ての土曜日を含んでいる。

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）に加えて以下の日数を見込んでいる。

①準備期間	60 日間
②後片付け	20 日間
③雨休率	0.73

※雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日は以下の通りである。（当該工事の作業不能日ではない。）

１日の降雨・降雪量が１０㎜/日以上の日：２９　日間

２．著しい悪天候や気象状況より工程（官積算）で見込んでいる「天候等による作業不能日」以上に作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

３．後片付け期間に検査に要する各種電子データの作成を行うことを想定しているが、更なる期間が必要な場合は、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

４．本工事の工期は出水期を含んでいる。

６月１日から１０月３１日を出水期間とし、河川区域及びその周辺で工事を行ってはならないが、下記に示す工事工種（箇所）においてはこの限りではない。なお、既存堤防の治水上の安全を下げないよう留意すること。

・相模原市中央１丁目歩道橋

・相模原市由野台２丁目歩道橋

５．本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間と実工事期間を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約を締結するまでの間に、別紙様式-１６により、工事の始期及び終期を通知すること。

余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬

入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結の翌日から令和９年３月３１日まで

※契約締結後において、工期の始期の変更の必要が生じた場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。なお、条件の変更がない場合において、契約時に設定した工期の変更は行わない。

第４９条　施工時期及び施工時間

１．本工事の作業区分は、下記によるものとする。

作業区分	施 工 区 分		標準作業時間
昼間作業	相模原市中央１丁目歩道橋	舗装工、橋梁付属物工、橋梁補修工、現場塗装工、構造物撤去工、仮設工（仮設工）	8 時～17 時
	相模原市由野台２丁目歩道橋	舗装工、橋梁付属物工、橋梁補修工、現場塗装工、構造物撤去工、仮設工（足場工）	
	台橋橋側歩道橋	舗装工、橋梁付属物工、現場塗装工、構造物撤去工、仮設工（足場工）	
	梅ノ木橋側道橋 （梅ノ木歩道橋）	舗装工、橋梁付属物工、現場塗装工、構造物撤去工、仮設工（足場工）	
夜間作業	相模原市中央１丁目歩道橋	仮設工（足場工）	20 時～5 時
	相模原市由野台２丁目歩道橋	仮設工（足場工）	
	台橋橋側歩道橋	橋梁床版工、仮設工（足場工）	
	梅ノ木橋側道橋 （梅ノ木歩道橋）	橋梁床版工、仮設工（足場工）	

上記については、積算上の条件明示であり、作業時間を指定するものではない。

各々の標準作業時間には、日々の作業準備、後片付け、ＫＹ等安全活動なども含まれる。

ただし、上記区分に変更を要する場合は、監督職員と協議するものとする。

第５０条　工事工程クリティカルパスの共有

受注者は、現場着手前（準備期間内）に設計図書等を踏まえた工事工程表（クリティカルパスを含む）を作成し、監督職員と共有すること。工程に影響する事項がある場合は、その事項の処理対応者（「発注者」又は「受注者」）を明確にすること。

施工中に工事工程表のクリティカルパスに変更が生じた場合は、適切に受発注者間で共有することとし、工程の変更理由が以下の①～⑤に示すような受注者の責によらない場合は、工期の延長が可能となる場合があるので協議すること。

① 受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合
② 著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程（官積算）で見込んでいる日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合
③ 工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合
④ 資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合
⑤ その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合

第５１条　工事工程表の開示の試行工事

１．本工事は、工期設定の根拠とした工事に必要な関係機関との調整、住民合意、用地確保、法定手続きなどの進捗状況を踏まえた工事工程表を開示するとともに、設計審査会等において工事工程クリティカルパスの共有や発注者が作成する工程と受注者が作成する工事工程の照合（クロスチェック）を行うことにより、適切な工期設定の取組を行う「工事工程表の開示の試行工事」である。

２．工事契約後、設計審査会等において、「前条　工事工程クリティカルパスの共有」により作成した工事工程表を確認し、受注者・発注者間でクリティカルパスの共有を行うものとする。

３．設計審査会等において、発注者が開示した工事工程表（別紙-5）との照合（クロスチェック）を実施し、必要に応じて工期延伸の判断について審査を行うなど、適正な工事工程の確保に努めるものとする。

４．本試行に関するアンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。

第５２条　悪天候等により工期変更が必要となる場合の協議を簡素化する試行

１．受注者は、著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生し、工期内に工事を完成することが困難な場合はその理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。

著しい悪天候とは、当該工事の工期月の雨休率が、直近５カ年における工期月の雨休率の平均値を超える場合をいう。

工期月とは、工事着手日から工事完成予定日までの期間のうちの、工期の延長変更請求時までにかかる月（ただし、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は除く）をいう。

なお、本工事の降雨降雪日は、東京観測所（気象庁のデータ）における１日の降雨・降雪量雨が 10㎜ 以上/日の日を想定している。

２．アンケート調査を行う場合は、これに協力すること。

第５３条　新技術の活用「新技術の定義」

１．本工事は、新技術活用の促進を図ることを目的とした、新技術活用工事である。

２．新技術の定義

新技術活用の原則化における新技術の定義は以下による。

①技術の成立性が技術を開発した民間事業者等により実験等の方法で確認されている技術

②公共工事等において実用段階に達している技術

③当該技術の適用範囲において従来技術に比べて活用の効果が同程度以上の技術又は同程度以上と見込まれる技術

④実用段階に達していない技術又は要素技術など研究開発段階にある技術であって国により導入促進を図る技術

３．対象とする新技術

新技術活用の原則義務化の対象とする新技術は以下のとおりとする。

1）新技術情報提供システム（NETIS）登録技術

URL　https://www.netis.mlit.go.jp

2）NETIS のテーマ設定型の技術比較表に掲載されている技術

3）新技術導入促進（Ⅱ）型により活用する技術

4）新技術のニーズ・シーズマッチングにより現場実証し、従来技術と同等以上と確認できた技術

対象とする技術は、NETIS「マッチング」に掲載された技術のうち、「普及促進技術」に該当するものとする。

なお、NETIS 掲載期間終了技術は対象外とする。

第５４条　新技術の活用（施工者選定型）

１．本工事は、施工者が原則１技術以上の新技術を選択したうえで活用を図る新技術活用工事である。

２．本工事において、第 53 条　新技術の活用「新技術の定義」３．対象とする新技術に示す 1)～4)の技術が選定されていない場合、受注者は施工に先立ち、当該工事内容について十分把握の上、新技術を原則一つ以上選定し、監督職員の承諾を得た上で活用するものとし、活用する新技術の名称及び内容等を施工計画書に記載するものとする。活用する新技術が NETIS 登録技術の場合は新技術活用計画書も提出するものとする。

３．受注者は、選定した新技術が第 53 条　新技術の活用「新技術の定義」３．対象とする新技術に示す 1)～4)のいずれの新技術であるか確認できるよう、施工計画書に記載する。

４．当該技術については、設計図書等で定められた事項に係る部分でない場合は、設計変更の対象としない

５．受注者は、試行現場照会中の技術を活用する場合において当該技術の施工に

あたりNETIS申請者が実施する「試行調査」に協力するものとする。なお、試行調査に係る費用はNETIS申請者が負担する。

６．試行現場照会中の技術を活用する場合、当該工事の実施箇所において標準的に使用される技術の施工費相当額を超える費用については、試行調査に係る費用とみなし、NETIS申請者の負担とする。

７．受注者は、活用する新技術が情報種別記号「－ＶＥ」以外のNETIS登録技術の場合は、当該技術の施工にあたり「活用効果調査」を行うものとする。「活用効果調査」は、「新技術情報提供システム(NETIS)」より作成し、監督職員に提出するものとする。

８．受注者は、本工事によって知り得た当該技術に係わる情報は、監督職員の許可なく公表してはならない。

第５５条　建設現場の遠隔臨場における遠隔臨場の実施（発注者指定型）

１．建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）とWeb会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものとする。

なお、遠隔臨場の実施にあたっては「建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）R5.3」を参考に実施するものとする。

URL　https://www.mlit.go.jp/tec/content/001594449.pdf

２．遠隔臨場を適用する工種、確認項目

現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項目を選定することとする。

３．　実施内容

(1)　段階確認・材料確認、立会での確認

① 受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声を Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものとする。

② 確認実施者が現場技術員の場合、現場技術員は使用するPCにて遠隔臨場の映像（実施状況）を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム（ASP）等に登録して保管する。(従来の立会資料の管理と同様とする。)

(2) 動画撮影

動画撮影は、撮影者の安全を確保するため、撮影者が移動の際に横転等が考えられるいわゆる「歩きスマホ」(カメラを手に持って歩きながら撮影)

での撮影はしないこと。

動画撮影は、静止して撮影又は撮影者のヘルメットや胸ポケットに付ける等の安全に配慮するものとする。

(3) 機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し決定するものとする。

なお、配信に利用するシステムは、「パッケージ化したシステム」、「情報共有システム（ASP）」、「Web 会議システム（teams、zoom 等）」等、何れのシステムを利用してよい。

(4) 遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間　で協議を行うものとする。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。

なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

(5) フォローアップ調査

工事完了時に別紙様式-１９を監督職員へ提出するものとする。

また、遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示によるものとする。

(6) 費用

遠隔臨場にかかる費用については、工事実施に必要な施工管理費として、全必要額を技術管理費に積み上げ計上し、設計変更するものとする。

なお、機器の手配は基本的にリースとし、その賃料を計上するものとするが、やむを得ず購入せざるを得ない機器がある場合は、その購入費に、機器の耐用年数に対する使用期間（日単位）割合を乗じた分を計上するものとする。また、受注者が所持する機器を使用する場合も、基本的には同様の考え方とするものとする。

(7) 不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、「建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準　令和 7 年 12 月 12 日（国不建第 121 号）」等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第５６条　建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

１．建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

「遠隔臨場を活用した工事検査」は、受注者における「工事検査に伴う移動時間の削減や工事関係書類の簡素化」や発注者（監督職員・検査職員）における「現場実地（現場臨場）の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）と Web 会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査項目を遠隔で行うものである。なお、遠隔臨場による工事検査は、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案)』の内容に従い実施する。

２．遠隔臨場を活用した工事検査の対象

遠隔臨場を活用した工事検査は、完成検査、中間技術検査、既済部分検査、完済部分検査における、工事実施状況、出来形、品質、出来ばえの各検査項目を対象とし、以下の表に示す。また、全ての検査を対象とするが、現場条件や、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案)』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ、従来方法（対面書類検査、現場実地検査）を選択することも可能である。

凡例　○：遠隔臨場による工事検査の対象

	工事実施状況	出来形		品質		出来ばえ	
	書類	書類	実地	書類	実地	書類	実地
完成検査	○	○	○	○	○	○	○
中間技術検査	○	○	○	○	○	○	○
既済部分検査	○	○	○	○	○	○	○
完済部分検査	○	○	○	○	○	○	○

３．遠隔臨場を活用した工事検査を適用する検査項目

現場条件により遠隔臨場による工事検査の適応性が一致しない場合も想定されることから、検査項目での適用・不適用については、監督職員が検査職員と調整・決定し、受注者に遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目を連絡する。遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目については、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ判断する。

４．実施内容

(1) 技術検査、工事検査での実施

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）により取得した映像及び音声を Web 会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査を実施するものである。

(2) 機器の準備

遠隔臨場による工事検査に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員と協議し決定するものとする。

(3) 遠隔臨場による工事検査を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場による工事検査が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で予備日を取り決めて検査日を連絡する。

(4) 効果の検証

遠隔臨場による工事検査を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(5) 費用

遠隔臨場による工事検査にかかる費用については、受発注者間の協議を踏まえ、技術管理費に積上げ計上する。なお、監督業務で遠隔臨場を実施する工事については、遠隔検査を行うために追加で要する費用が生じた場合に監督職員と協議するものとする。

(6) 不正行為

遠隔臨場による工事検査において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和7年12月12日（国不建第121号）』等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第５７条　契約後ＶＥ方式

１．ＶＥ提案の定義

「ＶＥ提案」とは、契約書第19条の２の規定に基づき、設計図書に定める工事の目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする工事材料、施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案である。

２．ＶＥ提案の意義及び範囲

1)　受注者がＶＥ提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のものとする。

2)　以下の提案は、ＶＥ提案の範囲に含まないものとする。

(1)施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案。

(2)契約書第18条に規定された条件変更等に該当する事実との関係が認められる提案。

(3)提案の実施に当たり、関係機関協議等、第三者との調整等を要する提案。

３．ＶＥ提案書の提出

1)　受注者は、前項のＶＥ提案を行う場合は、次に掲げる事項をＶＥ提案書(別紙様式－１～４)に記載し、発注者に提出しなければならない。

(1)設計図書に定める内容とＶＥ提案の内容の対比及び提案理由

(2)ＶＥ提案の実施方法に関する事項(当該提案に係る施工上の条件等を含む)

(3)ＶＥ提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠

(4)発注者が別途発注する関連工事との関係

(5)工業所有権等の排他的権利を含むＶＥ提案である場合、その取扱いに関す

る事項

(6)その他ＶＥ提案が採用された場合に留意すべき事項

2)　発注者は、提出されたＶＥ提案書に関する追加的資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。

3)　受注者は、前項のＶＥ提案を契約の締結日より、当該ＶＥ提案に係る部分の施工に着手する３５日前までに、発注者に提出できるものとする。

4)　ＶＥ提案の提出費用は、受注者の負担とする。

４．ＶＥ提案の審査

提出されたＶＥ提案は、施工の確実性、安全性が確保され、かつ設計図書に定める工事の目的物と比較し、機能、性能等が同等以上で経済性が優位であると判断されるものについては、ＶＥ提案として採用することを原則として審査を行い、当該提案の採否を決定するものとする。

５．ＶＥ提案の採否等

ＶＥ提案の採否について、原則として、ＶＥ提案の受領後 14 日以内に書面(別紙様式－５)により通知するものとする。ただし、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。また、ＶＥ提案を採用しなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。

６．ＶＥ提案を採用した場合の設計変更等

(1)　ＶＥ提案を採用した場合において、必要があるときは、発注者は設計図書の変更を行わなければならない。

(2)　前項の規定により設計図書の変更が行われた場合において、発注者は、必要があるときは請負代金額を変更しなければならない。

(3)　前項の変更を行う場合においては、ＶＥ提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の 10 分の 5 に相当する金額(以下「ＶＥ管理費」という。)を削減しないものとする。

(4)　ＶＥ提案を採用した後、契約書第 18 条の条件変更が生じた場合、発注者がＶＥ提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。なお、ＶＥ管理費については、原則として変更しないものとする。

７．ＶＥ提案の活用と保護

評定の結果、当該ＶＥ提案内容の活用が効果的であると認められた場合は、他の工事においても積極的に活用を図るものとする。その場合、工業所有権等の排他的権利を有する提案については、当該権利の保護に留意するものとする。

８．責任の所在

発注者がＶＥ提案等を採用し、設計図書の変更を行った場合においても、ＶＥ提案を行った受注者の責任が否定されるものではない。

第５８条　生産性向上チャレンジ工事

１．試行の実施

本工事は、受注者の発案による施工手順の工夫等の創意工夫による生産性向上の取組みを推進する「生産性向上チャレンジ」の試行対象工事である。

２．試行の内容

工事契約後、受注者は、当該工事において、省人化等の生産性向上に資する取組みを実施することができる。

本取組みを実施する場合は、施工計画書に「生産性向上チャレンジ工事」の項目を設け、①取組内容、②期待される効果等を明記するものとし、完成検査までに実施内容及び効果を報告するものとする。また、期待される効果等について、人員削減や作業時間削減等の定量的な効果を記載できる場合は記載することとする。

なお、「技術提案で提案済みの内容」及び「特記仕様書第５３条 新技術活用「新技術の定義」」において採用した取組については本試行の対象外とする。

３．工事成績評定

施工計画書で位置づけられた「生産性向上チャレンジ工事」の取組の履行が確認できた場合は加点を行うこととする。

４．本試行に係る費用については、原則、受注者負担によるものとする。

第５９条　出来高部分払方式

本工事の部分払は、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施し、円滑かつ速やかな工事代金の流通を確保することによって、より双務性及び質の高い施工体制の確保を目指すため、「出来高部分払方式実施要領」［国土交通省 HP https://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000052.html　参照］に基づき行うものとする。

第６０条　施工箇所が点在する工事の積算

本工事は、施工箇所が点在する工事であり、神奈川県相模原市中央区、東京都八王子市片倉町、東京都八王子市南浅川町で施工を行う工事である。

第６１条　総価契約単価合意方式について

１．本工事は、請負代金額の変更があった場合における変更金額や部分払金額の算定を行う際に用いる単価等をあらかじめ協議し、合意しておくことにより、設計変更や部分払に伴う協議の円滑化に資することを目的として実施する総価契約単価合意方式の対象工事である。

（共通仕様書第３編３－１－１－１の適用）

２．共通仕様書第３編３－１－１－１第２項、第６項及び第７項に係る規定は適用

しないものとする。

受注者は、契約書第３条第１項の規定に基づき請負代金内訳書（以下「内訳書」という。）を発注者に提出した後に、当該工事の工事費構成書の提示を求めることができるものとする。

（合意単価の公表）

３．発注者・受注者間で作成の上合意した単価合意書は、公表するものとする。

第６２条　現場技術員

本工事は、現場技術員の配置対象工事であり、現場技術業務を○○に委託(建設コンサルタント等に委託する予定と)している。

第６３条　施工体制調査員

本工事は、現場における施工体制の点検補助を建設コンサルタント等に委託する予定としている。

また、本工事の施工体制の点検を担当する施工体制調査員の氏名は、別途監督職員より通知する。

なお、施工体制調査員は、工事の情報共有システム（ＡＳＰ）により電子書類を閲覧し、点検を行うため、施工体制調査員を情報共有システム（ＡＳＰ）のユーザーに登録するものとする。(「閲覧のみ可能」で登録)

第６４条　施工体制の点検

１．受注者は「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」(平成 12 年法律第 127 号　最終改正令和 6 年 12 月 13 日)第 15 条 3 により発注者から施工体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。

２．施工体制の点検員は当該工事の監督職員、施工体制調査員及び発注担当事務所の職員である。

３．施工体制調査員は、業務証明書を携帯し、胸に委託業務名、委託先、業務職（施工体制調査員)、氏名、顔写真の入った名札を着用している。

４．当該工事の監督職員及び発注担当事務所の職員は、所属、氏名、顔写真の入った名札を着用している。

５．施工体制調査員は、施工体制の点検を行う者で、指示等の権限は有しない。

６.施工体制調査員は、電子書類の点検を工事の情報共有システム（ＡＳＰ）により「閲覧」し、点検する。

７．施工体制調査員は、第１回目の現地点検は現地で点検するが、以降の点検は、映像により点検が可能な項目は、必要に応じ、工事の受注者が導入しているＷＥＢ会議や遠隔臨場システムを活用し、点検することを可能とする。

ただし、立会や打合せ等においてＷＥＢ会議や遠隔臨場システムを導入していない工事や現地での点検を希望する工事は、従来通り、現地で点検する。

第６５条　品質証明

本工事は、品質証明対象工事とする。なお、提出様式は別紙様式－１２によるものとする。

第６６条　工事完成図書の納品

１．本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「工事完成図書の電子納品等要領(令和 8 年 2 月)：(以下「要領」という。)」に基づいて作成した電子データを指す。

「要領」で特に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する。

なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】(令和８年２月)」を参考とするものとする。

２．本工事は「オンライン電子納品実施要領」に基づき、オンライン電子納品を行うものとする。

オンライン電子納品は、発注者が用意した電子納品保管管理サーバへのオンラインによる納品を原則とする。

なお。オンラインによる納品が実施できない場合は、監督職員と協議の上、電子媒体に格納して納品するものとする。

３．成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

第６７条　検査書類限定型工事

１．本工事は、検査に必要な書類を限定し、監督職員と技術検査官の重複確認廃止の徹底及び受注者における説明用資料等の書類削減により効率化を図る「書類限定検査」の対象である。

２．書類限定検査とは、検査時に下記の１０書類に限定して資料検査を行うものとする。

①施工計画書	⑥出来形管理図表
②施工体制台帳（下請引取検査書類を含む。）	⑦品質管理図表
③工事打合せ簿（協議）	⑧品質規格証明資料
④工事打合せ簿（提出）	⑨品質証明書
⑤工事打合せ簿（承諾）	⑩工事写真

なお、以下の工事については対象外とする。

・「低入札価格対象工事」又は「監督体制強化工事」は対象外

・施工中、監督職員より文書等により改善指示が発出された工事は対象外

３．実施状況や改善点等を把握するためのアンケートに協力する。

第６８条　ウイルス対策

受注者は、電子納品時のみならず、監督職員に工事に関する事項について電子データを提出する際には、ウイルス対策を実施した上で提出しなければならない。また、ウイルスチェックソフトは常に最新データに更新（アップデート）しなければならない。

第６９条　一般的義務

１．受注者は、道路を常時良好に管理し、安全かつ円滑な交通を確保することに努めなければならない。

２．受注者は、台風・豪雨・降雪その他天災に対しては、平素から天気予報等について十分注意を払い、常に対処できる準備をしておかなければならない。

第　２　章　　個人情報の取扱について

第７０条　基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務を処理するための個人情報の取扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号）第 66 条第２項第１号の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない。

第７１条　秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第７２条　取得の制限

受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的

の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得しなければならない。

第７３条　利用及び提供の制限

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための利用目的以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

第７４条　複写等の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するために発注者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

第７５条　再委託の禁止

受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための個人情報については自ら取り扱うものとし、第三者にその取り扱いを伴う事務を再委託してはならない。なお、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）には、受注者は当該第三者に対して、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号）第 66 条第２項第４号に基づく個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じさせなければならない。

第７６条　事案発生時における報告

受注者は、個人情報の漏えい等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第７７条　資料等の返却等

１．受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から貸与され、又は受注者が収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、この契約の終了後又は解除後速やかに発注者に返却し、又は引き渡さなければならない。ただし、発注者が、廃棄又は消去など別の方法を指示したときは、当該指示に従うものとする。なお、発注者の指示又は承諾により個人情報が記録された資料等を複写等した場合には、確実にそれらを廃棄又は消去するとともに、証明書（別紙－２）を発注者に提出しなければならない。

２．前項の規定は、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴

う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）において準用する。

第７８条　管理の確認等

発注者は、受注者における個人情報の管理の状況について適時確認することができる。また、発注者は必要と認めるときは、受注者に対し個人情報の取り扱い状況について報告を求め、又は検査することができる。

第７９条　管理体制の整備

受注者は、この契約による事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定するなど管理体制を定めなければならない。

第８０条　従事者への周知

受注者は、従事者に対し、在職中及び退職後においてもこの契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならないことなど、個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

第　３　章　　一般施工

第８１条　一般事項

１．工事着手前に工事区域内及びその周辺について状況調査を実施し、現状を十分把握するものとする。

２．各工種における施工時間については、本特記仕様書「施工時期及び施工時間」を標準とするが、作業工程において周辺地域の状況と施工法を合わせて検討し、深夜（１時以降）の時間帯について比較的音の大きい作業は行わないよう配慮すること。

なお、前記配慮に伴い、各工種の作業時間帯に制約を伴う場合は、監督職員と協議すること。

第８２条　仮設工

本工事の仮設にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、細部構造等については受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し、施工するものとする。

なお、現地条件等に変更が生じた場合には、監督職員と協議のうえ、設計変更の対象とする。

第　４　章　　舗装

第８３条　橋面防水工

１．プライマーは瀝青ゴム系接着剤とし、塗布量は 0.4L/m2 を標準とする。

目地材の試験は舗装調査・試験法便覧に準ずる。目地材料は使用以前に品質を証明する資料を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。

２．防水工の材料は、塗膜系防水剤とし一般事項、試験及び施工方法等については「道路橋床版防水便覧」（平成 19 年 3 月日本道路協会）によるものとする。

３．塗膜系防水材の標準的な品質は下表のとおりとする。

+項目	標準値	試験方法
厚さ　　mm	1.0～1.5	
針入度（円錐針）　mm	1~5	舗装試験法便覧 4-12-2
軟化点　　℃	80 以上	JIS K 2207
引張強さ　　（23℃）N/mm2	0.35 以上	JIS A 6021
破断時の伸び率　％	300 以上	JIS A 6021
耐アルカリ性　　（23℃）	異常のないこと	JIS K 5600-6-1
耐塩水性　　（23℃）	異常のないこと	JIS K 5600-6-1

３．接着層に用いる接着材の標準的な品質は下表のとおりとする。

種類／項目	溶剤型		水性型	試験方法
	コンクリート床版用	鋼床版用		
指触乾燥時間（23℃）分	60 分以内	60 分以内	180 分以内	JIS K 5600-1-1※１
不揮発性　％	20 以上	50 以上	35 以上	JIS K 6833※２
作業性	塗り作業に支障のないこと			JIS K 5600-1-1※１
耐水性	５日間で異常のないこと			JIS K 5600-6-1※１

注：※１　適用する床版の種類に応じた下地材を使用する。

注：※２　試験方法は、JIS K 6833、JIS K 6387 などを参考に実施する。

第８４条　既設橋面防水

橋面防水工における既設防水層撤去については、当初数量を計上していない。これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第８５条　一般瀝青材料

ストレートアスファルトの針入度は下表のとおりとする。

用途	針入度	摘要
基層・表層	４０～６０	

第８６条　加熱アスファルト混合物

１．受注者は、本工事に使用する加熱アスファルト混合物(以下「混合物」という。)で、アスファルト混合物事前審査の認定を受けた混合所の混合物を使用する場合は、「アスファルト混合物事前審査における土木工事仕様書」及び「アスファルト混合物事前審査における品質管理基準」によるものとする。

２．加熱アスファルト混合物の示方アスファルト量及び骨材の最大粒径は、下記のとおりとする。

呼び名	混合物の種類	最大粒径 (㎜)	ｱｽﾌｧﾙﾄ量 (%)	摘要
ＲＡ③	再生細粒度 As	１３	５．５	表層（歩道部）

第　５　章　　道路修繕

第８７条　床版取替工における既設床版撤去について

台橋橋側歩道橋および梅ノ木橋側道橋における既設床版の撤去については、現地状況に合わせた施工方法が求められるため、当初計上していない。施工方法については、受発注者協議により決定するものとし、費用については設計変更の対象とする。

第８８条　床版取替工におけるコンクリート夜間単価について

台橋橋側歩道橋の床版取替工における新設コンクリートについては、夜間割り増しを当初設計では見込んでいない。契約後、必要に応じて設計変更の対象とする。

第８９条　橋梁工事における足場工の新技術活用促進について

本工事は、工事契約後に、受注者が現場状況を踏まえたうえで、従来型のパイプ足場にシステム足場等の新技術を加えて、コストのみでなく施工性、工期、安全対策の確実性などを総合的に比較検討したうえで、足場工法の選定を発注者に協議する。なお、比較検討の対象は必ずしも全ての箇所ではなく、現場条件を踏まえ効果的な箇所とすること。また、現場条件を踏まえ新技術の活用の効果が明らかに見込めない場合は、比較検討資料の作成等は不要とする。

足場工法は受発注者協議により決定するが、当初設計と異なる足場工法を選定する場合は設計変更の対象とする。

比較対象とする技術は、ＮＥＴＩＳ掲載技術を基本とするが、ＮＥＴＩＳ掲載終了技術やその他技術についても対象とすることを妨げない。

第９０条　工場塗装及び現場塗装

１．塗装の品質管理等については共通仕様書によるものとする。なお、疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

２．製作加工については、工場塗装（無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾌﾟﾗｲﾏｰ）までとする。

３．相模原市中央１丁目歩道橋、相模原市由野台２丁目歩道橋、台橋橋側歩道橋（下り）、梅ノ木橋側道橋における塗膜剥離は湿式塗膜剥離剤を用いた工法を見込んでいる。塗布回数は各橋梁で３回塗ることを想定している。

４．本工事における現場塗装については次表のとおりとする。なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

塗装箇所	塗装系	摘要
一般外面	Ｒｃ－Ⅱ	相模原市中央１丁目歩道橋、相模原市由野台２丁目歩道橋、台橋橋側歩道橋（下り）、梅ノ木橋側道橋
ボルト連結部	Ｆ－１１	相模原市中央１丁目歩道橋、相模原市由野台２丁目歩道橋
現場溶接部	Ｆ－１３	相模原市中央１丁目歩道橋、相模原市由野台２丁目歩道橋

Ｒｃ－Ⅱ塗装系

塗装工程	塗料名	標準膜厚（μｍ）	使用量（g/m2）
素地調整	素地調整２種	－	－
防食下地	有機ジンクリッチペイント	30	600
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	60	200
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	60	200
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	30	140
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	25	120

錆転換型塗装系

塗装工程	塗料名	標準膜厚（μｍ）	使用量（g/m2）
素地調整	素地調整３種	－	－
洗浄	錆転換型塗装脱脂洗浄剤	－	－

下塗	錆転換型塗装下塗剤	70	200
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	30	140
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	25	120

４．現場塗装においては、はけ・ローラー塗装とするが、これにより難い場合は監督職員と協議するものとする。

５．色調は淡彩色とし、色彩の決定にあたっては、監督職員と協議するものとする。

６．塗膜剥離に伴う暴露防止対策に関する費用は当初設計においては見込んでいない。契約後、必要に応じて設計変更の対象とする。

７．上記の協議に伴い、変更となる場合は設計変更の対象とする。

第　６　章　　その他

第９１条　道路施設基本データの作成

本工事完成時には、以下に示す『道路施設基本データ』を作成し、監督職員に提出するものとする。ただし、本工事に該当しない施設の基本データは作成しないものとする。

なお、完成後でも、発注者は受注者に対して、『道路施設基本データ』の内容について、説明を求めることがある。

１．道路施設基本データの種類

区分	施設番号	施設名	区分	施設番号	施設名
道路構造	C020	縦断勾配	付属物および付属施設	E060	道路情報板
	C030	平面線形		E070	交通遮断機
	C050	舗装		E080	Ｉ．Ｔ．Ｖ
	C060	道路交差点		E090	車両感知器
	C070	鉄道交差点		E100	車両諸元計測施設
	C080	歩道及び自転車歩行車道		E110	気象観測施設
	C090	独立専用自歩道		E120	災害予知装置
	C100	中央帯		E130	自動車駐車場等
	C110	環境施設帯		E140	自転車駐車場
構造物	D010	橋梁		E150	雪崩防止施設
	D020	橋側歩道橋		E160	落石防止施設
	D030	横断歩道橋		E170	消雪パイプ
	D040	トンネル		E180	ロードヒーティング
	D050	洞門		E190	除雪ステーション
	D060	スノーシェッド		E200	防災備蓄
	D070	地下横断歩道		E210	共同溝
	D080	道路ＢＯＸ等		E220	ＣＡＢ電線共同溝
	D090	横断ＢＯＸ等		E230	植栽
	D100	パイプカルバート		E240	遮音施設
	D120	擁壁		E250	遮光フェンス
	D130	スノーシェルター		E270	流雪溝
	E010	防護柵		E310	防雪林
	E020	道路照明		E320	路側放送
	E030	視線誘導標（反射式）		E330	光ケーブル施設
	E040	視線誘導標（自光式）		E340	道路反射鏡
	E050	道路標識		E350	ビーコン

２．道路施設基本データの作成は、別に定める『道路管理データベースデータ作成マニュアル（案)』によるものとする。

３．道路施設基本データは、『道路施設基本データ作成システム』で作成する。

４．道路施設基本データ作成にあたって工事番号は、ＣＯＲＩＮＳ登録時の「工事契約コード番号」とする。

５．道路施設基本データに係わる以下のものを電子データにて提出すること。

①道路施設台帳作成総括表

②道路施設基本データ総括表

③道路施設基本データ一覧表

④道路施設台帳チェックシート

⑤「道路工事完成図等チェックプログラム」によるチェック結果

⑥「電子納品チェックプログラム」によるチェック結果

⑦工事数量総括表

第９２条　道路橋維持管理資料の作成

１．本工事において施工した橋梁について、施工に関する記録などを保存するため「道路橋関連資料の保存要領（案）」に基づき電子媒体を作成し、監督職員に提出すること。

２．本工事において作成する資料の対象は、「道路橋関連資料の保存要領（案）」に基づき監督職員の指示によるものとする。

なお、作成に要する費用については、当初は計上していないため、設計変更の対象とする。

第９３条　全国道路施設点検データベース（道路橋）への登録について

１．受注者は、必要に応じ管理運営団体の定める方法によりユーザー登録を行った上で、施工結果等のデータを、全国道路施設点検データベース（道路橋）（以下「点検 DB（道路橋）」）に登録する。

登録するデータは以下の通りとし、事前に監督職員と協議しなければならない。

登録するデータに係る権利は、第９２条に定めるとおりとする。なお、点検 DB（道路橋）の管理運営団体に支払う登録料については設計変更の対象とする。

【全国道路施設点検データベース（道路橋）への登録データ】

「道路管理データベース データ作成マニュアル（案）」の対象工事に関するデータ

・点検 DB（道路橋）で扱う「道路管理データベース　データ作成マニュアル（案）」対象項目

橋梁基本（D010）、橋梁幅員構成（D011）、橋梁高欄防護柵（D012）、橋梁交差状況（D013）、橋梁添架物（D014）、橋梁上部工（D015）、橋梁下部工（D016）、橋梁径間（D017）、橋梁図面類（D018）、橋梁塗装歴（D019）

２．受注者は、状況写真や地形図を含む一般図などの画像データ等において、個人情報が表示されないよう加工を施したものを使用するとともに、点検 DB（道路橋）へ登録するデータに個人情報が含まれないことを確認しなければならない。また、登録するデータに個人情報が含まれないことを確認する手法について施工計画書に明記し、個人情報が含まれないことを確認した書類として「別紙－７」に示すチェックリストを提出すること。

なお、受注者と発注者の双方がチェックリストにより、個人情報が含まれないことを確認した後でなければ、データ登録を行ってはならない。

第９４条　登録するデータに係る権利について（道路橋）

１．本工事の成果として点検 DB（道路橋）へ登録されるデータ及びこれに係る特許、実用新案登録、意匠登録等を受ける権利及び当該権利に基づき取得する産業財産

権並びに著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に定める権利を含む。）その他の知的財産権（ノウハウ等に関する権利を含む。）は、すべて登録・確定と同時に発注者に帰属する。

２．点検 DB（道路橋）へ登録されるデータに係る知的財産権のうち、受注者又は第三者が従前から保有していた知的財産権が含まれる場合、受注者は、発注者、発注者が指定する者及び点検 DB（道路橋）を利用する者（以下「発注者等」という。）に対し、当該知的財産権の利用を許諾し、又は許諾させるものとする。

３．受注者は、自ら（受注者に所属する者を含む。）又は第三者をして、発注者等に対し、点検 DB（道路橋）へ登録されるデータを構成する著作物に係る著作者人格権を行使せず又は行使させない。

４．前三項の場合において、受注者は、発注者に知的財産権を帰属させ若しくは発注者が適法に知的財産権を行使するため、又は発注者等による点検 DB（道路橋）の運用及び利用のために必要となる一切の手続（第三者からの許諾取得を含む。）を履践するものとする。

５．発注者及び受注者は、前四項に定める権利の帰属及び不行使並びに手続履践の対価が委託料に含まれることを相互に確認する。

６．受注者は、点検 DB（道路橋）へ登録されるデータが知的財産権を含む第三者の権利を侵害しないことを表明及び保証し、受注者がかかる表明保証に違反したことにより発注者が第三者から訴訟を提起され又は権利を主張される等の紛争が生じた場合には当該紛争の解決に協力するとともに、発注者に生じた損害、損失及び費用（合理的な範囲の弁護士費用を含む。）について、発注者に対してこれを補償するものとする。

第９５条　震災対策

１．地震発生等の天災に備えて、あらかじめその対応策を定めておくものとする。

２．地震注意情報等が発令された場合は、直ちに工事を中断し、その情報に応じた適切な保全措置等を講ずるものとする。

第９６条　地震発生後の建設現場の点検について

地震発生後の建設工事現場の点検実施及び報告時期については、以下によることとする。

①気象庁地震計で震度４の地震が発生した場合。

イ）現場稼働日（開庁日）の夜間に発生した場合には、翌現場稼働日（開庁日）の始業時に点検。異常があった場合は直ちに監督職員に報告。異常が無い場合は、開庁日に速やかに監督職員へ報告。

ロ）現場休工日（閉庁日）に発生した場合には、翌現場稼働日（開庁日）の始業

時に点検。異常があった場合は直ちに監督職員に報告。異常が無い場合は、開庁日に速やかに監督職員へ報告。

※開庁日に現場が休工であった場合は開庁日を優先して判断し建設工事現場の点検を行うこと。

②気象庁地震計で震度５弱以上の地震が発生した場合。

夜間・現場休工日（休祭日）に関わらず直ちに点検。点検結果については、速やかに監督職員へ報告。

第９７条　「問合せ番号」及び「路上規制情報システム」

受注者は「路上規制情報艇挙システム」への入力を行うものとし、別途監督職員が通知する「問合せ番号」を工事情報看板及び工事説明看板に提示するものとする。

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第９８条　工事現場における説明性の向上

受注者は、事業名、事業の目的・内容・効果、工事名、工事内容、連絡先を記した工事説明書を作成し、近隣住民等から事業内容等の説明を求められた場合は、工事の安全確保に支障のない範囲において、当該工事説明書を配布する等、工事現場の説明性の向上を図るものとする。

また、受注者は、工事現場作業員に対し、工事内容及び事業目的・効果を周知するものとする。

別紙－１

明示項目及び明示事項

明示項目	明示事項	記載条項
工程関係	□ 他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工事等に影響がある場合は、影響箇所及び他の工事の内容、開始又は完了の時期。 ■ 施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合は、制限される施工内容、施工時期、施工時間及び施工方法。 □ 当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合は、制約を受ける内容及びその協議内容、成立見込み時期。 □ 関係機関、自治体等との協議の結果、特定された条件が付され当該工事の工程に影響がある場合は、その項目及び影響範囲。 ■ 余裕工期を設定して発注する工事については、工事の着手時期。 □ 工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合は、その項目及び調査期間。又、地下埋設物等の移設が予定されている場合は、その移設期間。 ■ 設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数。	第４９条 第４８条 第４８条
用地関係	□ 工事用地等に未処理部分がある場合は、その場所、範囲及び処理の見込み時期。 □ 工事用地等の使用終了後における復旧内容。 □ 工事用仮設道路・資機材置き場用の借地をさせる場合、その場所、範囲、時期、期間、使用条件、復旧方法等。 □ 施工者に、消波ブロック、桁製作等の仮設ヤードとして官有地等及び発注者が借り上げた土地を使用させる場合は、その場所、範囲、時期、期間、使用条件、復旧方法等。	
公害関係	■ 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等を指定する必要がある場合は、その内容。 □ 水替・流入防止施設が必要な場合は、その内容、期間。 □ 濁水、湧水等の処理で特別の対策を必要とする場合は、その内容（処理施設、処理条件等）。 □ 工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等、電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合は、事前・事後調査の区分とその調査時期、未然に防止するために必要な調査方法、範囲等。	第４１条
安全対策関係	■ 交通安全施設等を指定する場合は、その内容、期間。 □ 鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事での施工方法、作業時間等に制限がある場合は、その内容。 □ 落石、雪崩、土砂崩落等に対する防護施設が必要な場合は、その内容。 ■ 交通誘導員、警戒船及び発破作業等の保全設備、保安要員の配置を指定する場合又は発破作業等に制限がある場合は、その内容。 □ 有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として、換気設備等が必要な場合は、その内容。	第３３条 第３６条
工事用道路関係	一般道路を搬入路として使用する場合 □ 工事用資機材等の搬入経路、使用期間、使用時間帯等に制限がある場合は、その経路、期間、時間帯等。 □ 搬入路の使用中及び使用後の処置が必要である場合は、その処置内容。 仮道路を設置する場合。 □ 仮道路に関する安全施設等が必要である場合は、その内容、期間。 □ 仮道路の工事終了後の処置（存置又は撤去）。 □ 仮道路の維持補修が必要である場合は、その内容。	
仮設備関係	□ 仮土留、仮橋、足場等の仮設物を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合は、その内容、期間、条件等。 □仮設備の構造及びその施工方法を指定する場合は、その構造及びその施工方法 □仮設備の設計条件を指定する場合は、その内容。	

明示項目	明示事項	記載条項
建設副産物関係	□ 建設発生土が発生する場合は、残土の受入場所及び仮置き場所までの距離、時間等の処分及び保管条件。 □ 建設副産物の現場内での再利用及び減量化が必要な場合は、その内容。 ■ 建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合は、その処理方法、処理場等の処理条件。 なお、再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合は、その受入場所、距離、時間等の処分条件。	第２５条
工事支障物件等	□ 地上、地下等の占用物件の有無及び占用物件等で工事支障物が存在する場合は、支障物件名、管理者、位置、移設時期、工事方法、防護等。 □ 地上、地下等の占用物件工事と重複して施工する場合は、その工事内容及び期間等。	
薬液注入関係	□ 薬液注入を行う場合は、設計条件、工法区分、材料種類、施工範囲、削孔数量、削孔延長及び注入量、注入圧等。 □ 周辺環境への調査が必要な場合は、その内容。	
その他	□ 工事用資機材の保管及び仮置きが必要である場合は、その保管及び仮置き場所、期間、保管方法等。 ■ 工事現場発生品がある場合は、その品名、数量、現場内での再使用の有無、引き渡し場所等。 □ 支給材料及び貸与品がある場合は、その品名、数量、品質、規格又は性能、引渡場所、引渡期間等。 □ 関係機関・自治体等との近接協議に係る条件等その内容。 □ 架設工法を指定する場合は、その施工方法及び施工条件。 □ 工事用電力等を指定する場合は、その内容。 □ 新技術・新工法・特許工法を指定する場合は、その内容。 □ 部分使用を行う必要がある場合は、その箇所及び使用時期。 □ 給水の必要のある場合は、取水箇所・方法等。	第２４条

別紙－５

概略工事工程表

工事名 ： R8相武国道事務所管内橋梁補修工事

工種		単位	数量	令和8年度 9月	10月	11月	12月	令和9年度 1月	2月	3月	備考
準備		式	1								・60日間
相模原市中央1丁目歩道橋	仮設工(足場設置)	式	1								・夜間(1pt)
	舗装工	式	1								・昼間(1pt)
	橋梁付属物工	式	1								・昼間(1pt)
		式	1								・昼間(1pt)
	現場塗装工	式	1								・昼間(1pt)
	構造物撤去工	式	1								・昼間(1pt)
	仮設工(足場撤去)	式	1								・夜間(1pt)
相模原市由野台2丁目歩道橋	仮設工(足場設置)	式	1								・夜間(1pt)
	舗装工	式	1								・昼間(1pt)
	橋梁付属物工	式	1								・昼間(1pt)
		式	1								・昼間(1pt)
	現場塗装工	式	1								・昼間(1pt)
	構造物撤去工	式	1								・昼間(1pt)
	仮設工(足場撤去)	式	1								・夜間(1pt)
台橋橋側歩道橋(下り)	仮設工(足場設置)	式	1								・夜間(1pt)
	舗装工	式	1								・昼間(1pt)
	橋梁床版工	式	1								・昼間(1pt)・夜間(1pt)
		式	1								・昼間(1pt)
	現場塗装工	式	1								・昼間(1pt)
	構造物撤去工	式	1								・夜間(1pt)
	仮設工(足場撤去)	式	1								・夜間(1pt)
梅ノ木橋側道橋(梅ノ木歩道橋)	仮設工(足場設置)	式	1								・夜間(1pt)
	舗装工	式	1								・昼間(1pt)
	橋梁床版工	式	1								・昼間(1pt)・夜間(1pt)
		式	1								・昼間(1pt)
	現場塗装工	式	1								・昼間(1pt)
	構造物撤去工	式	1								・夜間(1pt)
	仮設工(足場撤去)	式	1								・夜間(1pt)
後片付け		式	1								・20日間
制約条件	関係機関協議	―									・所轄警察協議（施工届け）
	住民合意	―									
	用地確保	―									
	法定手続き	―									
	支障物件の移設	―									
	年末年始、お盆	―									・12月下旬～1月上旬
	出水期間	―									・6月～10月
	路上工事抑制	―									・3月

余裕期間 ※任意で設定可能

《余裕期間制度(フレックス)の活用について》

本工事は、受注者の円滑な工事施行体制の確保を図るため、事前に建築資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者があらかじめ設定した全体工期(余裕期間と工期を合わせた期間)の内で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。
なお、工事の始期までの余裕期間は、監理技術者等の配置が不要となります。
工事着手にあたっての関係機関協議について、施工計画書を基とした協議資料作成は受注者が行い、協議は発注者が主体となって実施します。

工　事　数　量　総　括　表

工 事 名　　Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事

国土交通省 関東地方整備局
相武国道事務所　管理第二課

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
橋梁保全工事 (中央1丁目歩道橋)		式		1		
舗装工		式		1		
橋面防水工		式		1		
橋面防水	塗膜系防水	m2		122		
舗装打換え工		式		1		
舗装撤去 (1)橋面部	ｱｽﾌｧﾙﾄﾌﾞﾛｯｸ舗装+ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 平均厚t=42.5mm	m2		60		
舗装撤去 (2)階段部	ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ+ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ t=50mm	m2		62		
調整ﾓﾙﾀﾙ (1)橋面部	平均厚t=39.7mm	m2		60		
調整ﾓﾙﾀﾙ (2)階段部	平均厚t=40mm	m2		62		
薄層ｶﾗｰ舗装工		式		1		
薄層ｶﾗｰ舗装 (1)橋面部	可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ t=10mm	m2		60		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
薄層ｶﾗｰ舗装 (2)階段部	可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ t=10mm	m2		62		
橋梁付属物工		式		1		
排水施設工		式		1		
排水樋撤去		箇所		2		
排水管撤去 (1)	集水桝流末管 SGP80A	m		1		
排水管撤去 (2)	VU75、VU100	m		10		
排水管	VP管	m		17		
現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	m2		0.1		
現場塗装 (2)	F-13系	m2		0.1		
橋梁用高欄工		式		1		
現場孔明	φ15	本		120		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
高欄嵩上	STKR400	m		31		
現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	m2		1		
現場塗装 (3)	F-11系	m2		1		
橋梁補修工		式		1		
ひび割れ補修工		式		1		
充てん工法	20m以下 可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂	構造物		1		
断面修復工		式		1		
左官工法	0.1m3以下 無収縮ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 鉄筋ｹﾚﾝ・鉄筋防錆処理有	構造物		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ殻積込・運搬(断面修復工)		m3		0.09		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		0.09		
当て板補修工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
当て板補修	SM400A	箇所		8		
金属ﾊﾟﾃ充填	常温硬化型金属粉含有ｴﾎﾟｷｼ樹脂	箇所		12		
FRPｼｰﾄ補修	紫外線硬化型FRPｼｰﾄ	m2		0.08		
現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	m2		0.9		
現場塗装 (2)	F-13系	m2		0.9		
橋面止水工		式		1		
止水	ｼｰﾙ材 △20×20mm	m		352		
伸縮部止水	ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材+ｼｰﾙ材 W=20mm	m		8		
ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ設置工		式		1		
ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ設置	M22 塩化ﾋﾞﾆﾙ製	個		16		
現場塗装工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
塗膜除去工		式		1		
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	湿式塗膜剥離剤 0.5kg/m2 塗布回数3回	m2		440		
廃材の回収・積込		m2		440		
橋梁塗装工 (Rc-Ⅱ系)		式		1		
清掃･水洗い		m2		440		
素地調整	2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	m2		440		
防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(1層) はけ･ﾛｰﾗｰ 塗装回数 2回	m2		440		
下塗	弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層)はけ･ﾛｰﾗｰ 塗装回数 1回	m2		440		
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2		440		
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2		440		
構造物撤去工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
運搬処理工		式		1		
殻運搬 (1)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		2		
殻運搬 (2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		4		
殻処分 (1)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3		2		
殻処分 (2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		4		
現場発生品運搬	排水施設	式		1		
仮設工		式		1		
足場工 (夜間)		式		1		
足場	枠組足場	式		1		
養生ｼｰﾄ	湿式塗膜剥離剤工法用	式		1		
交通管理工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
交通誘導警備員 (1)	交通誘導警備員A	式		1		
交通誘導警備員 (2)	交通誘導警備員B	式		1		
交通管理工 (夜間)		式		1		
交通誘導警備員 (3)	交通誘導警備員A	式		1		
交通誘導警備員 (4)	交通誘導警備員B	式		1		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
技術管理費		式		1		
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
橋梁保全工事 (由野台2丁目歩道橋)		式		1		
舗装工		式		1		
橋面防水工		式		1		
橋面防水	塗膜系防水	m2		63		
舗装打換え工		式		1		
舗装撤去 (1)橋面部	樹脂ﾓﾙﾀﾙ舗装+ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 平均厚t=42.5mm	m2		32		
舗装撤去 (2)階段部	ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ+ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ t=50mm	m2		31		
調整ﾓﾙﾀﾙ (1)橋面部	平均厚t=39.7mm	m2		32		
調整ﾓﾙﾀﾙ (2)階段部	平均厚t=40mm	m2		31		
薄層ｶﾗｰ舗装工		式		1		
薄層ｶﾗｰ舗装 (1)橋面部	可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ t=10mm	m2		32		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事	（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
薄層ｶﾗｰ舗装 (2)階段部	可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ t=10mm	m2		31		
橋梁付属物工		式		1		
排水施設工		式		1		
排水樋撤去		箇所		2		
排水管撤去 (1)	集水桝流末管 SGP80A	m		1		
排水管撤去 (2)	VU75、VU100	m		9		
排水管	VP管	m		17		
現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	m2		0.1		
現場塗装 (2)	F-13系	m2		0.1		
橋梁用高欄工		式		1		
現場孔明	φ15	本		80		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
高欄嵩上	STKR400	m		20		
現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	m2		0.7		
現場塗装 (3)	F-11系	m2		0.8		
橋梁補修工		式		1		
ひび割れ補修工		式		1		
充てん工法	20m以下 可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂	構造物		1		
断面修復工		式		1		
左官工法	0.1m3以下 無収縮ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 鉄筋ｹﾚﾝ・鉄筋防錆処理有	構造物		1		
ｺﾝｸﾘｰﾄ殻積込・運搬(断面修復工)		m3		0.02		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		0.02		
当て板補修工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
当て板補修	SM400A	箇所		8		
金属ﾊﾟﾃ充填	常温硬化型金属粉含有ｴﾎﾟｷｼ樹脂	箇所		13		
FRPｼｰﾄ補修	紫外線硬化型FRPｼｰﾄ	m2		0.1		
現場塗装 (1)	2種ｹﾚﾝ	m2		1		
現場塗装 (2)	F-13系	m2		1		
橋面止水工		式		1		
止水	ｼｰﾙ材 △20×20mm	m		182		
伸縮部止水	ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材+ｼｰﾙ材 W=20mm	m		4		
ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ設置工		式		1		
ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ設置	M22 塩化ﾋﾞﾆﾙ製	個		8		
現場塗装工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
塗膜除去工		式		1		
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	湿式塗膜剥離剤 0.5kg/m2 塗布回数3回	m2		220		
廃材の回収・積込		m2		220		
橋梁塗装工 (Rc-Ⅱ系)		式		1		
清掃･水洗い		m2		220		
素地調整	2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	m2		220		
防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(1層) はけ･ﾛｰﾗｰ 塗装回数 2回	m2		220		
下塗	弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層)はけ･ﾛｰﾗｰ 塗装回数 1回	m2		220		
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2		220		
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2		220		
張紙防止塗装工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
張紙防止塗装	ｸﾘﾔｰ	m2		8		
構造物撤去工		式		1		
運搬処理工		式		1		
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		3		
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		3		
現場発生品運搬	排水施設	式		1		
仮設工		式		1		
足場工 (夜間)		式		1		
足場	枠組足場	式		1		
養生ｼｰﾄ	湿式塗膜剥離剤工法用	式		1		
交通管理工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
交通誘導警備員 (1)	交通誘導警備員A	式		1		
交通誘導警備員 (2)	交通誘導警備員B	式		1		
交通管理工 (夜間)		式		1		
交通誘導警備員 (3)	交通誘導警備員A	式		1		
交通誘導警備員 (4)	交通誘導警備員B	式		1		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
橋梁保全工事 (梅ノ木橋側道橋)		式		1		
舗装工		式		1		
橋面防水工		式		1		
橋面防水	塗膜系防水	m2		22		
舗装打換え工		式		1		
表層	再生細粒度ｱｽｺﾝ(13) 平均舗装厚 45mm 1.4m以上	m2		22		
橋梁床版工		式		1		
床版取替工		式		1		
鋼製高欄取替 (夜間)	橋梁用高欄(組立式)	m		27		
床版架設 (夜間)	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版 t=8cm	m2		28		
橋梁付属物工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
伸縮継手工		式		1		
鋼･ｺﾞﾑ製伸縮装置	軽量型 1車線相当 樹脂系伸縮装置	m		7.6		
殻運搬 (1)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		0.1		
殻処分 (1)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		0.1		
落橋防止装置工		式		1		
芯出し調整 (1)	鋼材面用	m2		0.4		
芯出し調整 (2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面用	m2		0.7		
現場孔明		本		16		
部材取付 (1)	下部工取付ﾌﾟﾚｰﾄ、主桁補強材	部材		4		
部材取付 (2)	上部工取付ﾌﾟﾚｰﾄ	部材		2		
削孔	削孔径 32mm 削孔深さ 340mm	孔		8		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ｱﾝｶｰ(落橋防止)	SD345 D22×410(M18用 2N,1W) ﾈｼﾞ切り部溶融亜鉛めっき	本		8		
下地処理	下部工ﾌﾞﾗｹｯﾄ背面部	m2		0.7		
落橋防止装置取付 (1)	下部工ﾌﾞﾗｹｯﾄ	組		2		
落橋防止装置取付 (2)	水平力分担構造	組		2		
現場塗装 (1)	素地調整 2種ｹﾚﾝ	m2		0.3		
現場塗装 (2)	F-11系	m2		0.3		
殻運搬 (2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		0.002		
殻処分 (2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3		0.002		
排水施設工		式		1		
排水管	VP管	m		2		
地覆工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
場所打地覆	24-12-25(20)(普通)	m		27		
現場塗装工		式		1		
塗膜除去工		式		1		
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	湿式塗膜剥離剤 0.5kg/m2 塗布回数3回	m2		54		
廃材の回収・積込		m2		54		
橋梁塗装工 (Rc-Ⅱ)		式		1		
清掃･水洗い		m2		54		
素地調整	2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	m2		54		
防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(1層) はけ･ﾛｰﾗｰ 塗装回数 2回	m2		54		
下塗	弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層)はけ･ﾛｰﾗｰ 塗装回数 1回	m2		54		
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2		54		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2		54		
構造物撤去工		式		1		
運搬処理工 (夜間)		式		1		
現場発生品運搬	高欄	式		1		
仮設工		式		1		
足場工 (夜間)		式		1		
足場	吊足場	式		1		
養生ｼｰﾄ	湿式塗膜剥離剤工法用	式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員 (1)	交通誘導警備員A	式		1		
交通誘導警備員 (2)	交通誘導警備員B	式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
交通管理工 (夜間)		式		1		
交通誘導警備員 (3)	交通誘導警備員A	式		1		
交通誘導警備員 (4)	交通誘導警備員B	式		1		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費		式		1		
技術管理費		式		1		
鉄筋探査費	RCﾚｰﾀﾞ 横向き	式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
橋梁保全工事 (台橋橋側歩道橋)		式		1		
舗装工		式		1		
橋面防水工		式		1		
橋面防水	塗膜系防水	m2		13		
舗装打換え工		式		1		
表層	再生細粒度ｱｽｺﾝ(13) 平均舗装厚 48mm 1.4m未満	m2		13		
橋梁床版工		式		1		
床版取替工		式		1		
防護柵取替 (夜間)	橋梁用高欄(組立式)	m		9		
横断・転落防止柵 (夜間)	H=0.8m 撤去･再設置	m		11		
床版架設 (夜間)	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ床版 t=10cm	m2		14		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(普通) 一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増無	m3		0.7		
目地板	瀝青繊維質目地板t=20	m2		0.3		
橋梁付属物工		式		1		
排水施設工		式		1		
床版水抜きﾊﾟｲﾌﾟ	φ50	箇所		2		
地覆工		式		1		
場所打地覆	24-12-25(20)(普通)	m		9		
現場塗装工		式		1		
塗膜除去工		式		1		
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	湿式塗膜剥離剤 0.5kg/m2 塗布回数3回	m2		28		
廃材の回収・積込		m2		28		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
橋梁塗装工 (Rc-Ⅱ)		式		1		
清掃･水洗い		m2		28		
素地調整	2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	m2		28		
防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(1層) はけ･ﾛｰﾗｰ 塗装回数 2回	m2		28		
下塗	弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層)はけ･ﾛｰﾗｰ 塗装回数 1回	m2		28		
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2		28		
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ･ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2		28		
構造物撤去工		式		1		
運搬処理工 (夜間)		式		1		
現場発生品運搬	防護柵	式		1		
仮設工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
足場工 (夜間)		式		1		
足場	吊足場	式		1		
養生ｼｰﾄ	湿式塗膜剥離剤工法用	式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員 (1)	交通誘導警備員A	式		1		
交通誘導警備員 (2)	交通誘導警備員B	式		1		
交通管理工 (夜間)		式		1		
交通誘導警備員 (3)	交通誘導警備員A	式		1		
交通誘導警備員 (4)	交通誘導警備員B	式		1		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		

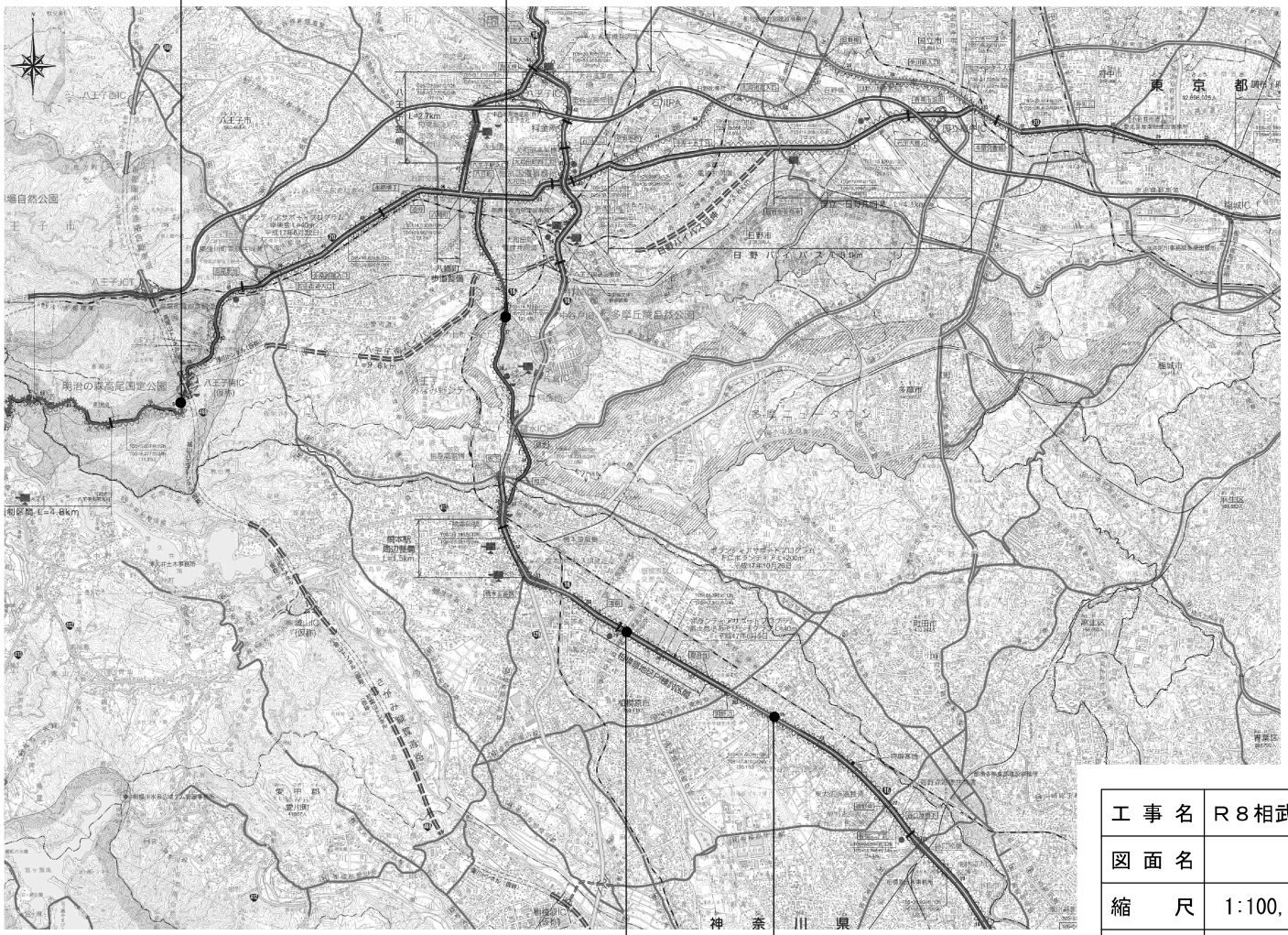
工事数量総括表

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
共通仮設費		式		1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		

位　置　図　S=1:100,000

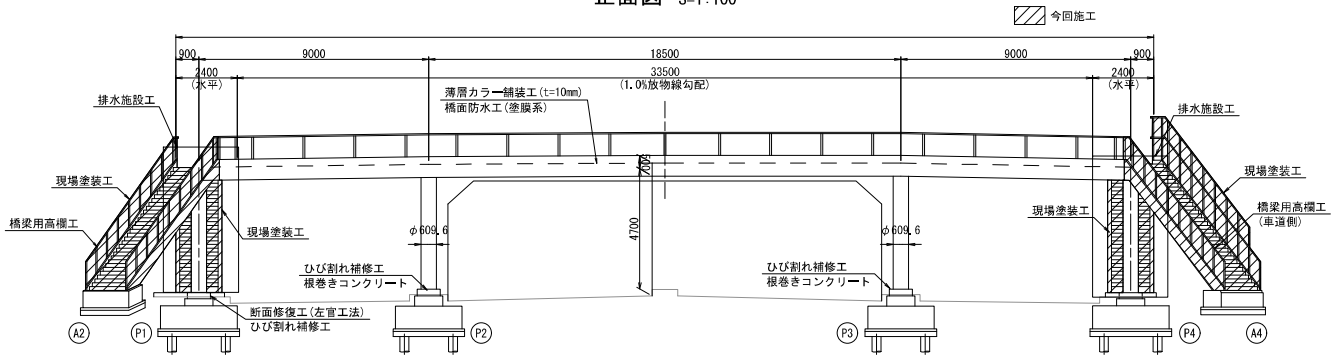
一般国道16・20号平面図



工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事										
図面名	位　置　図										
縮尺	1:100,000	図面番号	62 の 1								
年月日	令和 8 年 6 月　日										
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社 大日本ダイヤコンサルタント株式会社										
所長		副所長		課長		建設専門官		係長		設計	
事務所名	国土交通省 相武国道事務所										

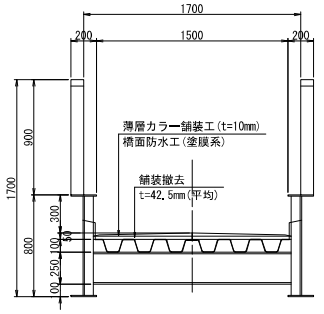
相模原市中央1丁目歩道橋 補修一般図(1)

正面図 S=1:100

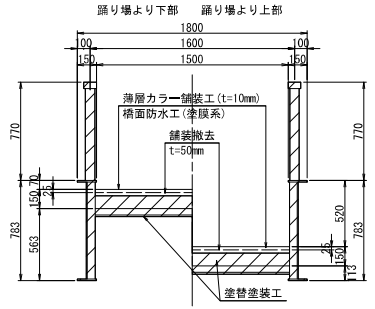


標準断面図 S=1:20

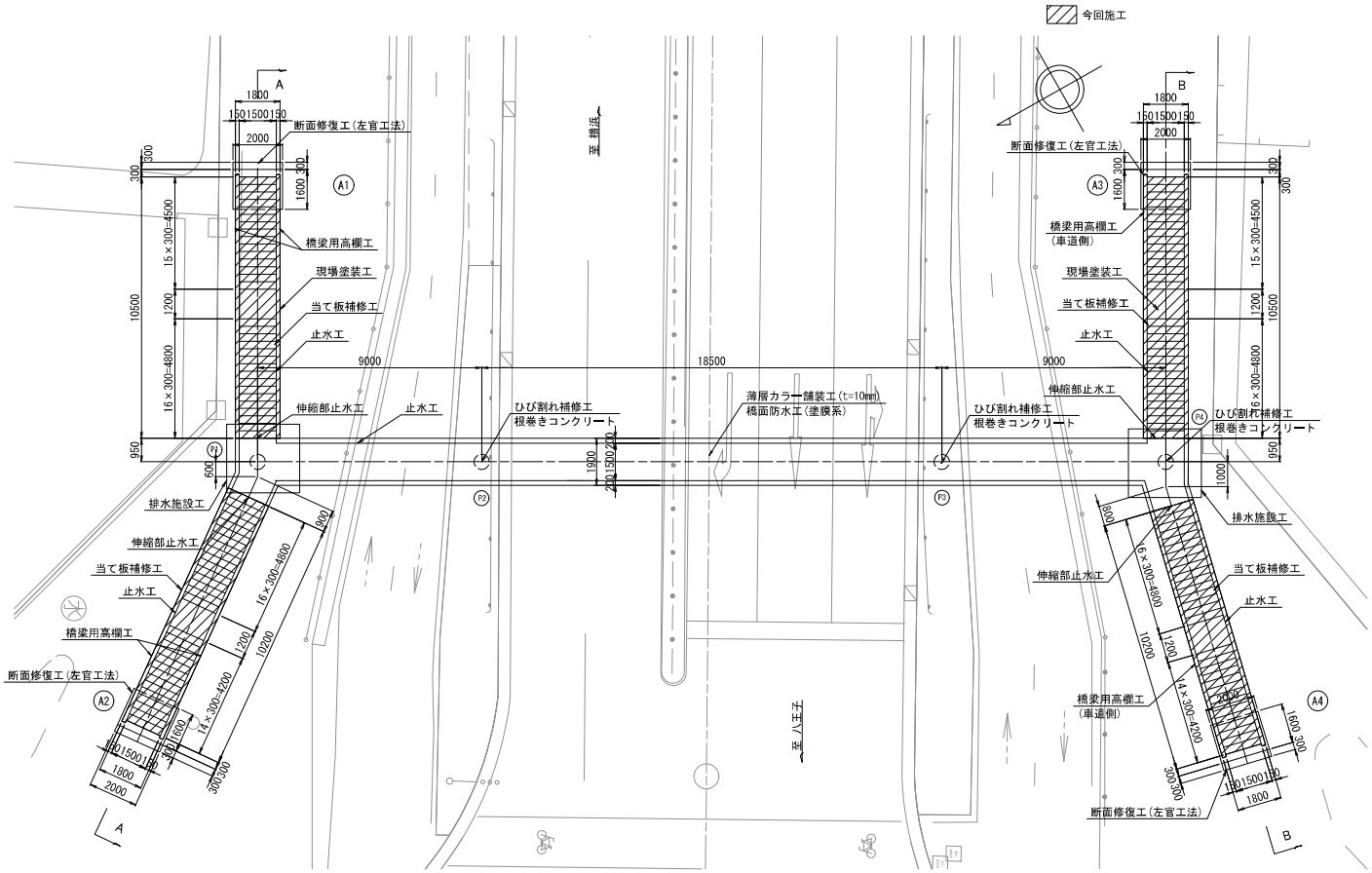
跨道部



階段部



平面図 S=1:100



補修工一覧

No.	部位	損傷内容	補修項目
1	主桁・床版 地覆・高欄	腐食・防食機能の劣化	現場塗装工：Rc-Ⅱ塗装系(湿式剥離剤による塗膜除去工) 金属パテ充填工：常温硬化型金属粉含有エポキシ樹脂 当て板補修工：当て板補修(SM400A) FRPシート補修工：紫外線硬化型FRPシート貼付け ボルトキャップ設置工：塩化ビニル製
2	舗装	舗装の異常	舗装打換え工：薄層カラー舗装(t=10mm) 橋面防水工　：塗膜系防水 橋面止水：シール材
3	排水管	腐食	排水施設工：VP管(φ100)
4	階段高欄	高さ不足	橋梁用高欄工：ボルト接合による嵩上補修
5	下部工 根巻きコン 橋台	ひび割れ(P2,P4橋脚) うき(A1～A4橋台)	ひび割れ補修工：可とう性エポキシ樹脂 断面修復工(左官工法)：無収縮ポリマーセメントモルタル
6	階段接続部	漏水	伸縮部止水：バックアップ材+シール材 止水：シール材

注記
1. 本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。

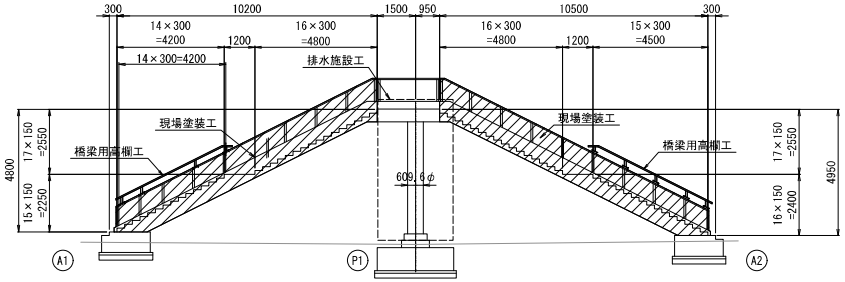
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市中央1丁目歩道橋 補修一般図(1)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 2
年月日	令和 8 年 6 月　日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

相模原市中央1丁目歩道橋 補修一般図(2)　S=1:100

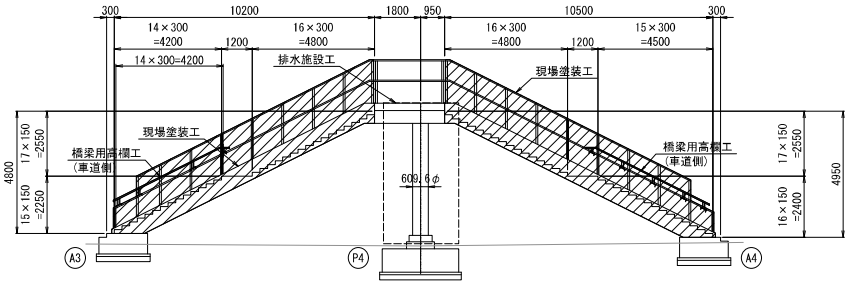
側面図

(A-A)



側面図

(B-B)



今回施工

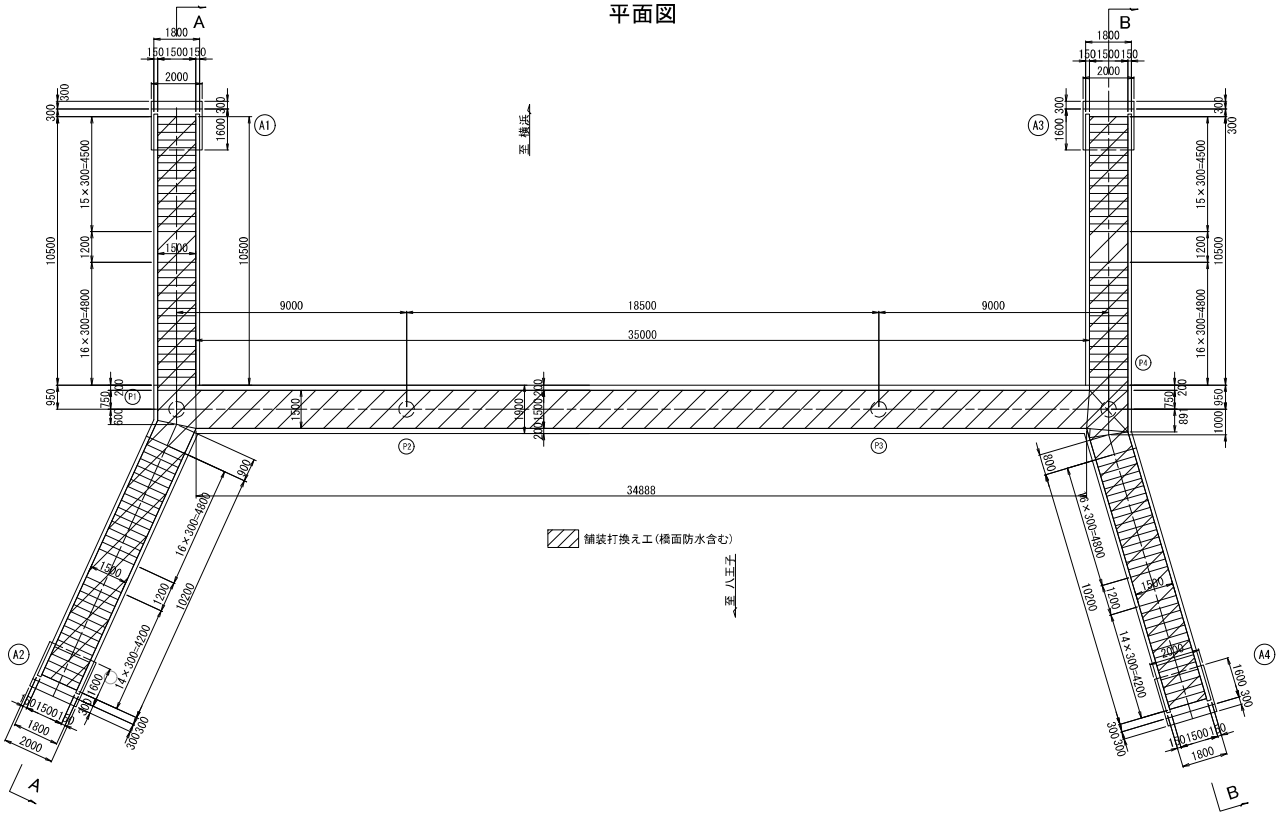
注記
1.本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2.補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市中央1丁目歩道橋 補修一般図(2)		
縮尺	1:100	図面番号	62 の 3
年月日	令和 8 年 6 月　日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

相模原市中央１丁目歩道橋 橋面防水工図・舗装打換え工図・薄層カラー舗装工図(1)　S=1:100

平面図



撤去数量表

名　　称		単位	数　量	摘　要
橋面	アスファルトブロック舗装＋セメントモルタル	m2	60.0	t=42.5mm（平均）
階段踏面	ノンスリップタイル＋セメントモルタル	m2	62.1	t=50mm

復旧数量表

名　　称		単位	数　量	摘　要
橋面	薄層カラー舗装(可とう性エポキシ樹脂モルタル)	m2	60.0	t=10mm
	橋面防水(塗膜系)	m2	60.0	
	調整モルタル	m2	60.0	t=39.7mm（平均）
	溶接金網(D6 100×100)	m2	60.0	
階段踏面	薄層カラー舗装(可とう性エポキシ樹脂モルタル)	m2	62.1	t=10mm
	橋面防水(塗膜系)	m2	62.1	
	調整モルタル	m2	62.1	t=40mm（平均）

注記
1. 本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。
3. 床版コンクリートが土砂化している場合は、脆弱部を撤去し、復旧を行うこと。

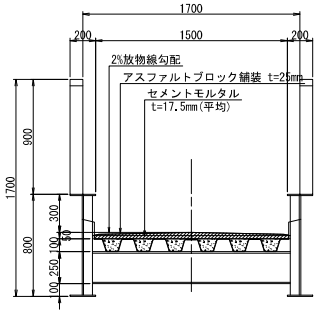
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市中央１丁目歩道橋 橋面防水工図・舗装打換え工図・薄層カラー舗装工図(1)		
縮尺	1:100	図面番号	62 の 4
年月日	令和 8 年 6 月　日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

相模原市中央１丁目歩道橋 橋面防水工図・舗装打換え工図・薄層カラー舗装工図(2)

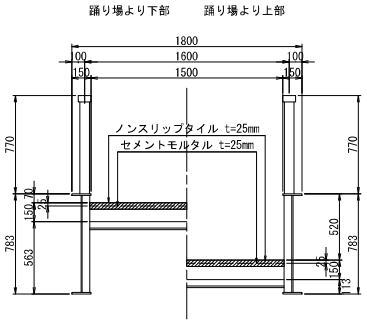
橋面舗装(撤去)詳細図 S=1:20

跨道部

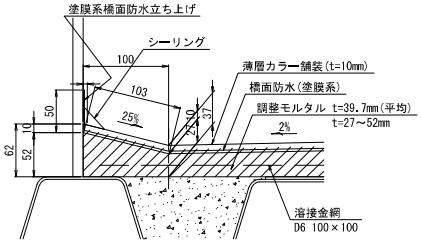


階段踏面舗装(撤去)詳細図 S=1:20

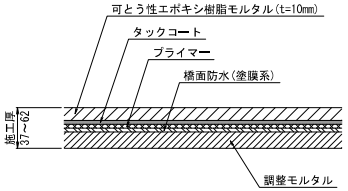
階段部



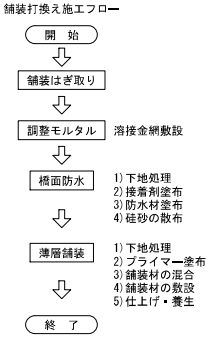
"a"部詳細 S=1:3



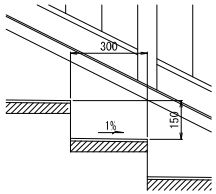
薄層カラー舗装詳細図 S=1:100



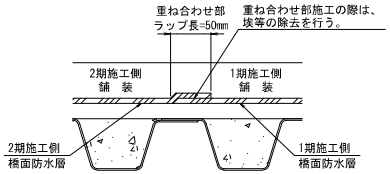
舗装打換え施工フロー



階段部舗装排水勾配図 S=1:10

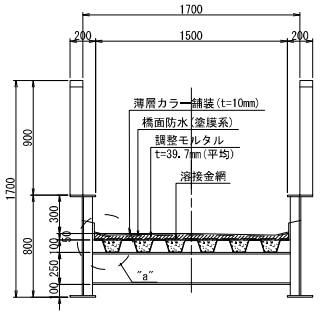


橋面防水層重ね合わせ詳細図 S=1:100



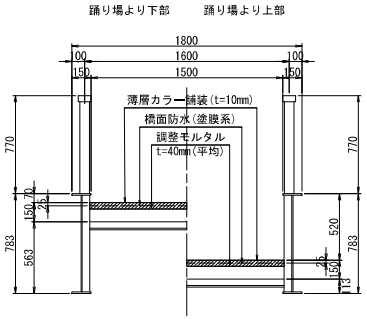
橋面舗装(復旧)詳細図 S=1:20

跨道部



階段踏面舗装(復旧)詳細図 S=1:20

階段部



注記

1. 本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。
3. 施工に先立ち、舗装厚等の舗装構成を確認すること。
4. 溶接金網は、調整モルタル最小厚の1/2の位置に敷設すること。

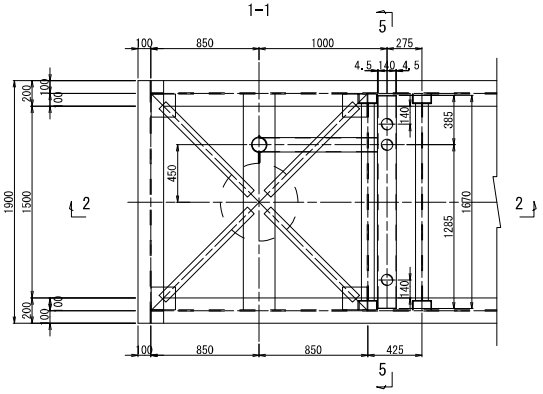
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市中央１丁目歩道橋 橋面防水工図・舗装打換え工図・薄層カラー舗装工図(2)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 5
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

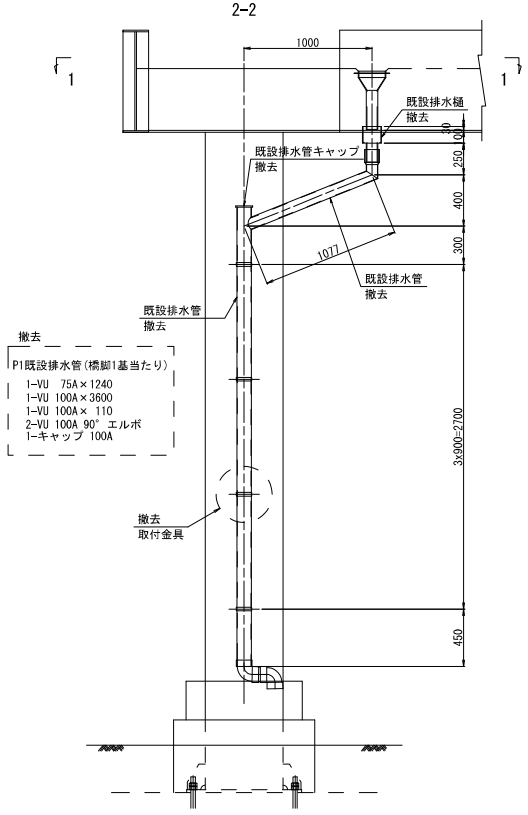
相模原市中央1丁目歩道橋 排水施設工図(1)

既設排水管撤去(P1)

平面図 S=1:20

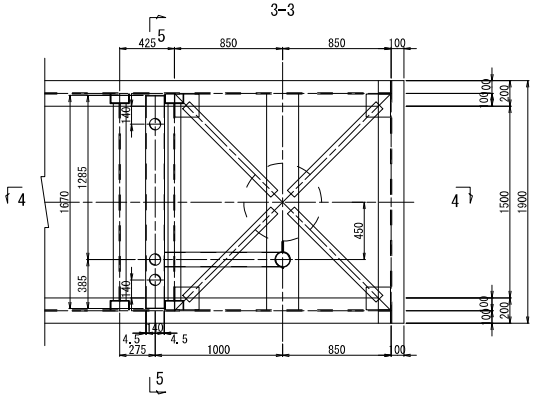


側面図 S=1:20

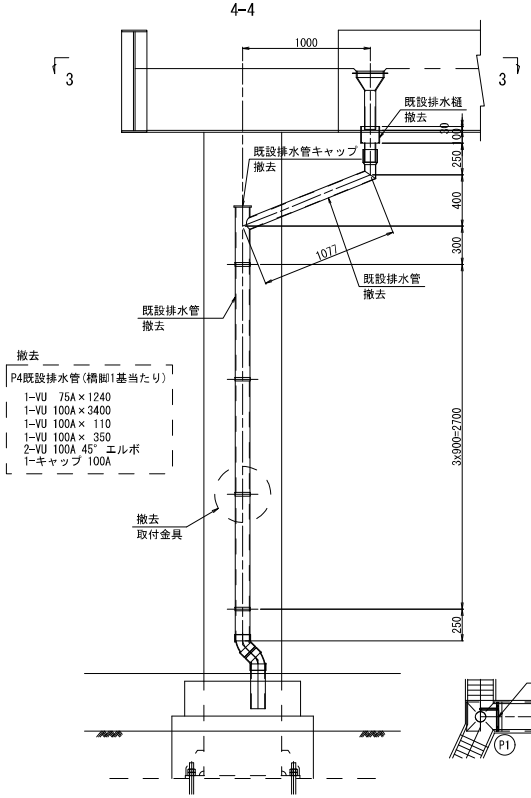


既設排水管撤去(P4)

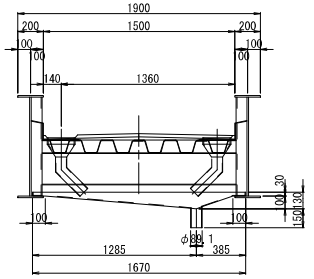
平面図 S=1:20



側面図 S=1:20

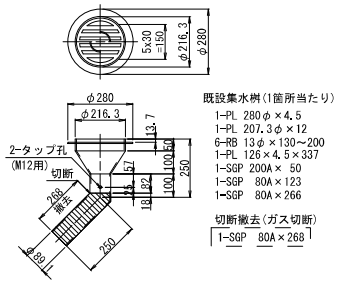


断面図 S=1:20



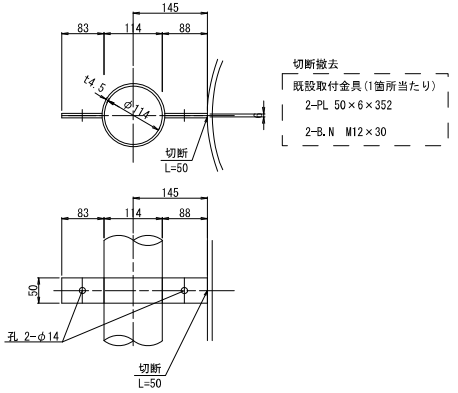
集水桝詳細図 S=1:10

(撤去数:2×2=4)

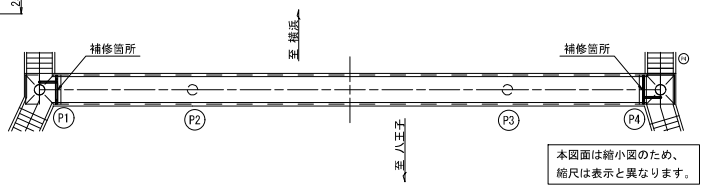


取付金具撤去詳細図 S=1:5

(撤去数:4×2=8)



位置図



本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

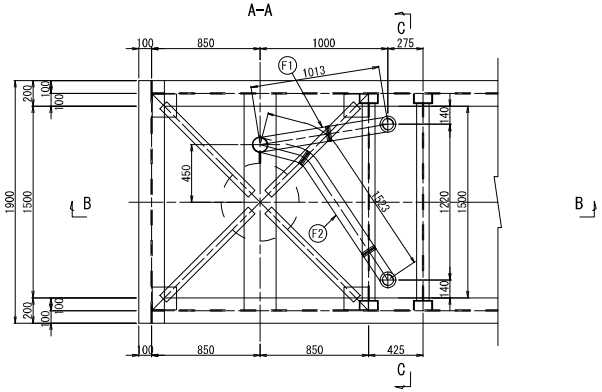
注記
1. 本図面は竣工図が無いため、現地計測結果と類似橋梁の竣工図を参考に作図したものである。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および補修範囲を計測し確認すること。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市中央1丁目歩道橋 排水施設工図(1)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 6
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

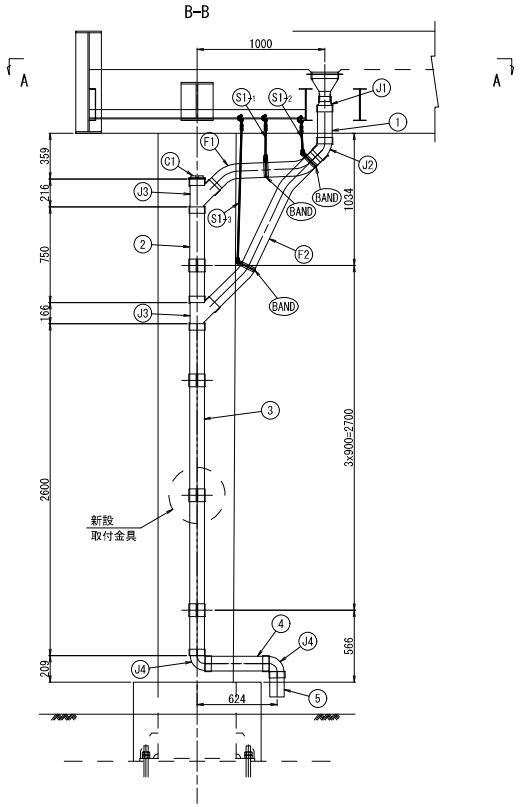
相模原市中央1丁目歩道橋 排水施設工図(2)　S=1:20

新設排水管(P1・P4)

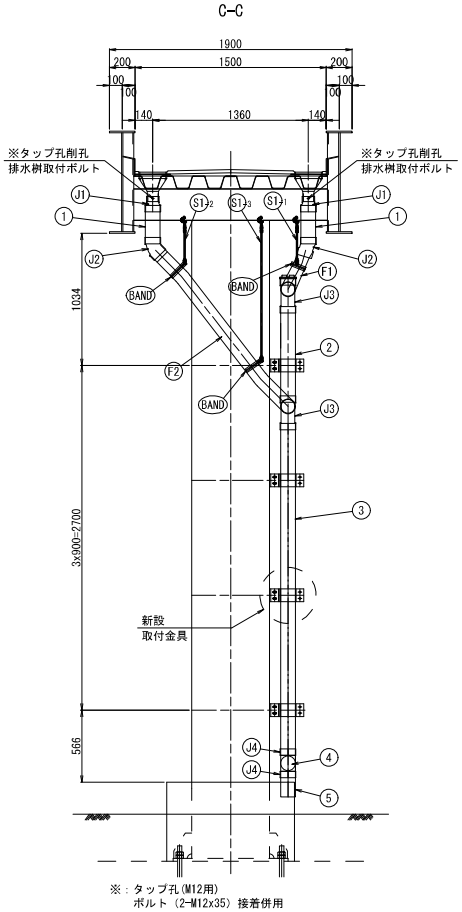
平面図　S=1:20



側面図　S=1:20



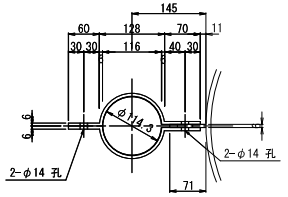
断面図　S=1:20



※：タップ孔(M12用)
ボルト（2-M12x35）接着併用

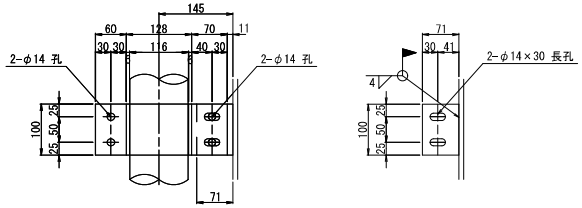
新設取付金具詳細図　S=1:5

(製作数:4×2=8)

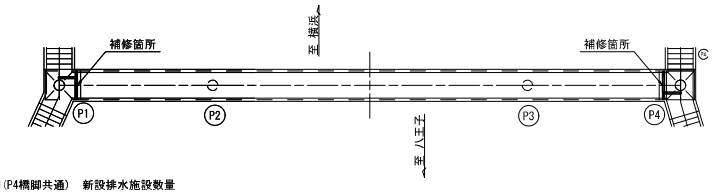


新設取付金具(1箇所当たり)

2-FB 100×6×322(SS400)　(HDZT77)
1-FB 100×6× 71(SS400)　(現場塗装)
4-BN M12×45(1種-Nut, 2-W付)(SS400)　(HDZT49)



位置図



P1橋脚(P4橋脚共通)　新設排水施設数量

排水管取替工　　1橋脚当たり（全2橋脚）

直管
① 2 - VP 100× 300
② 1 - VP 100× 750
③ 1 - VP 100×2600
④ 1 - VP 100× 500
⑤ 1 - VP 100× 200

自在管（フレキシブルパイプ）
Ⓕ1 1 - φ 100×1000
Ⓕ2 1 - φ 100×2000

インクリーザー　J1　2個（ VP100×75用 ）
45° エルボ　J2　2個（ VP100用 ）
45° Y継手　J3　2個（ VP100用 ）
90° エルボ　J4　2個（ VP100用 ）

キャップ　C1　1個（ VP100用 ）

吊金具　S1　3個
配管バンド　BAND　3個（ VP100用 ）

排水桝取付ボルト
4 - Bolt M12×35(SS400)　(HDZT49)

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

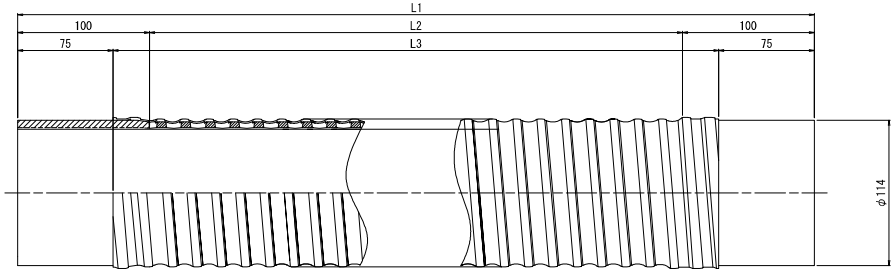
注記
1.本図面は竣工図が無いため、現地計測結果と類似橋梁の竣工図を参考に作図したものである。
2.補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および補修範囲を計測し確認すること。

工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市中央1丁目歩道橋 排水施設工図(2)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 7
年月日	令和 8 年 6 月　日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

相模原市中央1丁目歩道橋 排水施設工図(3)

自在管(フレキシブルパイプ)φ100 S=1:2

(F1)(F2)

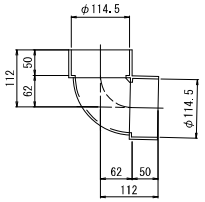


	L1	L2	L3
(F1)	1000	800	850
(F2)	2000	1800	1850

90° エルボ S=1:5

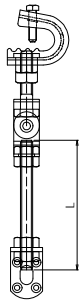
(VP100用)

(J4)



吊金具 S=1:2

(S1)

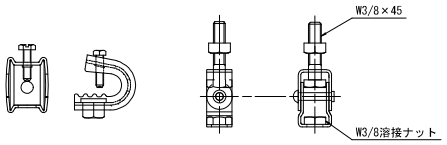


1-クランプ
1-自在振り金具
1-W3/8 BOLT×L
3-W3/8 NUT
1-取付金具 L型

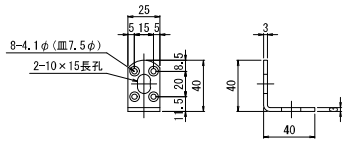
	No.	L
P1	S1-1	500
	S1-2	200
	S1-3	1000
P4	S1-1	500
	S1-2	200
	S1-3	1000

吊金具部品 S=1:2

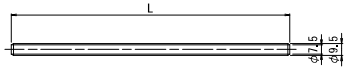
クランプ　　自在振り金具



取付金具 L型



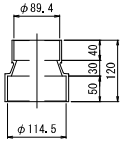
全ネジ W3/8



インクリーザー S=1:5

(VP100×75用)

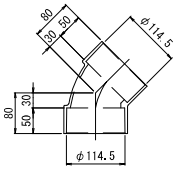
(J1)



45° エルボ S=1:5

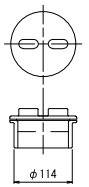
(VP100用)

(J2)



キャップ S=1:5

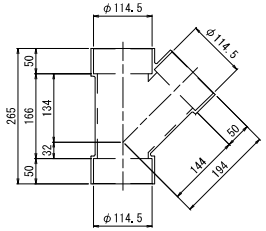
(C1) : VP100用



45° Y 継手 S=1:5

(VP100用)

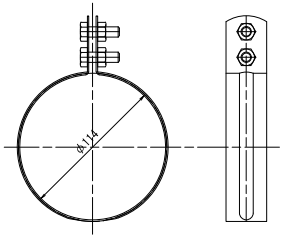
(J3)



配管バンド S=1:2

(VP100用)

(BAND)



注記
1. 本図面は竣工図が無いため、現地計測結果と類似橋梁の竣工図を参考に作図したものである。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および補修範囲を計測し確認すること。
3. 吊り金具のボルト長は、現地状況に合わせ決定すること。

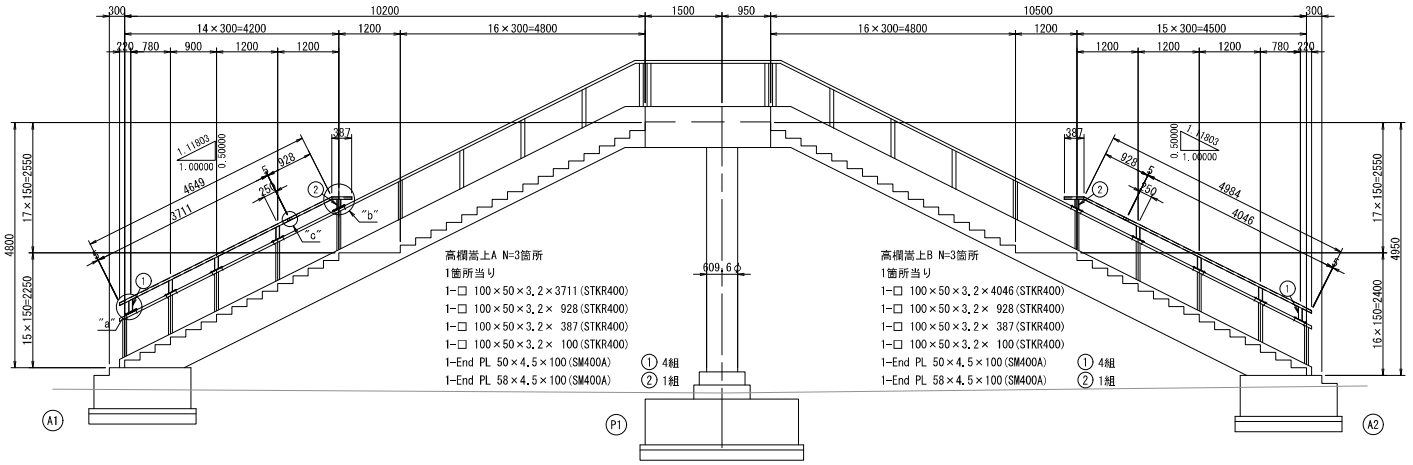
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事
図面名	相模原市中央1丁目歩道橋 排水施設工図(3)
縮尺	図示
図面番号	62 の 8
年月日	令和 8 年 6 月 日
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社
事務所名	国土交通省 相武国道事務所

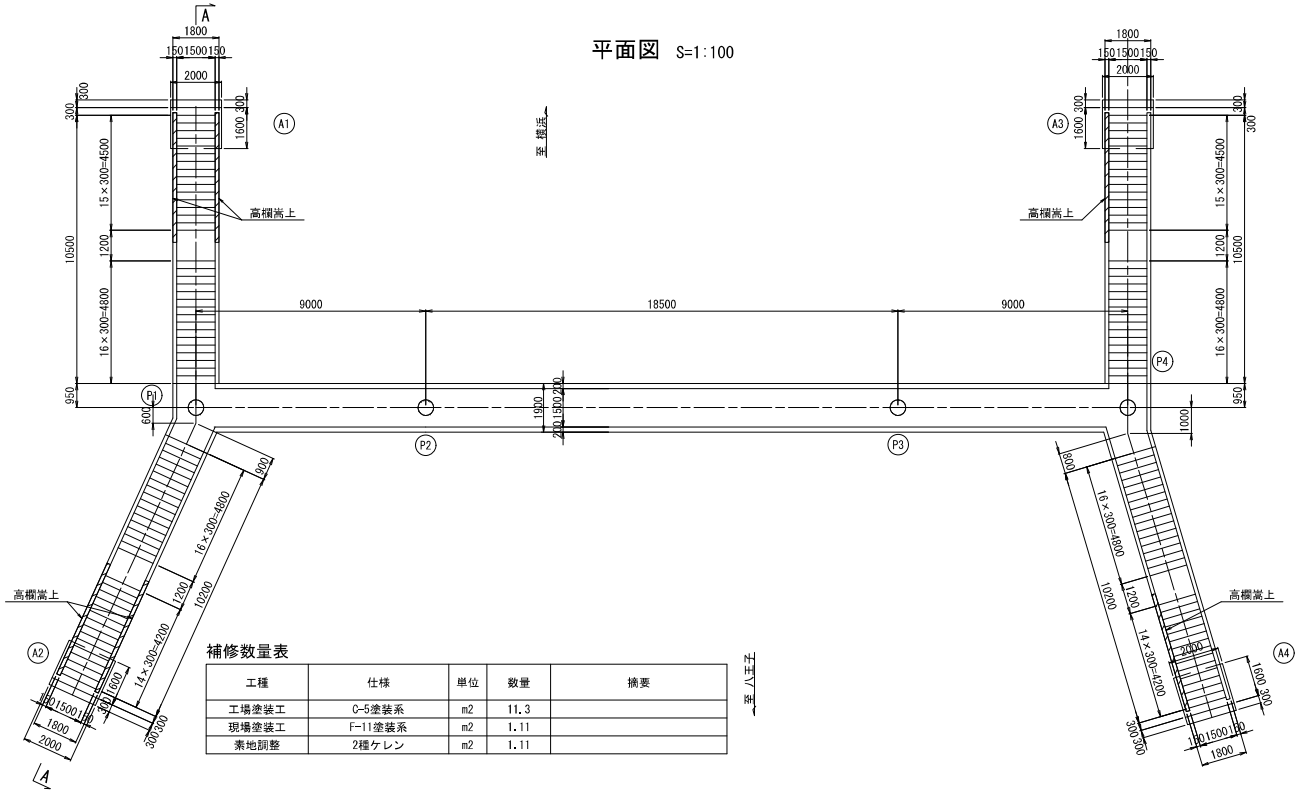
相模原市中央１丁目歩道橋 橋梁用高欄工図

高欄嵩上

側面図(A-A) S=1:50



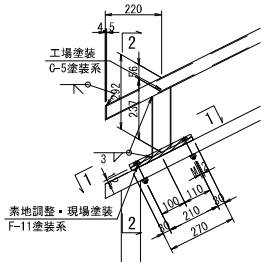
平面図 S=1:100



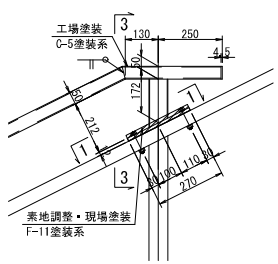
補修数量表

工種	仕様	単位	数量	摘要
工場塗装工	C-5塗装系	m2	11.3	
現場塗装工	F-11塗装系	m2	1.11	
素地調整	2種ケレン	m2	1.11	

"a"部詳細図 S=1:10

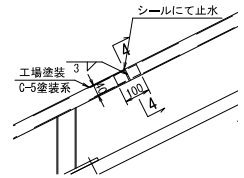


"b"部詳細図 S=1:10

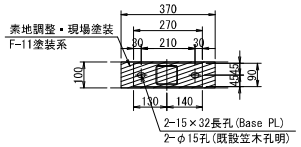


"c"部詳細図 S=1:10

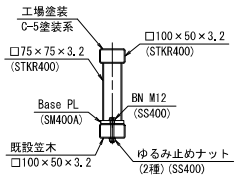
継手部



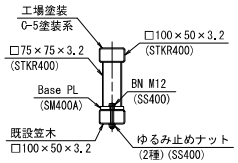
1-1 S=1:10



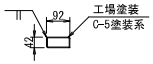
2-2 S=1:10



3-3 S=1:10



4-4 S=1:10



1-□ 100×50×3.2×100(STKR400)加工

① 1-Base PL 90×12×270(SM400A)
1-□ 75×75×3.2×274(STKR400)
2-BN M12×85
(ゆるみ止めNut,2-W)(SS400)

② 1-Base PL 90×12×270(SM400A)
1-□ 75×75×3.2×190(STKR400)
2-BN M12×85
(ゆるみ止めNut,2-W)(SS400)

注記
1. 本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。
3. 部材加工・製作に際しては、実測結果を反映のこと。

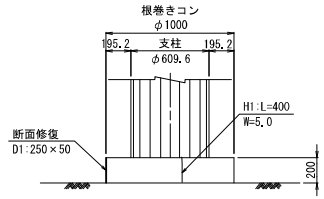
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市中央１丁目歩道橋 橋梁用高欄工図		
縮尺	図示	図面番号	62 の 9
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

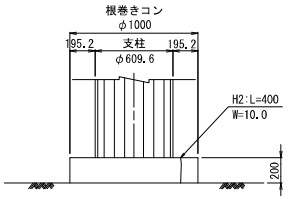
相模原市中央１丁目歩道橋 ひび割れ補修工図・断面修復工図(1)

ひび割れ補修工詳細図 S=1:20

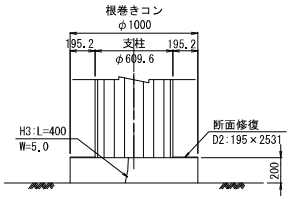
P1橋脚

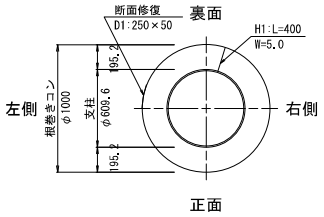


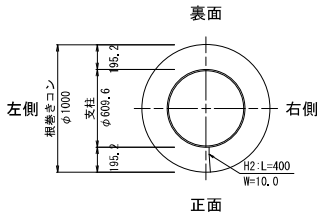
P3橋脚

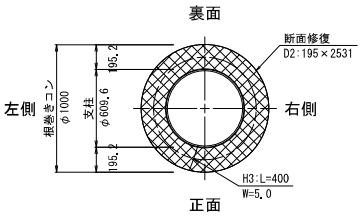


P4橋脚



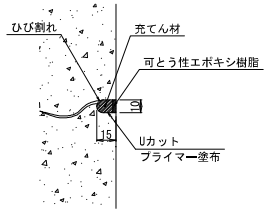






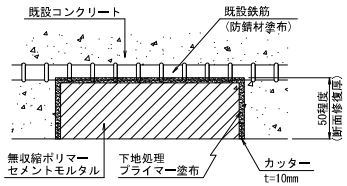
ひび割れ充てん工詳細図 S=1:100

H：ひび割れ充てん
(W=1.0mm以上)

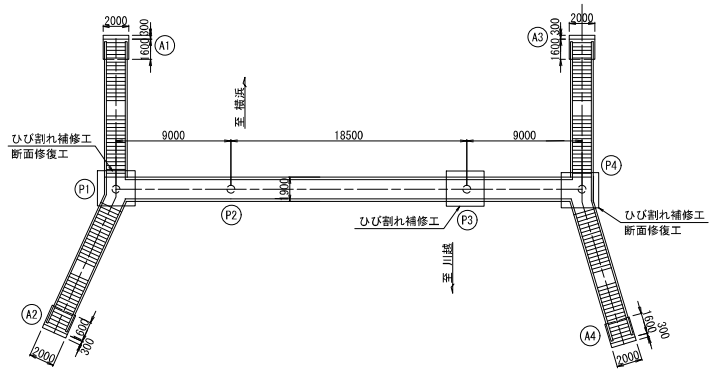


断面修復工詳細図 S=1:100

D：左官工法



位置図 S=1:200



ひび割れ補修工

部位	記号	幅 (mm)	長 (mm)	備考
ひび割れ充てん工法				
P1橋脚	H1	5.0	400	
P3橋脚	H2	10.0	400	
P4橋脚	H3	5.0	400	
計			1200	

断面修復工(うき、変形欠損)

部位	記号	幅 (mm)	長 (mm)	深さ (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)
断面修復工(左官工法)：D						
P1橋脚	D1	50	250	50	0.013	0.001
P4橋脚	D2	195	2531	50	0.494	0.025
	計				0.507	0.026

注記
1.本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2.補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。

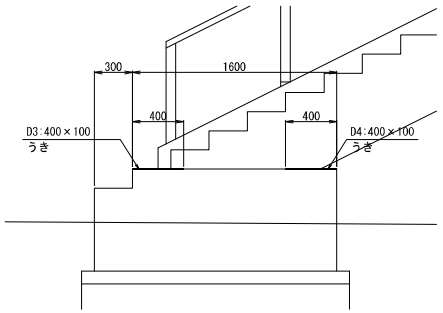
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市中央１丁目歩道橋 ひび割れ補修工図・断面修復工図(1)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 10
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

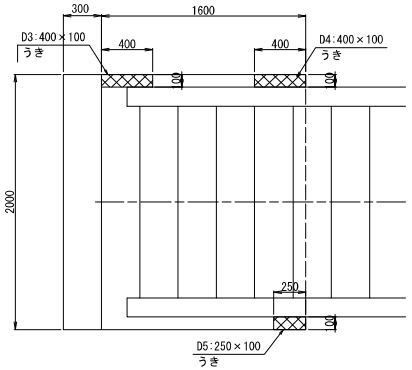
相模原市中央１丁目歩道橋 ひび割れ補修工図・断面修復工図(2)

A1橋台 S=1:20

側面図

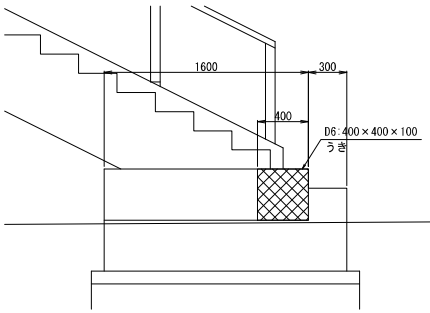


平面図

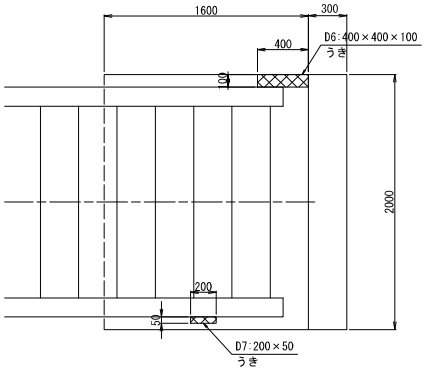


A2橋台 S=1:20

側面図

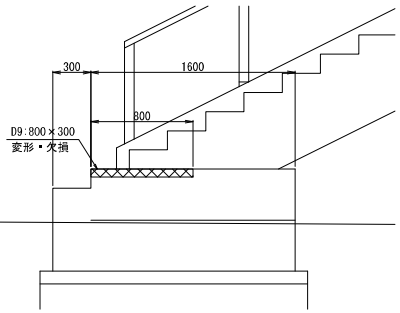


平面図

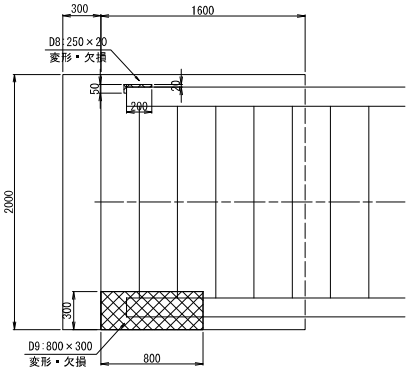


A3橋台 S=1:20

側面図

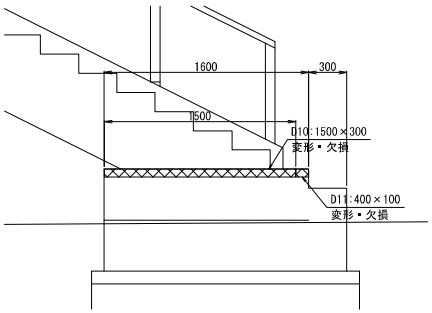


平面図

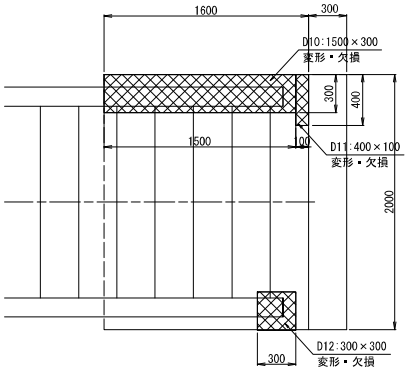


A4橋台 S=1:20

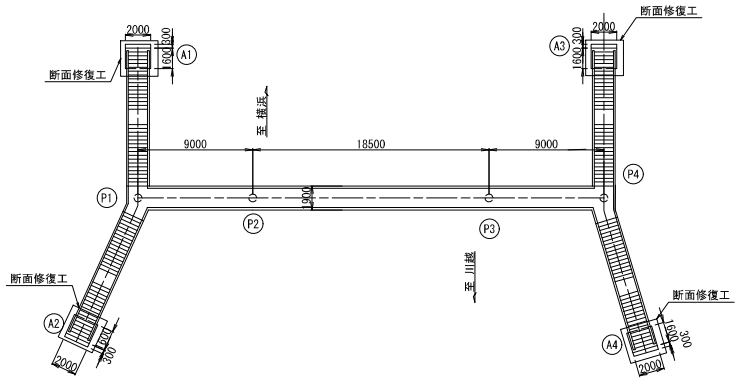
側面図



平面図

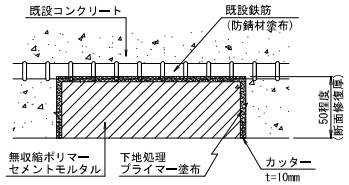


位置図 S=1:200



断面修復工詳細図

D：左官工法



断面修復工(うき、変形欠損)

部位	記号	幅 (mm)	長 (mm)	深さ (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)
断面修復工(左官工法)：D						
A1橋台	D3	100	400	50	0.040	0.002
	D4	100	400	50	0.040	0.002
	D5	100	250	50	0.025	0.00125
A2橋台	D6	400	400	100	0.160	0.016
	D7	50	200	50	0.010	0.0005
A3橋台	D8	20	250	50	0.005	0.00025
	D9	300	800	50	0.240	0.012
A4橋台	D10	300	1500	50	0.450	0.0225
	D11	100	400	50	0.040	0.002
	D12	300	300	50	0.090	0.0045
計					1.10	0.063

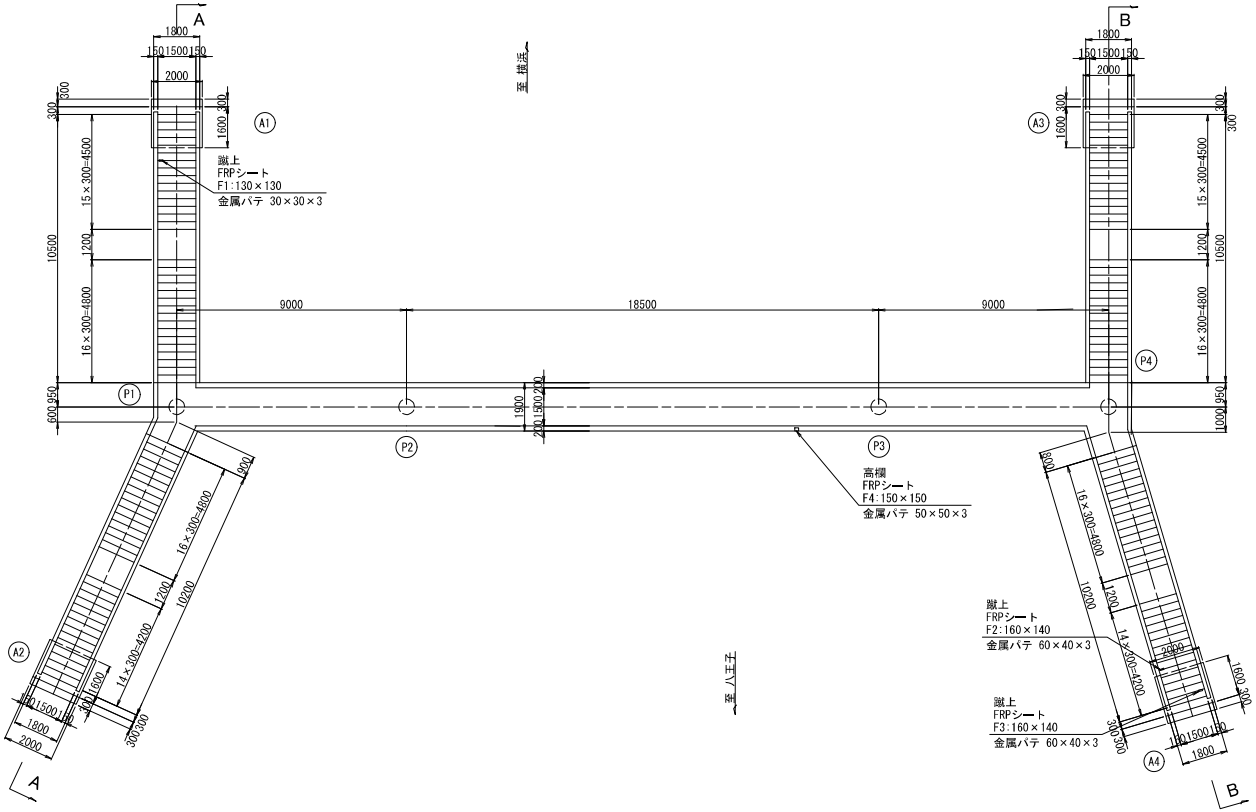
注記
1.本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2.補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。

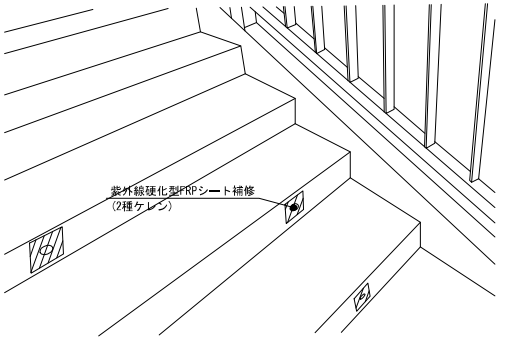
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市中央１丁目歩道橋 ひび割れ補修工図・断面修復工図(2)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 11
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

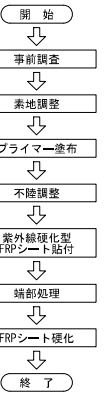
相模原市中央１丁目歩道橋 当て板補修工図(1)

平面図 S=1:100



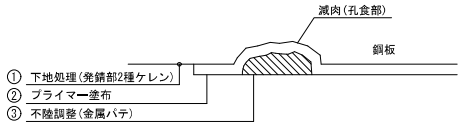


FRPシート補修施工フロー

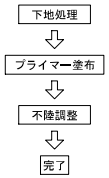


金属パテ詳細図

k：金属パテ充填工



金属パテ充填施工フロー



FRPシート補修工

部位	記号	幅 (mm)	長 (mm)	面積 (m2)	区分
縦上	F1	130	130	0.017	区分A
〃	F2	160	140	0.022	区分A
〃	F3	160	140	0.022	区分A
高欄	F4	150	150	0.023	区分A
計				0.084	――

補修数量表

工種	仕様	単位	数量	摘要
FRPシート補修	紫外線硬化型FRPシート	m2	0.084	F1～F4
金属パテ充填	体積	m3	0.000025	F1～F4
	面積	m2	0.0082	
	重量	kg	0.055	

注記
1. 本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。
3. 塗装の際のケレン片や粉塵等の桁下落下や飛散防止のため防塵ネットで十分な養生を行うこと。
4. ケレン後、不陸部がある場合は金属パテによる補修を適宜行うこと。

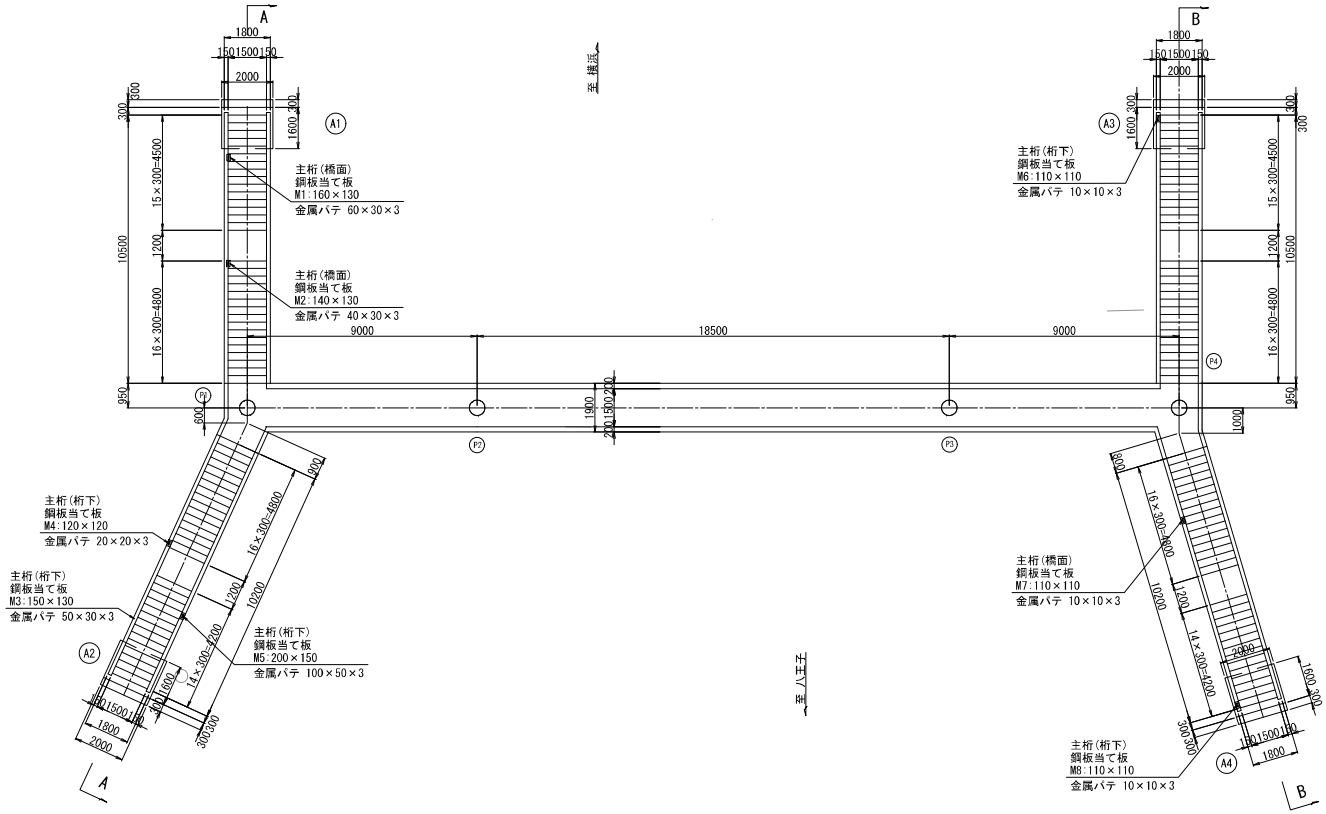
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市中央１丁目歩道橋 当て板補修工図(1)		
縮尺	1:100	図面番号	62 の 12
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

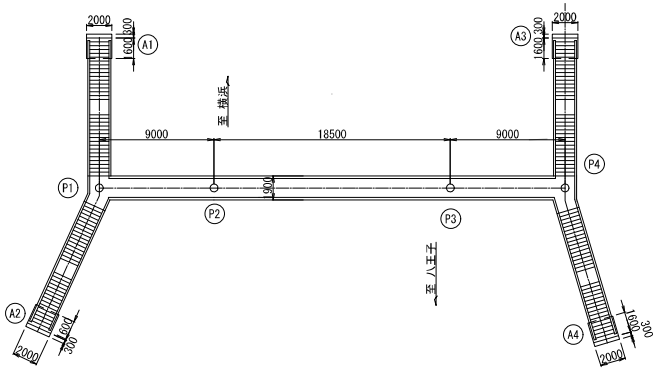
相模原市中央１丁目歩道橋 当て板補修工図(2)

階段主桁（橋面・桁下面）

平面図 S=1:50

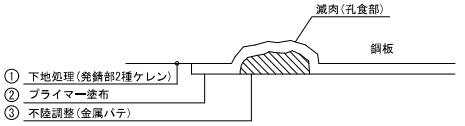


位置図 S=1:200

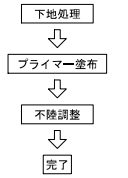


金属パテ詳細図

k：金属パテ充填工



金属パテ充填施工フロー



鋼板当て板補修工

部位	記号	幅 (mm)	長 (mm)	厚 (mm)	質量 (kg)	溶接延長 (mm)	部位	記号	幅 (mm)	長 (mm)	厚 (mm)	質量 (kg)	溶接延長 (mm)
階段主桁	M1	160	130	6	1.0	580	階段主桁	M7	110	110	6	0.6	440
〃	M2	140	130	6	0.9	540	〃	M8	110	110	6	0.6	440
〃	M3	150	130	6	0.9	560	〃						
〃	M4	120	120	6	0.7	480	〃						
〃	M5	200	150	6	1.4	700	小計					1.2	880
〃	M6	110	110	6	0.6	440							
小計					5.5	3300	合計					6.7	4180

補修数量表

工種	仕様	単位	数量	摘要
当て板補修	SM400A t=6mm	kg	6.7	M1～M8
金属パテ充填	体積	m3	0.00003	M1～M8
	面積	m2	0.0102	
	重量	kg	0.08	
現場塗装	F-13塗装系	m2	0.89	
素地調整	2種ケレン	m2	0.89	
現場溶接	6mm隅肉換算長	m	4.18	

注記
1. 本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。
3. 塗装の際のケレン片や粉塵等の桁下落下や飛散防止のため防塵ネットで十分な養生を行うこと。
4. ケレン後、不陸部がある場合は金属パテによる補修を適宜行うこと。

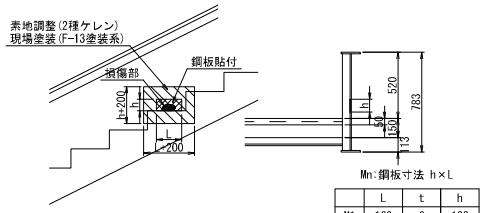
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事
図面名	相模原市中央１丁目歩道橋 当て板補修工図(2)
縮尺	図示
図面番号	62 の 13
年月日	令和 8 年 6 月 日
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社
事務所名	国土交通省 相武国道事務所

相模原市中央１丁目歩道橋 当て板補修工図(3)

鋼板貼付概要図 S=1:20

橋面(踊場より上部)

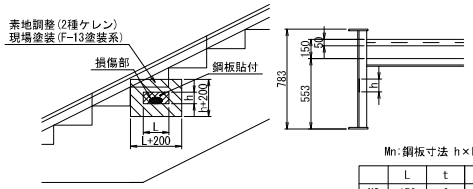


※貼付け寸法は損傷部から50mm貼付け代を確保すること。

Mn:鋼板寸法 h×L

	L	t	h
M1	160	6	130
M2	140	6	130
M7	110	6	110

桁下面(踊場より下部)



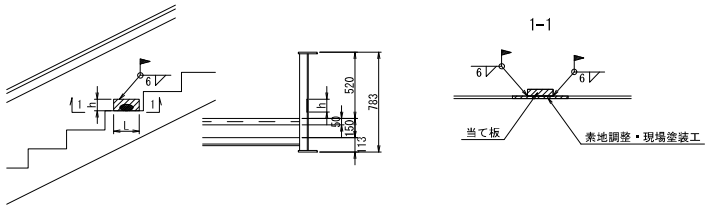
※貼付け寸法は損傷部から50mm貼付け代を確保すること。

Mn:鋼板寸法 h×L

	L	t	h
M3	150	6	130
M4	120	6	120
M5	200	6	150
M6	110	6	110
M8	110	6	110

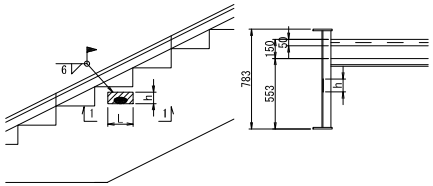
鋼板当て板補修詳細図(参考図) S=1:20

橋面(踊場より上部)

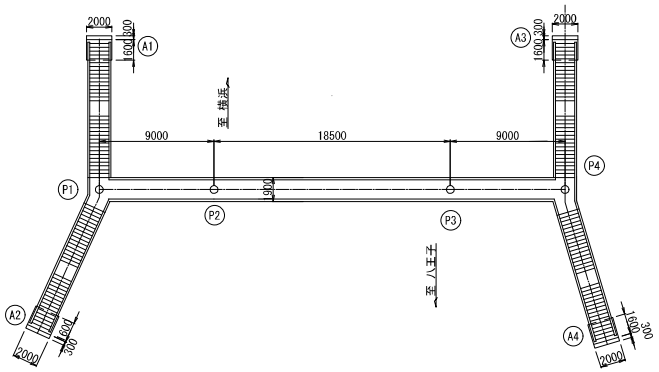


1-1

桁下面(踊場より下部)



位置図 S=1:200



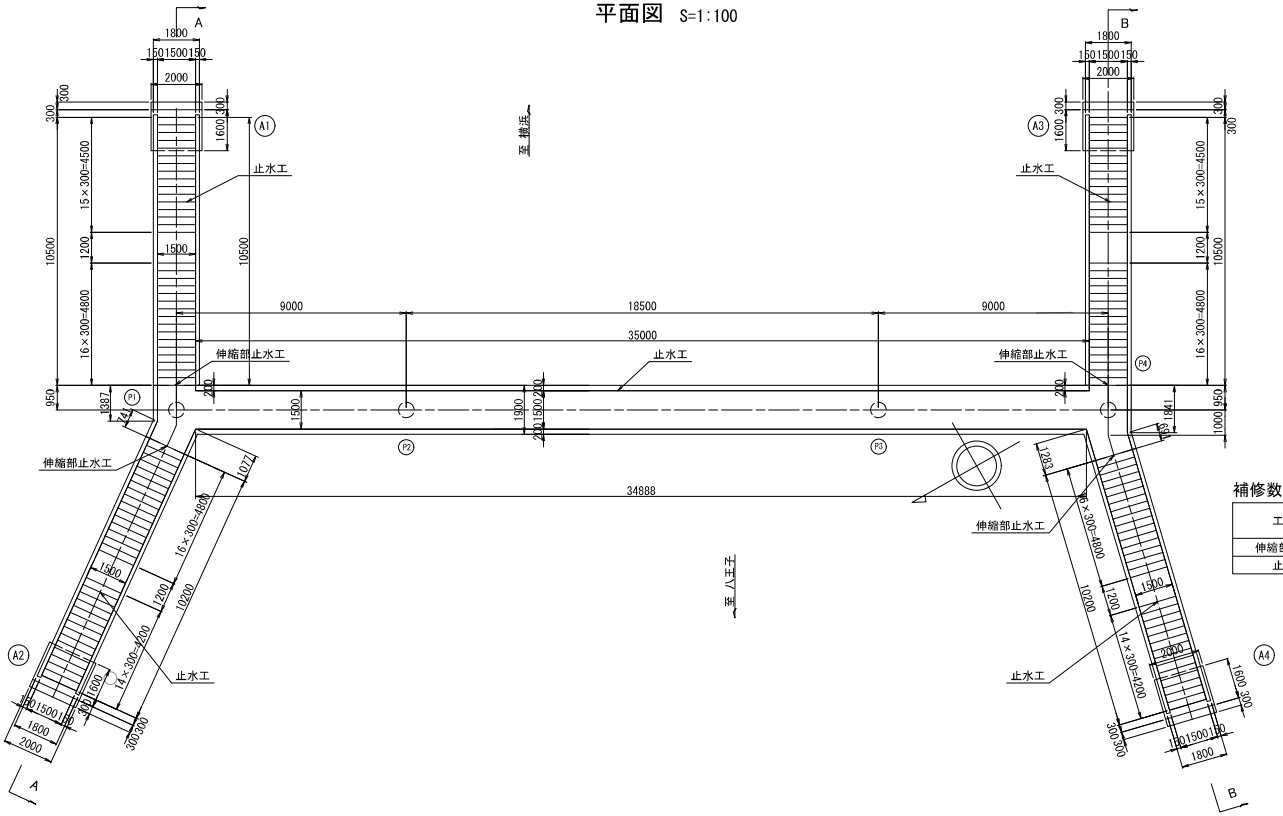
注記
1. 本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。
3. 塗装の際のケレン片や粉塵等の桁下落下や飛散防止のため防塵ネットで十分な養生を行うこと。
4. ケレン後、不陸部がある場合は金属パテによる補修を適宜行うこと。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市中央１丁目歩道橋 当て板補修工図(3)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 14
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

相模原市中央１丁目歩道橋 橋面止水工図

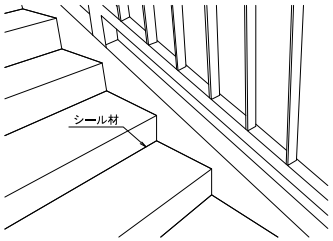
平面図 S=1:100



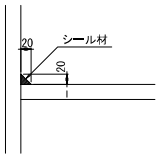
補修数量表

工種	仕様	単位	数量	摘要
伸縮部止水	バックアップ材+シール材 W=20mm	m	8.0	
止水	シール材 △20×20mm	m	351.5	

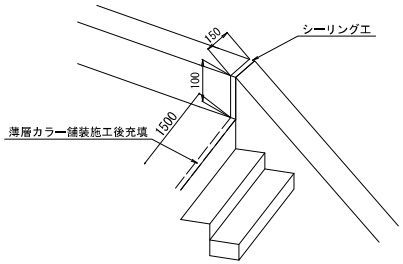
止水工位置図



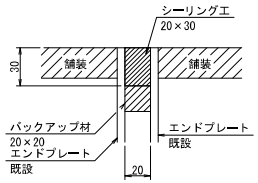
止水工詳細図 S=1:5



伸縮部止水工位置図



伸縮部止水工詳細図 S=1:2



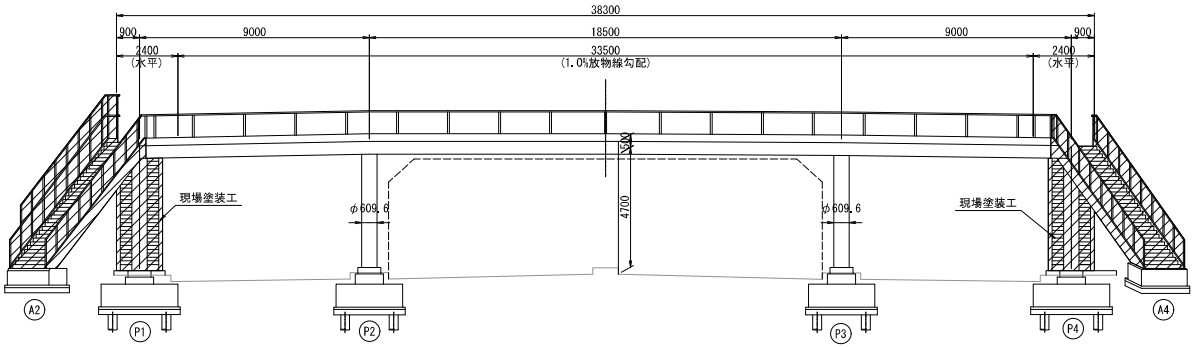
注記
1.本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2.補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。
3.伸縮部止水工は薄層舗装実施後に充填する。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市中央１丁目歩道橋 橋面止水工図		
縮尺	図示	図面番号	62 の 15
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

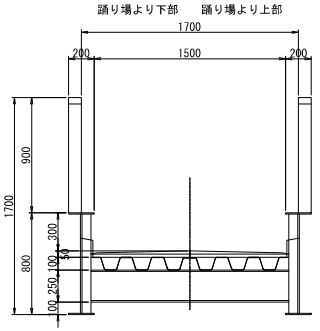
相模原市中央１丁目歩道橋 現場塗装工図(1)

正面図 S=1:100

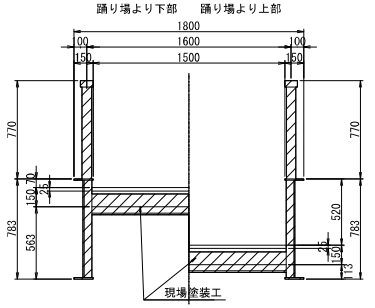


断面図 S=1:20

跨道部

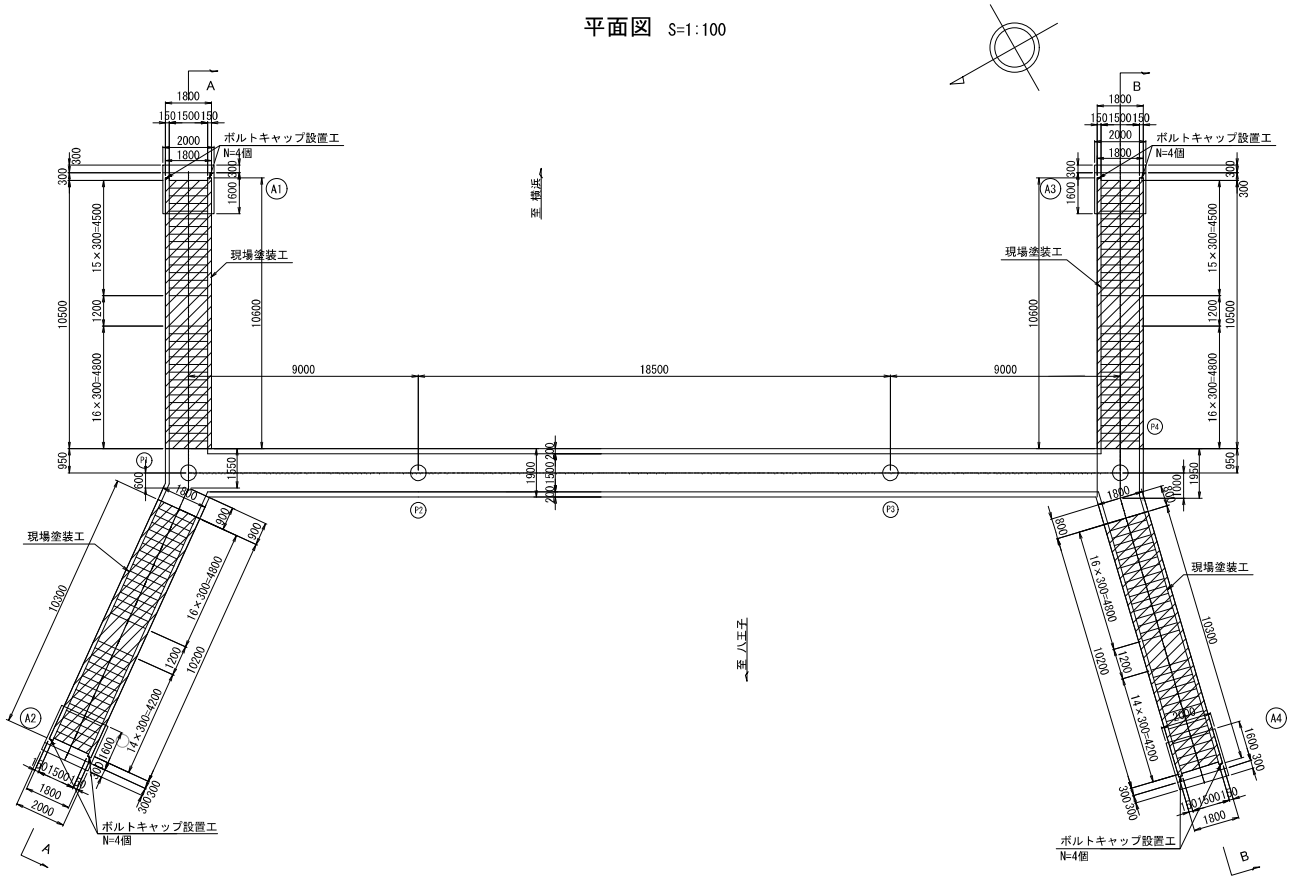


階段部



現場塗装工

平面図 S=1:100



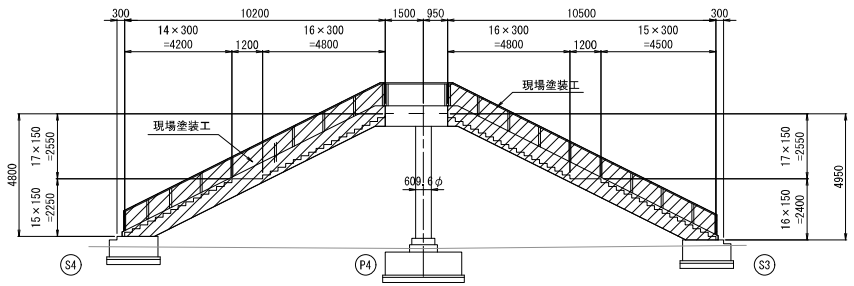
注記
1. 本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。
3. 塗装の際のケレン片や粉塵等の桁下落下や飛散防止のため防塵ネットで十分な養生を行うこと。
4. ケレン後、不陸部がある場合は金属パテによる補修を適宜行うこと。
5. FRPシート施工後、塗装をすること。
6. 橋台アンカーボルトキャップは塗装終了後に設置すること。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

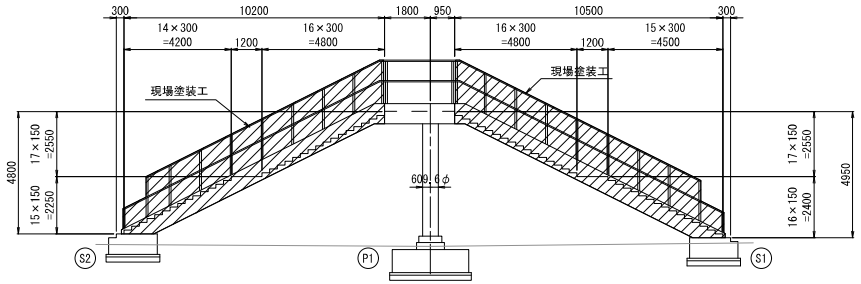
工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市中央１丁目歩道橋 現場塗装工図(1)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 16
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

相模原市中央１丁目歩道橋 現場塗装工図(2) S=1:100

側面図
(A-A)

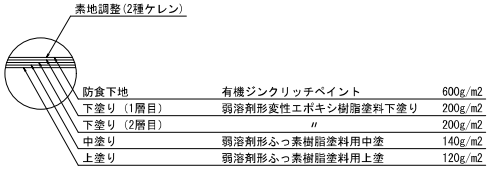


側面図
(B-B)

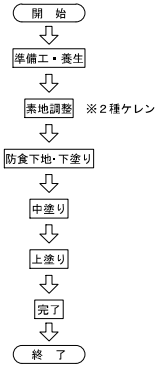


現場塗装工

Rc-Ⅱ塗装系(湿式剥離剤による塗膜除去工)



現場塗装工施工フロー



Rc-Ⅱ塗装系

塗装工程	塗料名	標準膜厚(μm)	使用量(g/m2)	摘要
素地調整		——	——	湿式塗膜剥離剤(3回)
防食下地	有機ジンクリッチペイント	75	600(300×2)	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	60	200	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	60	200	
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	30	140	
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	25	120	

補修数量表

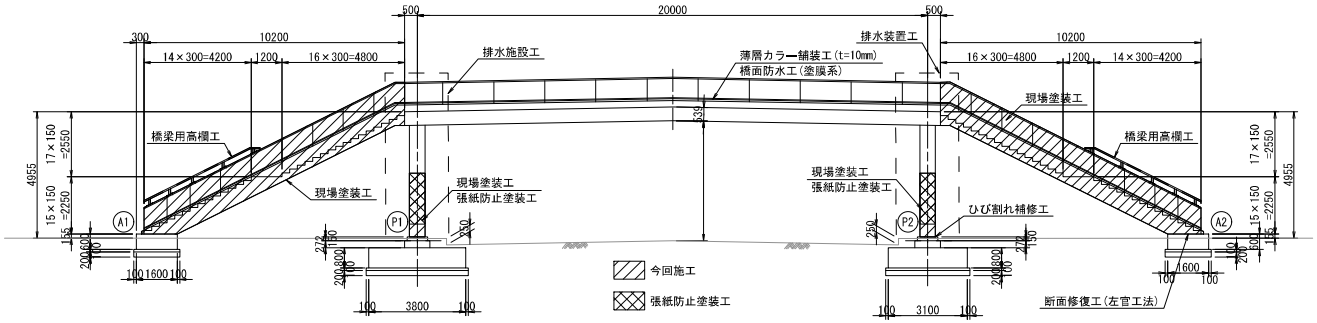
工種	仕様	単位	数量	摘要
現場塗装工	Rc-Ⅱ塗装系(湿式剥離剤による塗膜除去工)	m2	440.0	階段部
ボルトキャップ設置工	M22用 塩化ビニル製	個	16	A1～A4基礎

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

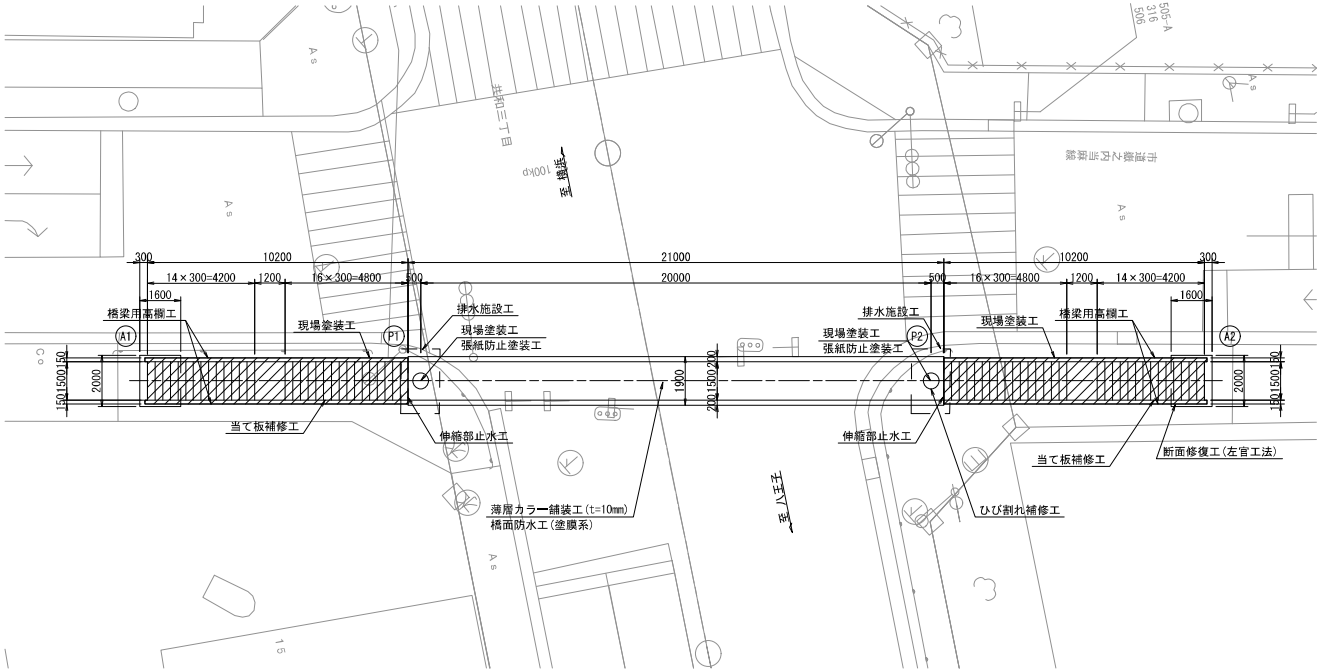
工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市中央１丁目歩道橋 現場塗装工図(2)		
縮尺	1:100	図面番号	62 の 17
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

相模原市由野台2丁目歩道橋 補修一般図

側面図 S=1:100

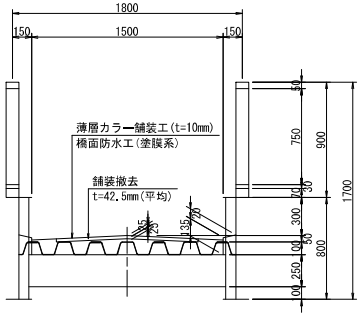


平面図 S=1:100



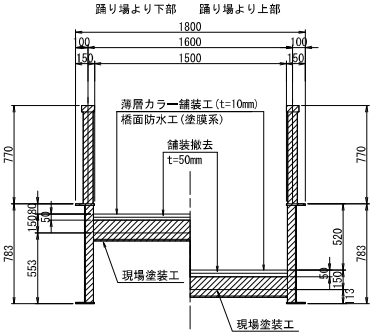
標準断面図 S=1:20

跨道部



階段主桁部

踊り場より下部　踊り場より上部



補修工一覧

No.	部位	損傷内容	補修項目
1	主桁・床版 地覆・高欄	腐食・防食機能の劣化 橋脚柱(P1・P2橋脚)	現場塗装工：Re-Ⅱ塗装系(湿式剥離剤による塗膜除去工) 金属パテ充填工：常温硬化型金属粉含有エポキシ樹脂 当て板補修工：当て板補修(SM400A) FRPシート補修工：紫外線硬化型FRPシート貼付け ボルトキャップ設置工：塩化ビニル製 張紙防止塗装工：クリヤー
2	舗装	舗装の異常	舗装打換え工：薄層カラー舗装(t=10mm) 橋面防水工：塗膜系防水 橋面止水：シール材
3	排水管	腐食	排水施設工：VP管(φ100)
4	下部工 根巻きコン 橋台	ひび割れ(P2橋脚) うき(A2橋台)	ひび割れ補修工：可とう性エポキシ樹脂 断面修復工(左官工法)：無収縮ポリマーセメントモルタル
5	階段高欄	高さ不足	橋梁用高欄工：ボルト接合による嵩上補修
6	階段接続部	漏水	伸縮部止水：バックアップ材＋シール材 止水：シール材

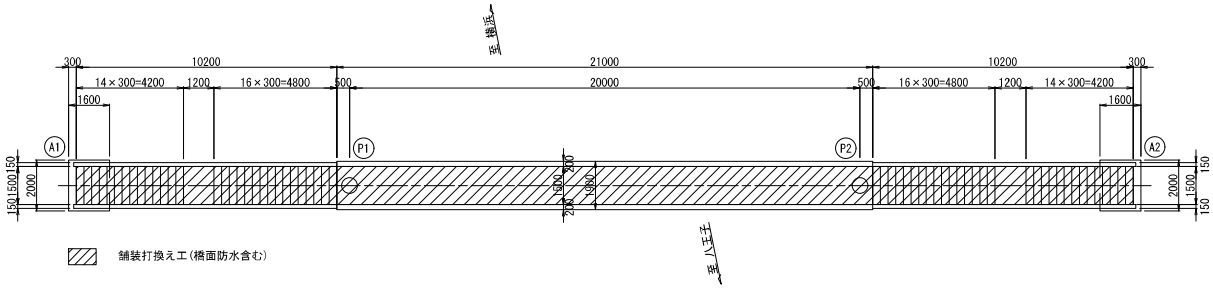
注記
1. 本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

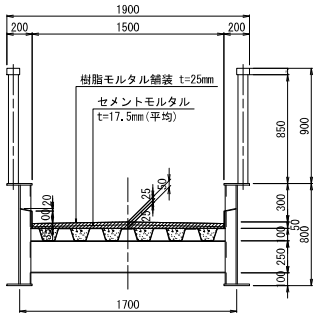
工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市由野台2丁目歩道橋 補修一般図		
縮尺	図示	図面番号	62 の 18
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

相模原市由野台2丁目歩道橋 橋面防水工図・舗装打換え工図・薄層カラー舗装工図

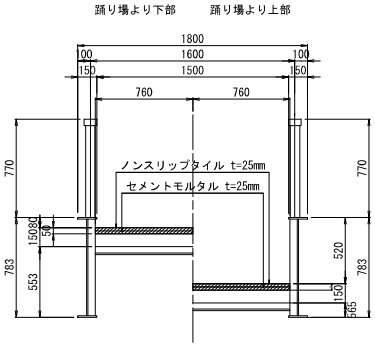
平面図 S=1:100



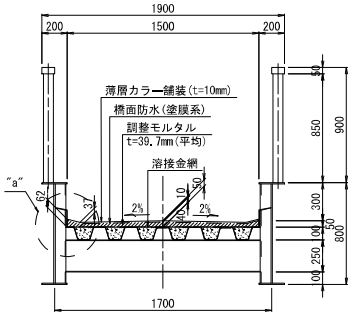
橋面舗装(撤去)詳細図 S=1:20



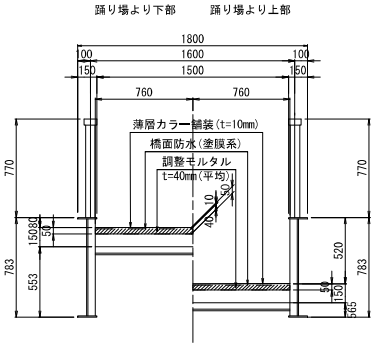
階段踏面舗装(撤去)詳細図 S=1:20



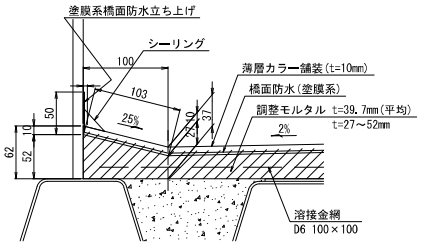
橋面舗装(復旧)詳細図 S=1:20



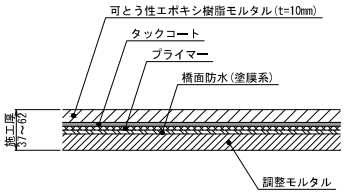
階段踏面舗装(復旧)詳細図 S=1:20



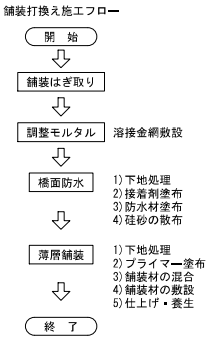
"a"部詳細 S=1:3



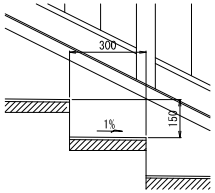
薄層カラー舗装詳細図



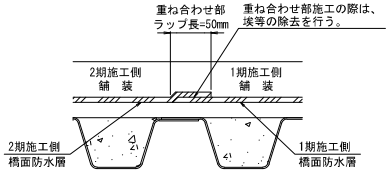
舗装打換え施工フロー



階段部舗装排水勾配図 S=1:10



橋面防水層重ね合わせ詳細図



撤去数量表

名 称		単位	数 量	摘 要
橋面	樹脂モルタル+セメントモルタル	m2	31.5	t=42.5mm (平均)
階段踏面	ノンスリップタイル+セメントモルタル	m2	31.0	t=50mm

復旧数量表

名 称		単位	数 量	摘 要
橋面	薄層カラー舗装(可とう性エポキシ樹脂モルタル)	m2	31.5	t=10mm
	橋面防水(塗膜系)	m2	31.5	
	調整モルタル	m2	31.5	t=39.7mm (平均)
	溶接金網(D6 100×100)	m2	31.5	
階段踏面	薄層カラー舗装(可とう性エポキシ樹脂モルタル)	m2	31.0	t=10mm
	橋面防水(塗膜系)	m2	31.0	
	調整モルタル	m2	31.0	t=40mm (平均)

注記
1. 本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。
3. 施工に先立ち、舗装厚等の舗装構成を確認すること。
4. 溶接金網は、調整モルタル最小厚の1/2の位置に敷設すること。

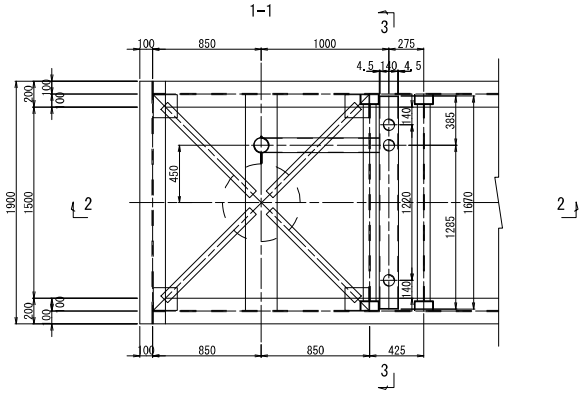
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市由野台2丁目歩道橋 橋面防水工図・舗装打換え工図・薄層カラー舗装工図		
縮尺	図示	図面番号	62 の 19
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

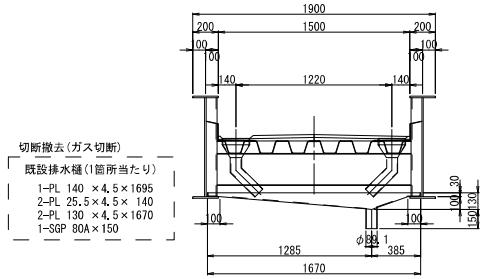
相模原市由野台2丁目歩道橋 排水施設工図(1)

既設排水管撤去(P1・P2)

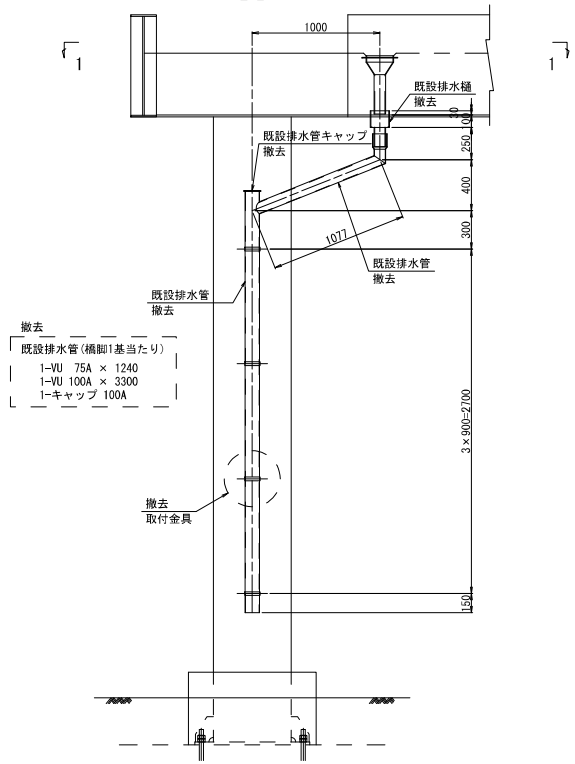
平面図 S=1:20



断面図 S=1:20

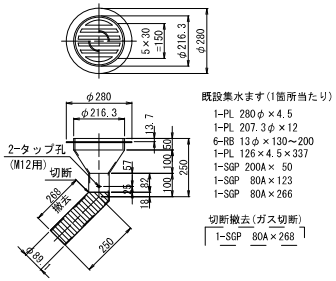


側面図 S=1:20



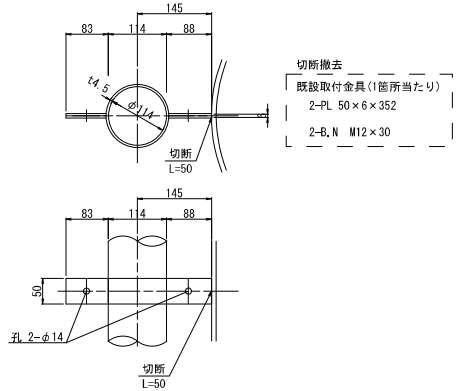
集水桝詳細図 S=1:10

(撤去数:2×2=4)

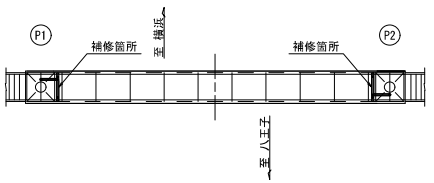


取付金具撤去詳細図 S=1:5

(撤去数:4×2=8)



位置図



注記
1. 本図面は竣工図が無いため、現地計測結果と類似橋梁の竣工図を参考に作図したものである。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および補修範囲を計測し確認すること。

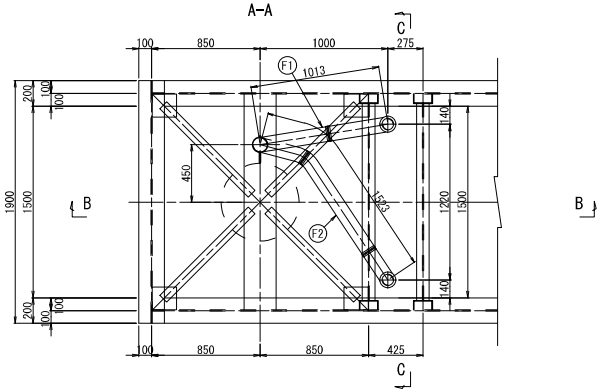
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市由野台2丁目歩道橋 排水施設工図(1)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 20
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

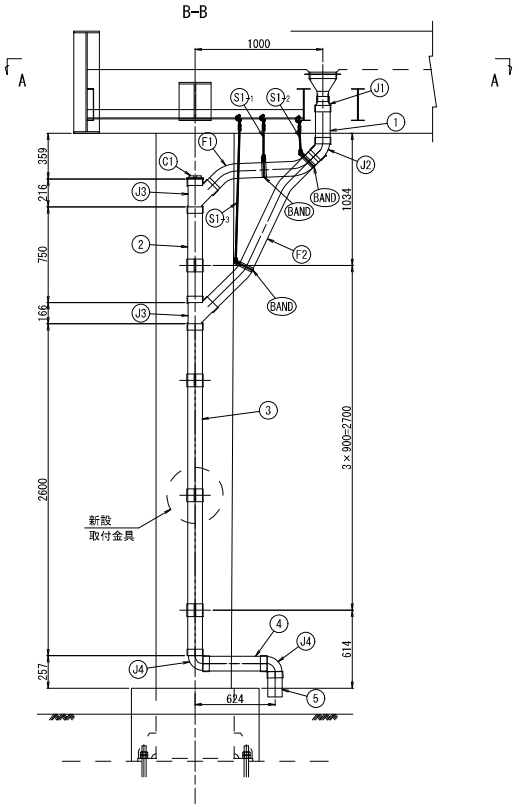
相模原市由野台2丁目歩道橋 排水施設工図(2)

新設排水管(P1・P2)

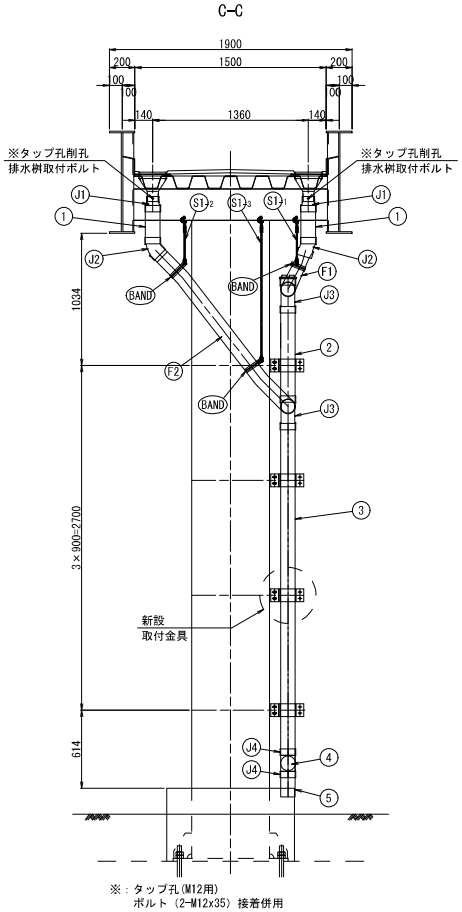
平面図 S=1:20



側面図 S=1:20



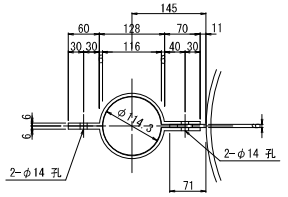
断面図 S=1:20



※：タップ孔(M12用)
ボルト（2-M12x35）接着併用

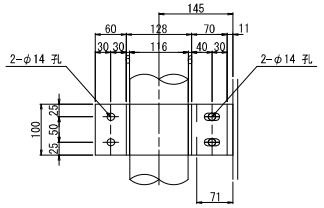
新設取付金具詳細図 S=1:5

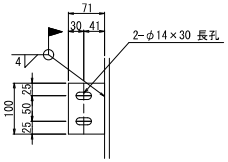
（製作数:4×2=8）



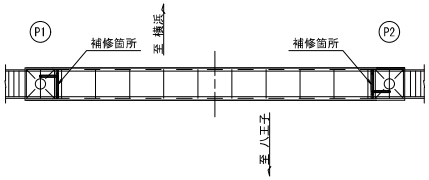
新設取付金具(1箇所当たり)

2-FB 100×6×322(SS400) (HDZT77)
1-FB 100×6× 71(SS400) (現場塗装)
4-BN M12×45(1種-Nut, 2-W付)(SS400) (HDZT49)





位置図



P1橋脚(P2橋脚共通) 新設排水施設数量

排水管取替工 1橋脚当たり（全2橋脚）

直管	①	2 - VP 100× 300
	②	1 - VP 100× 750
	③	1 - VP 100×2600
	④	1 - VP 100× 500
	⑤	1 - VP 100× 200
自在管（フレキシブルパイプ）		
	F1	1 - φ 100×1000
	F2	1 - φ 100×2000
インクリーザー	J1	2個 (VP100×75用)
45° エルボ	J2	2個 (VP100用)
45° Y継手	J3	2個 (VP100用)
90° エルボ	J4	2個 (VP100用)
キャップ	C1	1個 (VP100用)
吊金具	S1	3個
配管バンド	BAND	3個 (VP100用)

排水桝取付ボルト
4 - Bolt M12×35(SS400) (HDZT49)

注記
1.本図面は竣工図が無いため、現地計測結果と類似橋梁の竣工図を参考に作図したものである。
2.補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および補修範囲を計測し確認すること。

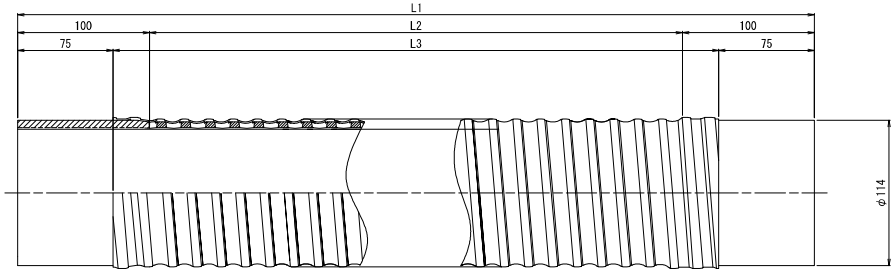
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市由野台2丁目歩道橋 排水施設工図(2)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 21
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

相模原市由野台2丁目歩道橋 排水施設工図(3)

自在管(フレキシブルパイプ) φ100 S=1:2

(F1)(F2)

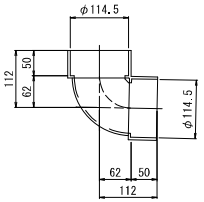


	L1	L2	L3
(F1)	1000	800	850
(F2)	2000	1800	1850

90° エルボ S=1:5

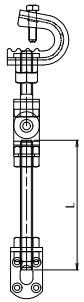
(VP100用)

(J4)



吊金具 S=1:2

(S1)

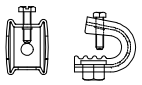


1-クランプ
1-自在振り金具
1-W3/8 BOLT×L
3-W3/8 NUT
1-取付金具 L型

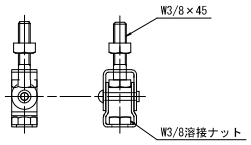
	No.	L
P1	S1-1	500
	S1-2	200
	S1-3	1000
P2	S1-1	500
	S1-2	200
	S1-3	1000

吊金具部品 S=1:2

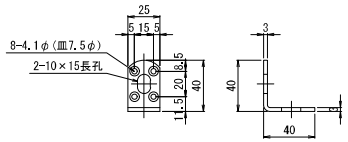
クランプ



自在振り金具



取付金具 L型



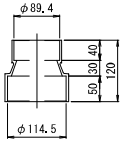
全ネジ W3/8



インクリーザー S=1:5

(VP100×75用)

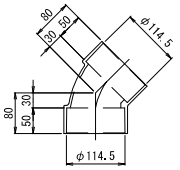
(J1)



45° エルボ S=1:5

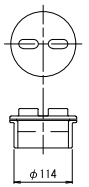
(VP100用)

(J2)



キャップ S=1:5

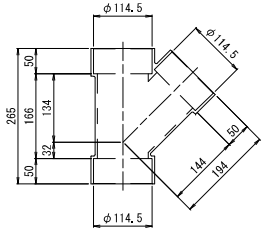
(C1) : VP100用



45° Y 継手 S=1:5

(VP100用)

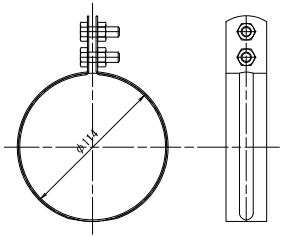
(J3)



配管バンド S=1:2

(VP100用)

(BAND)



注記
1. 本図面は竣工図が無いため、現地計測結果と類似橋梁の竣工図を参考に作図したものである。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および補修範囲を計測し確認すること。
3. 吊り金具のボルト長は、現地状況に合わせ決定すること。

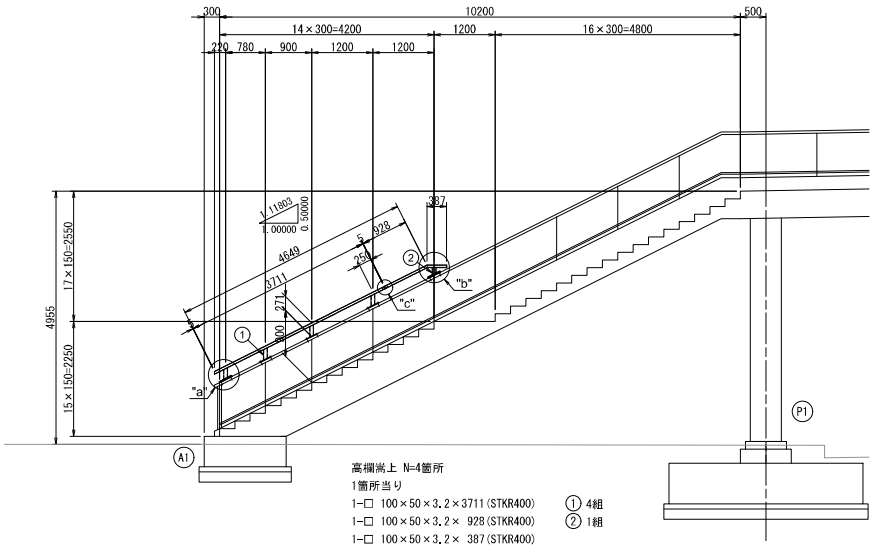
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市由野台2丁目歩道橋 排水施設工図(3)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 22
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

相模原市由野台2丁目歩道橋 橋梁用高欄工図

高欄嵩上

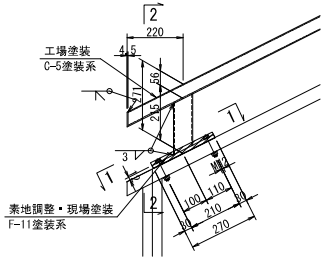
側面図(A-A) S=1:50



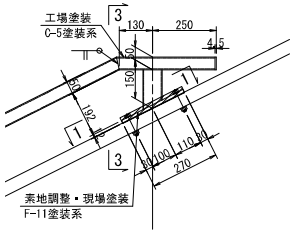
高欄嵩上 N=4箇所
1箇所当り

1-□ 100×50×3.2×3711(STKR400)	①	4組
1-□ 100×50×3.2× 928(STKR400)	②	1組
1-□ 100×50×3.2× 387(STKR400)		
1-□ 100×50×3.2× 100(STKR400)		
1-End PL 50×4.5×100(SM400A)		
1-End PL 58×4.5×100(SM400A)		

"a"部詳細図 S=1:10

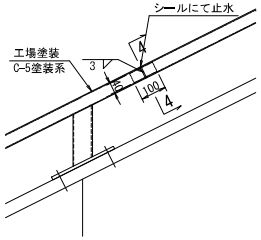


"b"部詳細図 S=1:10

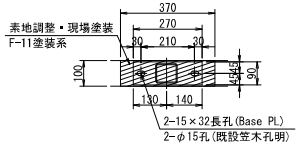


"c"部詳細図 S=1:10

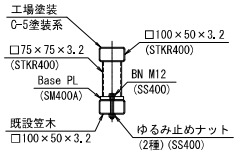
継手部



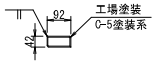
1-1 S=1:10



3-3 S=1:10

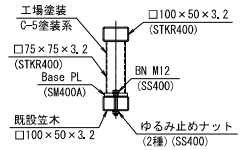


4-4 S=1:10



1-□ 100×50×3.2×100(STKR400)加工

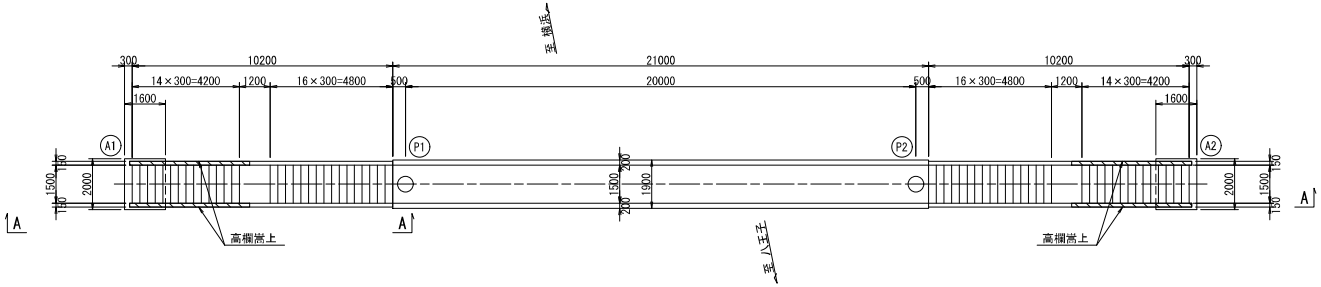
2-2 S=1:10



① 1-Base PL 90×12×270(SM400A)
1-□ 75×75×3.2×239(STKR400)
2-BN M12×85
(ゆるみ止めNut,2-W)(SS400)

② 1-Base PL 90×12×270(SM400A)
1-□ 75×75×3.2×155(STKR400)
2-BN M12×85
(ゆるみ止めNut,2-W)(SS400)

平面図 S=1:100



補修数量表

工種	仕様	単位	数量	摘要
工場塗装工	C-5塗装系	m2	7.13	
現場塗装工	F-11塗装系	m2	0.80	
素地調整	2種ケレン	m2	0.74	

注記
1. 本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。
3. 部材加工・製作に際しては、実測結果を反映のこと。

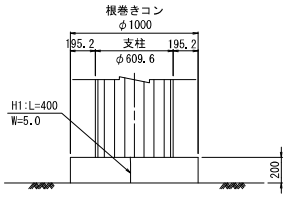
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

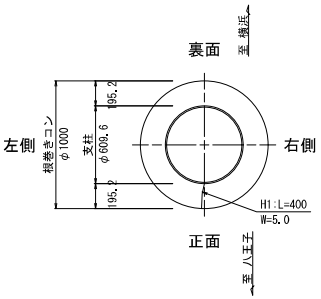
工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市由野台2丁目歩道橋 橋梁用高欄工図		
縮尺	図示	図面番号	62 の 23
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

相模原市由野台2丁目歩道橋 ひび割れ補修工図・断面修復工図

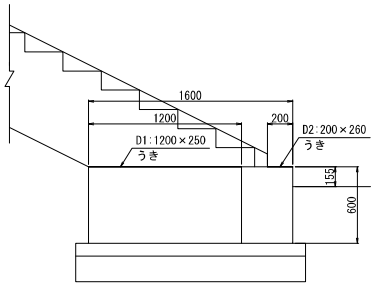
ひび割れ補修工詳細図 S=1:20

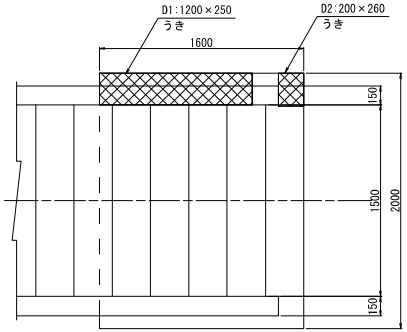
P2橋脚





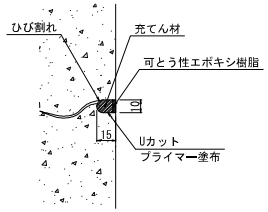
A2橋台 S=1:20





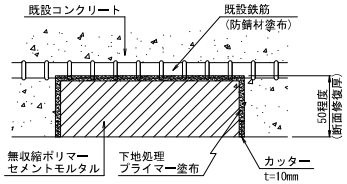
ひび割れ充てん工詳細図

H：ひび割れ充てん
(W=1.0mm以上)

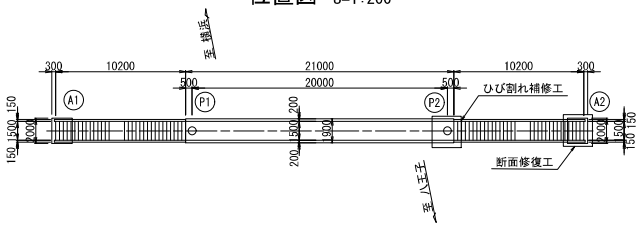


断面修復工詳細図

D：左官工法



位置図 S=1:200



ひび割れ補修工

部位	記号	幅 (mm)	長 (mm)	備考
ひび割れ充てん工法				
P2橋脚	H1	5.0	400	
計			400	

断面修復工数量(うき)

部位	記号	幅 (mm)	長 (mm)	深さ (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)
断面修復工(左官工法)：D						
A2橋台	D1	250	1200	50	0.300	0.0150
A2橋台	D2	260	200	50	0.052	0.0026
	計				0.352	0.0176

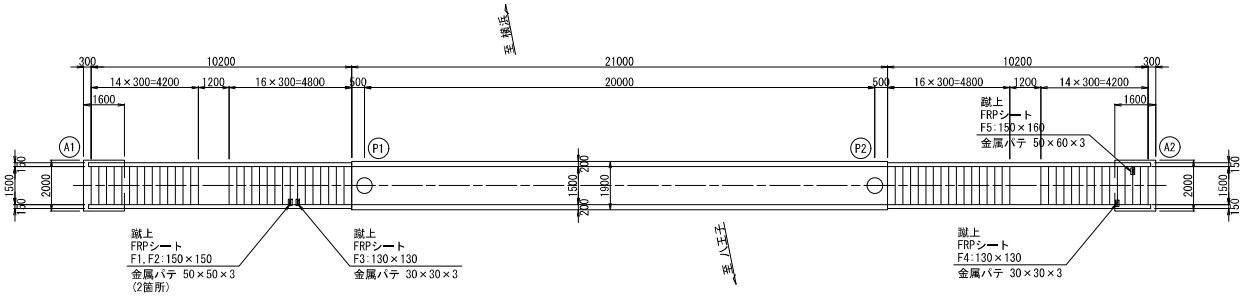
注記
1.本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2.補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。

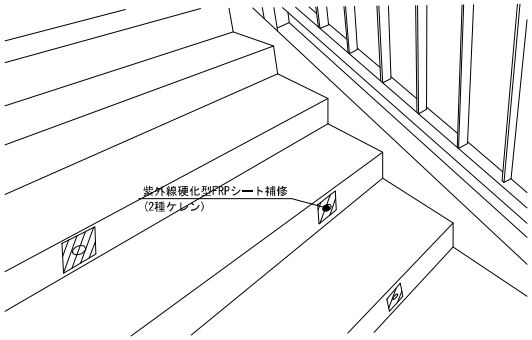
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市由野台2丁目歩道橋 ひび割れ補修工図・断面修復工図		
縮尺	図示	図面番号	62 の 24
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

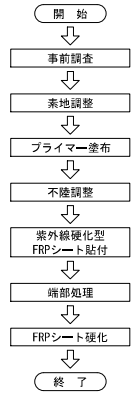
相模原市由野台2丁目歩道橋 当て板補修工図(1)

平面図 S=1:100





FRPシート補修施工フロー



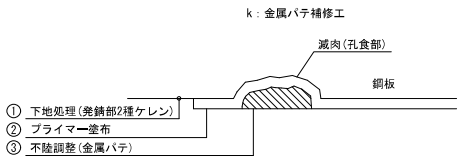
FRPシート補修工

部位	記号	幅 (mm)	長 (mm)	面積 (m2)	区分
蹴上	F1	150	150	0.023	区分A
〃	F2	150	150	0.023	区分A
〃	F3	130	130	0.017	区分A
〃	F4	130	130	0.017	区分A
〃	F5	150	160	0.024	区分A
計				0.104	―

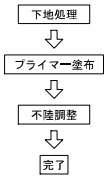
補修数量表

工種	仕様	単位	数量	摘要
FRPシート補修	紫外線硬化型FRPシート	m2	0.104	F1～F5
金属パテ充填	体積	m3	0.000029	F1～F5
	面積	m2	0.0098	F1～F5
	重量	kg	0.064	

金属パテ 詳細図



金属パテ充填施工フロー



注記
1. 本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。
3. 塗装の際のケレン片や粉塵等の桁下落下や飛散防止のため防塵ネットで十分な養生を行うこと。
4. ケレン後、不陸部がある場合は金属パテによる補修を適宜行うこと。

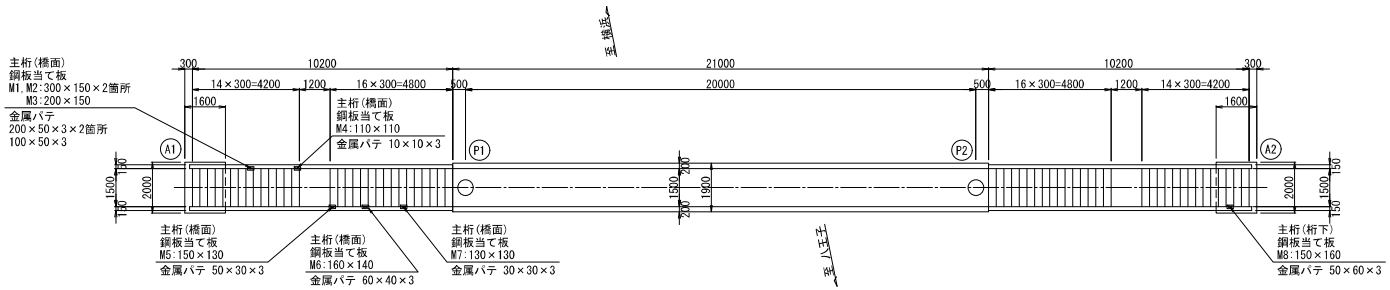
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市由野台2丁目歩道橋 当て板補修工図(1)		
縮尺	1:100	図面番号	62 の 25
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

相模原市由野台2丁目歩道橋 当て板補修工図(2)

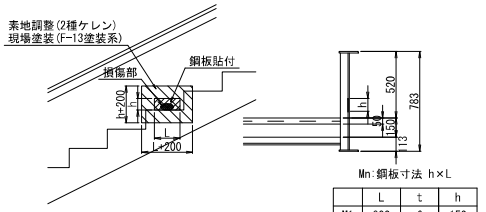
階段主桁（橋面・桁下面）

平面図 S=1:50



鋼板貼付概要図 S=1:20

橋面(踊場より上部)

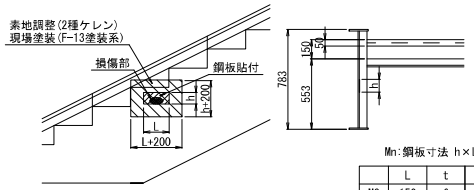


※貼付け寸法は損傷部から50mm貼付け代を確保すること。

Mn:鋼板寸法 h×L

	L	t	h
M1	300	6	150
M2	300	6	150
M3	200	6	150
M4	110	6	110
M5	150	6	130
M6	160	6	140
M7	130	6	130

桁下面(踊場より下部)



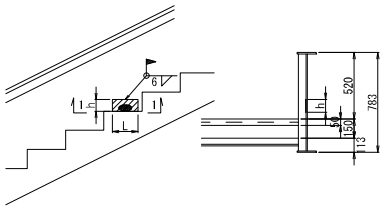
※貼付け寸法は損傷部から50mm貼付け代を確保すること。

Mn:鋼板寸法 h×L

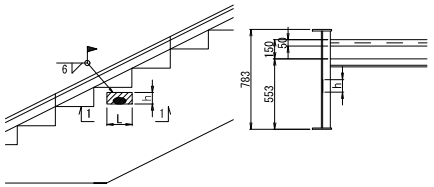
	L	t	h
M8	150	6	160

鋼板当て板補修詳細図(参考図) S=1:20

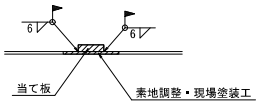
橋面(踊場より上部)



桁下面(踊場より下部)

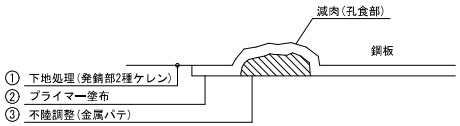


1-1

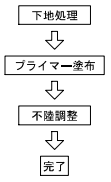


金属パテ 詳細図

k：金属パテ補修工



金属パテ補修施工フロー



鋼板当て板補修工

部位	記号	幅 (mm)	長 (mm)	厚 (mm)	質量 (kg)	溶接延長 (mm)	部位	記号	幅 (mm)	長 (mm)	厚 (mm)	質量 (kg)	溶接延長 (mm)
階段主桁	M1	300	150	6	2.1	900	階段主桁	M6	160	140	6	1.1	600
〃	M2	300	150	6	2.1	900	〃	M7	130	130	6	0.8	520
〃	M3	200	150	6	1.4	700	〃	M8	150	160	6	1.1	620
〃	M4	110	110	6	0.6	440							
〃	M5	150	130	6	0.9	560	小計					3.0	1740
小計					7.1	合計	合計					10.1	5240

補修数量表

工種	仕様	単位	数量	摘要
当て板補修	SM400A t=6mm	kg	10.1	M1～M8
金属パテ充填	体積	m3	0.00010	M1～M8
	面積	m2	0.329	
	重量	kg	0.270	
現場塗装	F-13塗装系	m2	1.08	
素地調整	2種ケレン	m2	1.08	
現場溶接	6mm隅肉換算長	m	5.24	

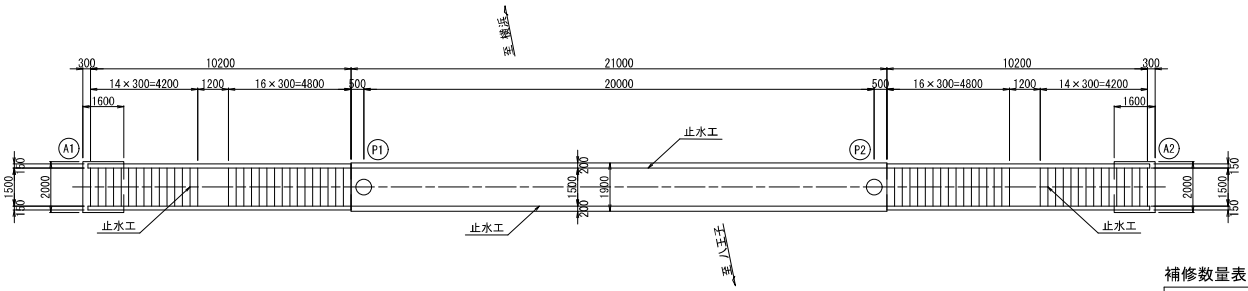
注記
1. 本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。
3. 塗装の際のケレン片や粉塵等の桁下落下や飛散防止のため防塵ネットで十分な養生を行うこと。
4. ケレン後、不陸部がある場合は金属パテによる補修を適宜行うこと。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事
図面名	相模原市由野台2丁目歩道橋 当て板補修工図(2)
縮尺	図示
図面番号	62 の 26
年月日	令和 8 年 6 月 日
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社
事務所名	国土交通省 相武国道事務所

相模原市由野台2丁目歩道橋 橋面止水工図

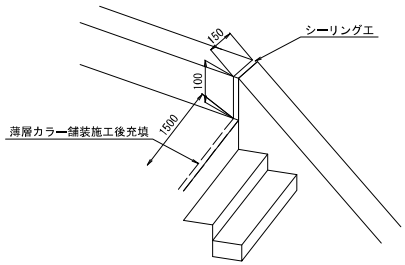
平面図 S=1:100



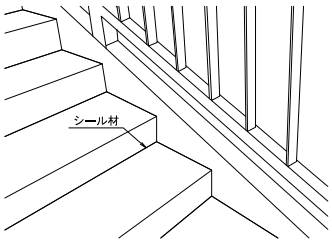
補修数量表

工種	仕様	単位	数量	摘要
伸縮部止水	バックアップ材+シール材 W=20mm	m	4.0	
止水	シール材 △20×20mm	m	181.5	

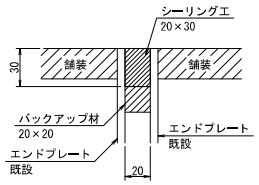
伸縮部止水工位置図



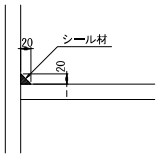
止水工位置図



伸縮部止水工詳細図 S=1:2



止水工詳細図 S=1:5



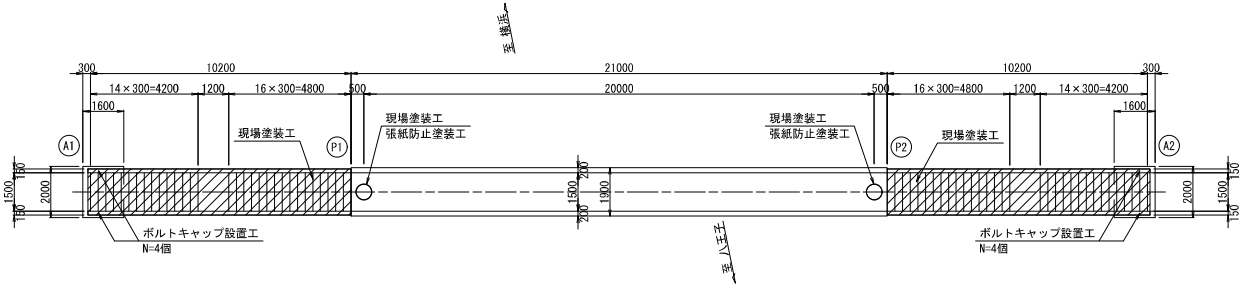
注記
1.本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2.補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。
3.伸縮部止水工は薄層舗装実施後に充填する。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市由野台2丁目歩道橋 橋面止水工図		
縮尺	図示	図面番号	62 の 27
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

相模原市由野台2丁目歩道橋 現場塗装工図

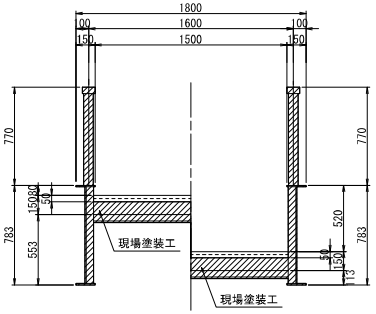
平面図 S=1:100



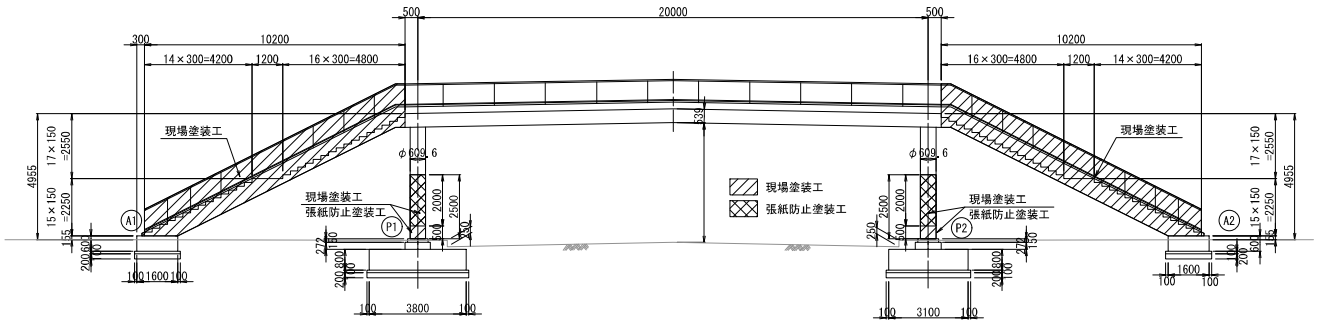
断面図 S=1:20

階段主桁部

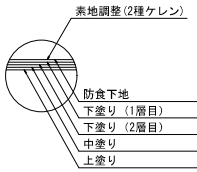
踊り場より下部　踊り場より上部



側面図 S=1:100



Rc-Ⅱ塗装系(湿式剥離剤による塗膜除去工)



防食下地	有機ジンクリッチペイント	600g/m2
下塗り（1層目）	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	200g/m2
下塗り（2層目）	〃	200g/m2
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140g/m2
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	120g/m2

現場塗装工施工フロー

開　始
↓
準備工・養生
↓
素地調整　※2種ケレン
↓
防食下地・下塗り
↓
中塗り
↓
上塗り
↓
完了
↓
終　了

Rc-Ⅱ塗装系

塗装工程	塗料名	標準膜厚(μm)	使用量(g/m2)	摘要
素地調整		——	——	湿式塗膜剥離剤(3回)
防食下地	有機ジンクリッチペイント	75	600(300×2)	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	60	200	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	60	200	
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	30	140	
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	25	120	

補修数量表

工種	仕様	単位	数量	摘要
現場塗装工	Rc-Ⅱ塗装工(湿式剥離剤による塗膜除去工)	m2	216.2	階段部、橋脚部分塗装（H=2.5m）
張紙防止塗装工	クリヤー	m2	7.7	橋脚(H=2.0m)
ボルトキャップ設置工	M22用 塩化ビニル製	個	8	A1、A2橋台

注記

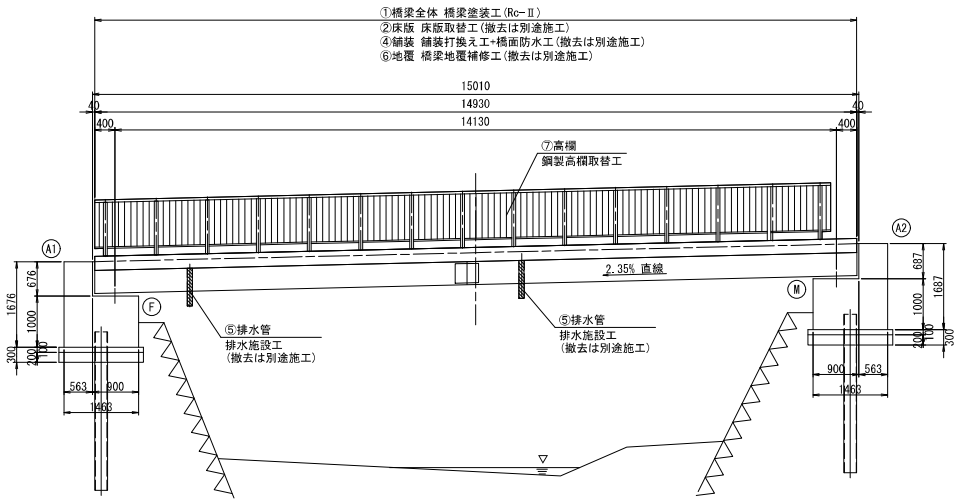
1. 本図面は既存資料を基に作成した図面である。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。
3. 事前の塗膜有害物質含有・溶出量調査により鉛含有が確認されていることから、鉛中毒予防規則、及び特定化学物質障害予防規則に準じて施工すること。
4. 塗装の際のケレン片や粉塵等の桁下落下や飛散防止のため防塵ネットで十分な養生を行うこと。
5. ケレン後、不陸部がある場合は金属パテによる補修を適宜行うこと。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

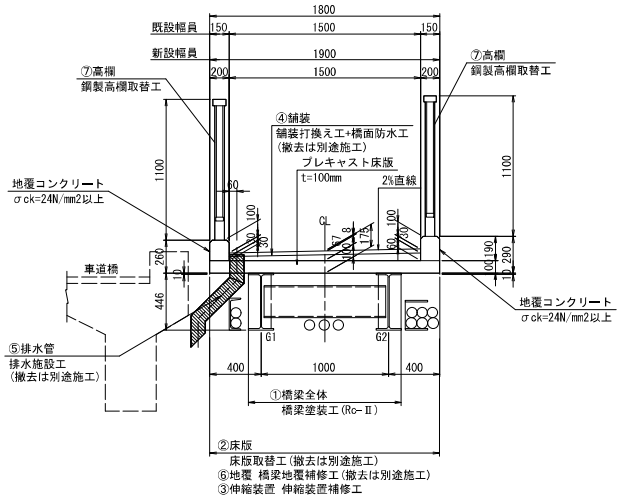
工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市由野台2丁目歩道橋 現場塗装工図		
縮尺	図示	図面番号	62 の 28
年月日	令和 8 年 6 月　日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

梅ノ木橋側道橋 補修工一般図

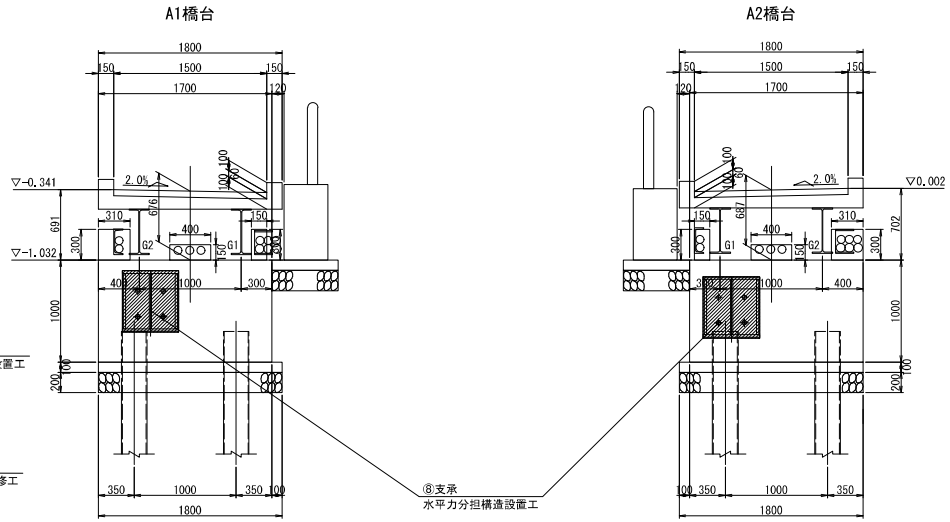
側面図 S=1:50



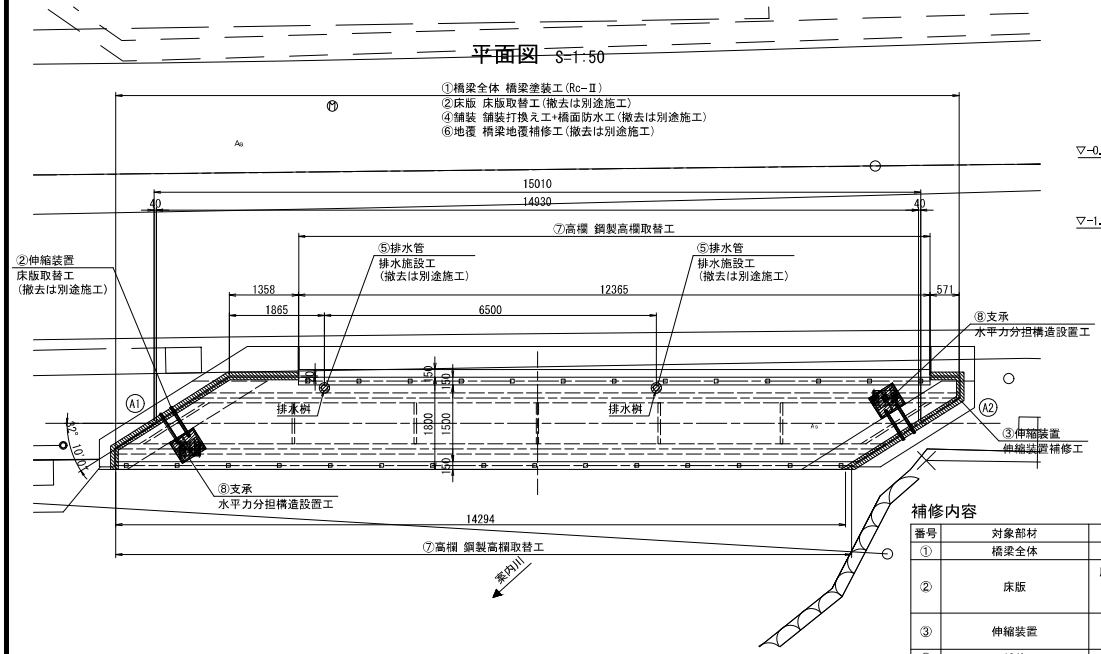
標準断面図 S=1:20



下部工断面図 S=1:25



平面図 S=1:50



補修内容

番号	対象部材	損傷内容	対策工
①	橋梁全体		橋梁塗装工(Rc-Ⅱ)
②	床版	腐食・防食機能の劣化、欠損、遊離石灰、滞水(漏水)	床版取替工(撤去は別途施工)
③	伸縮装置	変形・欠損 補修後再発(うき)	伸縮装置補修工
④	舗装	舗装の異常、植生	舗装打換え工+橋面防水工(撤去は別途施工)
⑤	排水管	腐食・防食機能の劣化 変形・欠損	排水施設工(撤去は別途施工)
⑥	地覆	変形・欠損	橋梁地覆補修工(撤去は別途施工)
⑦	高欄	腐食・防食機能の劣化	鋼製高欄取替工
⑧	支承	防食機能の劣化	水平力分担構造設置工

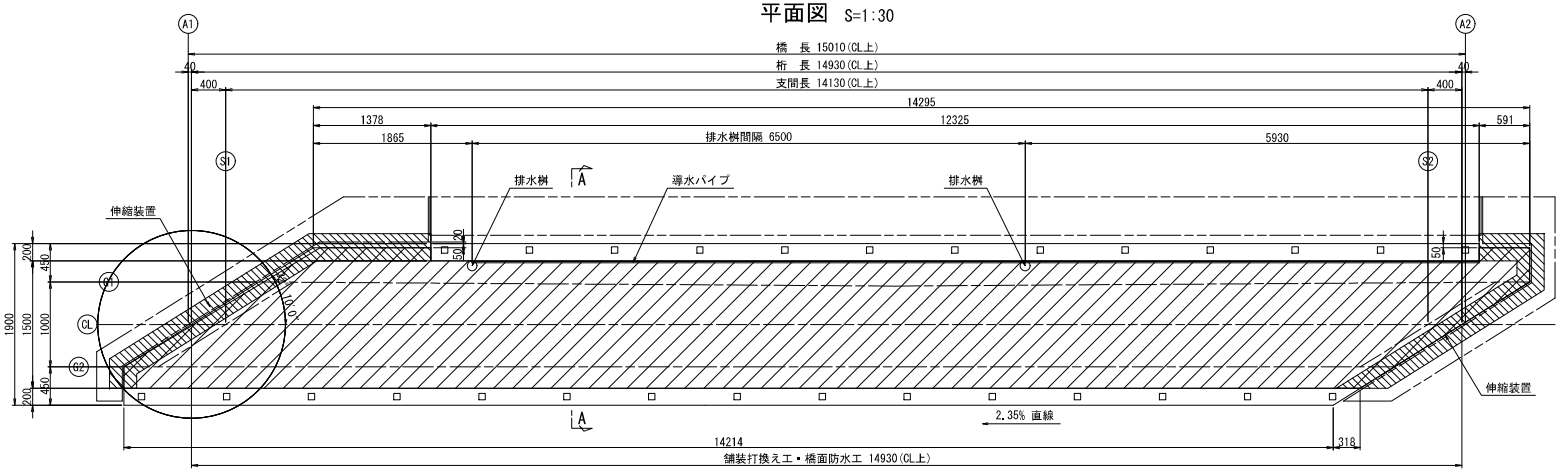
注記
1. 本図は「30J管内橋梁点検他業務」(パシフィックコンサルタンツ、H31.3)の成果図面(補修一般図)を基に、一部「南浅川歩道橋設置工事」(昭和57年3月30日完成)の完成図を参照して作成した。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。
3. 施工に先立ち、河川管理者との協議を行うこと。
4. 本橋の施工は歩道の通行止めにより実施し、歩行者は迂回路を利用する計画とする。
5. 床版・地覆・舗装・排水管の撤去は別途施工とする。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 補修工一般図		
縮尺	図示	図面番号	62 の 29
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

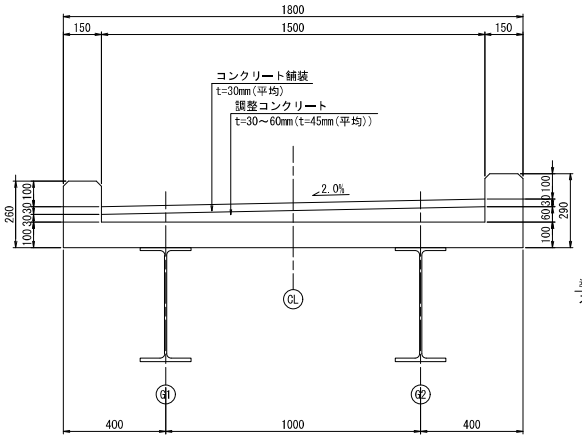
梅ノ木橋側道橋 舗装打換え・橋面防水工詳細図

平面図 S=1:30

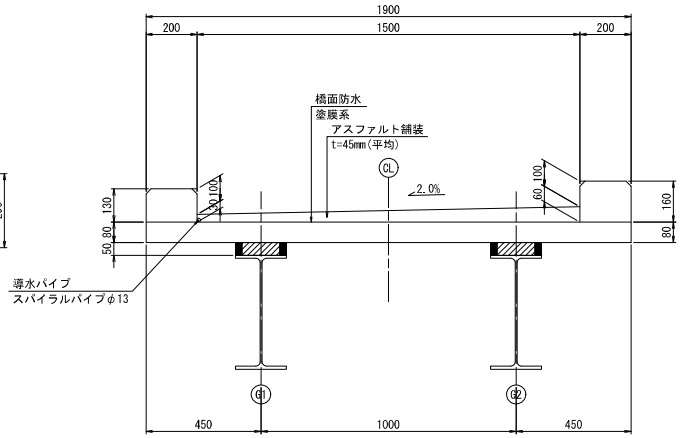


断面図 S=1:10

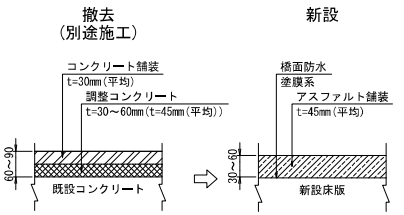
A-A 撤去
(別途施工)



A-A 新設



舗装打換え工・橋面防水工詳細図 S=1:5



数量表

種別	細別	規格・寸法	単位	数量	備考
橋面防水工	防水層	塗膜系	m2	21.5	
舗装打換え工	コンクリート舗装撤去	t=30mm(平均)	m2	22.6	別途施工
			m3	0.7	別途施工
	調整コンクリート撤去	t=30～60mm(t=45mm(平均))	m2	22.6	別途施工
			m3	1.0	別途施工
	アスファルト舗装	再生細粒度アスコン(13) t=45mm(平均)	m2	21.5	
	導水パイプ	樹脂製スパイラルパイプφ13	m	11.8	

注記
1. 本図は「30J管内橋梁点検他業務」(パシフィックコンサルタンツ、H31.3)の成果図面(補修一般図)を基に、一部「南浅川歩道橋設置工事」(昭和57年3月30日完成)の完成図を参照して作成した。
図中詳細寸法等は現地計測のうえ決定すること。
2. 舗装打ち換えの際、既設路面を撤去後、床版上面を目視点検し、健全であることを確認すること。
床版上に劣化が認められる場合は、補修の実施について監督職員と協議すること。

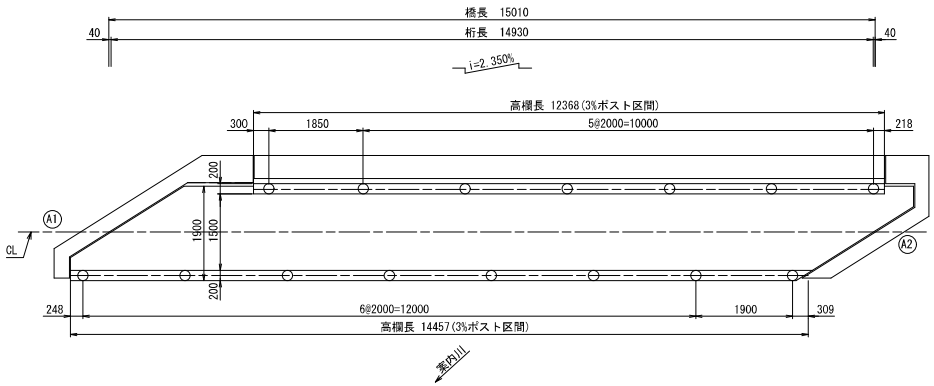
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 舗装打換え・橋面防水工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	62 の 30
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

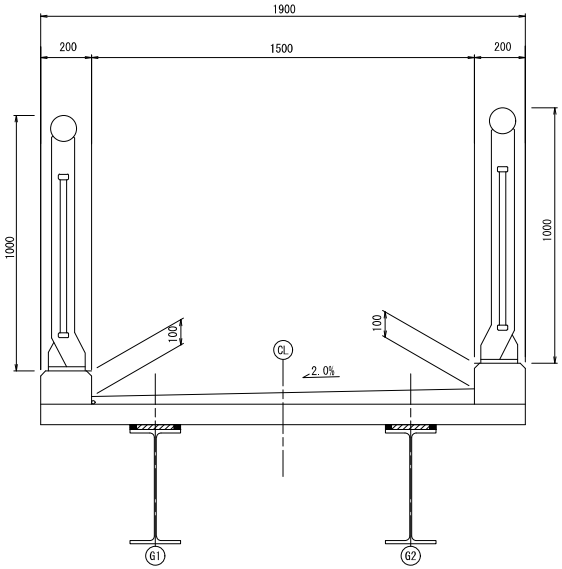
梅ノ木橋側道橋 鋼製高欄取替工詳細図

平面割付図(参考図) S=1:50

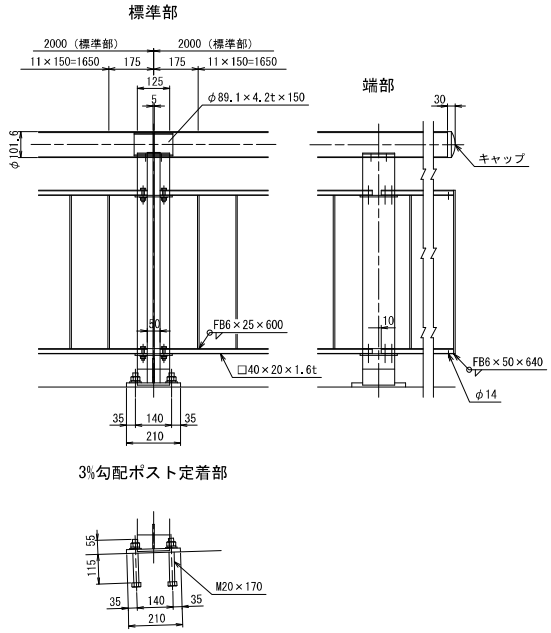
<注記>
・高欄長およびポストピッチはアンカー中心位置での実長を示す。



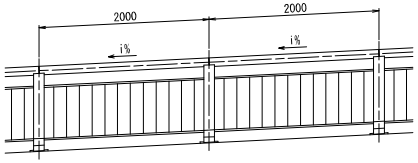
断面図 S=1:10



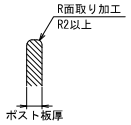
鋼製高欄(参考図) S=1:10



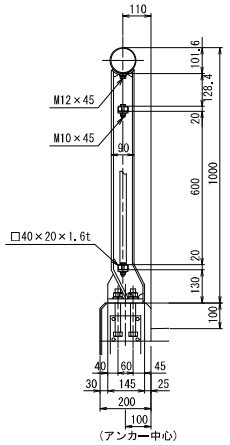
勾配部姿図(参考図) S=1:30



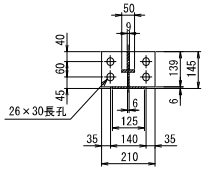
ポスト外周端面(参考図) S=1:1



SP種 H=1000



A一A(ベース図)(参考図)



3%勾配ポスト定着部

材料表 SP種 H=1000(参考図)

(ポストピッチ2.0m/10m当りの場合)

名称	寸法	材質	単重	数量	重量
ポスト	916×145×210	SS400	14.97	5.0 本	74.9
レール	φ101.6×3.2t	STK400	7.76	9.975 m	77.4
縦手	φ89.1×4.2t×150	STK400	1.32	5.0 本	6.6
中貫	□40×20×1.6t	STKMRR	1.44	19.5 m	28.1
立貫	FB6×25×600	SS400	0.71	60.0 本	42.6
止めボルト	M12×45(B,W,SW)	強度区分:4.6以上	0.07	10.0 本	0.7
止めボルト	M10×45(B,N,W,SW)	強度区分:4.6以上	0.06	20.0 本	1.2
アンカーボルト	M20×170(六角全ネジB,N,W,SW)	強度区分:4.6以上	0.59	20.0 本	11.8
				合計	243.3Kg

高欄長	L=	26.825m
3%勾配ポスト区間	L=	26.825m
格子端部処理	4ケ所	
ポスト総数量	15本	
注>現地確認のうえ、製作のこと。		

注記
1. 各部寸法は施工前に現場計測のうえ施工数量を確認のこと。
2. 防護柵本体は景観色塗装とする。

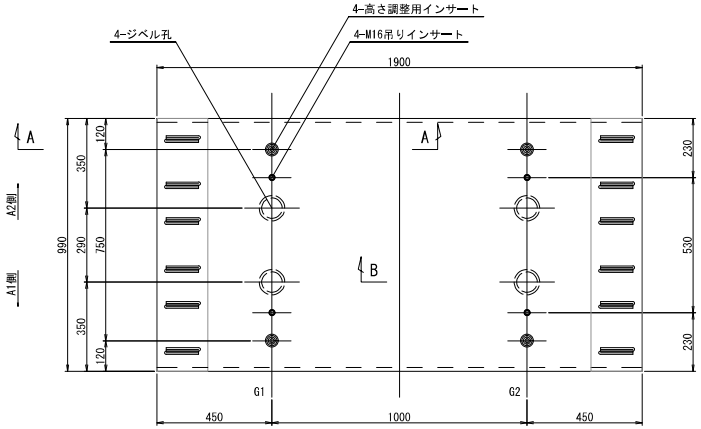
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 鋼製高欄取替工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	62 の 31
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

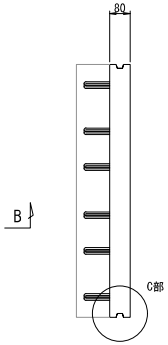
梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(1)

プレキャスト床版(Aタイプ)構造図

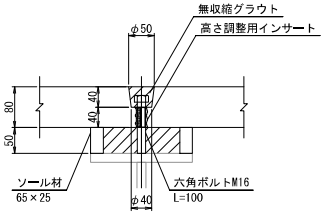
平面図(参考図) S=1:10



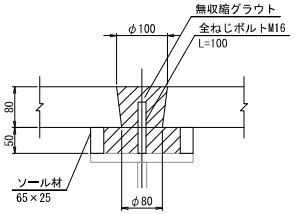
側面図(参考図) S=1:10



高さ調整用インサート部詳細図(参考図) S=1:5



桁床版定着時詳細図(参考図) S=1:5



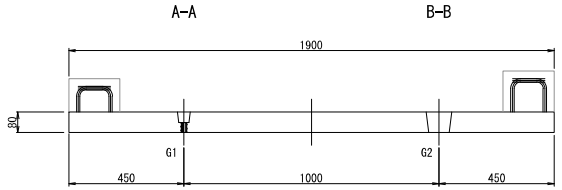
材料表

(1枚当り)

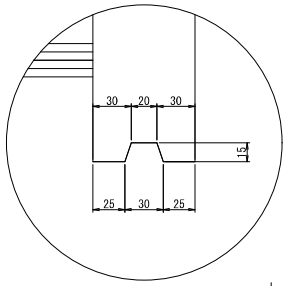
	種別	規格	単位	数量	備考
プレキャスト板	コンクリート	σck=100N/mm2	m3	0.15	超高強度合成繊維補強コンクリート
	高さ調整ボルト	六角ボルトM16,首下L=100	本	4	
	高さ調整インサート	M16,L=40,Nインサート	個	4	
	鉄筋	D13 (SD345)	kg	25	
		D10 (SD345)	kg	8	
	吊りインサート	M16,L=50,Pインサート	個	4	

床版重量 : 0.38t

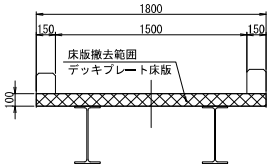
断面図(参考図) S=1:10



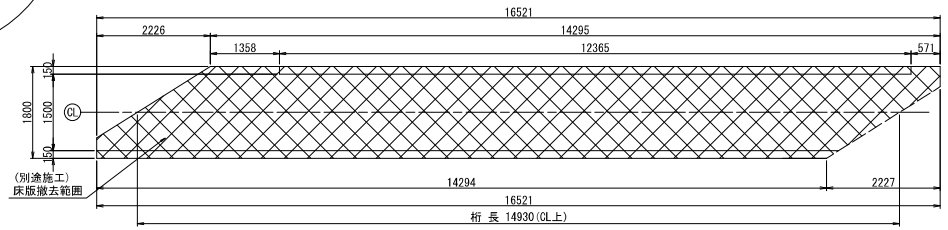
C部詳細図(参考図) S=1:10



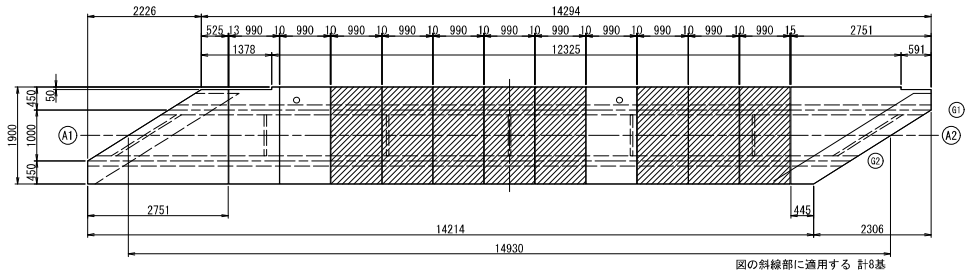
(別途施工) 床版撤去断面図 S=1:20



(別途施工) 床版撤去平面図 S=1:50



位置図 S=1:50



図の斜線部に適用する 計8基

数量表

種別	細別	規格	単位	数量	摘要
床版撤去工	撤去床版面積	デッキプレート床版	m2	26.62	別途施工
	地覆撤去延長		m	26.66	別途施工

注記
1. 施工にあたり事前に現地計測を行い、寸法の確認を行うこと。(主桁長、主桁間隔、主桁フランジ幅、既設管位置)
2. 現地計測した寸法が設計寸法と異なる場合、必要に応じて設計の変更を行うこと。
3. 床版・地覆・舗装の撤去は別途施工とする。

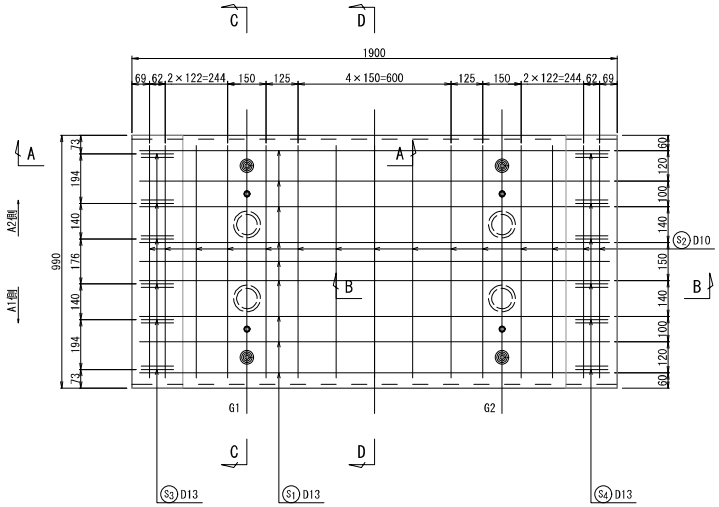
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事
図面名	梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(1)
縮尺	図示
図面番号	62 の 32
年月日	令和 8 年 6 月 日
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 相武国道事務所

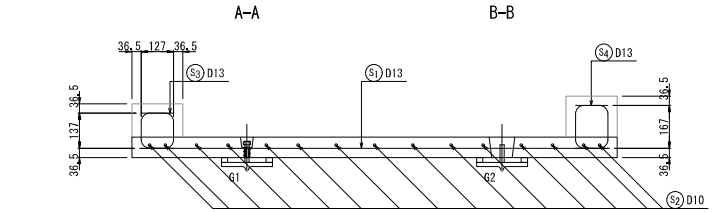
梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(2)　S=1:10

プレキャスト床版(Aタイプ)配筋図

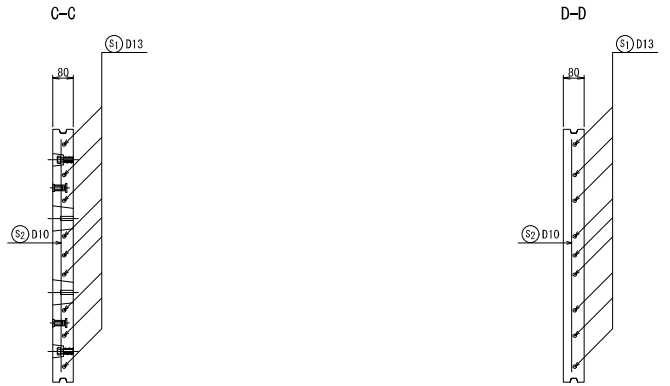
平面図(参考図)



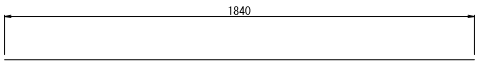
断面図(参考図)



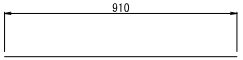
断面図(参考図)



鉄筋加工図(参考図)



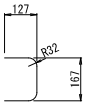
S1 9-D13×1840



S2 15-D10×910



S3 12-D13×365



S4 12-D13×395

鉄筋表

(1枚当り)

記号	径	長　さ	本数	単位質量	1本当り質量	質　量	摘　要
S1	D13	1840	9	0.995	1.83	16	――
S2	D10	910	15	0.560	0.51	8	――
S3	D13	365	12	0.995	0.36	4	〃
S4	D13	395	12	0.995	0.39	5	〃
鉄筋総質量(SD345)							
						D13	25 kg
						D10	8 kg
						合計	33 kg

注記
1. 施工にあたり事前に現地計測を行い、
寸法の確認を行うこと。(主桁長、主桁間隔、
主桁フランジ幅、既設管位置)
2. 現地計測した寸法が設計寸法と異なる場合、
必要に応じて設計の変更を行うこと。

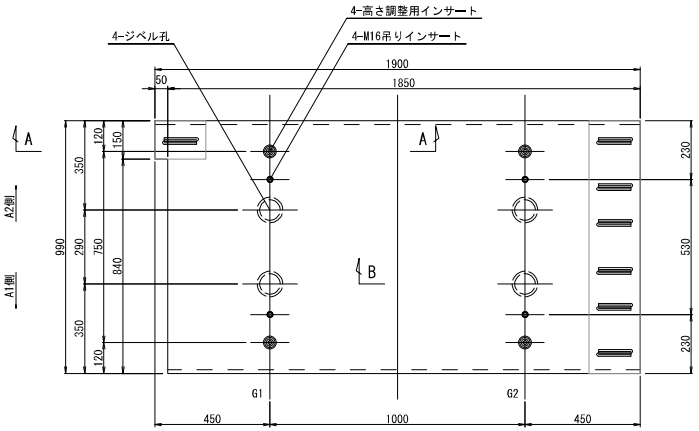
本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(2)		
縮尺	1:10	図面番号	62 の 33
年月日	令和 8 年 6 月　日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

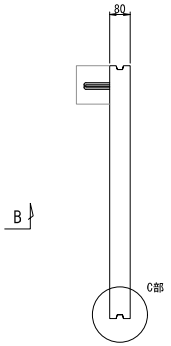
梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(3)

プレキャスト床版(Bタイプ)構造図

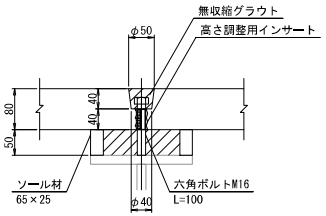
平面図(参考図) S=1:10



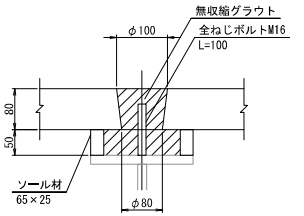
側面図(参考図) S=1:10



高さ調整用インサート部詳細図(参考図) S=1:5



桁床版定着時詳細図(参考図) S=1:5



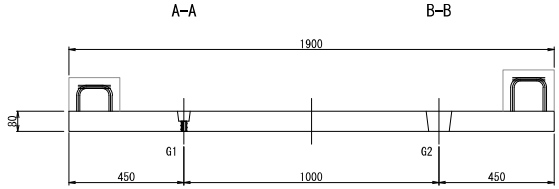
材料表

(1枚当り)

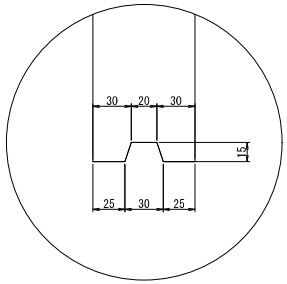
	種別	規格	単位	数量	備考
プレキャスト板	コンクリート	σck=100N/mm2	m3	0.16	超高強度合成繊維補強コンクリート
	高さ調整ボルト	六角ボルトM16,首下L=100	本	4	
	高さ調整インサート	M16,L=40,Nインサート	個	4	
	鉄筋	D13 (SD345)	kg	25	
		D10 (SD345)	kg	8	
	吊りインサート	M16,L=50,Pインサート	個	4	

床版重量 : 0.38t

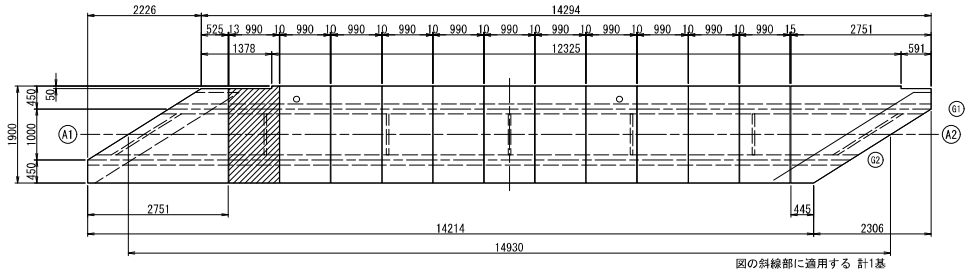
断面図(参考図) S=1:10



C部詳細図(参考図) S=1:10



位置図 S=1:50



図の斜線部に適用する 計1基

注記
1.施工にあたり事前に現地計測を行い、
寸法の確認を行うこと。(主桁長、主桁間隔、
主桁フランジ幅、既設管位置)
2.現地計測した寸法が設計寸法と異なる場合、
必要に応じて設計の変更を行うこと。

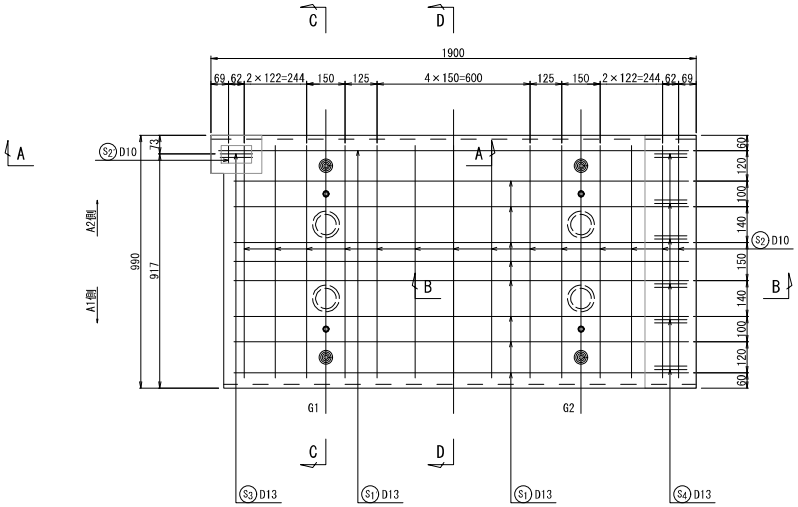
本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(3)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 34
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

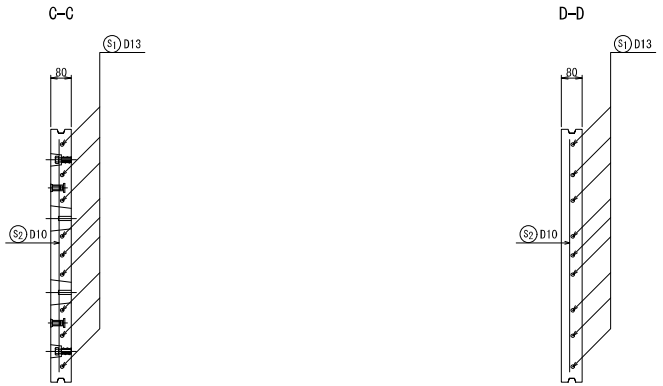
梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(4)　S=1:10

プレキャスト床版(Bタイプ)配筋図

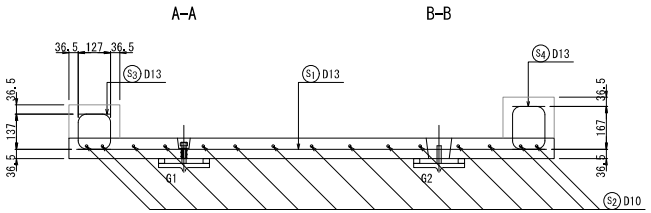
平面図(参考図)



断面図(参考図)

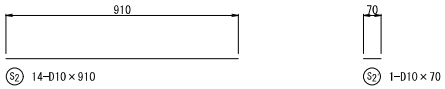


断面図(参考図)

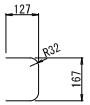


鉄筋加工図(参考図)









鉄筋表　(1枚当り)

記号	径	長　さ	本数	単位質量	1本当り質量	質　量	摘　要
S1	D13	1780	8	0.995	1.77	14	―――
S1'	D13	1840	1	0.995	1.83	2	―――
S2	D10	910	14	0.560	0.51	7	――
S2'	D10	70	1	0.560	0.04	1	〃
S3	D13	365	1	0.995	0.36	1	〃
S4	D13	395	12	0.995	0.39	5	〃
鉄筋総質量(SD345)							
						D13	22 kg
						D10	8 kg
						合計	30 kg

注記
1. 施工にあたり事前に現地計測を行い、
寸法の確認を行うこと。(主桁長、主桁間隔、
主桁フランジ幅、既設管位置)
2. 現地計測した寸法が設計寸法と異なる場合、
必要に応じて設計の変更を行うこと。

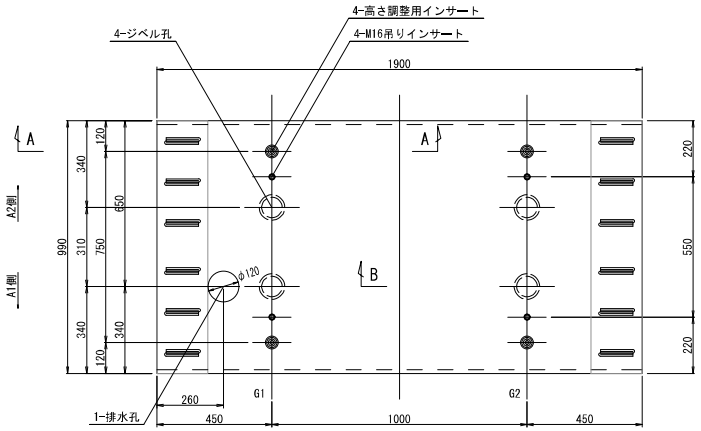
本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(4)		
縮尺	1:10	図面番号	62 の 35
年月日	令和 8 年 6 月　日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

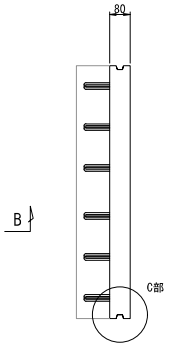
梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(5)

プレキャスト床版(Cタイプ)構造図

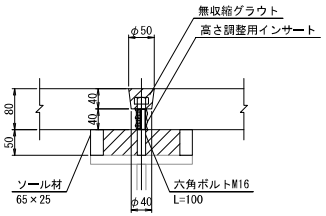
平面図(参考図) S=1:10



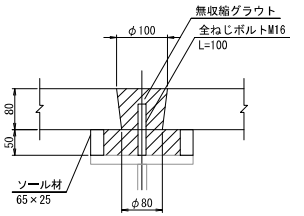
側面図(参考図) S=1:10



高さ調整用インサート部詳細図(参考図) S=1:5



桁床版定着時詳細図(参考図) S=1:5



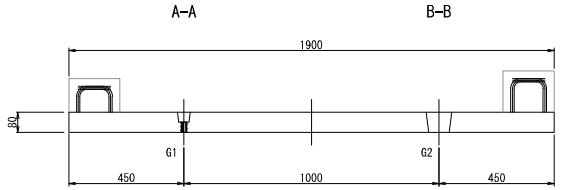
材料表

(1枚当り)

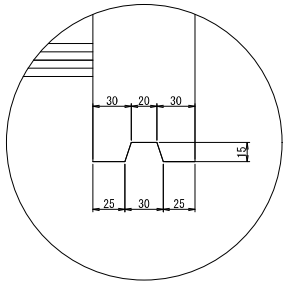
	種別	規格	単位	数量	備考
プレキャスト板	コンクリート	σck=100N/mm2	m3	0.15	超高強度合成繊維補強コンクリート
	高さ調整ボルト	六角ボルトM16,首下L=100	本	4	
	高さ調整インサート	M16,L=40,Nインサート	個	4	
	鉄筋	D13 (SD345)	kg	25	
		D10 (SD345)	kg	8	
	吊りインサート	M16,L=50,Pインサート	個	4	
	排水管用インサート	M12,L=60	個	1	

床版重量 : 0.38t

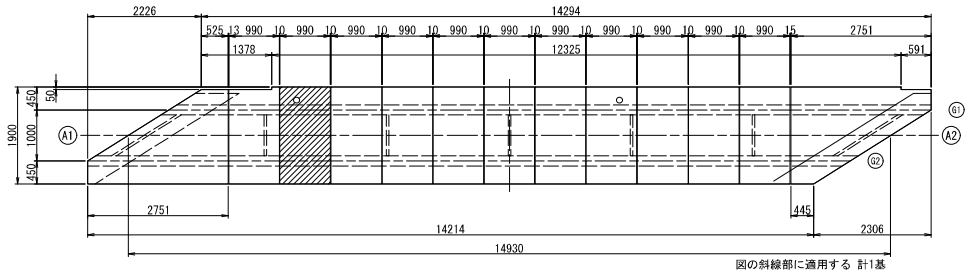
断面図(参考図) S=1:10



C部詳細図(参考図) S=1:10



位置図 S=1:50



図の斜線部に適用する 計1基

注記
1.施工にあたり事前に現地計測を行い、
寸法の確認を行うこと。(主桁長、主桁間隔、
主桁フランジ幅、既設管位置)
2.現地計測した寸法が設計寸法と異なる場合、
必要に応じて設計の変更を行うこと。

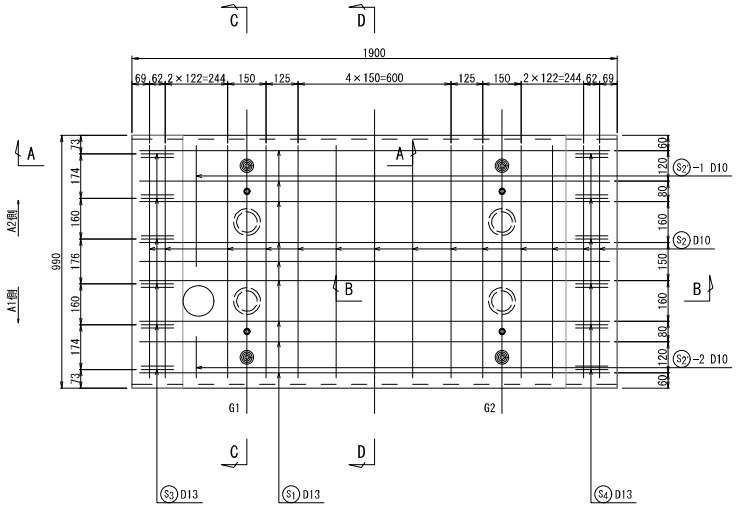
本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(5)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 36
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

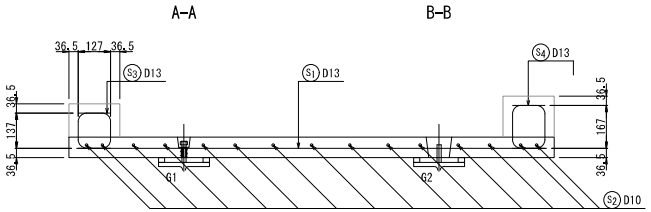
梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(6)　S=1:10

プレキャスト床版(Cタイプ)配筋図

平面図(参考図)

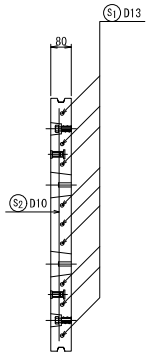


断面図(参考図)

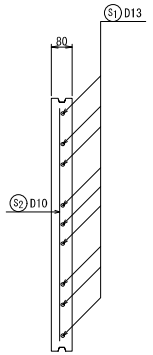


断面図(参考図)

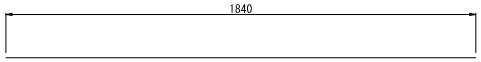
C-C



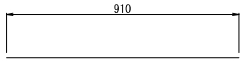
D-D



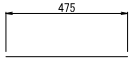
鉄筋加工図(参考図)



S1 9-D13×1840



S2 14-D10×910



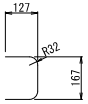
S2 -1 1-D10×475



S2 -2 1-D10×160



S3 12-D13×365



S4 12-D13×395

鉄筋表

(1枚当り)

記号	径	長　さ	本数	単位質量	1本当り質量	質　量	摘　要
S1	D13	1840	9	0.995	1.83	16	―――
S2	D10	910	14	0.560	0.51	7	――
S2'-1	D10	475	1	0.560	0.27	1	―
S2'-2	D10	160	1	0.560	0.09	1	〃
S3	D13	365	12	0.995	0.36	4	〃
S4	D13	395	12	0.995	0.39	5	〃
鉄筋総質量(SD345)							
					D13	25 kg	
					D10	9 kg	
					合計	34 kg	

注記
1. 施工にあたり事前に現地計測を行い、寸法の確認を行うこと。(主桁長、主桁間隔、主桁フランジ幅、既設管位置)
2. 現地計測した寸法が設計寸法と異なる場合、必要に応じて設計の変更を行うこと。

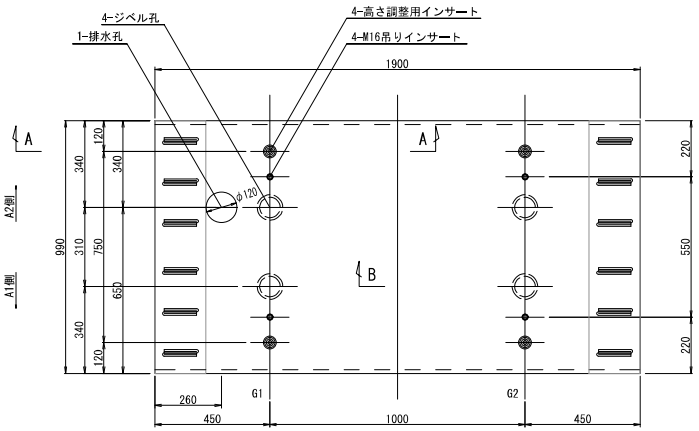
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(6)		
縮尺	1:10	図面番号	62 の 37
年月日	令和 8 年 6 月　日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

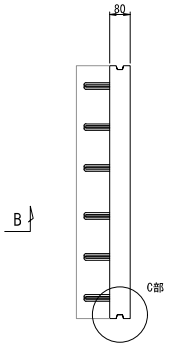
梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(7)

プレキャスト床版(Dタイプ)構造図

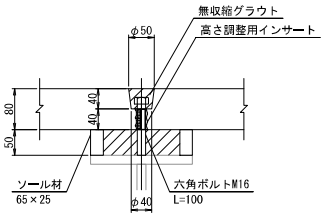
平面図(参考図) S=1:10



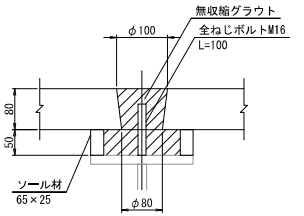
側面図(参考図) S=1:10



高さ調整用インサート部詳細図(参考図) S=1:5



桁床版定着時詳細図(参考図) S=1:5



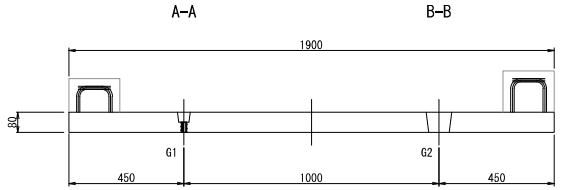
材料表

(1枚当り)

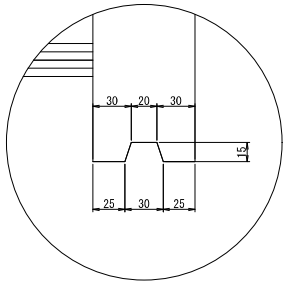
	種別	規格	単位	数量	備考
プレキャスト板	コンクリート	σck=100N/mm2	m3	0.15	超高強度合成繊維補強コンクリート
	高さ調整ボルト	六角ボルトM16,首下L=100	本	4	
	高さ調整インサート	M16,L=40,Nインサート	個	4	
	鉄筋	D13 (SD345)	kg	25	
		D10 (SD345)	kg	8	
	吊りインサート	M16,L=50,Pインサート	個	4	
	排水管用インサート	M12,L=60	個	1	

床版重量 : 0.38t

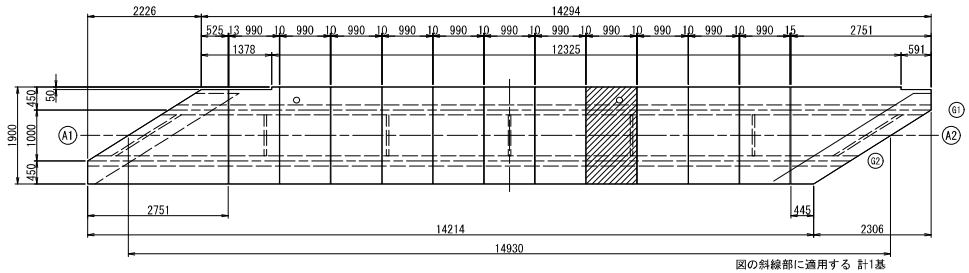
断面図(参考図) S=1:10



C部詳細図(参考図) S=1:10



位置図 S=1:50



図の斜線部に適用する 計1基

注記
1.施工にあたり事前に現地計測を行い、
寸法の確認を行うこと。(主桁長、主桁間隔、
主桁フランジ幅、既設管位置)
2.現地計測した寸法が設計寸法と異なる場合、
必要に応じて設計の変更を行うこと。

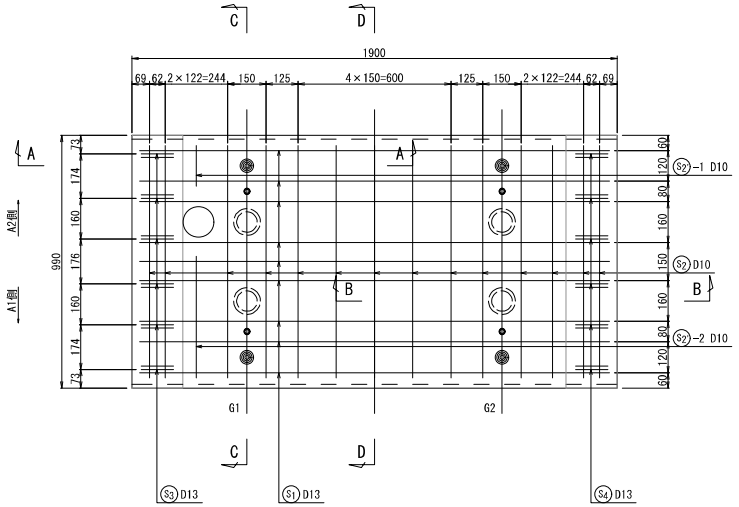
本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(7)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 38
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

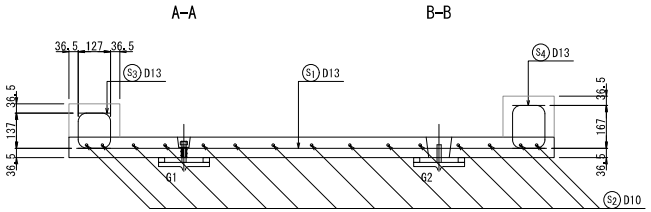
梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(8)　S=1:10

プレキャスト床版(Dタイプ)配筋図

平面図(参考図)



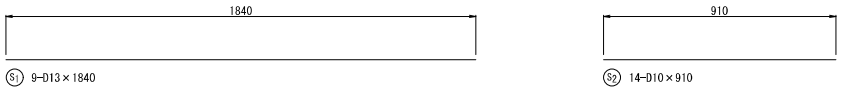
断面図(参考図)



断面図(参考図)



鉄筋加工図(参考図)







鉄筋表　(1枚当り)

記号	径	長　さ	本数	単位質量	1本当り質量	質　量	摘　要
S1	D13	1840	9	0.995	1.83	16	―――
S2	D10	910	14	0.560	0.51	7	――
S2'-1	D10	160	1	0.560	0.09	1	-
S2'-2	D10	475	1	0.560	0.27	1	―
S3	D13	365	12	0.995	0.36	4	〃
S4	D13	395	12	0.995	0.39	5	〃
鉄筋総質量(SD345)							
						D13	25 kg
						D10	9 kg
						合計	34 kg

注記
1. 施工にあたり事前に現地計測を行い、
寸法の確認を行うこと。(主桁長、主桁間隔、
主桁フランジ幅、既設管位置)
2. 現地計測した寸法が設計寸法と異なる場合、
必要に応じて設計の変更を行うこと。

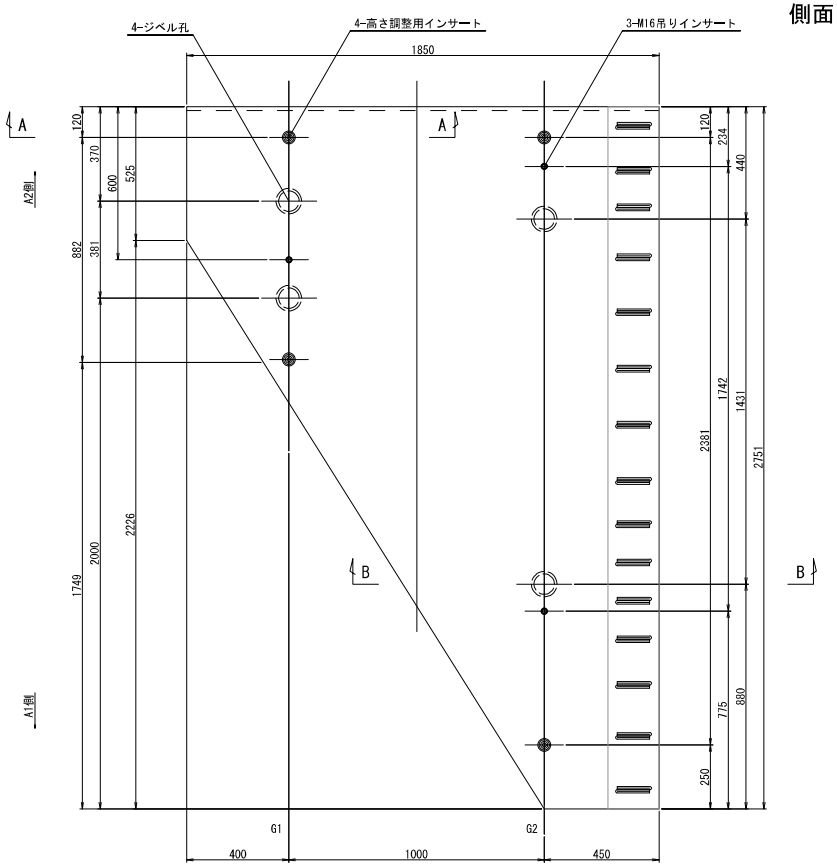
本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(8)		
縮尺	1:10	図面番号	62 の 39
年月日	令和 8 年 6 月　日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

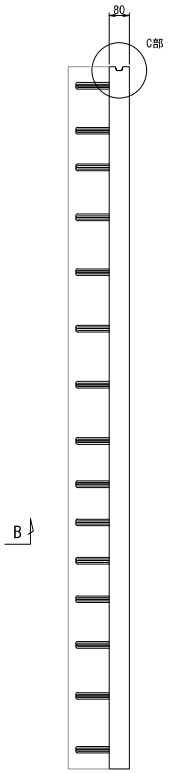
梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(9)

プレキャスト床版(Eタイプ)構造図

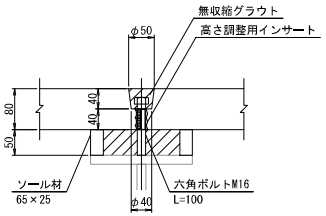
平面図(参考図) S=1:10



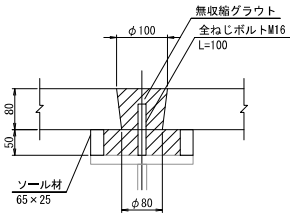
側面図(参考図) S=1:10



高さ調整用インサート部詳細図(参考図) S=1:5



桁床版定着時詳細図(参考図) S=1:5



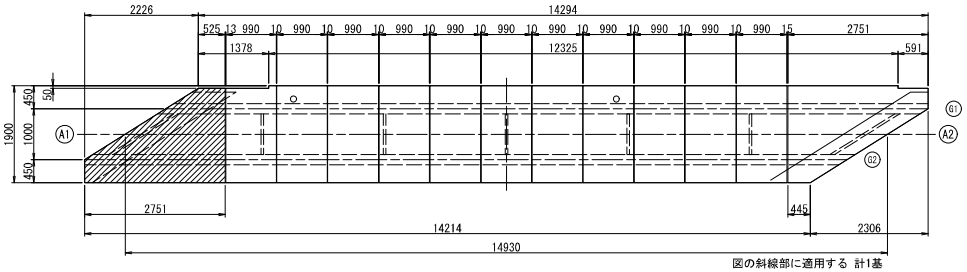
材料表

(1枚当り)

	種別	規格	単位	数量	備考
プレキャスト板	コンクリート	σck=100N/mm2	m3	0.28	超高強度合成繊維補強コンクリート
	高さ調整ボルト	六角ボルトM16,首下L=100	本	4	
	高さ調整インサート	M16,L=40,Nインサート	個	4	
	鉄筋	D13 (SD345)	kg	42	
		D10 (SD345)	kg	15	
	吊りインサート	M16,L=50,Pインサート	個	3	

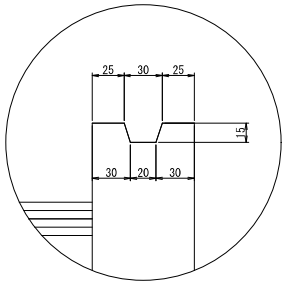
床版重量 : 0.70t

位置図 S=1:50

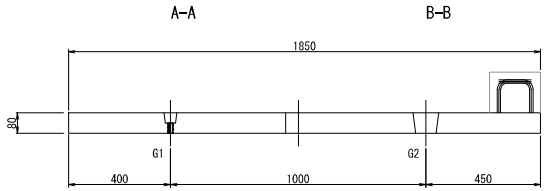


図の斜線部に適用する 計1基

C部詳細図(参考図) S=1:10



断面図(参考図) S=1:10



注記
1.施工にあたり事前に現地計測を行い、
寸法の確認を行うこと。(主桁長、主桁間隔、
主桁フランジ幅、既設管位置)
2.現地計測した寸法が設計寸法と異なる場合、
必要に応じて設計の変更を行うこと。

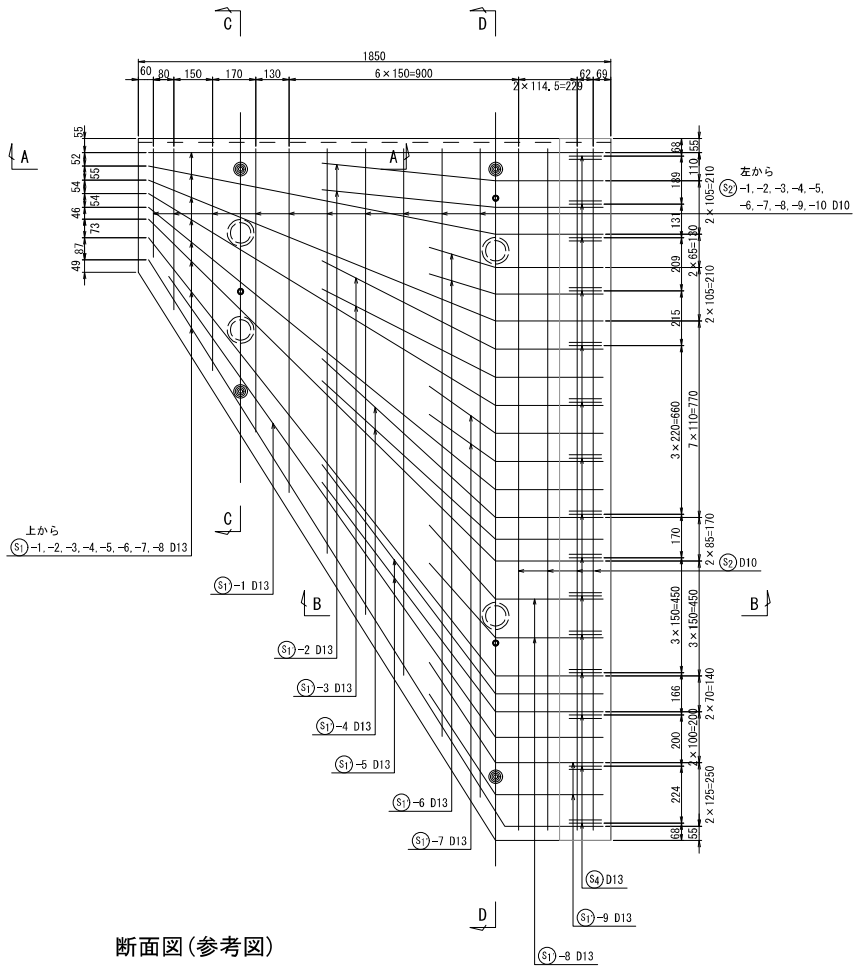
本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(9)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 40
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(10)　S=1:10

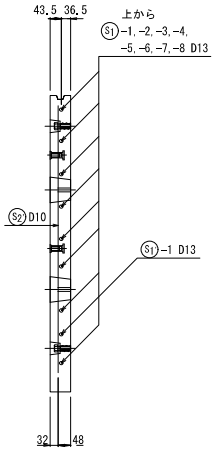
プレキャスト床版(Eタイプ)配筋図 (1)

平面図(参考図)

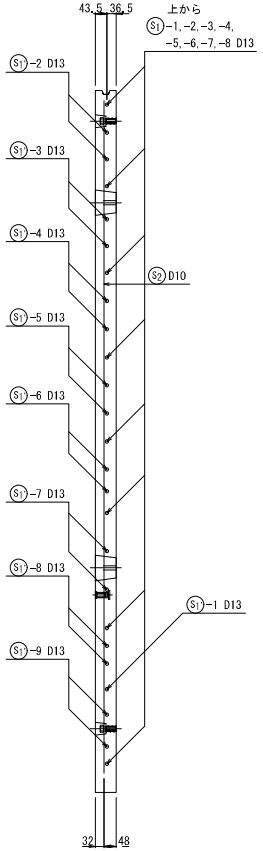


断面図(参考図)

C-C

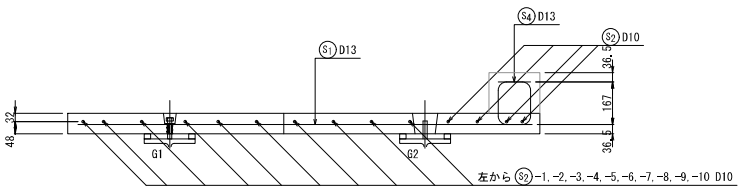


D-D



断面図(参考図)

A-A　　B-B



注記
1. 施工にあたり事前に現地計測を行い、寸法の確認を行うこと。(主桁長、主桁間隔、主桁フランジ幅、既設管位置)
2. 現地計測した寸法が設計寸法と異なる場合、必要に応じて設計の変更を行うこと。

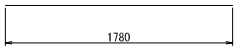
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(10)		
縮尺	1:10	図面番号	62 の 41
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

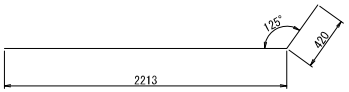
梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(11)　S=1:20

プレキャスト床版(Eタイプ)配筋図 (2)

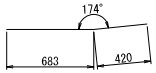
鉄筋加工図(参考図)



(S1) -1 1-D13×1780



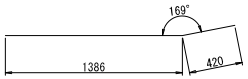
(S1) -1 1-D13×2633



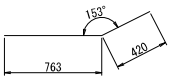
(S1) -2 2-D13×1104



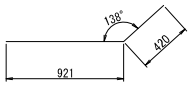
(S4) 15-D13×395



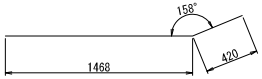
(S1) -2 1-D13×1806



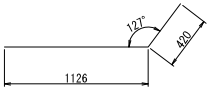
(S1) -3 2-D13×1183



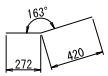
(S1) -4 2-D13×1341



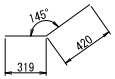
(S1) -3 1-D13×1888



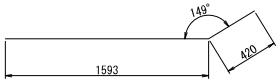
(S1) -5 2-D13×1546



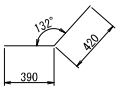
(S1) -6 2-D13×692



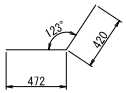
(S1) -7 2-D13×739



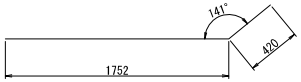
(S1) -4 1-D13×2013



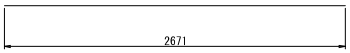
(S1) -8 2-D13×810



(S1) -9 2-D13×892



(S1) -5 1-D13×2172



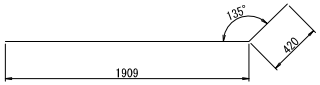
(S2) 3-D10×2671



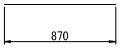
(S2) -1 1-D10×425



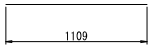
(S2) -2 1-D10×632



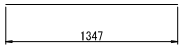
(S1) -6 1-D13×2329



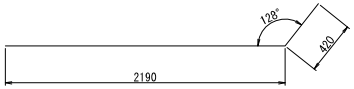
(S2) -3 1-D10×870



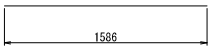
(S2) -4 1-D10×1109



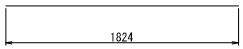
(S2) -5 1-D10×1347



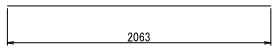
(S1) -7 1-D13×2610



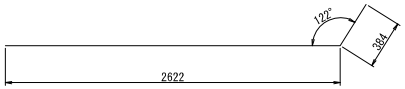
(S2) -6 1-D10×1586



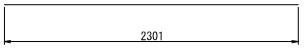
(S2) -7 1-D10×1824



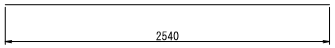
(S2) -8 1-D10×2063



(S1) -8 1-D13×3006



(S2) -9 1-D10×2301



(S2) -10 1-D10×2540

鉄筋表

(1枚当り)

記号	径	長 さ	本数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
S1-1	D13	1780	1	0.995	1.77	2	
S1-2	D13	1806	1	0.995	1.80	2	
S1-3	D13	1888	1	0.995	1.88	2	
S1-4	D13	2013	1	0.995	2.00	2	
S1-5	D13	2172	1	0.995	2.16	2	
S1-6	D13	2329	1	0.995	2.32	2	
S1-7	D13	2610	1	0.995	2.60	3	
S1-8	D13	3006	1	0.995	2.99	3	
S1'-1	D13	2633	1	0.995	2.62	3	
S1'-2	D13	1104	2	0.995	1.10	2	
S1'-3	D13	1183	2	0.995	1.18	2	
S1'-4	D13	1341	2	0.995	1.33	3	
S1'-5	D13	1546	2	0.995	1.54	3	
S1'-6	D13	692	2	0.995	0.69	1	
S1'-7	D13	739	2	0.995	0.74	1	
S1'-8	D13	810	2	0.995	0.81	2	
S1'-9	D13	892	2	0.995	0.50	1	
S2	D13	2671	3	0.560	1.50	5	
S2'-1	D10	425	1	0.560	0.24	1	
S2'-2	D10	632	1	0.560	0.35	1	
S2'-3	D10	870	1	0.560	0.49	1	
S2'-4	D10	1109	1	0.560	0.62	1	
S2'-5	D10	1347	1	0.560	0.75	1	
S2'-6	D10	1586	1	0.560	0.89	1	
S2'-7	D10	1824	1	0.560	1.02	1	
S2'-8	D10	2063	1	0.560	1.16	1	
S2'-9	D10	2301	1	0.560	1.29	1	
S2'-10	D10	2540	1	0.560	1.42	1	
S4	D13	395	12	0.995	0.39	6	ɔ
鉄筋総質量(SD345)							
						D13	42 kg
						D10	15 kg
						合計	57 kg

注記
1. 施工にあたり事前に現地計測を行い、
寸法の確認を行うこと。(主桁長、主桁間隔、
主桁フランジ幅、既設管位置)
2. 現地計測した寸法が設計寸法と異なる場合、
必要に応じて設計の変更を行うこと。

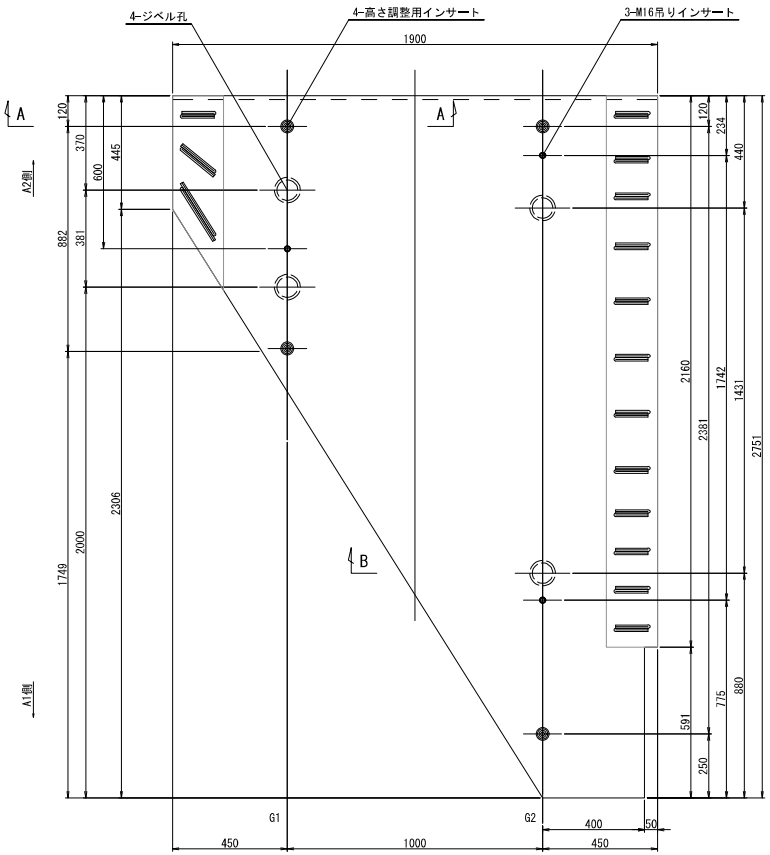
本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(11)		
縮尺	1:20	図面番号	62 の 42
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

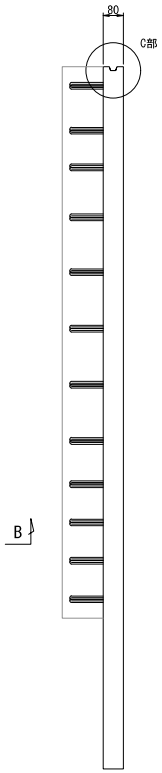
梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(12)

プレキャスト床版(Fタイプ)構造図

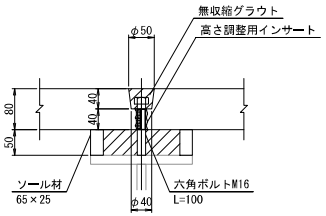
平面図(参考図) S=1:10



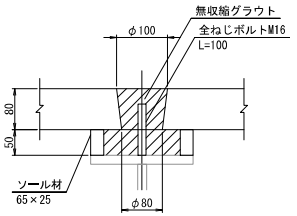
側面図(参考図) S=1:10



高さ調整用インサート部詳細図(参考図) S=1:5



桁床版定着時詳細図(参考図) S=1:5



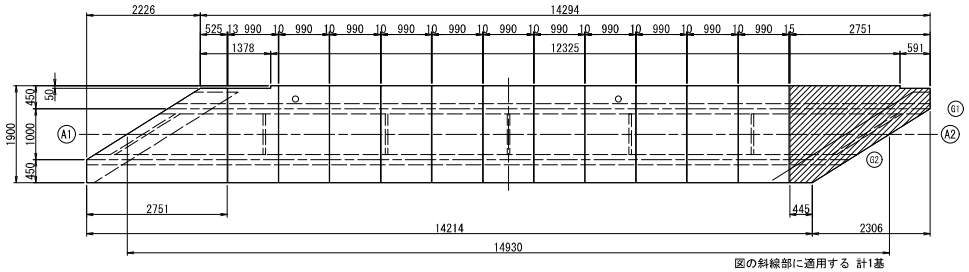
材料表

(1枚当り)

	種別	規格	単位	数量	備考
プレキャスト板	コンクリート	σck=100N/mm2	m3	0.28	超高強度合成繊維補強コンクリート
	高さ調整ボルト	六角ボルトM16,首下L=100	本	4	
	高さ調整インサート	M16,L=40,Nインサート	個	4	
	鉄筋	D13 (SD345)	kg	44	
		D10 (SD345)	kg	15	
	吊りインサート	M16,L=50,Pインサート	個	3	

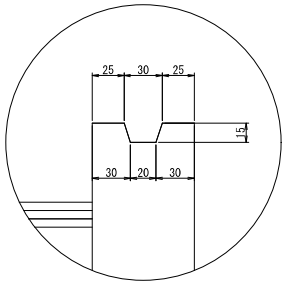
床版重量 : 0.70t

位置図 S=1:50

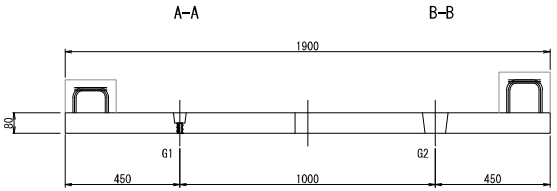


図の斜線部に適用する 計1基

C部詳細図(参考図) S=1:10



断面図(参考図) S=1:10



注記
1.施工にあたり事前に現地計測を行い、
寸法の確認を行うこと。(主桁長、主桁間隔、
主桁フランジ幅、既設管位置)
2.現地計測した寸法が設計寸法と異なる場合、
必要に応じて設計の変更を行うこと。

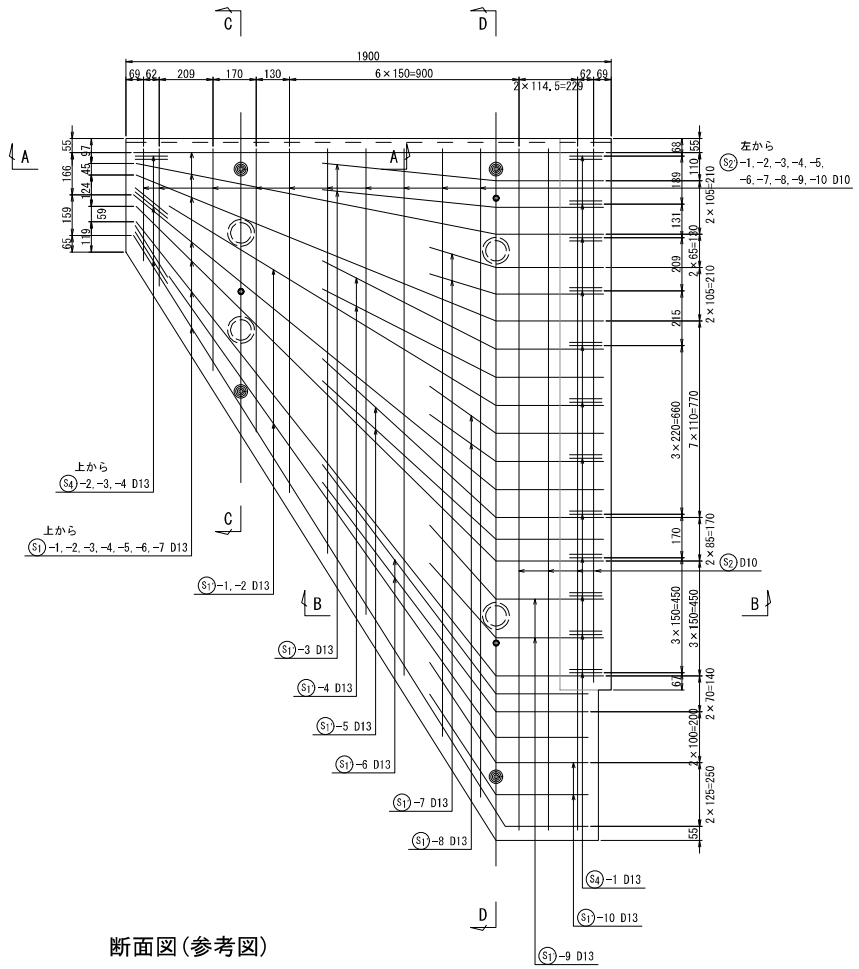
本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(12)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 43
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

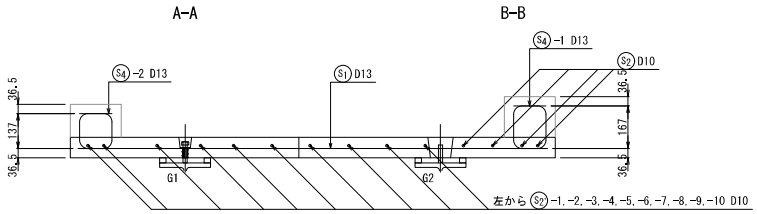
梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(13)　S=1:10

プレキャスト床版(Fタイプ)配筋図 (1)

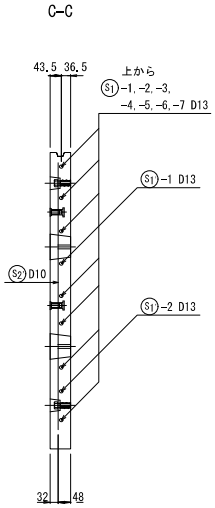
平面図(参考図)

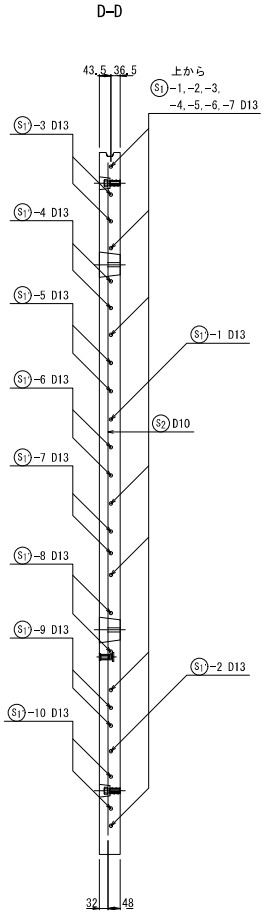


断面図(参考図)



断面図(参考図)





注記
1. 施工にあたり事前に現地計測を行い、寸法の確認を行うこと。(主桁長、主桁間隔、主桁フランジ幅、既設管位置)
2. 現地計測した寸法が設計寸法と異なる場合、必要に応じて設計の変更を行うこと。

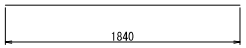
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(13)		
縮尺	1:10	図面番号	62 の 44
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

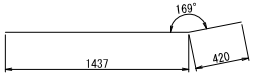
梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(14) S=1:20

プレキャスト床版(Fタイプ)配筋図 (2)

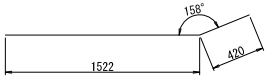
鉄筋加工図(参考図)



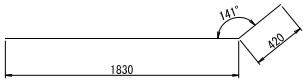
S1 -1 1-D13×1840



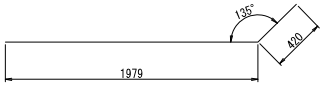
S1 -2 1-D13×1857



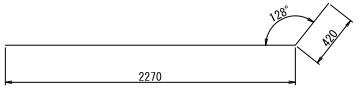
S1 -3 1-D13×1942



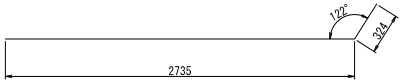
S1 -4 1-D13×2250



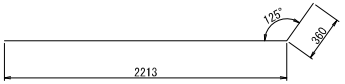
S1 -5 1-D13×2399



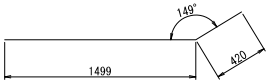
S1 -6 1-D13×2690



S1 -7 1-D13×3059



S1 -1 1-D13×2573



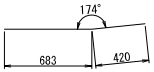
S1 -2 1-D13×1919



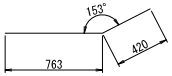
S4 -1 12-D13×395



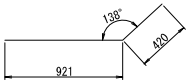
S4 -2 1-D13×365



S1 -3 2-D13×1104



S1 -4 2-D13×1183



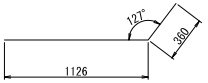
S1 -5 2-D13×1341



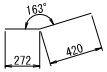
S4 -3 1-D13×440



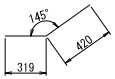
S4 -4 1-D13×590



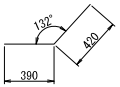
S1 -6 2-D13×1486



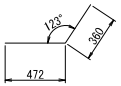
S1 -7 2-D13×692



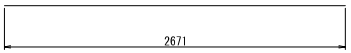
S1 -8 2-D13×739



S1 -9 2-D13×810



S1 -10 2-D13×832



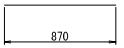
S2 3-D10×2671



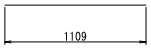
S2 -1 1-D10×440



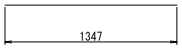
S2 -2 1-D10×538



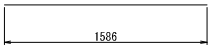
S2 -3 1-D10×870



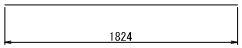
S2 -4 1-D10×1109



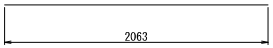
S2 -5 1-D10×1347



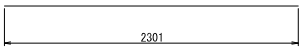
S2 -6 1-D10×1586



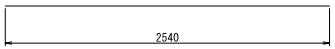
S2 -7 1-D10×1824



S2 -8 1-D10×2063



S2 -9 1-D10×2301



S2 -10 1-D10×2540

鉄筋表

(1枚当り)

記号	径	長 さ	本数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
S1-1	D13	1840	1	0.995	1.83	2	
S1-2	D13	1857	1	0.995	1.85	2	
S1-3	D13	1942	1	0.995	1.93	2	
S1-4	D13	2250	1	0.995	2.24	2	
S1-5	D13	2399	1	0.995	2.39	2	
S1-6	D13	2690	1	0.995	2.68	3	
S1-7	D13	3059	1	0.995	3.04	3	
S1'-1	D13	2573	1	0.995	2.56	3	
S1'-2	D13	1919	2	0.995	1.91	2	
S1'-3	D13	1104	2	0.995	1.10	2	
S1'-4	D13	1183	2	0.995	1.18	2	
S1'-5	D13	1341	2	0.995	1.33	3	
S1'-6	D13	1486	2	0.995	1.48	3	
S1'-7	D13	692	2	0.995	0.69	1	
S1'-8	D13	739	2	0.995	0.74	1	
S1'-9	D13	810	2	0.995	0.81	2	
S1'-10	D13	832	2	0.995	0.47	1	
S2	D13	2671	3	0.560	1.50	5	
S2'-1	D10	440	1	0.560	0.25	1	
S2'-2	D10	538	1	0.560	0.30	1	
S2'-3	D10	870	1	0.560	0.49	1	
S2'-4	D10	1109	1	0.560	0.62	1	
S2'-5	D10	1347	1	0.560	0.75	1	
S2'-6	D10	1586	1	0.560	0.89	1	
S2'-7	D10	1824	1	0.560	1.02	1	
S2'-8	D10	2063	1	0.560	1.16	1	
S2'-9	D10	2301	1	0.560	1.29	1	
S2'-10	D10	2540	1	0.560	1.42	1	
S4-1	D13	395	12	0.995	0.39	5	
S4-2	D13	365	1	0.995	0.36	1	
S4-3	D13	440	1	0.995	0.44	1	
S4-4	D13	590	1	0.995	0.59	1	
鉄筋総質量(SD345)							
					D13	44 kg	
					D10	15 kg	
					合計	59 kg	

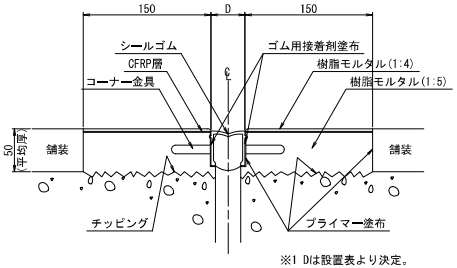
注記
1. 施工にあたり事前に現地計測を行い、寸法の確認を行うこと。(主桁長、主桁間隔、主桁フランジ幅、既設管位置)
2. 現地計測した寸法が設計寸法と異なる場合、必要に応じて設計の変更を行うこと。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 床版取替詳細図(14)		
縮尺	1:20	図面番号	62 の 45
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

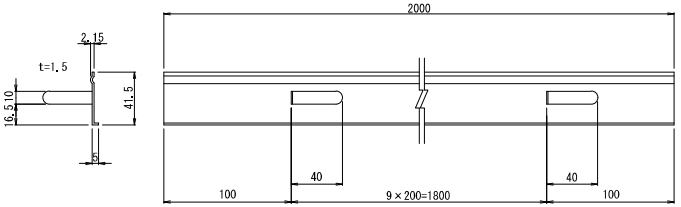
梅ノ木橋側道橋 伸縮装置補修図

取付断面図(参考図) S=1:3

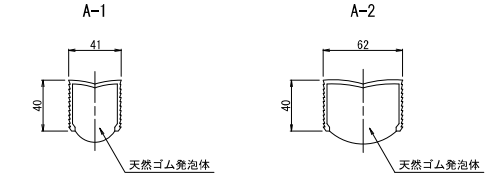


※1 Dは設置表より決定。

コーナー金具詳細図(参考図) S=1:2



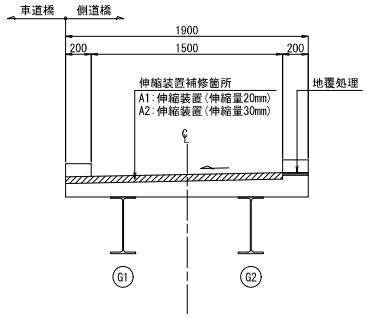
シールゴム詳細図(参考図) S=1:2



ジョイント遊間	D	= 20～40mm
適用最大床版遊間	D1	= 30mm
適応伸縮量	Δ	= 20mm

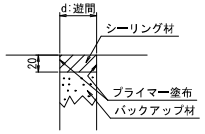
ジョイント遊間	D	= 30～60mm
適用最大床版遊間	D1	= 50mm
適応伸縮量	Δ	= 30mm

断面図 S=1:20

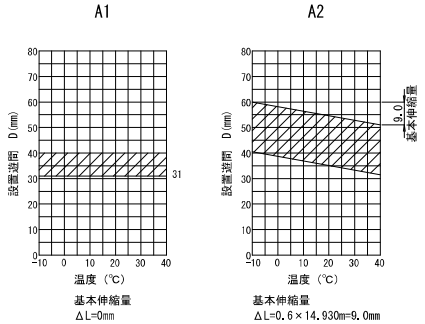


※2 寸法は標準寸法を示す。
※3 伸縮装置の長さは位置図を参照のこと。

地覆処理詳細図 S=1:3



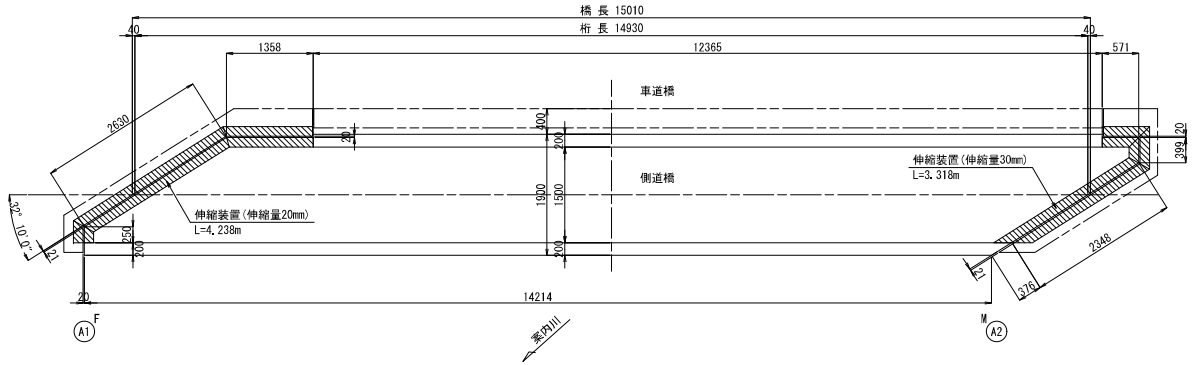
設置表(参考図)



基本伸縮量
ΔL=0mm

基本伸縮量
ΔL=0.6×14.930m=9.0mm

平面図 S=1:40



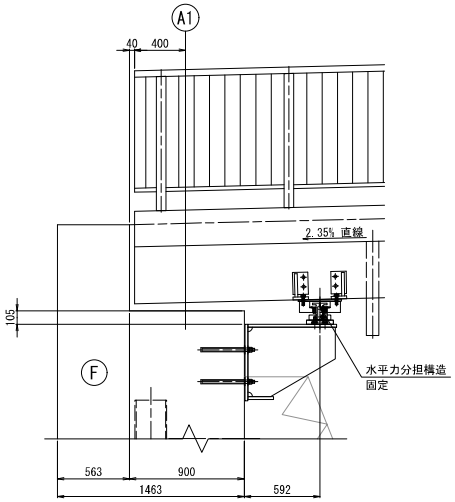
注記
1.シールゴムは設置前、脱脂処理を行うこと。
2.シールゴムは折り曲げ箇所で切断し、接合部はゴム用接着剤を塗布し接着すること。
3.現地検測の上施工すること。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

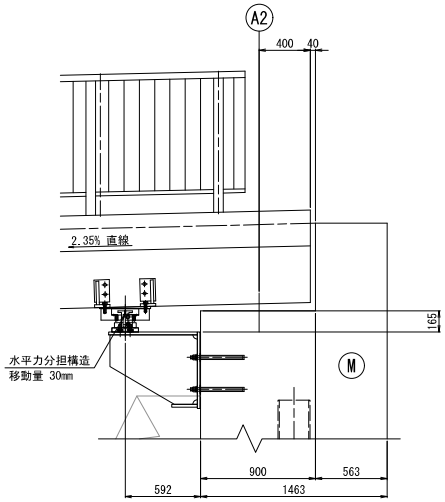
工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 伸縮装置補修図		
縮尺	図示	図面番号	62 の 46
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

梅ノ木橋側道橋 水平力分担構造図(1) S=1:20

側面図

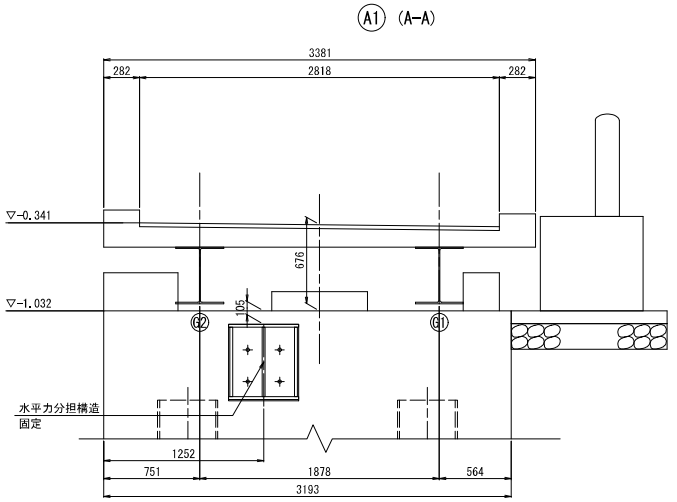


配置図

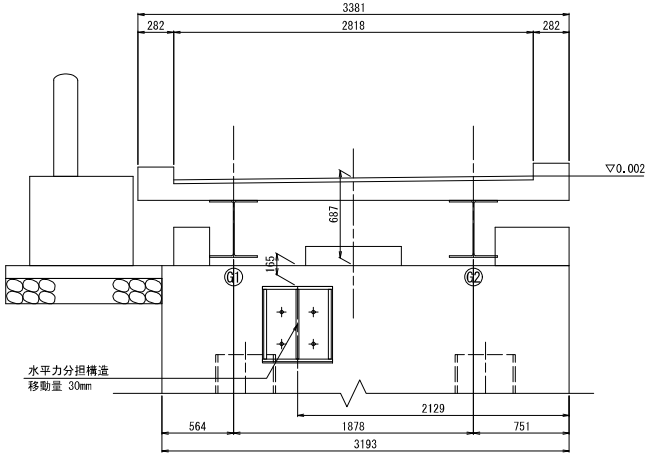


断面図

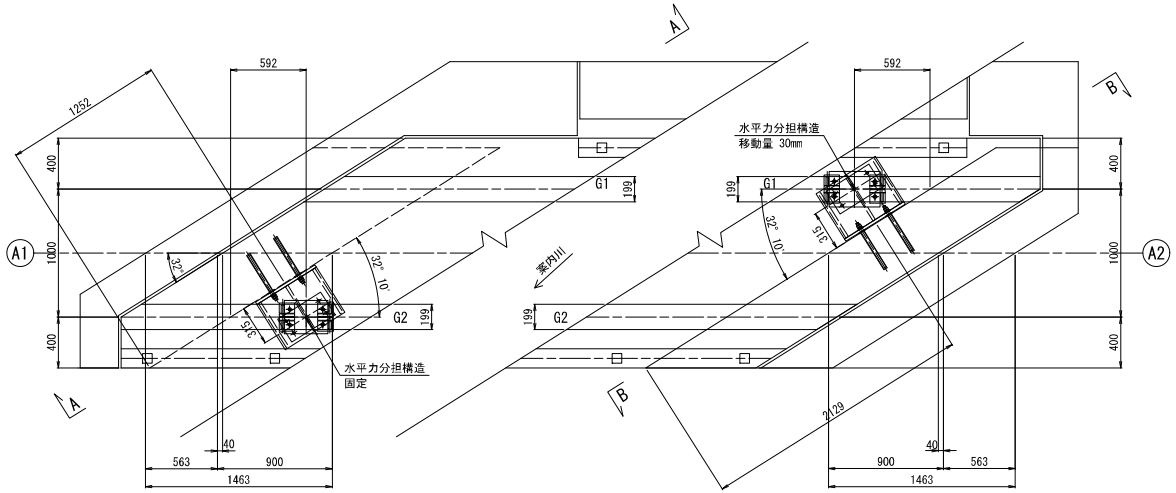
A1 (A-A)



A2 (B-B)



平面図



注記
1.本図は「30J管内橋梁点検他業務」(パシフィックコンサルタンツ、H31.3)の成果図面(補修一般図)を基に、一部「南浅川歩道橋設置工事」(昭和57年3月30日完成)の完成図を参照して作成した。

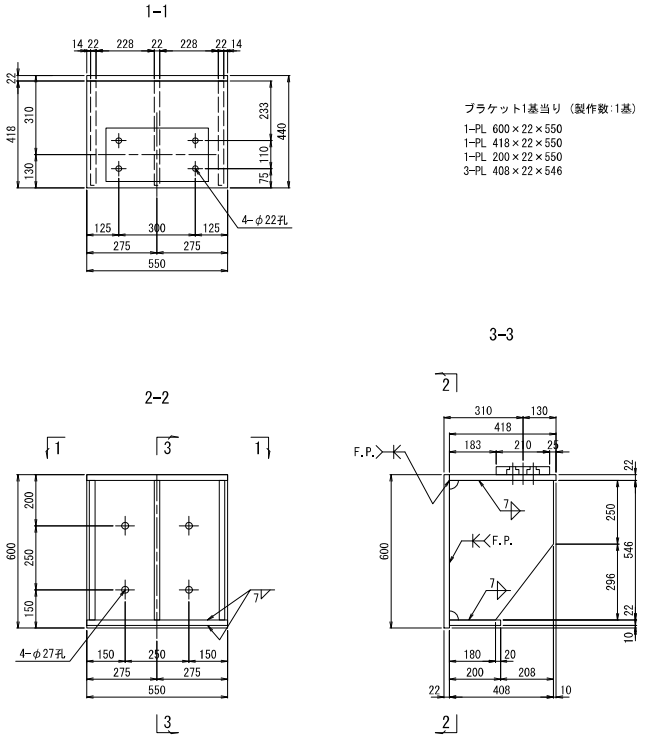
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事
図面名	梅ノ木橋側道橋 水平力分担構造図(1)
縮尺	1:20
図面番号	62 の 47
年月日	令和 8 年 6 月 日
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 相武国道事務所

梅ノ木橋側道橋 水平力分担構造図(2)

A1橋台ブラケット詳細図

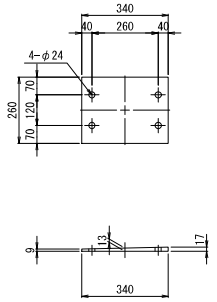
下部工ブラケット詳細図 S=1:10



ブラケット1基当り（製作数:1基）

1-PL 600×22×550
1-PL 418×22×550
1-PL 200×22×550
3-PL 408×22×546

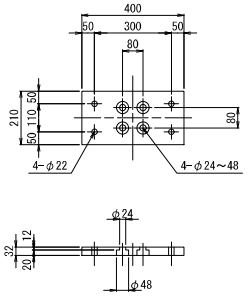
上部工取付プレート詳細図 S=1:10



ブラケット1基当り（製作数:1基）

1-PL 260×17×340 (SS400)

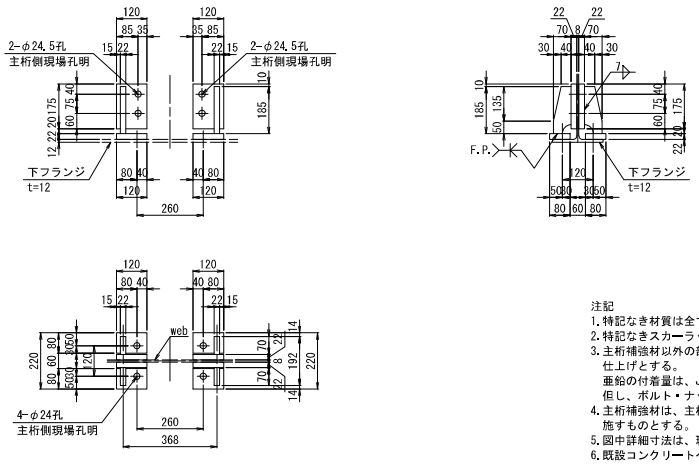
下部工取付プレート詳細図 S=1:10



ブラケット1基当り（製作数:1基）

1-PL 210×32×400
4-Bolt M18×95（強度区分8.8）
[1-N,2-W,1-SW]

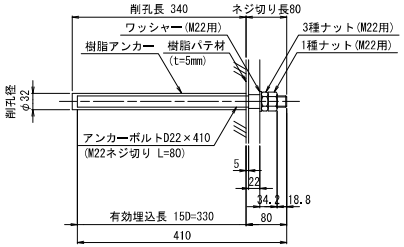
主桁補強材詳細図 S=1:10



ブラケット1基当り（製作数:1基）

4-PL 120×22×80
4-PL 70×22×185
4-PL 120×22×175
4-TCB M22×95(S10T)

アンカーボルト詳細図 S=1:5



ブラケット1基当り（製作数:1基）

4-AncBolt D22×410 (SD345)
4-1種Nut M22用 (SS400)
4-3種Nut M22用 (SS400)
4-Washer M22用 (SS400)

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 主桁補強材以外の部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
4. 主桁補強材は、主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
5. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
6. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
   また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

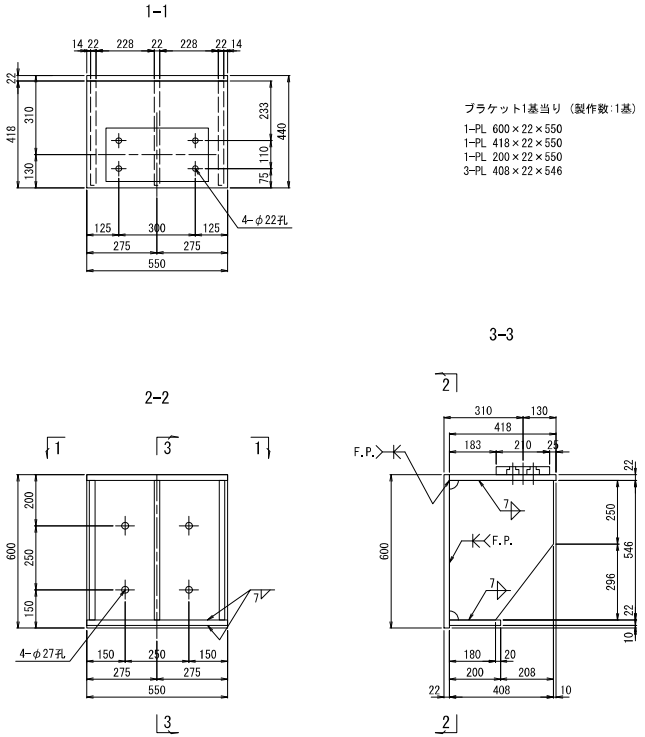
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 水平力分担構造図(2)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 48
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

梅ノ木橋側道橋 水平力分担構造図(3)

A2橋台ブラケット詳細図

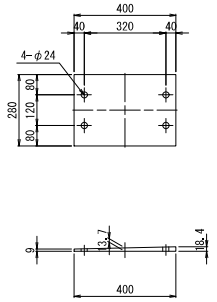
下部工ブラケット詳細図 S=1:10



ブラケット1基当り（製作数:1基）

1-PL 600×22×550
1-PL 418×22×550
1-PL 200×22×550
3-PL 408×22×546

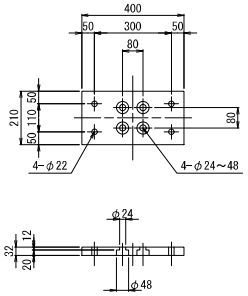
上部工取付プレート詳細図 S=1:10



ブラケット1基当り（製作数:1基）

1-PL 280×19×400 (SS400)

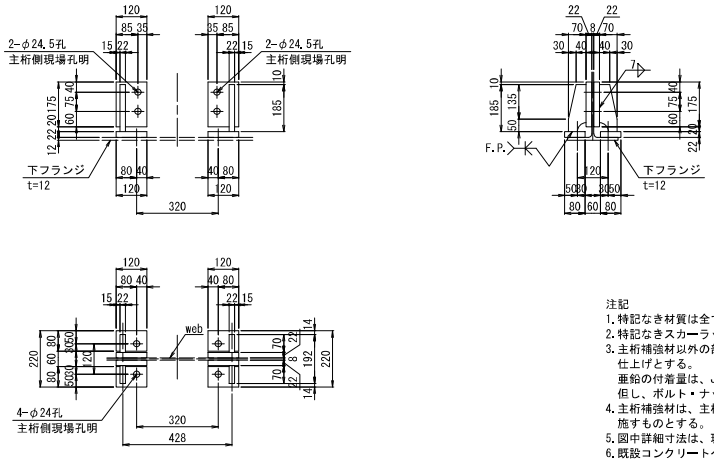
下部工取付プレート詳細図 S=1:10



ブラケット1基当り（製作数:1基）

1-PL 210×32×400
4-Bolt M18×95（強度区分8.8）
[1-N, 2-W, 1-SW]

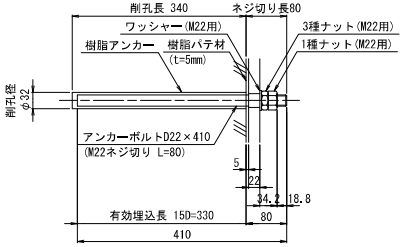
主桁補強材詳細図 S=1:10



ブラケット1基当り（製作数:1基）

4-PL 120×22×80
4-PL 70×22×185
4-PL 120×22×175
4-TCB M22×95(S10T)

アンカーボルト詳細図 S=1:5



ブラケット1基当り（製作数:1基）

4-AncBolt D22×410 (SD345)
4-1種Nut M22用 (SS400)
4-3種Nut M22用 (SS400)
4-Washer M22用 (SS400)

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 主桁補強材以外の部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
4. 主桁補強材は、主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
5. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
6. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
   また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

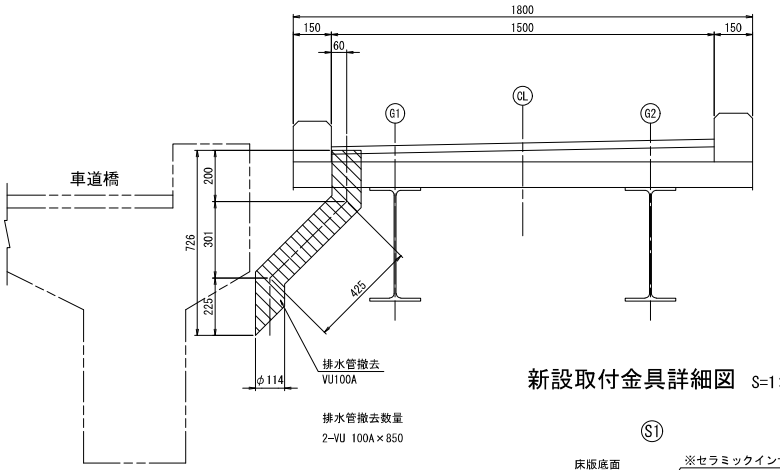
本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 水平力分担構造図(3)		
縮尺	図示	図面番号	62 の 49
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

梅ノ木橋側道橋 排水施設工図

(別途施工)
既設排水撤去図 S=1:10

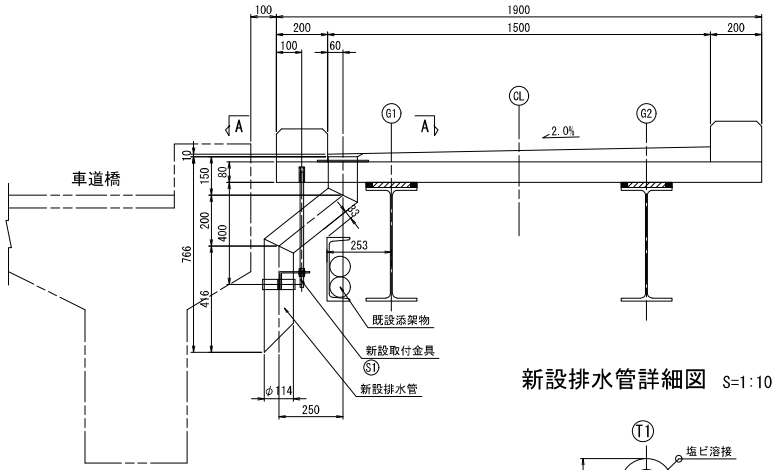
DL1、DL2



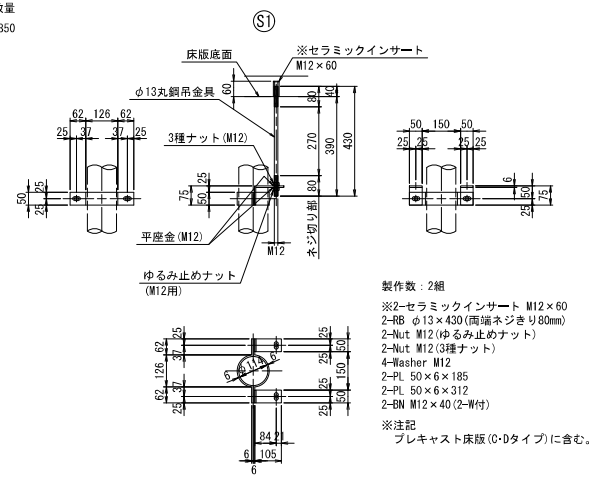
排水管撤去数量
2-VU 100A×850

排水装置復旧図 S=1:10

DL1、DL2



新設取付金具詳細図 S=1:10

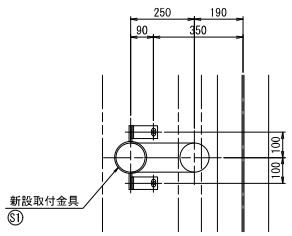


製作数：2組

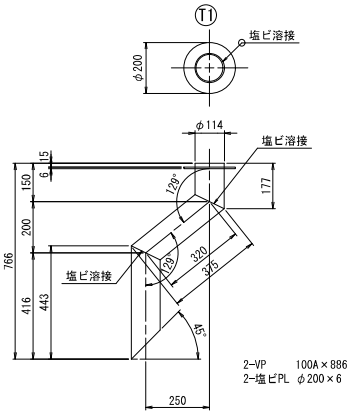
※2-セラミックインサート M12×60
2-RB φ13×430(両端ネジきり80mm)
2-Nut M12(ゆるみ止めナット)
2-Nut M12(3種ナット)
4-Washer M12
2-PL 50×6×185
2-PL 50×6×312
2-BN M12×40(2-W付)

※注記
プレキャスト床版(C-Dタイプ)に含む。

A-A

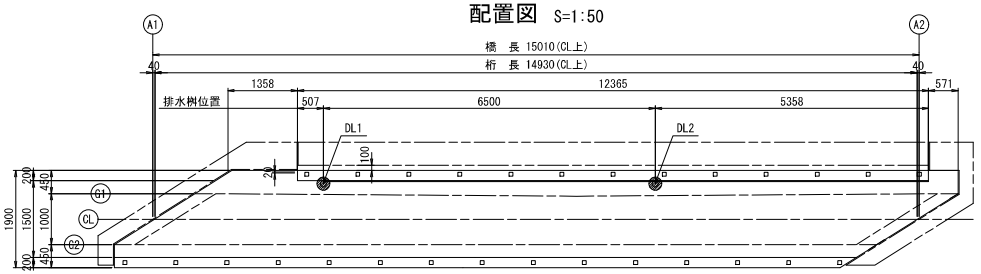


新設排水管詳細図 S=1:10



2-VP 100A×886
2-塩ビPL φ200×6

配置図 S=1:50



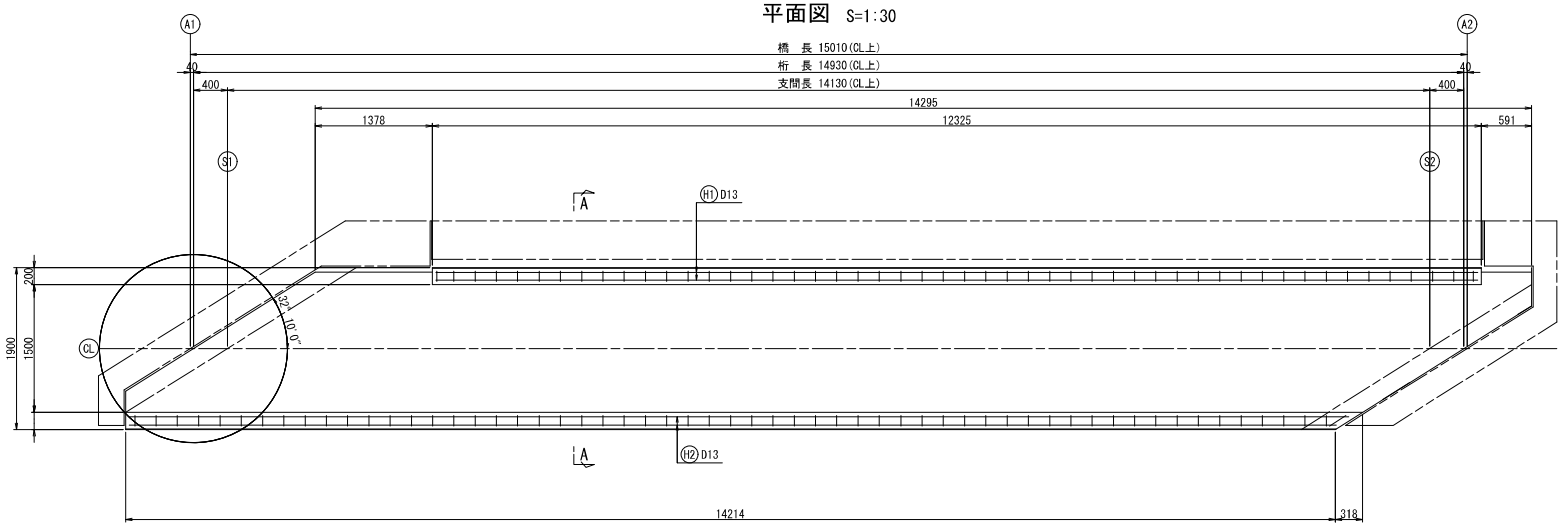
注記
1.特記なき材質は全てSS400とする。
2.新設部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット、板厚3.2mm未満の
部材は、HDZT49とする。
3.ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
4.施工時に現地計測の上、修正設計を行う。
5.排水管撤去は別途施工とする。

本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 排水施設工図		
縮尺	図示	図面番号	62 の 50
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

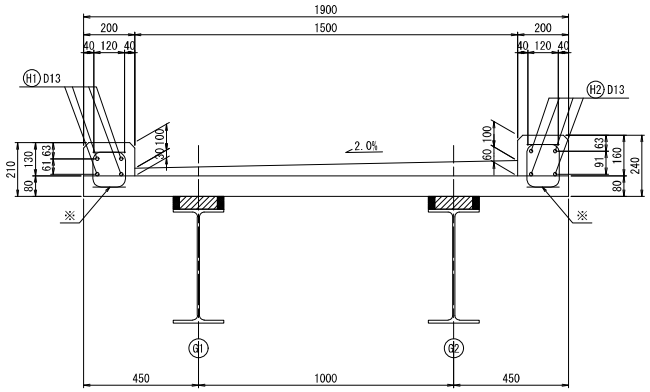
梅ノ木橋側道橋 地覆配筋図

平面図 S=1:30



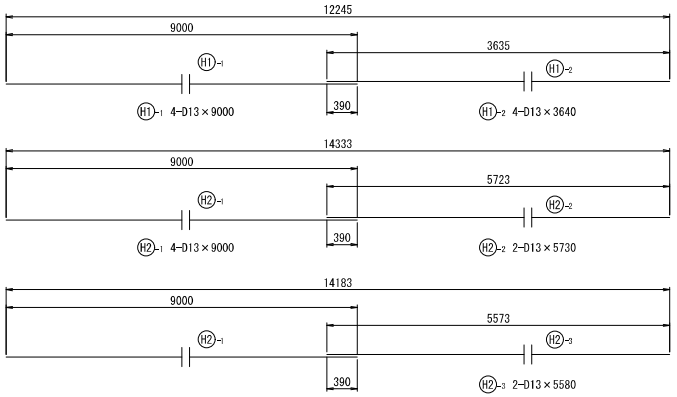
断面図 S=1:10

A-A



※床版鉄筋の詳細については、床版取替詳細図のプレキャスト床版配筋図を参照すること。

鉄筋加工図 S=1:5



鉄筋表

(1枚当り)

記号	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要	現場における加工の有無
H1-1	D13	9000	4	0.995	8.96	36	——	
H1-2	D13	3640	4	0.995	3.62	14	——	
H2-1	D13	9000	4	0.995	8.96	36	コ	
H2-2	D13	5730	2	0.995	5.70	11	コ	
H2-3	D13	5580	2	0.995	5.55	11	コ	
						108 kg		
鉄筋総質量(SD345)					D13	108 kg		
					合計	108 kg		
コンクリート体積 σck=24N/mm2以上						0.780 m3		
型枠						1式		

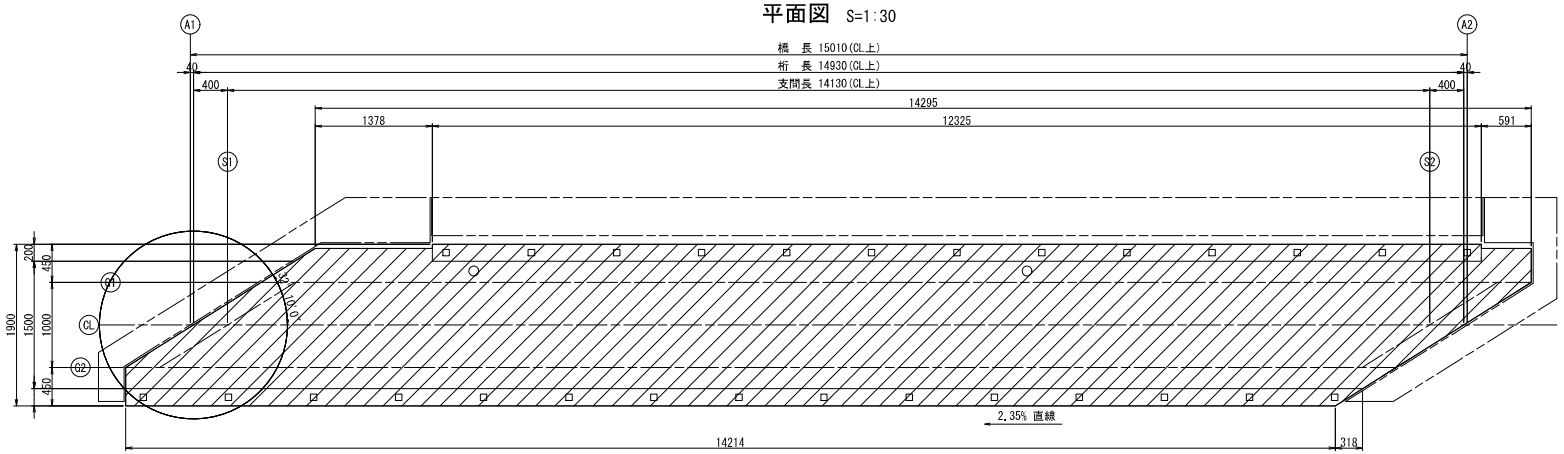
注記
1.工場製作のプレキャスト床版を架設後、
現場施工にて地覆を施工する。

本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図 面 名	梅ノ木橋側道橋 地覆配筋図		
縮 尺	図示	図面番号	62 の 51
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

梅ノ木橋側道橋　塗替塗装詳細図

平面図　S=1:30



塗装数量表

（単位：m,m2）

番号	材種	幅	長さ	員数	面数	塗装面積 Rc-Ⅱ	備考
	PL	0.199	14.930	2	1	5.942	主桁UFLG
	PL	0.446	14.930	2	2	26.635	主桁WEB
	PL	0.199	14.930	2	2	11.884	主桁LFLG
	PL	0.090	1.751	2	4	1.261	端横桁
	PL	0.250	1.751	2	2	1.751	端横桁
	PL	0.090	0.422	4	2	0.304	端横桁
	PL	0.200	0.422	4	2	0.675	端横桁
	PL	0.090	0.920	5	4	1.656	中間横桁
	PL	0.250	0.920	5	2	2.300	中間横桁
	PL	0.090	0.422	10	2	0.760	中間横桁
	PL	0.090	0.230	10	2	0.414	吊り金具
合　計						53.582	

Rc-Ⅱ塗装系（はけ，ローラー）

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
塗膜除去	湿式塗膜剥離剤(3回)		
素地調整	2種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600(300×2)	
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日～10日

塗装詳細図(Rc-Ⅱ)



Rc-Ⅱ　塗装系(湿式剥離剤による塗膜除去工)	
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料(上塗り)	120g/m2
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料(中塗り)	140g/m2
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(下塗り)	200g/m2
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(下塗り)	200g/m2
有機ジンクリッチペイント	600g/m2
素地調整　2種ケレン	

施工手順(参考)

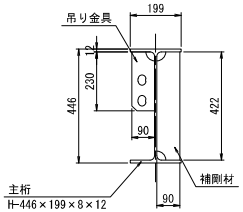
開始
↓
事前調査・準備工
- 施工に先立ち、現地調査より現場状況を把握し施工計画を行い、併せて必要協議の手続きをする。

↓
素地調整
- 素地調整程度2種を行う。
腐食、発錆している部分の錆を除去するとともに、旧塗膜の活膜上の付着物等も完全除去する。
素地調整によって生じた旧塗膜のケレンダストは、有害物を含んでいることが多いので、周辺を汚さないように十分留意するとともに、その廃棄は適切に行う。

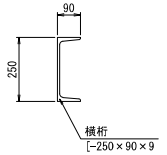
↓
塗替え塗装作業
- 塗装は、はけ・ローラー塗りとする。塗装は素地調整終了後、同日中に必ず下塗りまたは補修塗りを行う。塗り重ねは、前工程の塗膜が十分乾燥してから行う。

↓
後片付工
↓
終了

既設構造詳細図　S=1:10



主桁:2箇所
1-H 446×199×8×12×14930
吊り金具
10-PL 90×9×230



端横桁:2箇所
1-[250×90×9×1751
2-PL 90×9×422
2-PL 200×9×422
中間横桁:5箇所
1-[250×90×9×920
2-PL 90×9×422

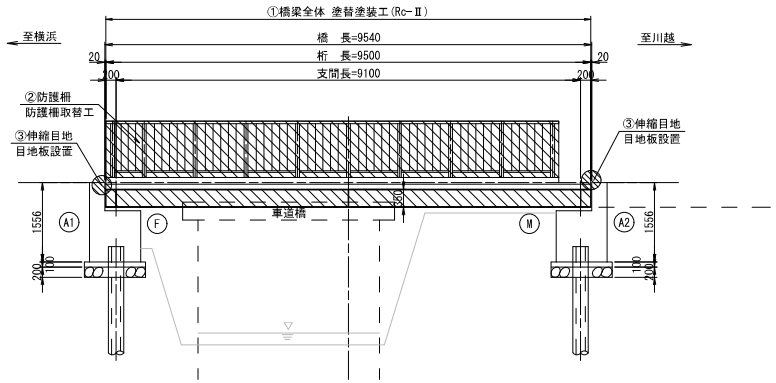
注記
1.図中の斜線部は施工箇所を示す。
2.各部寸法は製作前に現場計測にて確認のこと。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

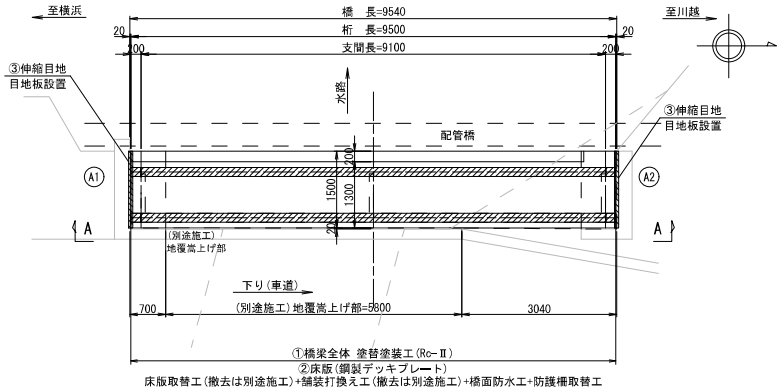
工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋　塗替塗装詳細図		
縮尺	図示	図面番号	62 の 52
年月日	令和 8 年 6 月　日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

台橋橋側歩道橋（下り） 補修工一般図

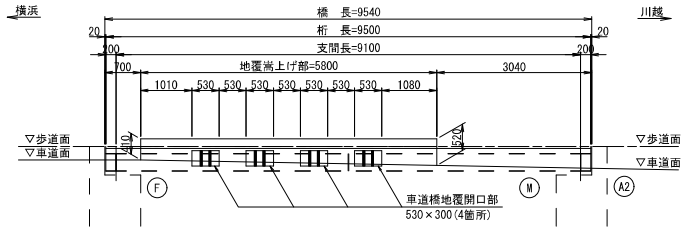
側面図 S=1:50



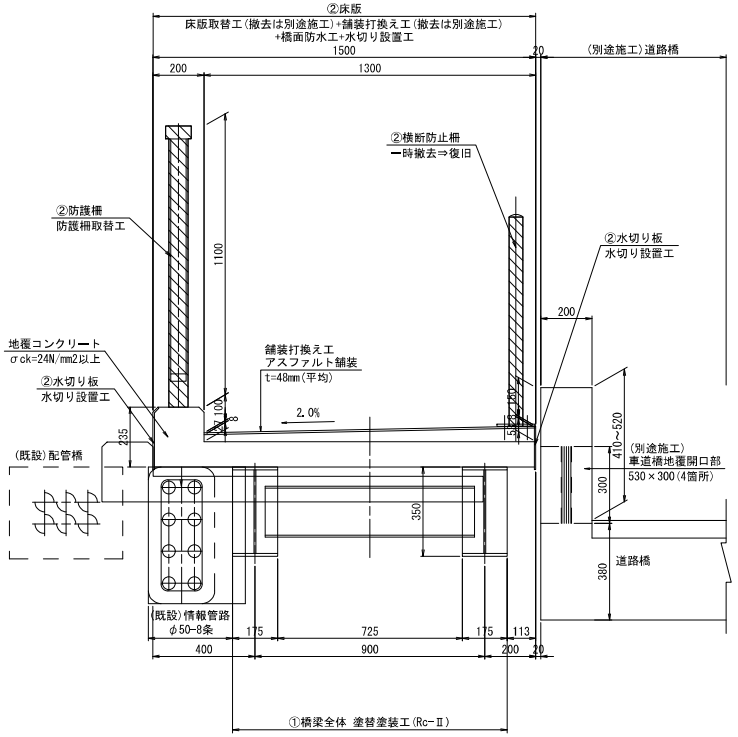
平面図 S=1:50



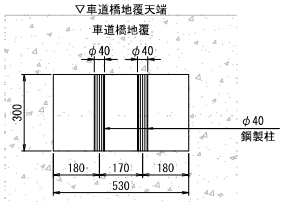
(別途施工) A-A 側面図 S=1:50



上部工断面図 S=1:10



(別途施工) 車道橋地覆開口部詳細図 S=1:10



注記
1. 本図は「28J管内橋梁補修設計 台橋橋側歩道橋補修一般図」（平成29年2月）を基に作図したものである。
2. 側面図の地盤線は、1.に基づくものであり、現況を表したものではない。
3. 下部工番号は定期点検調書に準じている。
4. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。
5. 施工に先立ち、情報管路および配管橋の管理者と協議を行い、必要に応じて管路または配管橋の防護を行うこと。
6. 本橋の施工は歩道の通行止めにより実施し、歩行者は迂回路を利用する計画とする。
7. 床版・地覆・舗装の撤去は別途施工とする。

補修内容

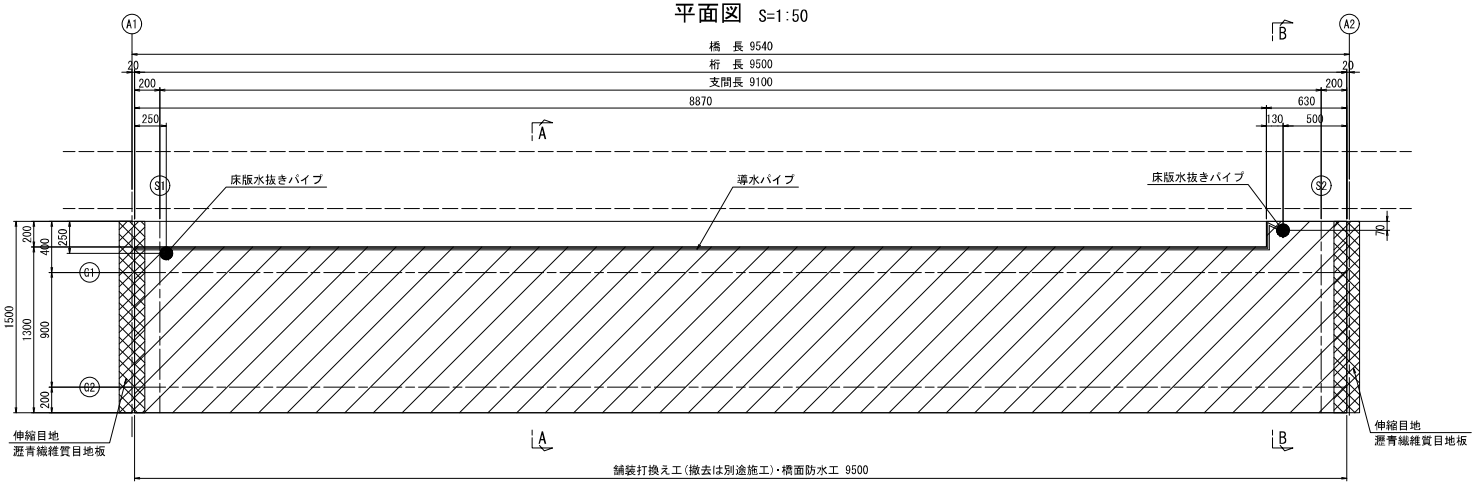
番号	対象部材	損傷内容	対策工
①	橋梁全体	腐食・防食機能の劣化	塗替塗装工(Rc-Ⅱ)
②	床版	腐食・欠損 漏水・滞水・変形・欠損	床版取替工(撤去は別途施工)+舗装打換え工(撤去は別途施工) +橋面防水工+水切り設置工 横断防止柵ー時撤去・再設置工 防護柵取替工
③	伸縮目地	目地材の脱落	目地板設置

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	台橋橋側歩道橋（下り） 補修工一般図		
縮尺	図示	図面番号	62 の 53
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

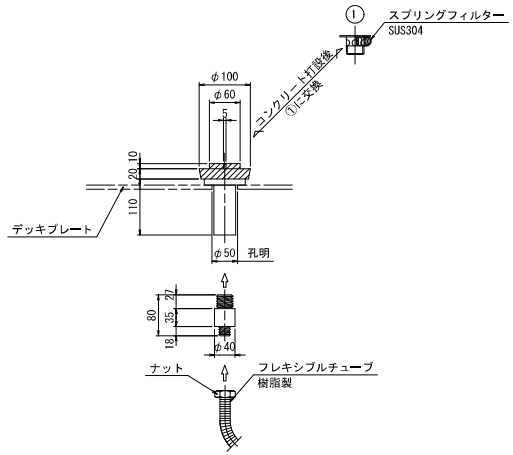
台橋橋側歩道橋（下り）舗装打換え・橋面防水工詳細図

平面図 S=1:50



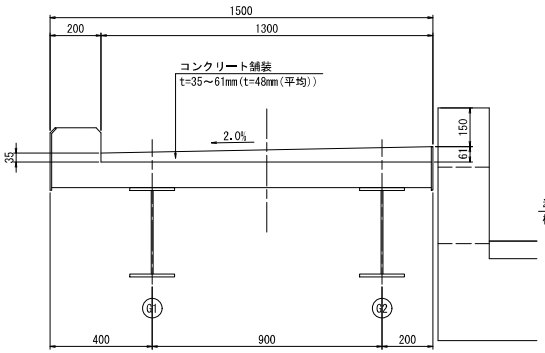
床版水抜きパイプ詳細図 S=1:5

製作数:2箇所

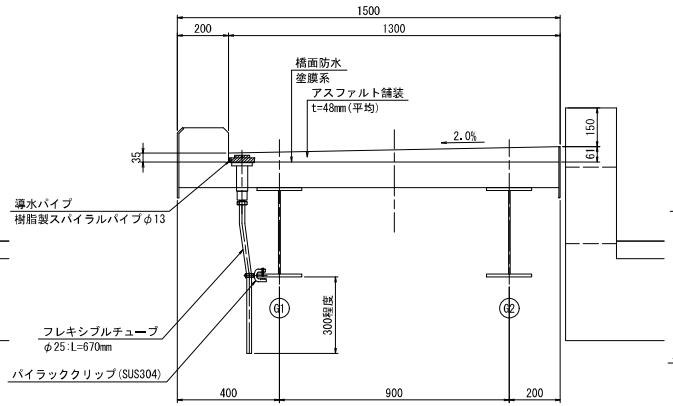


断面図 S=1:10

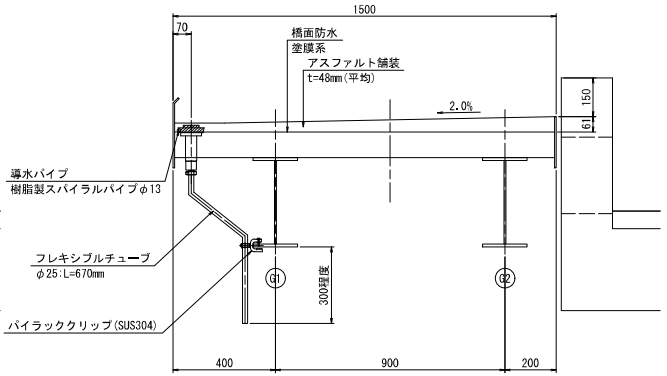
A-A 撤去（別途施工）



A-A 新設



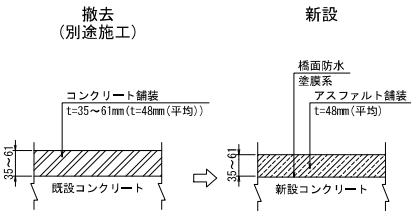
B-B



数量表

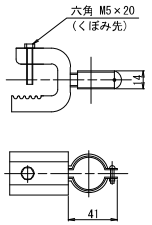
種別	細別	規格・寸法	単位	数量	備考
橋面防水工	防水層	塗膜系	m2	12.5	
舗装打換え工	コンクリート舗装撤去	t=35～61mm(t=48mm(平均))	m2	12.5	別途施工
			m3	0.6	別途施工
	アスファルト舗装	再生細粒度アスコン(13) t=48mm(平均)	m2	12.5	
	床版水抜きパイプ	φ50	箇所	2	
	フレキシブルチューブ	樹脂製 φ25	m	1.3	
	パイラッククリップ	SUS304	箇所	2	
	導水パイプ	樹脂製スパイラルパイプφ13	m	9.2	

舗装打換え工・橋面防水工詳細図 S=1:5



パイラッククリップ詳細図 S=1:2

フレキシブルチューブφ25用



本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

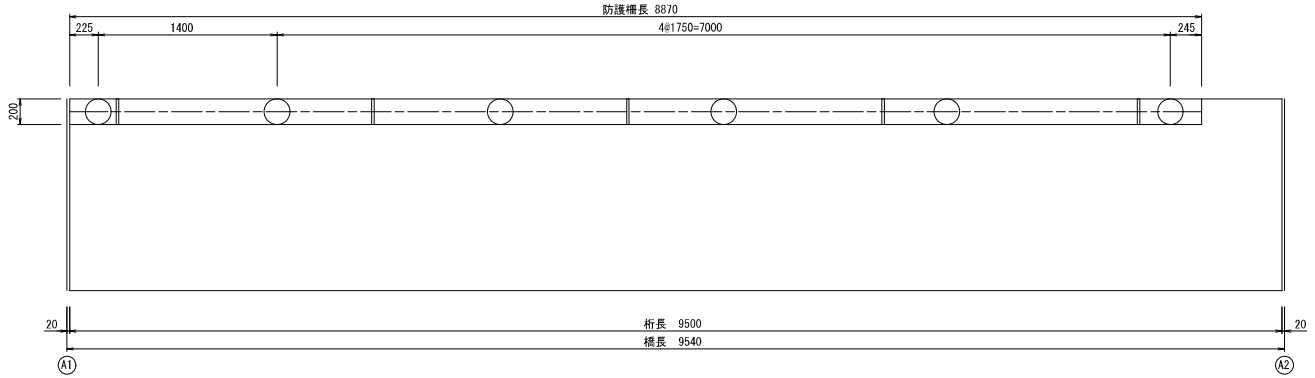
注記
1. 本図は「28J管内橋梁補修設計 台橋橋側歩道橋補修一般図」（平成29年2月）を基に作図したものである。
図中詳細寸法等は現地計測のうえ決定すること。
2. パイラッククリップと鉄部との接触部にはゴム板を適宜設置すること。
3. 床版・地覆・舗装の撤去は別途施工とする。

工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事
図面名	台橋橋側歩道橋（下り） 舗装打換え・橋面防水工詳細図
縮尺	図示
図面番号	62 の 54
年月日	令和 8 年 6 月 日
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 相武国道事務所

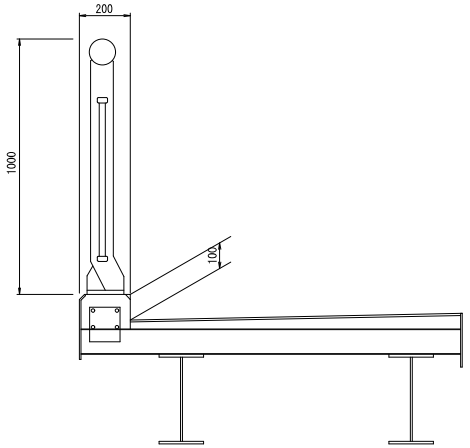
台橋橋側歩道橋(下り) 防護柵取替詳細図

平面図 S=1:10

<注記>
・防護柵長およびポストピッチはアンカー中心位置での実長を示す。

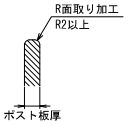


断面図 S=1:10

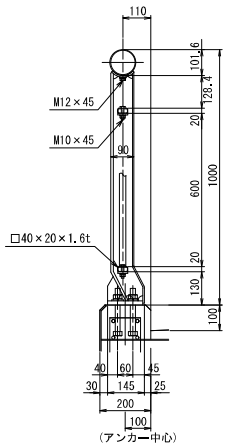


歩行者自転車用柵(参考図) S=1:10

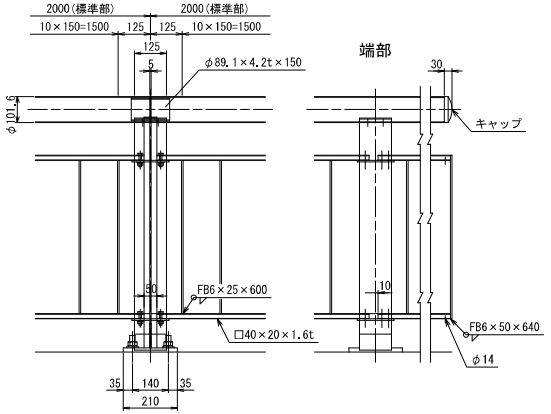
ポスト外周端面(参考図) S=1:1



SP種 H=1000

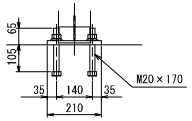


標準部

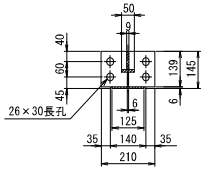


端部

定着部



A—A(ベース図)(参考図)



材料表 SP種 H=1000(参考図)

(ポストピッチ1.75m/8.87m当りの場合)

名称	寸法	材質	単重	数量	重量
ポスト	916×145×210	SS400	14.97	6.0 本	89.8
レール	φ101.6×3.2t	STK400	7.76	8.87 m	68.8
継手	φ89.1×4.2t×150	STK400	1.32	5.0 本	6.6
中貫	□40×20×1.6t	STKMRR	1.44	17.0 m	24.5
立貫	FB6×25×600	SS400	0.71	55.0 本	39.1
止めボルト	M12×45(B,W,SW)	強度区分:4.6以上	0.07	12.0 本	0.7
止めボルト	M10×45(B,N,W,SW)	強度区分:4.6以上	0.06	24.0 本	1.4
アンカーボルト	M20×170(六角全ネジB,N,W,SW)	強度区分:4.6以上	0.59	24.0 本	14.2
				合計	245.1Kg

防護柵長	L= 8,870m
格子端部処理	2ケ所
ポスト総数量	6本
注>現地確認のうえ、製作のこと。	

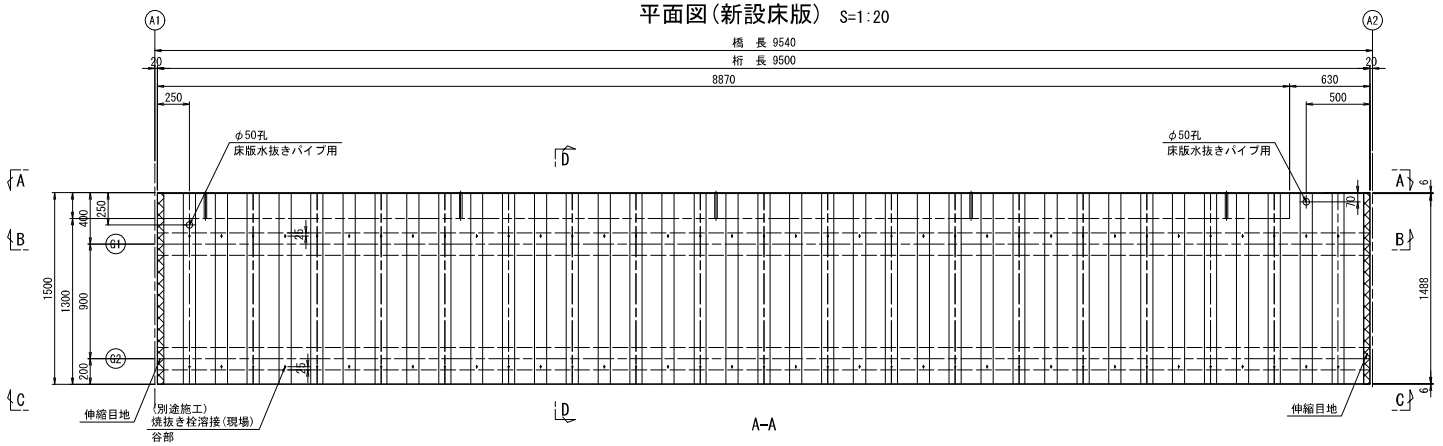
注記
1.各部寸法は製作前に現地計測にて確認のこと。
2.防護柵本体は景観色塗装とする。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

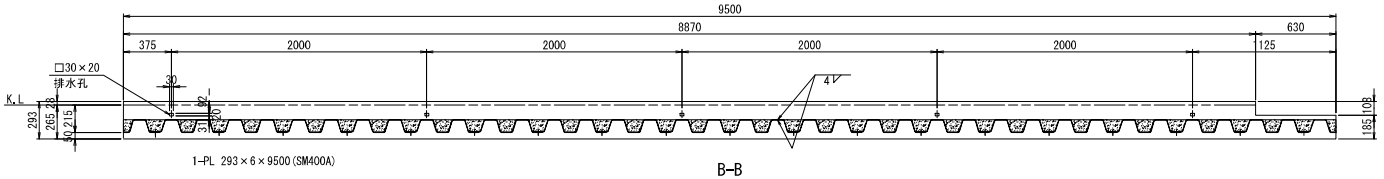
工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	台橋橋側歩道橋(下り) 防護柵取替詳細図		
縮尺	図示	図面番号	62 の 55
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

台橋橋側歩道橋(下り) 床版取替詳細図

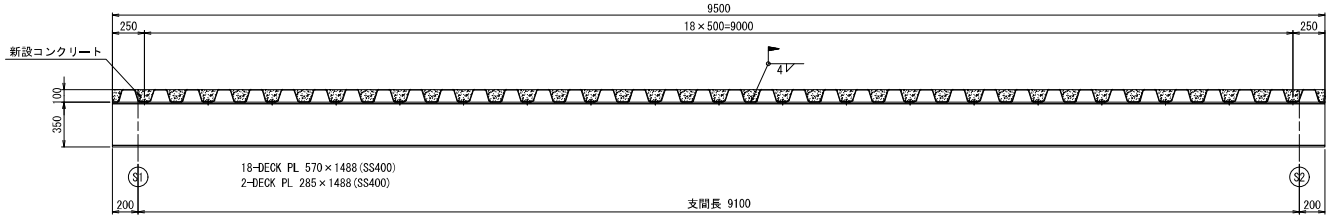
平面図(新設床版) S=1:20



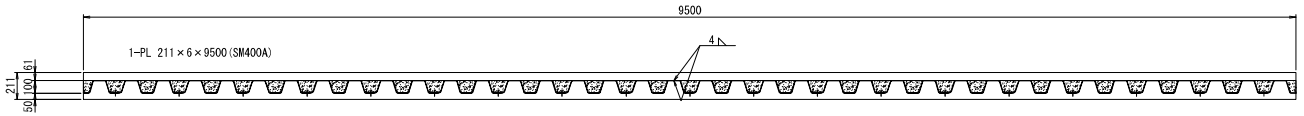
A-A



B-B

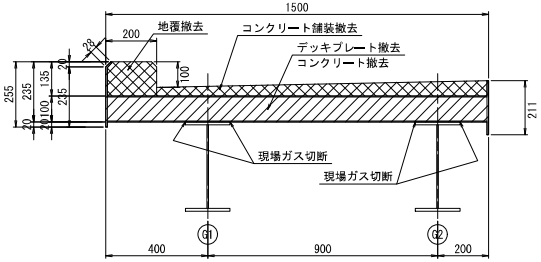


C-C

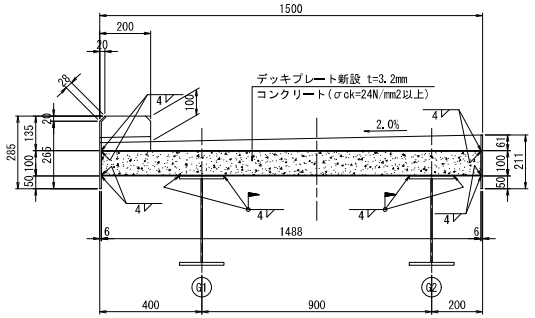


断面図(D-D) S=1:10

撤去
(別途施工)



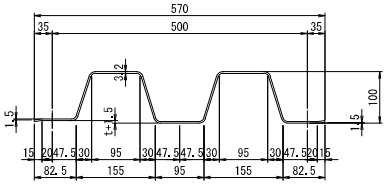
新設



数量表

種 別	細 別	規 格	単位	数 量	適 要
床版撤去工	撤去床版面積	SP t=3.2mm	m2	14.25	別途施工
	コンクリート撤去体積		m3	0.71	別途施工
床版打設工	コンクリート体積	σck=24N/mm2以上	m3	0.71	
	デッキプレート面積	SP t=3.2mm	m2	14.25	(Z27)
	伸縮目地	遮青繊維質目地板 t=20mm	m	3.00	端部:A1、A2
	床版塗装面積		m2	27.40	
現場溶接工	現場溶接延長	6mm隅肉換算長	m	6.4	
		焼抜き栓溶接	箇所	74	別途施工

デッキプレート詳細図 S=1:5



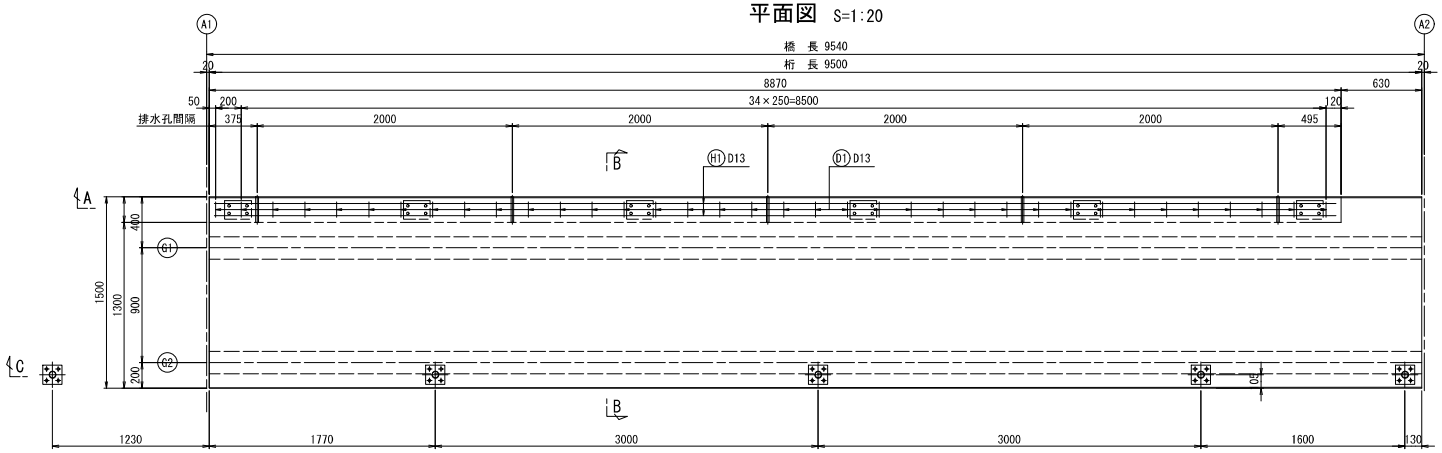
注記
1.各部寸法は製作前に現場計測にて確認こと。
2.本橋は情報管路が添架されている。
床版取替えは情報管路の移設は行わずに
施工する計画としている。デッキプレートの
配置は現況と同等とし、情報管路の支持金具との
干渉を回避する計画としているので。
製作前に支持金具配置を確認うえ、
これに合わせた製作を行うこと。
3.施工に先立ち、情報管路及び隣接する配管橋
の管理者と協議を行い、必要に応じて管路
または配管橋の防護を行うこと。
4.下記の作業は別途施工とする。
・床版・地覆・舗装の撤去
・焼抜き栓溶接

本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	台橋橋側歩道橋(下り) 床版取替詳細図		
縮尺	図示	図面番号	62 の 56
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

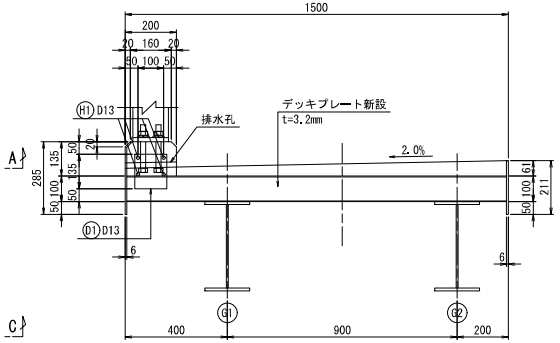
台橋橋側歩道橋(下り) 地覆配筋図・横断防止柵撤去復旧図

平面図 S=1:20

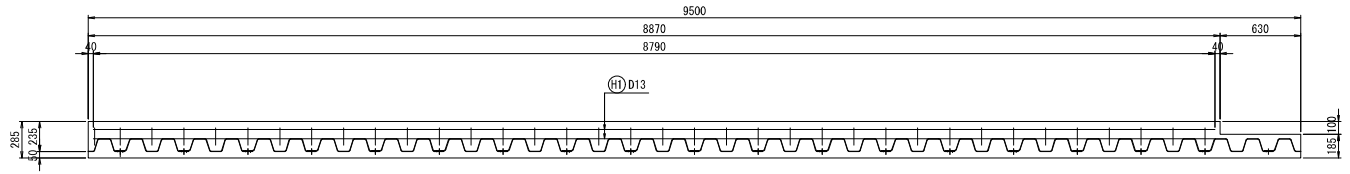


断面図 S=1:10

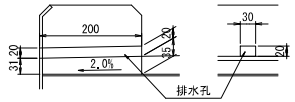
B-B



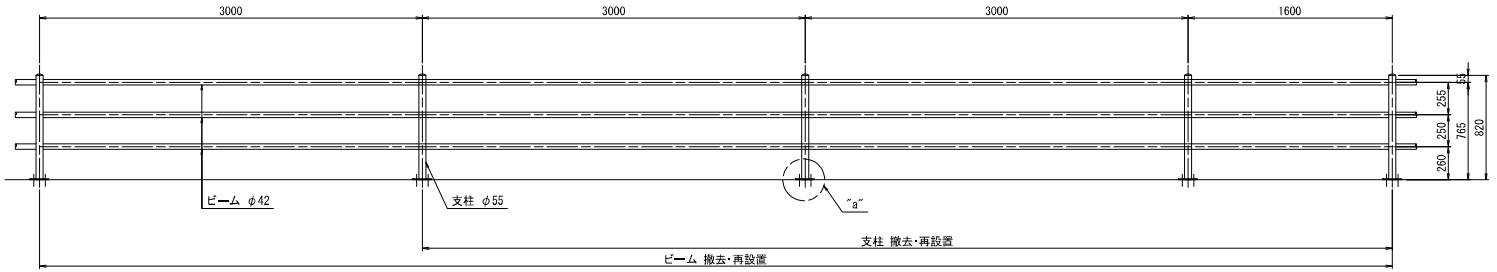
A-A



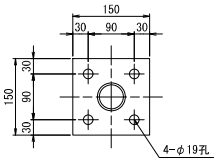
排水孔詳細図 S=1:5



横断防止柵(C-C) S=1:20

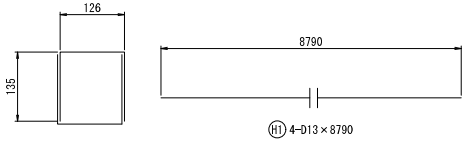


"a"部詳細図 S=1:5



製作数：4箇所
4-ANC M16×100(SS400) HDZT49

鉄筋加工詳細図 S=1:5



D1 72-D13×400

鉄筋表

(1枚当り)

記号	径	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要	現場における加工の有無
D1	D13	400	72	0.995	0.40	29		
H1	D13	8790	4	0.995	8.75	35		
						64 kg		
鉄筋総質量(SD345)					D13	64 kg		
					合計	64 kg		
コンクリート体積 σck=24N/mm2以上						0.239 m3		
型枠						1式		

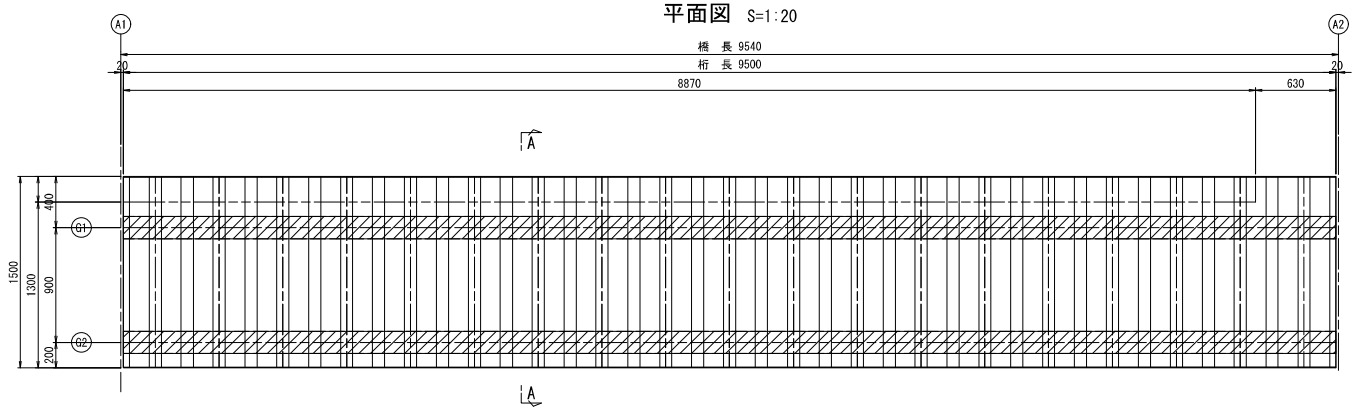
注記
1.各部寸法は製作前に現場計測にて確認こと。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工事名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事
図面名	台橋橋側歩道橋(下り) 地覆配筋図・横断防止柵撤去復旧図
縮尺	図示
図面番号	62 の 57
年月日	令和 8 年 6 月 日
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 相武国道事務所

台橋橋側歩道橋(下り) 塗替塗装詳細図

平面図 S=1:20



塗装詳細図(Rc-Ⅱ)



Rc-Ⅱ 塗装系(湿式剥離剤による塗膜除去工)	
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料(上塗り)	120g/m2
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料(中塗り)	140g/m2
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(下塗り)	200g/m2
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(下塗り)	200g/m2
有機ジンクリッチペイント	600g/m2
素地調整 2種ケレン	

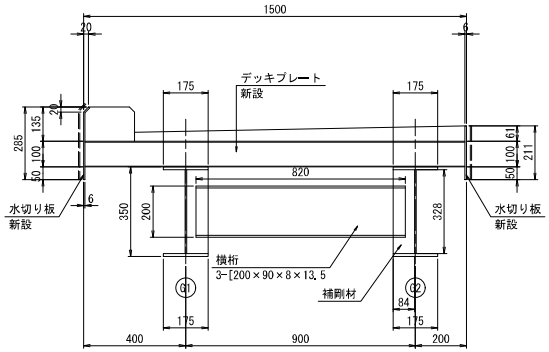
塗装数量表

(単位 : m,m2)

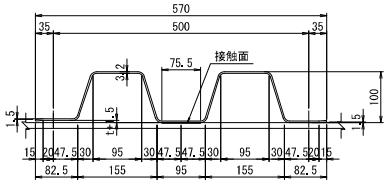
番号	材種	幅	長 さ	員数	面数	塗装面積 Rc-Ⅱ	備 考
	PL	0.175	9.500	2	2	6.650	主桁UFLG
	PL	0.350	9.500	2	2	13.300	主桁WEB
	PL	0.175	9.500	2	2	6.650	主桁LFLG
	[-200×90×8×13.5×820			3	1	2.145	横桁
	PL	0.084	0.328	10	2	0.551	補剛材
DECK	PL	0.175	0.076	76	1	-1.011	デッキ控除
合 計						28.285	

断面図 S=1:10

A-A

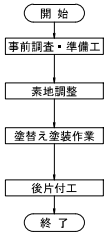


デッキプレート部詳細図 S=1:5



注記
1.図中の斜線部は施工箇所を示す。
2.各部寸法は施工前に現場計測のうえ施工数量を確認のこと。

施工手順(参考)



- 施工に先立ち、現地調査より現場状況を把握し施工計画を行い、併せて必要協議の手続きをする。
- 素地調整程度2種を行う。
  腐食、発錆している部分の錆を除去するとともに、旧塗膜の活膜上の付着物等も完全除去する。
  素地調整によって生じた旧塗膜のケレンダストは、有害物を含んでいることが多いので、周辺を汚さないように十分留意するとともに、その廃棄は適切に行う。
- 塗装は、はけ・ローラー塗りとする。塗装は素地調整終了後、同日中に必ず下塗りまたは補修塗りを行う。塗り重ねは、前工程の塗膜が十分乾燥してから行う。

Rc-Ⅱ塗装系(はけ,ローラー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
塗膜除去	湿式塗膜剥離剤(3回)		
素地調整	2種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600(300×2)	
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日～10日

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

工 事 名	R8相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図 面 名	台橋橋側歩道橋(下り) 塗替塗装詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	62 の 58
年 月 日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

数量総括表(1)

工種・種別・細別	規　格	単位	契約値	摘要
工事区分:橋梁保全工事 (中央1丁目歩道橋)		式	1	
舗装工		式	1	
橋面防水工		式	1	
橋面防水	塗膜系防水	m2	122	
舗装打換え工		式	1	
舗装撤去(1)橋面部	ｱｽﾌｧﾙﾄﾌﾞﾛｯｸ舗装+ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 平均厚t=42.5mm	m2	60	
舗装撤去(2)階段部	ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ+ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ t=50mm	m2	62	
調整ﾓﾙﾀﾙ(1) 橋面部	平均厚t=39.7mm	m2	60	
調整ﾓﾙﾀﾙ(2) 階段部	平均厚t=40mm	m2	62	
薄層ｶﾗｰ舗装工		式	1	
薄層ｶﾗｰ舗装(1) 橋面部	可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ t=10mm	m2	60	
薄層ｶﾗｰ舗装(2) 階段部	可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ t=10mm	m2	62	
橋梁付属物工		式	1	
排水施設工		式	1	
排水桝撤去		箇所	2	
排水管撤去(1)	集水桝流末管 SGP80A	m	1	
排水管撤去(2)	VU75, VU100	m	10	
排水管	VP管	m	17	
現場塗装(1)	2種ｹﾚﾝ	m2	0.1	
現場塗装(2)	F-13系	m2	0.1	
橋梁用高欄工		式	1	
現場孔明	φ15	本	120	
高欄嵩上	STKR400	m	31	
現場塗装(1)	2種ｹﾚﾝ	m2	1	
現場塗装(3)	F-11系	m2	1	
橋梁補修工		式	1	
ひび割れ補修工		式	1	
充てん工法	20m以下 可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂	構造物	1	
断面修復工		式	1	
左官工法	0.1m3以下 無収縮ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 鉄筋ｹﾚﾝ・鉄筋防錆処理有	構造物	1	
ｺﾝｸﾘｰﾄ殻積込・運搬(断面修復工)		m3	0.09	
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.09	

工種・種別・細別	規　格	単位	契約値	摘要
当て板補修工		式	1	
当て板補修	SM400A	箇所	8	
金属ﾊﾟﾃ充填	常温硬化型金属粉含有ｴﾎﾟｷｼ樹脂	箇所	12	
FRPｼｰﾄ補修	紫外線硬化型FRPｼｰﾄ	m2	0.08	
現場塗装(1)	2種ｹﾚﾝ	m2	0.9	
現場塗装(2)	F-13系	m2	0.9	
橋面止水工		式	1	
止水	ｼｰﾙ材 △20×20mm	m	352	
伸縮部止水	ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材+ｼｰﾙ材 W=20mm	m	8	
ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ設置工		式	1	
ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ設置	M22 塩化ﾋﾞﾆﾙ製	個	16	
現場塗装工		式	1	
塗膜除去工		式	1	
塗膜剥離剤塗布・ 塗膜除去	湿式塗膜剥離剤 0.5kg/m2 塗布回数3回	m2	440	
廃材の回収・積込		m2	440	
橋梁塗装工(Rc-Ⅱ系)		式	1	
清掃・水洗い		m2	440	
素地調整	2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	m2	440	
防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(1層) はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 2回	m2	440	
下塗	弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層) はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 1回	m2	440	
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2	440	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2	440	
構造物撤去工		式	1	
運搬処理工		式	1	
殻運搬(1)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	2	
殻運搬(2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	4	
殻処分(1)	ｱｽﾌｧﾙﾄ殻	m3	2	
殻処分(2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	4	
現場発生品運搬	排水施設	式	1	

工種・種別・細別	規　格	単位	契約値	摘要
仮設工		式	1	
足場工(夜間)		式	1	
足場	枠組足場	式	1	
養生ｼｰﾄ	湿式塗膜剥離剤工法用	式	1	
交通管理工		式	1	
交通誘導警備員(1)	交通誘導警備員A	式	1	
交通誘導警備員(2)	交通誘導警備員B	式	1	
交通管理工(夜間)		式	1	
交通誘導警備員(3)	交通誘導警備員A	式	1	
交通誘導警備員(4)	交通誘導警備員B	式	1	

工 事 名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図 面 名	数量総括表(1)		
縮　　尺	―	図面番号	62 の 59
年 月 日	令和 8 年 6 月　日		
設計会社名			
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

数量総括表(2)

工種・種別・細別	規　格	単位	契約値	摘要
工事区分:橋梁保全工事 (由野台2丁目歩道橋)		式	1	
舗装工		式	1	
橋面防水工		式	1	
橋面防水	塗膜系防水	m2	63	
舗装打換え工		式	1	
舗装撤去(1)橋面部	樹脂ﾓﾙﾀﾙ舗装+ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 平均厚 t=42.5mm	m2	32	
舗装撤去(2)階段部	ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ+ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ t=50mm	m2	31	
調整ﾓﾙﾀﾙ(1) 橋面部	平均厚t=39.7mm	m2	32	
調整ﾓﾙﾀﾙ(2) 階段部	平均厚t=40mm	m2	31	
薄層ｶﾗｰ舗装工		式	1	
薄層ｶﾗｰ舗装(1) 橋面部	可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ t=10mm	m2	32	
薄層ｶﾗｰ舗装(2) 階段部	可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ t=10mm	m2	31	
橋梁付属物工		式	1	
排水施設工		式	1	
排水桝撤去		箇所	2	
排水管撤去(1)	集水桝流末管 SGP80A	m	1	
排水管撤去(2)	VU75, VU100	m	9	
排水管	VP管	m	17	
現場塗装(1)	2種ｹﾚﾝ	m2	0.1	
現場塗装(2)	F-13系	m2	0.1	
橋梁用高欄工		式	1	
現場孔明	φ15	本	80	
高欄嵩上	STKR400	m	20	
現場塗装(1)	2種ｹﾚﾝ	m2	0.7	
現場塗装(3)	F-11系	m2	0.8	
橋梁補修工		式	1	
ひび割れ補修工		式	1	
充てん工法	20m以下 可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂	構造物	1	
断面修復工		式	1	
左官工法	0.1m3以下 無収縮ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ 鉄筋 ｹﾚﾝ・鉄筋防錆処理有	構造物	1	
ｺﾝｸﾘｰﾄ殻積込・運 搬(断面修復工)		m3	0.02	
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.02	

工種・種別・細別	規　格	単位	契約値	摘要
当て板補修工		式	1	
当て板補修	SM400A	箇所	8	
金属ﾊﾟﾃ充填	常温硬化型金属粉含有ｴﾎﾟｷｼ樹脂	箇所	13	
FRPｼｰﾄ補修	紫外線硬化型FRPｼｰﾄ	m2	0.1	
現場塗装(1)	2種ｹﾚﾝ	m2	1	
現場塗装(2)	F-13系	m2	1	
橋面止水工		式	1	
止水	ｼｰﾙ材 △20×20mm	m	182	
伸縮部止水	ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材+ｼｰﾙ材 W=20mm	m	4	
ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ設置工		式	1	
ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ設置	M22 塩化ﾋﾞﾆﾙ製	個	8	
現場塗装工		式	1	
塗膜除去工		式	1	
塗膜剥離剤塗布・ 塗膜除去	湿式塗膜剥離剤 0.5kg/m2 塗布回数3回	m2	220	
廃材の回収・積込		m2	220	
橋梁塗装工(Rc-Ⅱ系)		式	1	
清掃・水洗い		m2	220	
素地調整	2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	m2	220	
防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(1層) はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回 数 2回	m2	220	
下塗	弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層) はけ・ ﾛｰﾗｰ 塗装回数 1回	m2	220	
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡 彩 塗装回数 1回	m2	220	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2	220	
張紙防止塗装工		式	1	
張紙防止塗装	ｸﾘﾔｰ	m2	8	
構造物撤去工		式	1	
運搬処理工		式	1	
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	3	
殻処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	3	
現場発生品運搬	排水施設	式	1	

工種・種別・細別	規　格	単位	契約値	摘要
仮設工		式	1	
足場工(夜間)		式	1	
足場	枠組足場	式	1	
養生ｼｰﾄ	湿式塗膜剥離剤工法用	式	1	
交通管理工		式	1	
交通誘導警備員(1)	交通誘導警備員A	式	1	
交通誘導警備員(2)	交通誘導警備員B	式	1	
交通管理工(夜間)		式	1	
交通誘導警備員(3)	交通誘導警備員A	式	1	
交通誘導警備員(4)	交通誘導警備員B	式	1	

工 事 名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図 面 名	数量総括表(2)		
縮　　尺	―	図面番号	62 の 60
年 月 日	令和 8 年 6 月　日		
設計会社名			
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

数量総括表(3)

工種・種別・細別	規　格	単位	契約値	摘要
工事区分:橋梁保全工事(梅ノ木橋側道橋)		式	1	
舗装工		式	1	
橋面防水工		式	1	
橋面防水	塗膜系防水	m2	22	
舗装打換え工		式	1	
表層	再生細粒度ｱｽｺﾝ(13) 平均舗装厚 45mm 1.4m以上	m2	22	
橋梁床版工		式	1	
床版取替工		式	1	
鋼製高欄取替(夜間)	橋梁用高欄(組立式)	m	27	
床版架設(夜間)	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ床版 t=8cm	m2	28	
橋梁付属物工		式	1	
伸縮継手工		式	1	
鋼･ｺﾞﾑ製伸縮装置	軽量型 1車線相当 樹脂系伸縮装置	m	7.6	
殻運搬(1)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.1	
殻処分(1)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.1	
落橋防止装置工		式	1	
芯出し調整(1)	鋼材面用	m2	0.4	
芯出し調整(2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面用	m2	0.7	
現場孔明		本	16	
部材取付(1)	下部工取付ﾌﾟﾚｰﾄ、主桁補強材	部材	4	
部材取付(2)	上部工取付ﾌﾟﾚｰﾄ	部材	2	
削孔	削孔径 32mm 削孔深さ 340mm	孔	8	
ｱﾝｶｰ(落橋防止)	SD345 D22×410(M18用 2N,1W) ﾈｼﾞ切り部溶融亜鉛めっき	本	8	
下地処理	下部工ﾌﾞﾗｹｯﾄ背面部	m2	0.7	
落橋防止装置取付(1)	下部工ﾌﾞﾗｹｯﾄ	組	2	
落橋防止装置取付(2)	水平力分担構造	組	2	
現場塗装(1)	素地調整 2種ｹﾚﾝ	m2	0.3	
現場塗装(2)	F-11系	m2	0.3	
殻運搬(2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.002	
殻処分(2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(無筋)	m3	0.002	

工種・種別・細別	規　格	単位	契約値	摘要
排水施設工		式	1	
排水管	VP管	m	2	
地覆工		式	1	
場所打地覆	24-12-25(20)(普通)	m	27	
現場塗装工		式	1	
塗膜除去工		式	1	
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	湿式塗膜剥離剤 0.5kg/m2 塗布回数3回	m2	54	
廃材の回収・積込		m2	54	
橋梁塗装工(Rc-Ⅱ系)		式	1	
清掃・水洗い		m2	54	
素地調整	2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	m2	54	
防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(1層) はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 2回	m2	54	
下塗	弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層) はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 1回	m2	54	
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2	54	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2	54	
構造物撤去工		式	1	
運搬処理工(夜間)		式	1	
現場発生品運搬	高欄	式	1	
仮設工		式	1	
足場工(夜間)		式	1	
足場	吊足場	式	1	
養生ｼｰﾄ	湿式塗膜剥離剤工法用	式	1	
交通管理工		式	1	
交通誘導警備員(1)	交通誘導警備員A	式	1	
交通誘導警備員(2)	交通誘導警備員B	式	1	
交通管理工(夜間)		式	1	
交通誘導警備員(3)	交通誘導警備員A	式	1	
交通誘導警備員(4)	交通誘導警備員B	式	1	

工 事 名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図 面 名	数量総括表(3)		
縮　　尺	―	図面番号	62 の 61
年 月 日	令和 8 年 6 月　日		
設計会社名			
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

数量総括表(4)

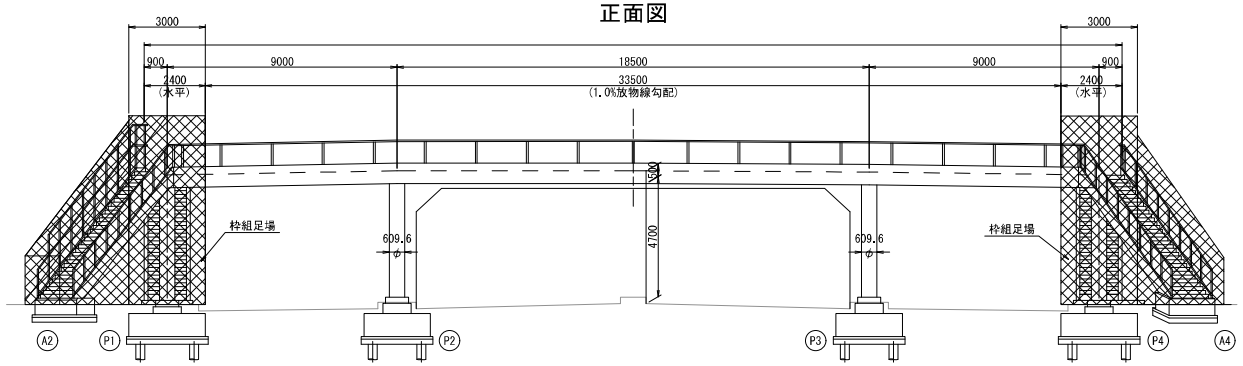
工種・種別・細別	規　格	単位	契約値	摘要
工事区分:橋梁保全工事(台橋橋側歩道橋)		式	1	
舗装工		式	1	
橋面防水工		式	1	
橋面防水	塗膜系防水	m2	13	
舗装打換え工		式	1	
表層	再生細粒度ｱｽｺﾝ(13) 平均舗装厚 48mm 1.4m未満	m2	13	
橋梁床版工		式	1	
床版取替工		式	1	
防護柵取替(夜間)	橋梁用高欄(組立式)	m	9	
横断・転落防止柵(夜間)	H=0.8m 撤去・再設置	m	11	
床版架設(夜間)	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ床版 t=10cm	m2	14	
ｺﾝｸﾘｰﾄ	24-12-25(20)(普通) 一般養生 ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増無	m3	0.7	
目地板	瀝青繊維質目地板t=20	m2	0.3	
橋梁付属物工		式	1	
排水施設工		式	1	
床版水抜きﾊﾟｲﾌﾟ	φ50	箇所	2	
地覆工		式	1	
場所打地覆	24-12-25(20)(普通)	m	9	
現場塗装工		式	1	
塗膜除去工		式	1	
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	湿式塗膜剥離剤 0.5kg/m2 塗布回数3回	m2	28	
廃材の回収・積込		m2	28	

工種・種別・細別	規　格	単位	契約値	摘要
橋梁塗装工(Rc-Ⅱ系)		式	1	
清掃・水洗い		m2	28	
素地調整	2種ｹﾚﾝ(動力工具と手工具の併用)	m2	28	
防食下地	有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ(1層) はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 2回	m2	28	
下塗	弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2層) はけ・ﾛｰﾗｰ 塗装回数 1回	m2	28	
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2	28	
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ・ﾛｰﾗｰ 淡彩 塗装回数 1回	m2	28	
構造物撤去工		式	1	
運搬処理工(夜間)		式	1	
現場発生品運搬	防護柵	式	1	
仮設工		式	1	
足場工(夜間)		式	1	
足場	吊足場	式	1	
養生ｼｰﾄ	湿式塗膜剥離剤工法用	式	1	
交通管理工		式	1	
交通誘導警備員(1)	交通誘導警備員A	式	1	
交通誘導警備員(2)	交通誘導警備員B	式	1	
交通管理工(夜間)		式	1	
交通誘導警備員(3)	交通誘導警備員A	式	1	
交通誘導警備員(4)	交通誘導警備員B	式	1	

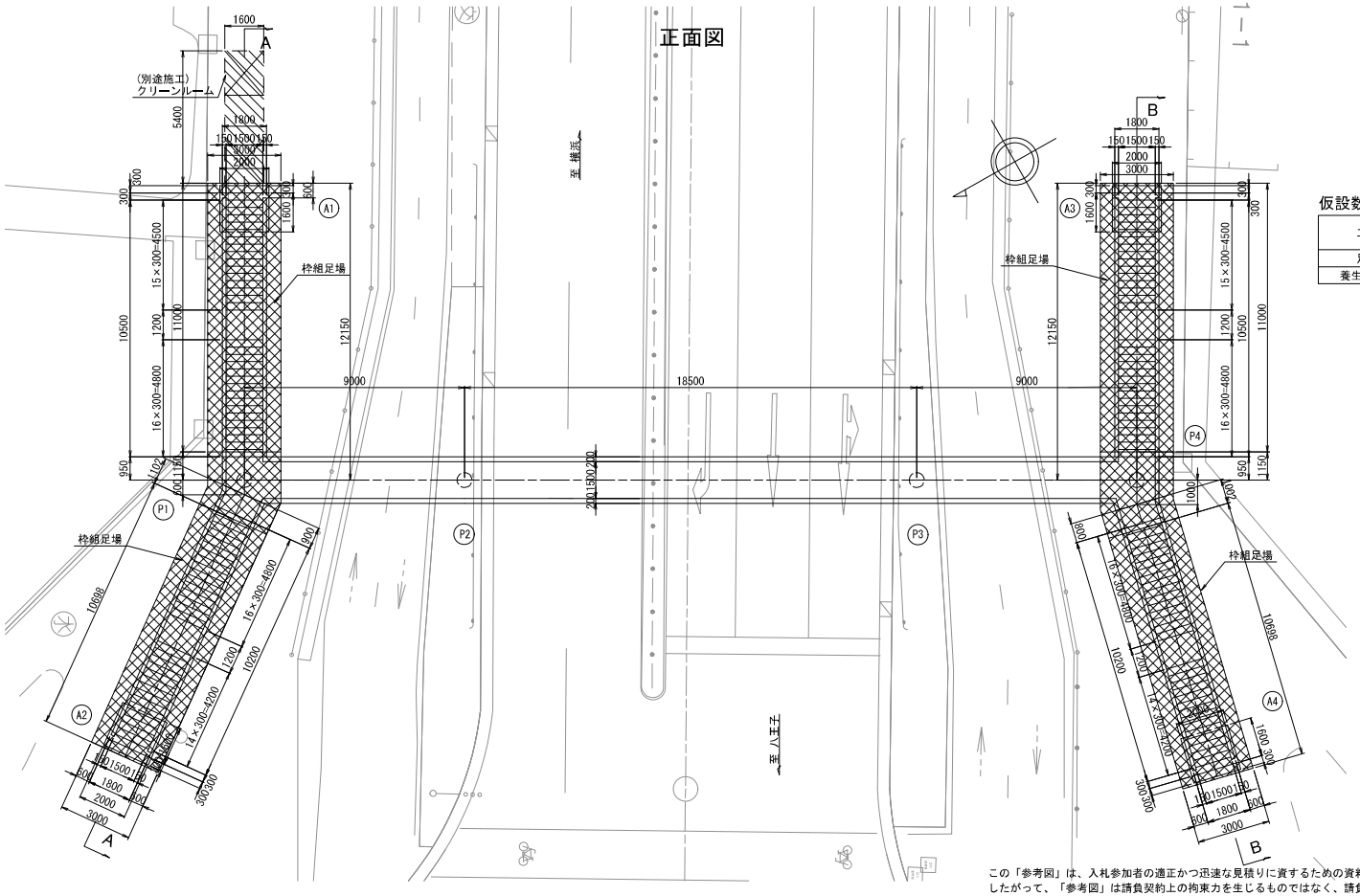
工 事 名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図 面 名	数量総括表(4)		
縮　　尺	―	図面番号	62 の 62
年 月 日	令和 8 年 6 月　日		
設計会社名			
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

相模原市中央１丁目歩道橋 施工要領図(1)(参考図)　S=1:100

正面図



正面図



仮設数量表

工種	仕様	単位	数量	摘要
足場	枠組足場 安全ネット有り	掛m2	638.4	
養生シート	湿式塗膜剥離材工法用	m2	148.3	塗膜剥離1回当り

注記
1. 本図面は既存資料をもとに作成した図面である。
2. 補修の箇所および範囲は現場にて確認の上、監督職員と協議をして決定すること。
3. 既設塗膜には、鉛の含有が想定されるため、環境対策、安全対策に配慮した仮設計画を考慮すること。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、請負者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について請負者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

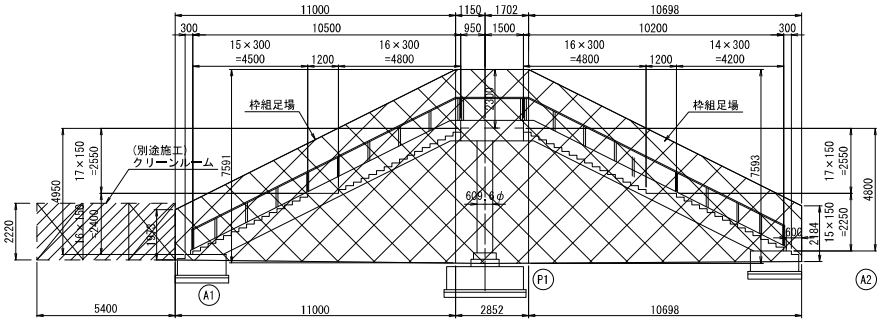
参考図

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市中央１丁目歩道橋 施工要領図(1)(参考図)		
縮尺	1:100	図面番号	参－1
年月日	令和８年６月　日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

相模原市中央１丁目歩道橋 施工要領図(2)(参考図)

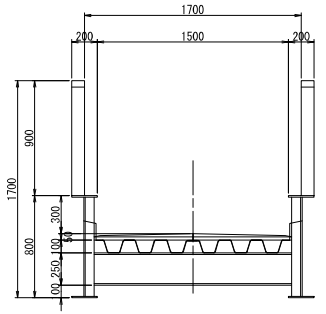
側面図 S=1:100

(A-A)



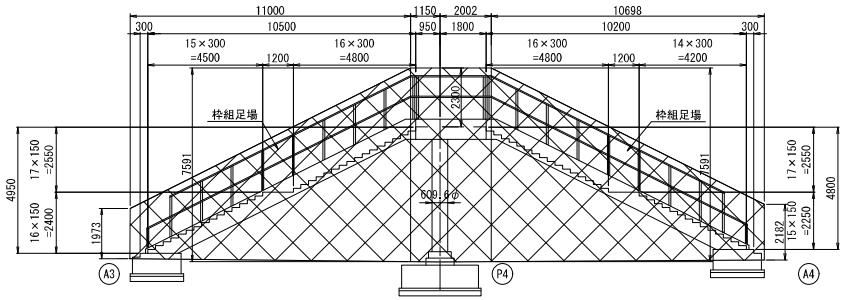
断面図 S=1:20

跨道部



側面図 S=1:100

(B-B)



注記
1.本図面は既存資料をもとに作成した図面である。
2.補修の箇所および範囲は現場にて確認の上、監督職員と協議をして決定すること。
3.既設塗膜には、鉛の含有が想定されるため、環境対策、安全対策に配慮した仮設計画を考慮すること。

参考図

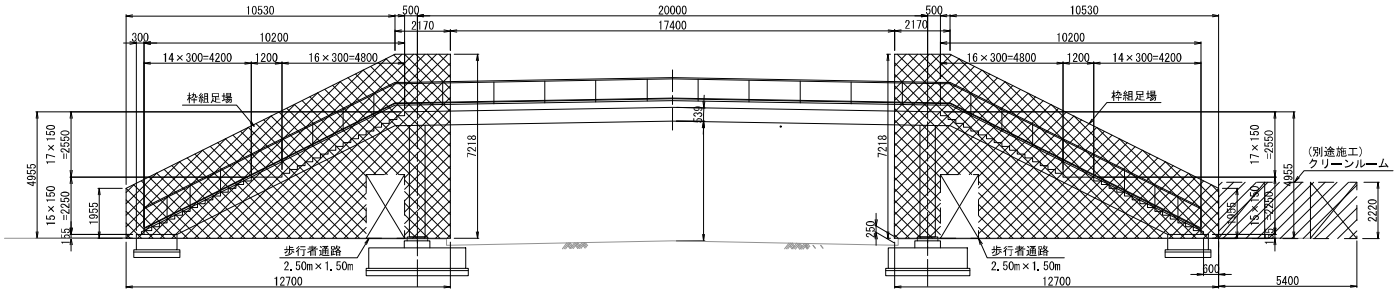
工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市中央１丁目歩道橋 施工要領図(2)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 － 2
年月日	令和 8 年 6 月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

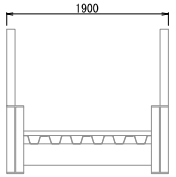
この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、請負者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について請負者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

相模原市由野台2丁目歩道橋 施工要領図(参考図)

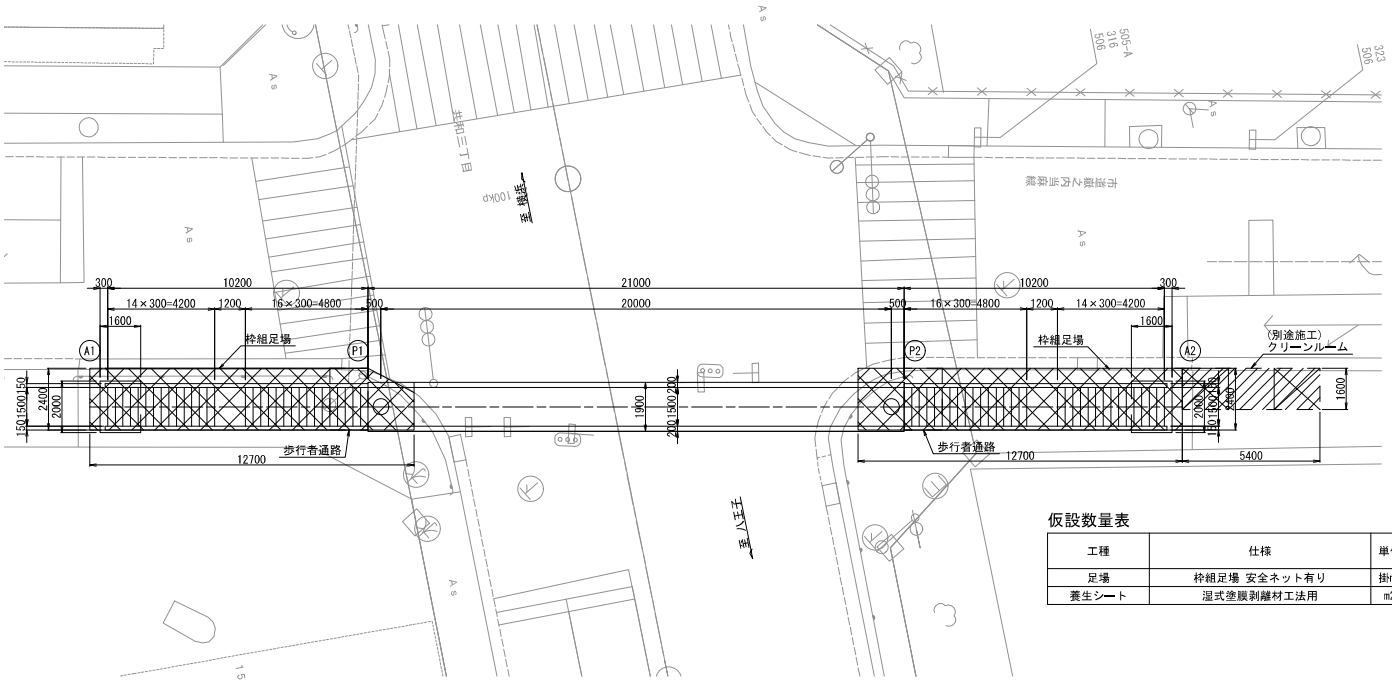
側面図 S=1:100



跨道部断面図 S=1:30



平面図 S=1:100



仮設数量表

工種	仕様	単位	数量	摘要
足場	枠組足場 安全ネット有り	掛m2	240.8	
養生シート	湿式塗膜剥離材工法用	m2	61.0	塗膜剥離1回当り

注記
1. 本図面は既存資料をもとに作成した図面である。
2. 補修の箇所および範囲は現場にて確認の上、監督職員と協議をして決定すること。
3. 既設塗膜には、鉛の含有が想定されるため、環境対策、安全対策に配慮した仮設計画を考慮すること。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、請負者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について請負者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

参考図

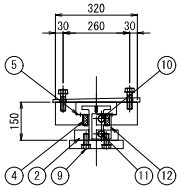
工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	相模原市由野台2丁目歩道橋 施工要領図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 － 3
年月日	令和８年６月 日		
設計会社名	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

梅ノ木橋側道橋 水平力分担構造図(1)(参考図)

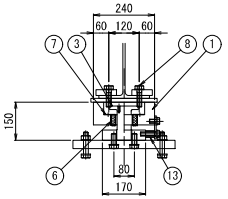
A1橋台 : 水平力分担構造(SEL-N230kN,固定)構造詳細図

取付詳細図 S=1:10

橋軸方向



橋軸直角方向

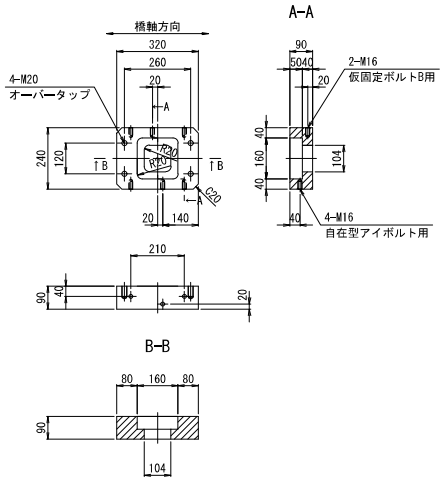


材料表(1基当たり) 全1基

部番	名称	規格	単位	数量	摘要
1	異型ソールプレート	SEL-N230-固定	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	SEL-N230用	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	SEL-N230用	本	1	SCM435相当品:ダクロタイズド処理,DMコート
4	バッファーA	SEL-N230用	個	2	クロロプレンゴム
5	バッファーガイドA	SEL-N230用	個	2	SUS
6	バッファーB	SEL-N230用	個	2	クロロプレンゴム
7	バッファーガイドB	SEL-N230用	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)	M20×90 1W,1SW付	組	4	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZT49)
9	セットボルト(下側)	M20×40 1W付	組	4	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZT49)
納入時用部材					
10	仮固定ボルトA				
11	仮固定ボルトB				
12	仮固定プレート				
13	スペーサー				
14	自在型アイボルト				

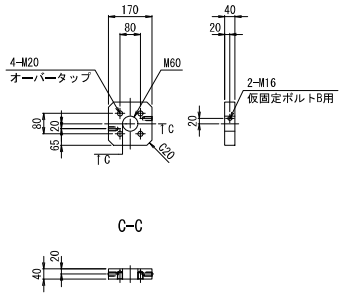
①異型ソールプレート S=1:10

(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



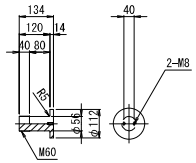
②リミットピンプレート S=1:10

(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



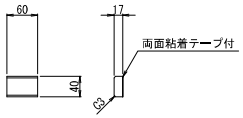
③リミットピン S=1:10

(SCM435相当品:DMコート)



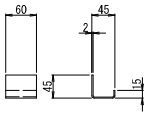
④バッファーA S=1:5

(クロロプレンゴム)



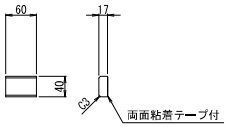
⑤バッファーガイドA S=1:5

(SUS)



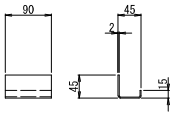
⑥バッファーB S=1:5

(クロロプレンゴム)



⑦バッファーガイドB S=1:5

(SUS)



注記
1. 納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高-10mm程度とする。
2. 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
3. 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂パテ材または樹脂ボルトで埋めること。
4. 吊り金具は、自在型アイボルト(M16)を1基当たり8個付属する。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、請負者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について請負者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

参考図

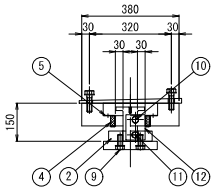
工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 水平力分担構造図(1)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 － 4
年月日	令和８年６月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

梅ノ木橋側道橋 水平力分担構造図(2)(参考図)

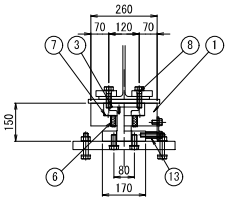
A2橋台：水平力分担構造(SEL-N230kN,移動量 30mm)構造詳細図

取付詳細図 S=1:10

橋軸方向



橋軸直角方向

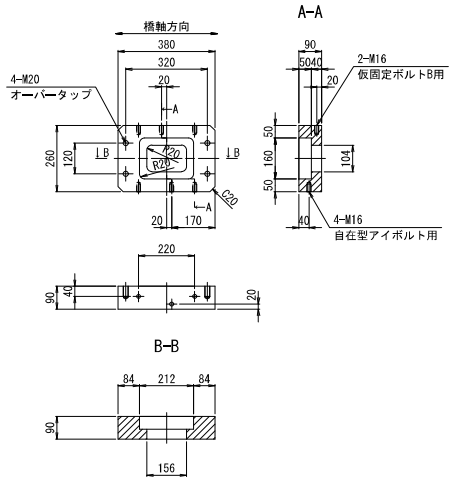


材料表(1基当たり)　全1基

部番	名称	規格	単位	数量	摘要
1	異型ソールプレート	SEL-N230-30	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	SEL-N230用	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	SEL-N230用	本	1	SCM435相当品:ダクロタイズド処理,DMコート
4	バッファーA	SEL-N230用	個	2	クロロプレンゴム
5	バッファーガイドA	SEL-N230用	個	2	SUS
6	バッファーB	SEL-N230用	個	2	クロロプレンゴム
7	バッファーガイドB	SEL-N230用	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)	M20×90 1W,1SW付	組	4	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZT49)
9	セットボルト(下側)	M20×40 1W付	組	4	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZT49)
納入時用部材					
10	仮固定ボルトA				
11	仮固定ボルトB				
12	仮固定プレート				
13	スペーサー				
14	自在型アイボルト				

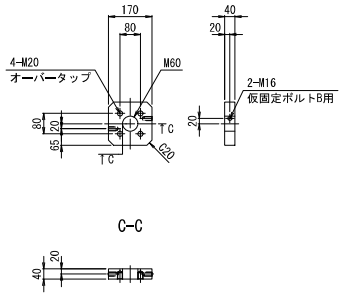
①異型ソールプレート S=1:10

(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



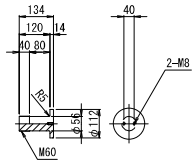
②リミットピンプレート S=1:10

(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



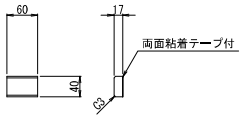
③リミットピン S=1:10

(SCM435相当品:DMコート)



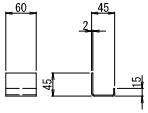
④バッファーA S=1:5

(クロロプレンゴム)



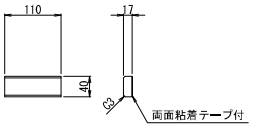
⑤バッファーガイドA S=1:5

(SUS)



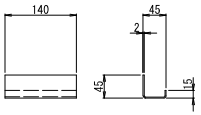
⑥バッファーB S=1:5

(クロロプレンゴム)



⑦バッファーガイドB S=1:5

(SUS)



注記
1. 納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高-10mm程度とする。
2. 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
3. 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂パテ材または樹脂ボルトで埋めること。
4. 吊り金具は、自在型アイボルト(M16)を1基当たり8個付属する。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

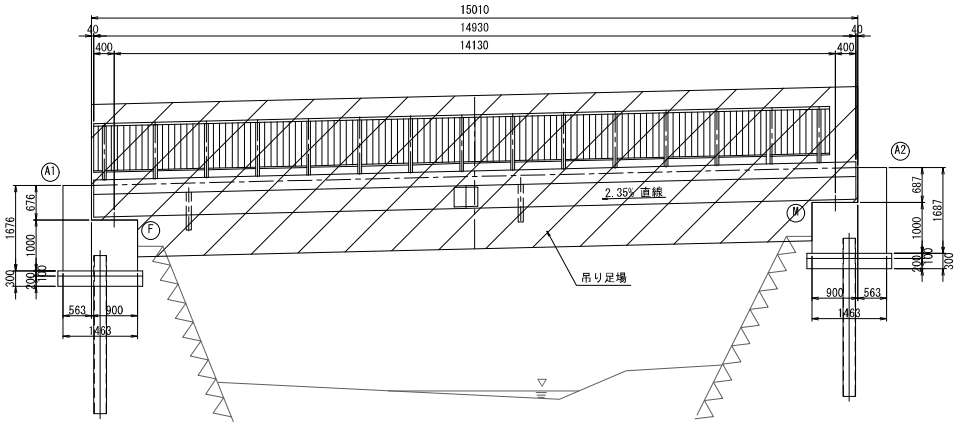
この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、請負者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について請負者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

参考図

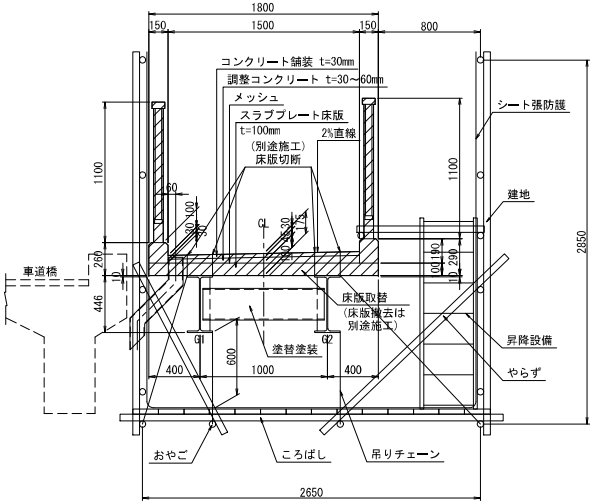
工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 水平力分担構造図(2)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 － 5
年月日	令和８年６月　日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

梅ノ木橋側道橋 施工要領図(参考図)

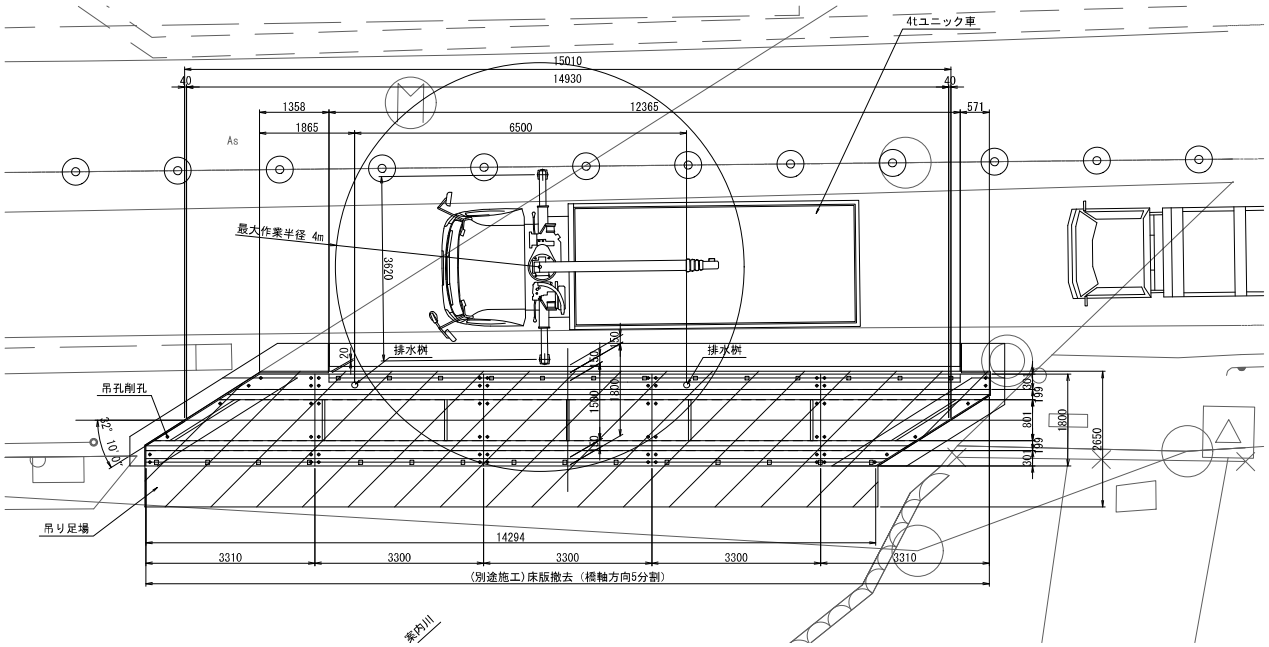
側面図 S=1:50



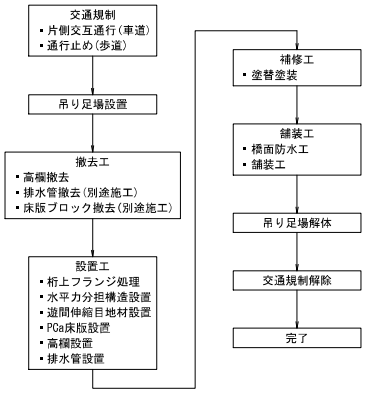
標準断面図 S=1:20



平面図 S=1:50



施工フロー図



(別途施工)

使用ブーム	①、①+②		
作業半径(m)	空車時定格総荷重(t)		
	最大張出	中間張出	最小張出
2.4	2.93	2.63	1.23
2.6	2.93	2.13	1.08
2.7	2.93	1.93	1.00
3.0	2.48	1.53	0.83
3.5	1.83	1.08	0.63
4.0	1.38	0.86	0.5
5.0	0.95	0.60	0.33

吊り具重量	30kg
撤去床版ブロック(W=0.8m,L=3.3m)	1000kg/ブロック
合計(定格総荷重)	1030kg(1.03t)

注記
1.床版・地覆・舗装・排水管の撤去は別途施工とする。

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

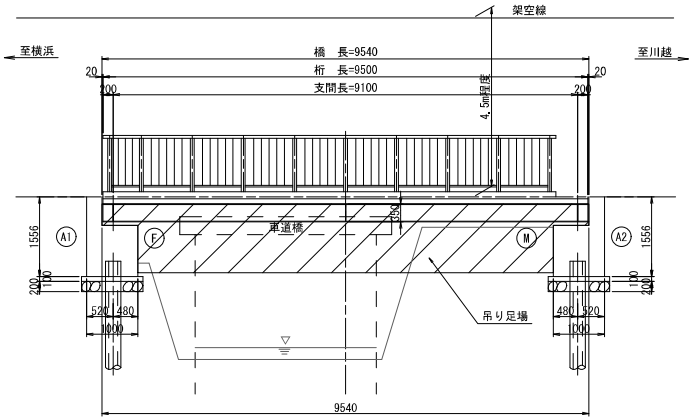
この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、請負者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について請負者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

参考図

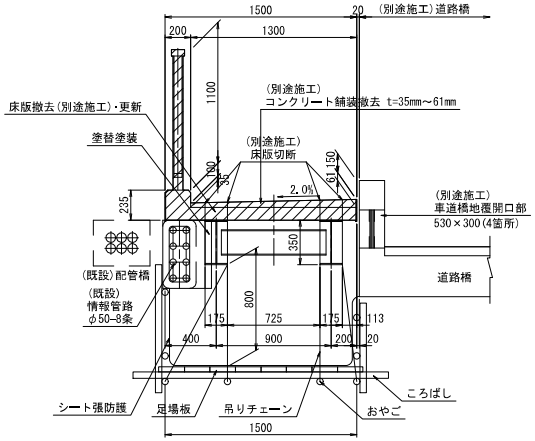
工事名	R８相武国道事務所管内橋梁補修工事		
図面名	梅ノ木橋側道橋 施工要領図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参 － 6
年月日	令和８年６月 日		
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 相武国道事務所		

台橋橋側歩道橋（下り） 施工要領図（参考図）

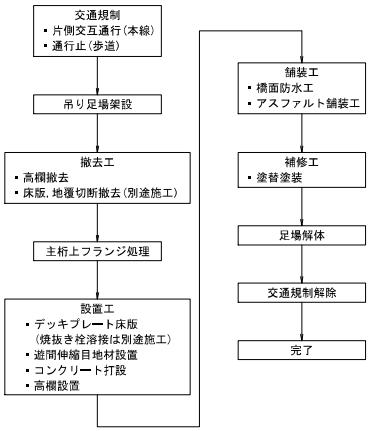
側面図 S=1:50



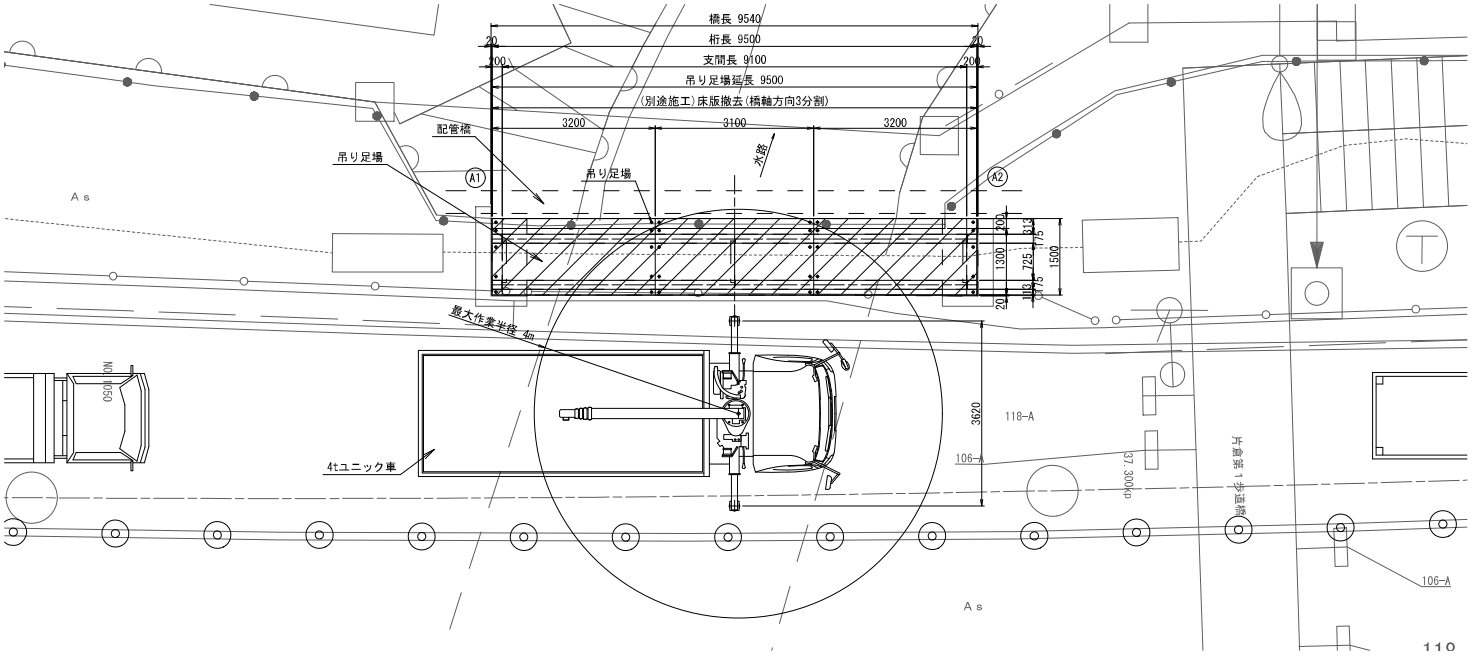
上部工断面図 S=1:20



作業フロー図



平面図 S=1:50



(別途施工)

使用ブーム	①、①+②		
作業半径(m)	空車時定格総荷重(t)		
	最大張出	中間張出	最小張出
2.4	2.93	2.63	1.23
2.6	2.93	2.13	1.08
2.7	2.93	1.93	1.00
3.0	2.48	1.53	0.83
3.5	1.83	1.08	0.63
4.0	1.38	0.86	0.5
5.0	0.95	0.60	0.33

吊り具重量	30kg
撤去床版ブロック(W=0.8m,L=3.2m)	973kg/ブロック
合計(定格総荷重)	1003kg(1.00t)

注記
1. 路面から高さ4.5m程度の位置に架空線(電線)が位置するため、クレーン作業時は注意すること。
2. 補修工事にあたり、施工前に再度現地寸法および損傷範囲を計測し確認すること。
3. 床版・地覆・舗装の撤去及び焼抜き栓溶接は別途施工とする。

参考図

本図面は縮小図のため、縮尺は表示と異なります。

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、請負者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について請負者の責任において定めるものとする。
なお、この「参考図」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

工事名	Ｒ８相武国道事務所管内橋梁補修工事
図面名	台橋橋側歩道橋(下り) 施工要領図(参考図)
縮尺	図示
図面番号	参 － 7
年月日	令和 8 年 6 月 日
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 相武国道事務所